関原発第 4 7 号 2022年 4月25日

原子力規制委員会 殿

大阪市北区中之島3丁目6番16号 関西電力株式会社 執行役社長 森 本 孝

高浜発電所3号機 定期事業者検査報告の一部補正について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により、2022年2月1日付け関原発第536号をもって報告しました定期事業者検査報告について、別紙のとおり一部補正します。

高浜発電所第3号機

定期事業者検査報告の一部補正

定期事業者検査報告書 (定期事業者検査開始時)

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により次のとおり定期事業者検査について報告します。

氏名又は名称及び住所並びに法人に あっては、その代表者の氏名	名 称 関西電力株式会社 住 所 大阪市北区中之島3丁目6番16号 代表者の氏名 森 本 孝
発電用原子炉を設置した工場又は事 業所の名称及び所在地	名 称 高浜発電所 所在地 福井県大飯郡高浜町田ノ浦
検査に係る発電用原子炉施設の種類 及び施設番号	第3号機 電気出力 870,000kW 熱 出 力 2,652,000kWt 当該発電用原子炉施設の種類は、別紙-1のとおり
検査の実績又は予定の概要	自(解列)2022年3月1日原子炉起動未定(予定)並列未定(予定)至(総合負荷)未定(予定)定期事業者検査の計画及び実績は、別紙-2のとおり

発電用原子炉施設の	第3号機	原子炉本体
種類及び施設番号	II.	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
	IJ.	原子炉冷却系統施設
	"	計測制御系統施設
	"	放射性廃棄物の廃棄施設
	"	放射線管理施設
	JJ	原子炉格納施設
	II	その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 浸水防護施設

定期事業者検査の計画及び実績

松木材	今回定期事	業者検査計	画及び実績	/ **** *
検査名 	※ 1	※ 2	※ 3	備考
クラス1機器供用期間中検査	_	0	1	
燃料集合体外観検査	_	•	I	2022. 3. 15 終了
燃料集合体炉内配置検査	_	0	-	
原子炉停止余裕検査	_	1	\circ	
クラス2機器供用期間中検査				今回計画なし
蒸気発生器伝熱管体積検査	_	•	1	2022. 3. 30 終了
加圧器安全弁機能検査	_	•	1	2022. 4. 7 終了
加圧器安全弁漏えい検査	_	•	-	2022. 4. 7 終了
加圧器安全弁分解検査	_	•	ı	2022. 3. 29 終了
加圧器逃がし弁機能検査	_	•	1	2022. 4. 18 終了
加圧器逃がし弁漏えい検査	_	_	\circ	
加圧器逃がし弁分解検査	_	•	1	2022. 4. 1 終了
加圧器逃がし弁元弁機能検査	_	0	-	
原子炉補機冷却系機能検査	_	0	1	
非常用炉心冷却系機能検査	_	0	l	
非常用炉心冷却系ポンプ分解検査				今回計画なし
非常用炉心冷却系主要弁分解検査	_	•		2022. 4. 13 終了
補助給水系機能検査	_	0		
補助給水系ポンプ分解検査	_	•		2022. 4. 15 終了
主蒸気安全弁機能検査	_	0		
主蒸気安全弁漏えい検査	_	•		2022. 4. 14 終了
主蒸気逃がし弁機能検査	_	•		2022. 4. 19 終了
主蒸気逃がし弁漏えい検査	_	•	_	2022. 3. 29 終了
主蒸気隔離弁機能検査	_	0	_	
制御棒駆動系機能検査	_	0	_	
ほう酸ポンプ分解検査				今回計画なし
制御用空気圧縮系機能検査	_	0	_	
安全保護系機能検査	_	0	_	
安全保護系設定値確認検査	_	0	0	
プラント状態監視設備機能検査	_	0	_	
燃料取扱装置機能検査	_	•	_	2022. 4. 4 終了
アニュラス循環排気系機能検査		0		
アニュラス循環排気系フィルター性能検査	_	•	_	2022. 4. 18 終了
中央制御室非常用循環系機能検査	_	0	_	

今回定期事業者検査計画及び実績(○:計画、●:実績、-:計画・実績なし)

※1:前回の検査終了〜解列前の期間※2:解列後〜原子炉起動前の期間

※3:原子炉起動後~総合負荷性能検査までの期間

10.117	今回定期事	業者検査計	画及び実績	为功和 — Z (Z/3)
検査名	※ 1	※ 2	※ 3	一備考
中央制御室非常用循環系フィルター性能 検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
気体廃棄物処理系機能検査	_	0	_	
原子炉格納容器全体漏えい率検査				今回計画なし
原子炉格納容器局部漏えい率検査	_	0	_	
原子炉格納容器隔離弁機能検査	_	0	_	
原子炉格納容器隔離弁分解検査	_	•	_	2022. 4. 1 終了
原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
原子炉格納容器安全系機能検査	_	0	_	
原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査				今回計画なし
原子炉格納容器安全系主要弁分解検査				今回計画なし
原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	_	0	_	
非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機の作動検査)	_	0	_	
非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機定格容量検査)	_	0	_	
非常用ディーゼル発電機分解検査	_	•	_	2022. 4. 8 終了
総合負荷性能検査	_	_	0	
蒸気タービン開放検査	_	0	_	
蒸気タービン性能検査	_	0	0	
ほう酸ポンプ機能検査	_	•	_	2022. 4. 21 終了
重大事故等クラス1機器供用期間中検査	_	0	_	
重大事故等クラス2機器供用期間中検査	_	0	_	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	_	•	_	2022. 4. 15 終了
その他原子炉注水系ポンプ分解検査				今回計画なし
その他原子炉注水系主要弁分解検査	_	•	_	2022. 4. 13 終了
その他原子炉注水系機能検査	_	0	_	
最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
重大事故時安全停止回路機能検査	_	0	_	
プロセスモニタ機能検査	_	•	_	2022. 3. 28 終了
エリアモニタ機能検査	_	0	_	
緊急時制御室非常用循環系機能検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
緊急時制御室非常用循環系フィルター性 能検査	_	•	_	2022. 4. 8 終了
中央制御室の居住性確認検査	•	_	_	2021. 8. 6 終了
緊急時制御室の居住性確認検査				今回計画なし

※1:前回の検査終了〜解列前の期間

※2:解列後~原子炉起動前の期間※3:原子炉起動後~総合負荷性能検査までの期間

16 +6 6	今回定期事	事業者検査計	画及び実績	万川和 — 2 (3/3)
検査名	※ 1	※ 2	※ 3	備考
緊急時対策所の居住性確認検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
圧力逃がし系作動検査	_	0	_	
可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	_	•	_	2022. 4. 6 終了
その他非常用発電装置の分解検査				今回計画なし
その他非常用発電装置の機能検査	_	0	_	
直流電源系機能検査	_	•	_	2022. 4. 20 終了
直流電源系作動検査	_	•	_	2022. 4. 22 終了
タービンバイパス弁機能検査		•	_	2022. 4. 21 終了
液体廃棄物処理系機能検査		0	_	
計測制御系機能検査		0	_	
計測制御系監視機能検査	1	0	_	
原子炉の停止制御回路健全性確認検査		0	_	
燃料取扱設備検査	•	•	_	2021.11.5終了(※1分) 2022.3.1終了(※2分)
放射線監視装置機能検査	_	0	_	
1次系換気空調設備検査	•	0	_	2022. 2. 28終了(※1分)
格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
原子炉格納容器供用期間中検査				今回計画なし
炉物理検査	_	_	0	
1次系ポンプ機能検査	_	0	_	
1次系弁検査	_	•	_	2022. 4. 19 終了
1次系安全弁検査	•	•		2022. 2. 14終了(※1分) 2022. 4. 8終了(※2分)
1次系逆止弁検査	•	•		2022. 2. 18終了(※1分) 2022. 4. 18終了(※2分)
1次系真空破壊弁検査				今回計画なし
1 次系破壊板検査				今回計画なし
1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解 検査	_	•	_	2022. 4. 1 終了
1 次系熱交換器検査	•	•	_	2022. 2. 18終了(※1分) 2022. 4. 12終了(※2分)
1 次冷却材ポンプ機能検査		0	0	
燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	•	•	_	2021.11.5終了(※1分) 2022.4.4終了(※2分)
液体廃棄物処理系設備検査	_	•	_	2022. 4. 19 終了
固体廃棄物処理系設備検査				今回計画なし
供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	_	•	_	2022. 4. 19 終了

※1:前回の検査終了~解列前の期間

※2:解列後~原子炉起動前の期間※3:原子炉起動後~総合負荷性能検査までの期間

IA + 4	今回定期事	業者検査計	画及び実績	カリかれ 2 (4/3)
検査名	※ 1	※ 2	※ 3	- 備考
供用期間中特別検査のうちクラス 1 機器 Ni 基合金使用部位特別検査	_	•	_	2022. 3. 4 終了
供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管 台溶接部の健全性確認検査				今回計画なし
供用期間中特別検査のうちクラス1配管 特別検査	_	•	_	2022. 4. 19 終了
耐震健全性検査	•	0	l	2021.12.9終了(※1分)
クラス3機器供用期間中検査	ı	0	I	
構造健全性検査	•	0	I	2021.12.9終了(※1分)
核計装設備検査	_	0	0	
制御棒クラスタ動作検査	_	0	_	
制御棒クラスタ検査	_	•	_	2022. 4. 20 終了
制御棒位置指示装置設定値検査	_	0	_	
炉内計装用シンブルチューブ体積検査				今回計画なし
インバータ機能検査	_	•	_	2022. 4. 15 終了
総合インターロック検査	_	0	_	
レストレイント検査				今回計画なし
液体廃棄物処理系アスファルト固化設備 機能検査	_	0	_	
液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機 能検査	•	_	_	2022. 2. 22 終了
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査(最終の流入サンプ)	•	0	-	2022. 2. 17終了(※1分)
2次系ポンプ分解検査	_	•	_	2022. 4. 12 終了
2次系ポンプ機能検査	_	0	0	
2次系弁検査	_	0	_	
2次系安全弁検査	_	0	_	
2次系容器検査	_	•	_	2022. 4. 20 終了
2次系熱交換器検査	_	•	_	2022. 4. 8 終了
2次系配管検査	_	0	_	
補助ボイラー開放検査	_	0	_	
補助ボイラー性能検査	_	0	_	
補助ボイラー設備検査	_	0	_	
非常用予備発電機付属設備検査	_	0	_	

※1:前回の検査終了~解列前の期間※2:解列後~原子炉起動前の期間

※3:原子炉起動後~総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回定期事	業者検査計	画及び実績	備考
快宜石	※ 1	※ 2	※ 3	1
原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 構造・強度事業者検査	_	•	_	2022. 4. 21 終了
原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査	_	•	_	2022. 4. 24 終了
化学体積制御系機能検査	_	_	0	
蒸気タービン附属設備機能検査	_	_	0	
浸水防護設備検査	•	•	_	2021.11.4終了(※1分) 2022.4.8終了(※2分)
その他非常用発電装置の付属設備検査	_	0	_	
可搬型重大事故等対処設備機能検査	•	•	_	2021. 11. 26 終了(※1分) 2022. 4. 19 終了(※2分)
可搬型代替電源設備検査	•	_	_	2021. 12. 10 終了
火災防護設備検査				今回計画なし
原子炉格納容器再循環サンプスクリーン 検査				今回計画なし
可搬型換気空調設備検査	•	0	_	2021.6.3終了(※1分)
重大事故等クラス3機器供用期間中検査	•	0	_	2022. 2. 3 終了(※1分)

※1:前回の検査終了~解列前の期間※2:解列後~原子炉起動前の期間

※3:原子炉起動後~総合負荷性能検査までの期間

添 付 書 類

添付書類一 定期事業者検査の計画

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について

定量的に定める施設管理の目標

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

添付書類四 定期事業者検査の判定方法

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容からの変更内容

添付書類六 保全の有効性評価の結果に関する説明書

高 浜 発 電 所 第 3 号 機 第 2 5 回定期事業者検査計画書

目 次

1.	定期事業者検査の計画工程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2.	前回の定期事業者検査からの変更点・・・・・・・・・・・・・・・・・1
	別紙:定期事業者検査工程

1. 定期事業者検査の計画工程

定期事業者検査(実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第55条第1項の時期に 行う定期事業者検査)については、次の期間で実施する。

(1) 定期事業者検査の工程

自 2022年 3月 1日

至 未定

(並列日は、未定)

- (2) 当該定期事業者検査期間中に実施する工事
 - (1)の定期事業者検査工程の策定においては、次の工事の工事期間も考慮し工程策定した。
 - 蒸気発生器伝熱管補修工事

設備の信頼性維持の観点より、蒸気発生器伝熱管体積検査の結果、有意な信号指示が 認められた伝熱管について補修を行い、今後使用しないこととする。

- 3. 前回の定期事業者検査からの変更点
- (1) 特定重大事故等対処施設、常用直流電源設備(3系統目)に係る検査項目を設定した。
- (2) 供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査
 - ・原子力事業本部の方針「大飯3号機 加圧器スプレイライン配管溶接部における優位な 欠指示の原因調査結果を踏まえた個別検査について」を受け、水平展開対象抽出フロー に基づく「水平展開(類似性あり)」の箇所に対し、今後3定検に亘り、維持規格に基 づく個別検査として超音波深傷検査を行う。
- (3) クラス1機器供用期間中検査、クラス2機器供用期間中検査、クラス3機器供用期間中 検査、供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査、供用期間中 特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査、原子炉格納容器供用期間中検 査、重大事故等クラス2機器供用期間中検査、重大事故等クラス3機器供用期間中検査
 - ・NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」の改正版(令和元年6月5日 原規技発第1906051号)の施行及び社団法人日本機械学会 JSME S NA1-2012/2013/2014「発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)」の適用

- (4) クラス1機器供用期間中検査、重大事故等クラス2機器供用期間中検査、クラス3機器 供用期間中検査
 - ・社団法人日本機械学会 JSME S NA1-2012/2013/2014「発電用原子力設備規格 維持規格 (2012 年版/2013 年追補/2014 年追補)」に従った検査プログラムに変更 (NRA文書 「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の 解釈」による読み替え及び規格変更による要求事項記載の変更)

定期事業者検査工程

別紙 定期事業者検査工程表

別紙 定期事業者検査工程表

別紙 定期事業者検査工程表

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について 定量的に定める施設管理の目標

目 次

1. 保全活動管理指標・・・・・・・・・・・・・・1

別紙:保全活動管理指標

1. 保全活動管理指標

保全の有効性を監視、評価するために、保全重要度を踏まえ、「プラントレベル」及び「系統レベル」の保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。

保全活動管理指標

高浜発電所3号機 第25保全サイクル 保全活動管理指標

1. プラントレベル

目標値	<1回/7000臨界時間	<2回/7000臨界時間	一二二
目前	計画外自動・手動スクラム回数	計画外出力変動回数	工学的安全施設の計画外作動回数

2. 米統フベル

		保全活動管理指標	普理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備者
	原子炉冷却材圧力パウンダリ機能(PS-1)	<1回/サイクル	-	
	原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能(MS-1)	く1回/サイクル	ı	
原子炉冷却系 雄	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)	く1回/サイクル	ı	
761	異常状態の緩和機能(MS-2)	[加圧器逃がし弁] <1回/サイクル 【加圧器逃がし弁元弁、 加圧器後備ヒータ] <2回/サイクル	[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後備ヒータ※] ※:逃がし弁駆動空気、 <72時間/2サイクル/弁, ヒータ ヒータ電源含む	逃がし弁駆動空気、 -タ電源含む
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	ı	
	未臨界維持機能(充てんライン経由)(MS-1)	<1回/サイクル	[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル	
化学体積制御	・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子 炉へ提供)(MS-1) ・炉心冷却機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
系統(充てん・抽出・封水・(ほう酸)回収系統)	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	1	
	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	ı	

		【保全活動管理指標	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備考
化学体積制御 系統(ほう素熱 再生系統)	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	_	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	Ι	
令 替 於 士 必 故	炉心冷却機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA < 240時間 /2サイクル トレインB < 240時間 /2サイクル	
不 売ける 不がし	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	Ι	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	1	
	・未臨界維持機能(MS-1) ・炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の 遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	燃料取替用水タンク<1時間/2サイクル	
燃料取替用水 系統	燃料プール水の補給機能(MS-2)	<2回/サイクル	燃料取替用水タンク <1時間/2サイクル 燃料取替用水タンク以外 <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<1回/サイクル	ı	

		但今汪勈笆珥坊堙	英田坑	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	手工品 非待機時間 目標値	無 米
	・炉心冷却機能(MS-1) ・未臨界維持機能(MS-1)	く1回/サイクル	高圧注入系、低圧注入系 トルシA < 240時間 / 2サイクル トルシB < 240時間 / 2サイクル 蓄圧注入系※ < 1時間 / 2サイクル/基 ほう酸注入タンク < 1時間 / 2サイクル	※:
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	(1回/サイクル	ı	
安全注入系統	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	I	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(MS-1) [格納容器スプレイ系への供給機能]	<1回/サイクル	ı	
	燃料プール水の補給機能(MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	1	
格総容器スプレ	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	よう素除去薬品タンク <72時間/2サイクル よう素除去薬品タンク以外 トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
人 米 発	アクシデントマネジメント対応機能[格納容器内注水]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	I	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	

		保全活動管理指標		
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	華
換気空調設備 (格納容器再循 環系)	アクシデントマネジメント対応機能[格納容器自然対流冷却]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機室空	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル トレイン共通箇所<72時間/2サイクル	
気净化糸)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	ſ	
	・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1) (1次冷却材要失事故解、アニュラス部を負圧に保ち、また、原子炉格 納容器からアニュラス部に漏えいした空気を浄化再循環し、環境に放 出される核分裂生成物の濃度を減少させる機能)	<1回/サイクル	トレインA <240時間 /2サイクル トインB <240時間 /2サイクル	
換気空調設備 (アニュラス空 気浄化系)	・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1) (アニュラス負圧達成後は、アニュラス内圧を設定負圧に維持するため、アニュラス戻り弁の開度を自動調整し循環運転を行なうと共に全量排気弁を閉じ、少量排気弁を開とすることでアニュラス部を負圧に保っ機能)	<1回/サイクル	トレシA<240時間/2サイクル トレンB<240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	ſ	
	放射性物質放出の防止機能(MS-2)	<2回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
換気空調設備、核物容器排傷	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	I	
(目前3年)	放射性物質放出の防止機能(MS-2)	<2回/サイクル	Ι	
換気空調設備 (充てん/高圧 注入ポンプ室冷 却系)	炉心冷却機能(間接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	トレゲA<240時間/2サイクル トイゲB<240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・未臨界維持機能(間接関連系)(MS-2)

MPFF回数 目標値 非待機時間 目標値 トレゲA < 240時間 / 2サイクル トレゲA < 240時間 / 2サイクル
ヘビョン・コンパー マニンパー マニュー・マニュー・マニュー・マー・スクルー・スクルー・スクルー・スクルー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティ
<2回/サイクル
<1回/サイクル
<1回/サイクル
<2回/サイクル
<1回/サイクル
<1回/サイクル

		保全活動管理指標	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備 考
換気空調設備 (安全補機開閉 器室空調系)	安全上特に重要な関連機能(直接関連系)(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<720時間/2サイクル トレインB<720時間/2サイクル トレイン共通箇所<240時間/2サイクル	
计 张 等 与 经 经	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	主蒸気安全弁 <6時間/2サイクル/弁 主蒸気逃がし弁 <168時間/2サイクル/弁 主蒸気隔離弁※ <8時間/2サイクル/弁	※:バイパス弁を含む
	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	主給水隔離弁 <72時間/2サイクル/弁	
主給水管系統	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	主給水制御弁※ <72時間/2サイクル/弁	※:バイパス制御弁を含む
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	_	

		【一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	華
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[復水タンク] <168時間/2サイクル [復水タンク以外] 補助給水系(電動) トレインA < 240時間/2サイクル トレインB < 240時間/2サイクル 補助給水系(タービン動) < 240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	1	
2次系補助給水 系統	. プラント運転補助機能(MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	_	
主単線結線系 統	安全上特に重要な関連機能(非常用母線)(当該系) (MS-1)	く1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
2次系補機単線 結線系統	:電源供給機能(非常用を除く)(PS-3)[リスク重要度「高」 設備]	<2回/サイクル	_	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	[直流母線] <2時間/2サイクル/母線 [蓄電池] <240時間/2サイクル/基	
直流電源糸統 	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-3)[リスク 重要度「高」設備]	<2回/サイクル	く240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	I	
特高開閉所設 備	電源供給機能(PS-3)[リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	I	
計器用電源系 統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
起動変圧器設備	電源供給機能(PS-3)[リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	1	

		保全活動管理指標	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	華 老
	安全上特に重要な関連機能(非常用母線の保護機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
所内保護•計量	安全上特に重要な関連機能(非常用所内電源系)(MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
設備	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生 機能(MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	I	
中央制御室退 避盤	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA < 240時間 / 2サイクル トレインB < 240時間 / 2サイクル	
原子炉補機冷 却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	_	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<1回/サイクル	_	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA < 240時間 / 2サイクル トレインB < 240時間 / 2サイクル	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-3)[リスク 重要度「高」設備]	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	I	

		保全活動管理指標	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備考
軸受冷却水系 統	プラント運転補助機能(MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
	安全上特に重要な関連機能(直接関連系)(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	
換気空調設備 (空調用冷水系 統)	炉心冷却機能(間接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	トレインA <240時間 /2サイクル トレインB <240時間 /2サイクル	当該空調設備は次の安全・機能を兼ねる。 ・原子炉停止後の除熱機能(間接関連系)(MS-2)・未臨界維持機能(間接関連系)(MS-2)・放射性物質の閉じ込めが放射性物質の閉じ込め、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(間接関連系)(MS-2)
1次系試料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	I	
1次系計器用空気系統(格納容器内、格納容器	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	格納容器内 トレインA < 240時間 / 2サイクル トレインB < 240時間 / 2サイクル 格納容器外 トレインA < 1時間 / 2サイクル トレインB < 1時間 / 2サイクル	
<u> </u>	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	ı	
2次系所内用 (雑用)空気系 統	空気供給機能[リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	ı	
ディーゼル発電機 冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
ディーゼル発電機 始動空気系統	・安全上特に重要な関連機能(MS-1) ・安全上特に重要な関連機能(吸気系)(MS-1)	<1回/サイクル	く240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	く240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機・燃料系統・	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	

		保全活動管理指標	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備考
非常用ディーゼル 発電機設備	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間>2サイクル/基	
消火水系統	アクシデントマネジメント対応機能[格納容器内注水]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
気体廃棄物処 理系統(3号及 び共用)	原子炉冷却材圧力パウンダリに直接接続されていないも のであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	I	
	原子炉停止系への作動信号の発生機能(MS-1)	<1回/サイクル	原子炉保護系論理回路 モード12<6時間/2サイクル/トレイン モード34(トリップ遮断器が開じている場合) く48時間/2サイクル/トレイン 原子炉保護系信号部 手動トリップ <48時間/2サイクル/チャンネル 自動トリップ <6時間/2サイクル/チャンネル	
原子炉保護装	エ学的安全施設への作動信号の発生機能(MS-1)	<1回/サイクル	工学的安全施設等作動論理回路 <6時間/2サイクル/トレイン 工学的安全施設等作動信号部 手動<48時間/2サイクル/キャンネル イクーリク(1時間/2サイクル/キャンネル デーセル発電機起動論理回路 <6時間/2サイクル/ナャンネル デーセル発電機起動論理回路 <6時間/2サイクル/トレイン 中央制御室非常用循環系作動論理回路(手動起動回路 会時間/2サイクル/トレイン	
エリア・フ°ロセスモニタ 装置	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	I	

		保全活動管理指揮	色阻站	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備考
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2)	<2回/サイクル	ı	
燃料取扱設備	原子炉冷却材圧カバウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	ı	
構築物	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2)	<2回/サイクル	ı	
元 中 子	・炉心形状の維持機能(炉心支持機能)(PS-1) ・炉心形状の維持機能(冷却材流路形成機能)(PS-1)	<1回/サイクル	ı	
がお用し	原子炉の緊急停止機能(制御棒クラスタ案内機能)(MS-1)	<1回/サイクル	ı	
燃料集合体及7.5非坯帐地临	炉心形状の維持機能(PS-1)	<1回/サイクル	1	
の神で流れる。	・原子炉の緊急停止機能(MS-1) ・未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	1	
原子炉格納容 器	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(原子炉格納容器パウンダリ機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	
制御棒駆動装	過剰反応度の印加防止機能(PS-1)	<1回/サイクル	1	
置(機械系)	・原子炉の緊急停止機能(MS-1) ・未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	1	

		保全活動	保全活動管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備考
制御棒駆動装置(電気系)	原子炉の緊急停止機能(MS-1)	<1回/サイクル	トリップ・遮断器 モード1.2<1時間/2サイクル/トレイン モード3.4(トリップ・遮断器が閉じている場合) <48時間/2サイクル/トレイン	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	_	
	・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(MS-1) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出 低減機能(アニュラス部を構成する機能)(MS-1)	く1回/サイクル	_	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	_	
原子炉建屋	放射性物質放出の防止機能(MS-2)	<2回/サイクル	_	
	火災防護機能(MS-2相当)	<2回/サイクル	_	
	溢水による損傷防止機能(MS-2相当)	<2回/サイクル	_	
付属建屋	竜巻防止機能(MS-2相当)	<2回/サイクル	_	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	く1回/サイクル	I	
	浸水防護機能(MS-1)	<1回/サイクル	取水路防潮ゲート <240時間/2サイクル 潮位観測システム(防護用) -	
取水口・放水口設備設備	浸水防護機能(MS-2相当)	<2回/サイクル	_	
	津波監視機能(MS-2相当)	<2回/サイクル	_	
	火災防護機能(MS-2相当)	<2回/サイクル	I	

		保全活動管理指標	管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備 考
	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	1次冷却系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	充てん/高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	
重大事故等对心設備	炉心注水をするための設備(SA-2)	<1回/サイクル	「非常用がいき水 (非常用がいきが、 (事在タンク) (者在タンク) (者をかい注水 (B充てん/高圧注入ポンプ) く720時間/2サイクル (A格納容器スプレイポンプ) く720時間/2サイクル 代替がい注水 (可機式代替低圧注水ポンプ) く720時間/2サイクル 代替のに注水 (可機式代替低圧注水ポンプ) く720時間/2サイクル 代替再循環 (A格納容器スプレイポンプ) く720時間/2サイクル 代替再循環 (A格納容器スプレイポンプ) (A格納容器スプレイポンプ) (Aを動作を表れ、フ・クタイクル 代替再循環 (A格納容器スプレイボンブ) (A格納容器スプレイボンブ) (A格納容器スプレイボンブ) (A格納容器スプレイボンブ) (A格納容器スプレイボンブ) (A格納容器スプレイボンブ) (A格納容器スプレイボンブ(RHRS-CSS)連絡 ライン使用)) (Aを再循環 (B条熱除去ポンプ・C充てん/高圧注入ポン ブ(海水冷却))	
	1次冷却系の減圧をするための設備(SA-2)	<1回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 (窒素ボンベまたは可搬式空気圧縮機を使 用した減圧) <240時間/2サイクル (可搬型バッテリを使用した減圧) <720時間/2サイクル	

		医多种 医多种种 医多种种 医甲基甲甲基	斯田拉	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	5年11年 非存機時間 目標値	華
	原子炉格納容器スプレイをするための設備(SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ(恒設代替低 圧注水ポンプ) <720時間/2サイクル 代替原子炉格納容器スプレイ(可搬式代替	
			は上汪水ホンノ) <720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備(SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 大容量ポンプによる原子炉格納容器内自然 対流冷却 <240時間/2サイクル	
重大事故等对机部件	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備(SA-2)	イクトサイロ1>	ı	
E X	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備(SA-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するため の設備(SA-2)	<1回/サイクル	ル素濃度低減 (静的触媒式水素再結合装置) <72時間~2サイクル 水素濃度低減 (原子炉格納容器水素燃焼装置) 水素濃度監視 水素濃度監視	
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための 設備(SA-2)	<1回/サイクル	(Aアニュラス空気浄化系) <72時間/2サイクル (代替空気(窒素)系統) <240時間/2サイクル	

	垂 老						
保全活動管理指標	非待機時間 目標値	海水から使用済燃料ピットへの注水 一 使用済燃料ピットへのスプレイ 一 使用済燃料ピットの監視 使用済燃料ピットの監視	<240時間/2サイクル	海水を用いた復水タンクへの補給	空冷式非常用発電装置、号機間電力融通 ケーブル、電源車、蓄電池(3系統目) <720時間/2サイクル 蓄電池(安全防護系用) 一一可搬式整流器 <240時間/2サイクル 代替所内電気設備 <72時間/2サイクル 機料油貯油そう、タンクローリー <48時間/2サイクル	記録以外 <720時間/2サイクル 記録 -	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明(SA) 酸素濃度計、二酸化炭素 濃度計 <240時間/2サイクル
保全活動	MPFF回数 目標値	<1回/サイクル	<1回/サイクル	<1回/サイクル	<1回/サイクル	<2回/サイクル	<1回/サイクル
	要求機能	使用済燃料ピットの冷却等のための設備(SA-2)	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-2)	重大事故等の収束に必要となる水の供給設備(SA-2)	電源設備(SA-2)	計装設備(-)	中央制御室(SA-2)
	米 統 名	¥1	71N C	重大事故等对 処設備	ilim.	ilect	u

本資料のうち、枠囲みの内容は、 商業機密あるいは防護上の観点 から公開できません。

			保全活動管理指標	
系統名	要求機能	MPFF回数 目標値	非待機時間 目標値	備考
	監視測定設備(SA-2)	<1回/サイクル	I	
重大事故等对	緊急時対策所(SA-2)	<1回/サイクル	居住性(緊急時対策所エリアモニタ) 	
处最加	通信連絡を行うために必要な設備(SA-2)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	その他の設備(-)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
特 政等 大事事 を を を を を を を を を を を を を を を を を を				

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

目 次

1.	施設管理実施計画の始期(定期事業者検査の開始する日をいう。) 及び期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2.	発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・・・・1
3.	発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・2
4.	発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
	別紙:点検計画(第25保全サイクル) 別図:定期事業者検査時の安全管理の計画

別表:長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期(定期事業者検査の開始する日をいう。)及び期間

本保全計画の適用期間は、第25回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間(第25回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※)とし、以降、この期間を第25保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※:この間を『実運転期間』という。

- 2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期
 - (1) 工事の計画
 - a. 蒸気発生器伝熱管補修工事: 設計及び工事の計画の届出
 - 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた伝熱管について、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定時期

第25回定期事業者検査期間中

- b. 火災報知器設置工事:設計及び工事の計画の認可申請
 - 工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○ 予定時期

第25回定期事業者検査期間中(完了予定:2024年2月)

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、 点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保修業 務所則(平成5高原保所則 第2号)」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。 また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則 (平成19高原土所則 第1号)」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- 保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- トラブルなど運転経験
- ・高経年化技術評価および定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見
- 4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置 定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図の とおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等に ついては、特にない。

点 検 計 画 (第25保全サイクル)

点検計画の記載について

- 1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。
 - (1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

- ①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備
 - a.定期事業者検査の対象となる設備
 - b.実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事 の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

- (a)防保護具、現地操作時に用いる工具類
- (b)一般消耗品(電池類他)
- (c)一般産業品(可搬型照明、電話・ファクシミリ他)
- ②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

- a.安全機能の重要度が高い設備
- b.供給信頼性重要度が高い設備
- c.リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント (AM) 対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM (対応するアクシデントマネジメント名)機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための 措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検(主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備*1の点検等)については、「高浜発電所 保修業務所則(平成5高原保所則 第2号)」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則(平成19高原土所則 第1号)」に定めている。

※1:附帯設備の例

(潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、フローグラス 等

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方に従い、「高」又は「低」 のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防 保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

・ 時間基準保全を採用しているもの: 点検頻度

・ 状態基準保全を採用しているもの: CBM

・ 事後保全を採用しているもの : BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」: 保全サイクル、「M」: 月、「Y」: 年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査~解列)に対応した値を示している。
 - また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その 点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」**2と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」**2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となる ため、本表では"肉厚管理指針による"と表記している。
- ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。 ※2:「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を 予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプ ラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象 にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、"定期事業者検査起動後"、"プラント運転中"の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止(定期事業者検査)に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・ 保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化 の有無・劣化の傾向を監視する方法(状態監視技術、定例試験、巡視点検等)及びそ の頻度を備考欄に記載している。
- ・ 保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する 観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第25保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」**3 を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績(実施時期)*4も記載している。

※3:複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル の中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4:複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/36
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施	
設	1/36
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	<u> </u>
[燃料取替用水設備]	11
原子炉冷却系統施設	3/36
[一次冷却材の循環設備]	5/50
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備] [非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却は	すの漏え
いを監視する装置]	_
計測制御系統施設	12/36
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	15/36
[気体、液体又は固体廃棄物処理	[設備]
[原子炉格納容器本体外の廃棄物	勿貯蔵設
備又は廃棄物処理設備からの液	を体状の
放射性廃棄物の漏えいの検出数	長置又は
自動警報装置]	_
放射線管理施設	18/36
[放射線管理用計測装置]	
[生体遮蔽装置]	
[換気設備]	
[その他設備]	
原子炉格納施設	25/36
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備	j]
原子力設備	28/36
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	29/36
[その他設備]	
蒸気タービン	29/36
[車室、円板、隔板、噴口、翼、	車軸]
[調速装置及び非常調速装置並び	に調速
装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換	器]
[蒸気タービンに附属する給水ポ	ンプ及
び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
補助ボイラー	33/36
その他発電用原子炉の附属施設	34/36
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	36/36
敷地内土木構造物	36/36
プラント総合	36/36
非常用取水設備	36/36
[取水設備]	

別表-1:クラス1機器供用期間中検査7年計画

別表-2:クラス2機器供用期間中検査10年計画

別表-3:クラス3機器供用期間中検査10年計画

別表-4:クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査7年計画 別表-5:クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別表-6:原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別表-7: 重大事故等クラス 1 機器供用期間中検査 1 0年計画 別表-8: 重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査 1 0年計画 別表-9: 重大事故等クラス 3 機器供用期間中検査 1 0年計画

別表-10:クラス1配管特別検査 3年計画

1. 点検計画

	-HE 35	点検及び試験の項目へ組占格	の度	保全方式 今 又は頻度	今回の実施 前 計画	前回実施時期 (定検回次) 24回	検査名機を指令体が指	備考 (() 内は適用する 設備診断技術) ※・伝ふ設計による。
1. 1. 1. 1. 分観	A 観点	K A		IF IF		24回	164.1./wh.1	· // '心耿 · 炉心散計
157体 1.	外観点	倹(炉内配置)	框	1F	0	24回	燃料集合体炉内配置検査	※:炉心設計による
※ 1式 1.外観点	外観点	外觀点檢(炉內配置)	恒	IF	0	24回	燃料集合体炉内配置検査	※:炉心設計による
1. 機能		機能・性能試験	軍	1F	0	24回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者檢查起動後
	黑	開放点檢	恒十	13M	0	24回	100 N. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	
104年 1.34 1.44 1.44 1.44 1.44 1.44 1.44 1.44	2	1. 外帆 小板 1. 機能・性能試験 (リファンバブリー)		JF	1 0		 	一部先行実施
/加丁	4 藜	機能・性能試験		1F	0	24回	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
2. 分	\otimes	分解点検他	c	39M~195M	0			
1. 機	鰲	機能・性能試験	恒	IF	0	24回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
2. 分	4	分解点検他	c	39M~195M	0	24回		
1. 機能	徽	機能・性能試験	恒	1F	0		燃料取扱装置機能検査 1次系換気空調設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
2. 分解		分解点検他	3	$39M\sim195M$	_	24回		
		機能・性能試験の発展を	恒	1F	0		燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
2. 分角	分角	分階点検他		39M~195M	_			
1. 機能	※ 第	4m2	恒	1F	0		燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
.i.,	- 4	間易点傾(牛ζ八点傾)	ł	MZ.I) (C		4	41-47-7-41
1.		外觀点筷	哐	IF	Э	24回	(動作・インター	先 行美施
1台 1. 梯	郵	機能・性能試験	恒	*X	0	22回	(動作・インター	※MOX新燃料受入時のみ実施 プラント運転中又は定期事業者検査停止中
2.9	4	外観点検		*X	0	52回	(動作・イ	
1.3		外観点検	恒	IF	0	24回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
1.		分解点檢他	画の色	13M∼91M	0	24回		一部BMあり 一部プラント運転中
2/個		特性試験	诓	13М	0	24回	プラント状態監視設備機能検査	
	1. #	特性試験	高・低	13M	0		計測制御系監視機能檢查	
私	1. 1	機能・性能試験	框	13M	0	24回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	
11		特性試験他	恒	13M	0	24回		

編札 (() 内は強用する 影備影解技術)				アラント運転中又は施設定検停止中 2021.3より設置	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 21回施設定検時に設置	型1回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No. 44の反映	dat/	先行実施	(振動診断: 3M)		先行実施 (奸軒勢) (奸事勢)			先行 美施 九 二 中 地	先行 美施 中介 中華	光行栗 烟 在 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4	大打夫胤	开 行 单 指	先行実施		先行実施		一部先行実施			1 and 11. Zer als 11.	一部先行美胞一切なれる。	一部BM85一部先行実施	先行実施(指針影)の第一	(板動影型:3M) ──※ポンプキケロ雷車繰の分解占袖に分せキ	Time		先行実施	(板動物) (板動物) (板動物) (水) (水	※ホンノまだは電動機の分階点傾に合わせ ア宙権	見なり				she the Z - retails	一部先行美胞一部を加まり	IPD IM のり 一様牛介事権
検査名	可搬型重大事故等対処設備機能検査			可搬型重大事故等対処設備機能検査	可搬型重大事故等对処設備機能検査		使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検 査										1 次系数交换器格查			1 次系熱交換器検査		1次系弁検査	1次系弁検査1次系が上弁格者	1次系弁検査					1 次系ポンプ機能検査				1次系ポンプ機能検査				1次系弁検査1次系安全弁格者	1 次系分 生力 成 4 1 1 次系 弁 検査	1 次系弁検査			
前回実施時期 (定検回次)	24回	1	ı	I	24回	Ι	24回	23回	12回	24回	24回	24回	[田81	日61	国81	回12	24回	21回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	23回	24回	23回	21回	23回	Z4 EI	24回	19回	24回	24回	22回	23回	23回	23回	24回	11477 11477
今回の実施 計画	0	1	ı	0	0	I	0	ı	-	0	I	ıc)	ı	1 ()	ıc)	1	Ι	I	1	0	1	1	0	0)	1	ı	1 ()	0	0	_	0	ı	0	_	1 (00)
保全方式又は頻度	11	10Y	78M	117	117	10Y	IF	78M	CBM	13M	78M	CBM 13M		I 30M	130M	195M	195M 195M	195M	195M	195M	130M	В	130M	В	W29	65M~208M	78M~130M	13M~130M	B%	130M	1976 - 1971	13M∼26M	B%	130M	52M	$13M\sim 26M$	В	130M	В	156M	104M~130M	TO-TH - TO-H
保全の 重要度	咂			恒	恒	ı	色	任			低		2	每月	每1	Œ		恛	-	1	嶇	高・低		高・低	1 1	1	电片	Ā	恒				恒				恒		画	1	恒女	<u> </u>
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点檢(電動機)	1. 機能・性能試験	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	2. 簡易点檢(潤滑油入 替)		1. 分階点候(電凱機)2. 簡易点格(潤滑油入	- 1	1. 網灰点検			1.)	1. 開放点格 (管側)		2. 非破壞試験	1. 開放点検 (ガスケット パッキン取替)	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	3. 簡易点檢(特性試験)	1. 分幣点液布 1. 公鄉市物份	1. 分 牌 点 候 他	1. 機能・性能試験		 2. が歴 (画 関 機) 2. が 歴 (画 関 機) 3. 4 (画 関 権) 	 5. 国多尽使(通信由人) 	1. 機能・性能試験			3. 簡易点檢 (潤滑油入替 (和)	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	1. 分解点極他 1. 分解占操化	1. 7J PF-FAVE TE
	3合			3수	3台																	17		17		4	1 ₁										11		1月	4	74.T	
実施数(機器名)	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機			送水車	大容量ポンプ(放水砲用)		使用済燃料ピット浄化冷却設備	A使用済燃料ピットポンプ・電動機			B使用済燃料ピットポンプ・電動機		0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	A使用資際料にットノイルター作用等機能に、プロール	B使用資際枠にシトノイルダ・中国済襲会は、ジャー	4 使用資際枠に ツト倍払器		B使用落然約ピット冷却器			C使用済燃料ピット冷却器	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設[使	用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]その他の 弁		用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備」その他の		核然料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用液熱的貯蔵槽浴土造金出海 多の生物		A燃料取替用水ポンプ・電動機				B燃料取替用水ポンプ・電動機				核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料的等の取扱施設を受ける。 料的を用水設備」その他の弁		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃	4	核燃料物質の取物施設及い貯蔵施設 「然 料 財 整 用 木 評価 「 子の 他 機 器	
機器又は系統名	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]																											核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に減にませま。	[燃料取管用水設備]												

備者 (() 内は適用する 設備診断技術)																																				
檢查名	蒸気発生器伝熱管体積検査					蒸気発生器伝熱管体積検査					蒸気発生器伝熱管体積検査					加圧器安全弁機能検査	加圧器安全弁漏えい検査	加圧器安全弁分解検査	加圧器逃がし弁機能検査	加圧器逃がし弁漏えい検査	加圧器逃がし弁分解検査			加圧器逃がし弁機能検査	加圧器逃がし弁漏えい検査 地圧器速送する人際検索	July上4672527・CオンJAF4火車		加圧器逃がし弁機能検査	加圧器逃がし弁漏えい検査	加圧器逃がし弁分解検査			加圧器逃がし弁元弁機能検査			
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	23回	24回	24回	I	24回	23回	24回	24回	24回	24回	23回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	23回	24回	24回	24回	21回	23国	21回
今回の実施 計画	0	0	0	0	ı	0	00)	0	ı	0	0	0	0	ı	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ι	I	1
保全方式 又は頻度	13M	13M	13М	13М	10Y	13M	13M		13M	10Y	13M	13M	13M	13M	10Y	IF	В	13M	IF	1F	Z6M	13M	13M	1F	1F	13M	13M	1F	1F	Z6M	13M	13M	1F	130M	Ж59	156M
保全の 重要度	岠			•	恒	恒				軍	恒				恒	恒			恒			恒		恒		恒		恒			恒		恒			恒
点検及び試験の項目	非破壞試験		簡易点検 (スラッジラシング)	4. 簡易点検 (ガスケット 取禁他)	非破壊試験	1. 非破壊試験	 関放点検 簡易点格(スラッジラ 		4. 簡易点検(ガスケット 取替他)	1. 非破壊試験	1. 非破壊試験	2. 開放点検	3. 簡易点検(スラッジランシング) ソシング)	4. 簡易点検(ガスケット 取替他)	1. 非破壊試験	1. 機能・性能試験	2. 漏えい試験	3. 分解点検	 機能・性能試験(駆動 部含む) 	2. 漏えい試験	3. 分解点検		2. 簡易点檢(特性試験)	1. 機能・性能試験(駆動 部含む)	2. 漏えい試験 2. / / / / / / / / / / / / / / / / / /	5. 力 屏 示 读 1. 分 解 点 檢	2. 簡易点檢 (特性試験)	1. 機能・性能試験(駆動部含まり)	2. 漏えい試験		1. 分解点検	2. 簡易点檢(特性試験)	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む)	2. 分解点検	3. 簡易点検 (グランド パッキン取替)	1. 分解点検
		C)		4. 语		_					14									$^{\circ}$		_									П					
	伝熱管 1	3,272本 2.		4. 億	1箇所 1	伝熱管3,247本				1箇所	伝熱管3,261本				1箇所	3V-RC-055	3V-RC-056		3-PCV-454C	2		3-PCV-454C		3-PCV-455A		3-PCV-455A		3-PCV-455B			3-PCV-455B		3V-RC-054A			3V-RC-054A
実施数(機器名)	A蒸気発生器 伝熱管 1	3, 272本		4 日		B蒸気発生器 伝熱管3,247本				B蒸気発生器給水入口管台 1箇所	C 蒸気発生器				C 蒸気発生器給水入口管台 1箇所	加圧器安全弁 3V-RC-055		3V-RC-057				加圧器逃がし弁駆動部 3-PCV-454C		加圧器逃がし弁 3-PCV-455A		加圧器逃がし弁駆動部 3-PCV-455A		加圧器逃がし弁 3-PCV-455B			加圧器逃がし弁駆動部 3-PCV-455B		加圧器逃がし弁元弁 3V-RC-054A			加圧器逃がし弁元弁駆動部 3V-RC-0544

備お (() 内(は適用する 設備診断技術)									一部定期事業者檢查起動後			部先行実施			部定期事業者檢查起動後			一部先行実施			部定期事業者検査起動後			一部先行実施											一部BMあり
検査名	加圧器逃がし弁元弁機能検査				加圧器逃がし弁元弁機能検査				1 次冷却材ポンプ機能検査			1 次冷却材ポンプメカニカルシール 一 分解検査			1次冷却材ポンプ機能検査 一			1 次冷却材ポンプメカニカルシール 一 分解格本			1 次冷却材ポンプ機能検査		+	1 次冷却材ポンプメカニカルシール 分解格本					1 次系弁検査	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	1 次系弁検査				1
前回実施時期 (定検回次)	24回	三22回	三22回	21回	24回	22回	三22回	21回	24回	国87	国82	24回	23回	23回	24回	24回	22回	24回	22回	24回	24回	21回	三00回	回42	三02	24回	23回	24回	24回	回42	24回	24回	24回	24回	24回
今回の実施計画	0	1	I	-	0	Ι	I	-	0	_	_	0	I	0	0	1	ı	0	I	1	0	ı	0	0	0	0	Ι	0	1	_	0	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	1F	130M	W29	156M	1F	130M	W29	156M	1F	130M	104M	13M	104M	Z6M	1F	130M	104M	13M	104M	26M	IF	130M	104M	13M	104M	Z6M	39M	13M	В	Z6M	В	13M	13M	$65M\sim\!\!260M$	$52M\sim260M$
保全の 重要度	恒			画	恒			画	咂				I	ı	岠				1		恒						岠	ı	硘		画			恒	
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む)	2. 分解点檢	3. 簡易点検 (グランド パッキン取棒)	 分解点検 	 機能・性能試験(駆動 部含む) 	 分解点検 	3. 簡易点検 (グランド パッキン取萃)	 分解点検 	1.機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点検(電動機)	2. 分解点検(メカニカル シール)	2. 分解点検(フライボ イール)	 3. 簡易点檢(潤滑油入 替) 	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検(電動機)	2. 分解点検 (メカニカル シール)	2. 分解点検(フライホ メール)	3. 簡易点検 (潤滑油入 数)	1. 1.機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点檢 (電動機)	2. 分解点検 (メカニカル シール)	2. 分解点検(フライホ イール)	3. 簡易点檢 (潤滑油入 萃)	1. 開放点検	2. 簡易点検 (マンホール ガスケット取替)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	3. 簡易点檢(特性試験 他)	1. 分解点検他	1. 分解点検他
実施数(機器名)	加圧器逃がし弁元弁 3V-RC-054B			加圧器逃がし弁元弁駆動部 3V-RC-054B	加圧器逃がし弁元弁 3V-RC-054C			加圧器逃がし弁元弁駆動部 3V-RC-054C	A1次冷却材ポンプ・電動機						B 1 次冷却材ポンプ・電動機						C 1 次冷却材ポンプ・電動機								原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環 1式		原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環 1式			原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環 1式	
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設 「一次冷却材の循環設備」			加圧器逃	加圧器逃			加圧器逃	A1次冷						B 1 次冷						C 1 次符						加圧器		原子炉冷	設権一	原子炉冷			原子炉冷	設備」を

備者 (() 内は適用する 設備診断技術)																							一部BMあり
檢查名	主蒸気安全弁機能検査	主蒸気安全弁漏えい検査		主蒸気安全弁機能検査	主蒸気安全弁漏えい検査		主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検 査	主蒸気逃がし弁漏えい検査				主蒸気隔離弁機能検査	2次系弁検査	2 次系弁検査	2 次系弁検査	2 次系弁検査	2 次系弁検査		2 次系弁検査				1
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	三82	23回	24回	24回	24回	24回	24回	回47	回87	国22	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回
今回の実施 計画	0	Ι	I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ı	0	ı	0	0	0	0	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	IF	В	26M	IF	В	26M	IF.	В	13M	13M	13M	1F	39M	39M	39M	В	$52M\sim130M$	W29	В	$52M\sim156M$	$13M\sim52M$	$13M\sim 260M$	$13M\sim195M$
保全の 重要度	恒			恒	l		框	l		恒	1	恒	垣	恒	恒	恒	1	<u>I</u>	恒			恒	色
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 漏えい試験	3. 分解点檢	1. 機能・性能試験	2. 漏えい試験	3. 分解点檢	T.機能・性能試験 (駆動 部含む)	2. 漏えい試験	3. 分解点檢	1. 分解点検	2. 簡易点檢(特性試験)	T.機能・性能試験 (駆動 部含む)	2. 分解点檢	2. 分解点検	2. 分解点検	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	3. 簡易点検 (グランドパッ キン取替)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	3. 簡易点檢(特性試験)	1. 分解点検他	1. 分解点検他
	3V-MS-526A	3V-MS-527A	3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-531A 3V-MS-526C 3V-MS-526C 3V-MS-526C 3V-MS-529C	3V-MS-526B	3V-MS-527B	3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-531B 3V-MS-531C 3V-MS-53C 3V-MS-53C 3V-MS-53C	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630			3-PCV-3610	3-PCV-3620 3-PCV-3630	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	3V-MS-533A	3V-MS-533B	3V-MS-533C	13			11			社	
実施数 (機器名)	主蒸気安全弁						主蒸気逃がし弁			主蒸気逃がし弁駆動部		主蒸気隔離弁				原子炉冷却系統施設[主蒸気・主給水設]	備] その他の弁		原子炉冷却系統施設[主蒸気・主給水設]	備] その他の弁駆動部		原子炉冷却系統施設[主蒸気・主給水設]	備」んの佝骸や
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設	[主蒸気・主給水設備]														~	<u>, </u>		<u> </u>			Α,	

機器又は系統名	実施数(機器名)		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式又は頻度	今回の実施	前回実施時期 (定検回次)	檢查名	備表 () 内は適用する () 財産の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対
原子炉冷却系統施設	A余熱除去ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	恒	B%	1	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1 M)
[余熱除去設備]			2. 分解点検(ポンプ)	ı	78M	I	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査をの他原子が注水系ポンプ分解検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
			2. 分解点検 (電動機)		130M	ı	21回		保全の有効性評価結果No.1の反映
			 6 6 6 7 6 7 8 9 1 2 4 5 6 7 7 8 9 9		13М~26М	0	24回		
	B余熱除去ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	硘	B%	-	22回		(振動)診断: 1 N)
			2. 分解点検(ポンプ)		W8.L	-	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検 (電動機)	ı	130M	ı	21回		保全の有効性評価結果No.2の反映
			 6 6 6 7 6 7 8 9 1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 7 8 9 9		13M~26M	0	24回		
	A余熟除去冷却器		1. 開放点検	喠	130M	_	18回		
	고 소 화하스 는 사스 속마다		2. 非破壊試験	Ą	130M	Ι	18回	1次系熱交換器検査	
	D 张紫承七后基格 		 用放点模 非破壊試験 	Œ	130M	1 1	17回	1 次系數交換器檢查	
	低压注入系主要弁	3V-RH-041A	1. 分解点検	恒	130M	ı	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-RH-041B	1. 分解点檢	恒	130M	1	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉洋水系主要弁分解検査	
		3-PCV-601	1. 分解点検	恒	130M	0	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3-PCV-611	1. 分解点検	恒	130М	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-193A	1. 分解点検	硘	130M	ı	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-193B	1. 分解点檢	恒	130М	I	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-202A	1. 分解点檢	恒	130M	I	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-202B	1. 分解点檢	恒	130M	I	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-202C	1. 分解点検	恒	130M	0	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-203A	1. 分解点檢	恒	130M	I	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-203B	1. 分解点檢	恒	130M	I	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-203C	1. 分解点檢	軍	130M	0	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解檢查子の他同子的注水系主要弁分解檢查	
		3V-SI-208A	1. 分解点検	框	130M	ı	23回	ま常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-208B	1. 分解点檢	恒	130M	1	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-209A	1. 分解点檢	恒	130M	I	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-209B	1. 分解点檢	哐	130M	I	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	低圧注入系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	車	156M	_	22回		
	原子炉冷却系統施設 [余熟除去設備] そ の他の弁	17	1. 機能・性能試験	恒	В	0	24回	1次系安全并検査 1次系安全并検査	
			2. 分解点検		52M~130M	0	24回	1次系并検査	
			3. 間易点検(クフンドバッ キン取替)		52M~130M	Э	24回		
	原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」そののののののである。	紅	1. 機能・性能試験	恒	В	0	24回	1次系弁検査	
	マンヤロ マンナ・物企動が行い		 分解点検 毎日占給(株件計略) 		52M~156M	0 0	24回		
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] そ の44 紫野	1天	1. 分解点検他	恒	130M~260M	0	24回		
	シででなる その他AM(代替再循環)機器	1天	1. 分解点檢他	恒	130M~156M	ı	21回	1 次系弁検査	

備考 (() 内は適用する 設備診断技術)		[対象設備] ・					その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加				日本代本学研》、作用不 化作为比点的 医	その他原士炉圧水糸王要开分解検金は21回 施設定期検査より追加	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回 施設定期検査より追加		19回施設定検時に設置	19回施設定検時に設置	19回施設定検時に設置										その他原子炉注水系主要弁分解検査は51回施設定期検査より追加		その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加				
横衛名	非常用炉心冷却系機能検査	その他原子炉注水系機能検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解檢查非常用戶、公扣系主要分分解檢查	 非常用炉心冷却糸王要弁分解検査 小帝田に、※ 和タき 亜 かく畑 やま	非常用炉心や却糸王要开分階検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	心治	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心給却※王要开分購檢查	非常用后、公割玄機能檢索	チョニルデーと11344年級階級引 その他原子炉注水系機能検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査との他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	**************************************
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	18日	23回	21回	21回	三0回	21回	18回	18日	18日	三02	20回	20回	-	I	ı	三0回	20回	三0回	23日	日 I Z		22回	23回	三22回	19回	22回	19回	24回	24回	24回	23回
今回の実施 計画	0	0	0	I	I	I	I	I	1	I	I	ı	I	Ι	1	I	Ι	Ι	I	ı	1	1 ()	I	Ι	Ι	0	I	0	Ι	I	Ι	0
保全方式 又は頻度	Ы	IF	130M	130M	W0E1	W0E1	130M	W0E1	W09Z	Z60M	Z60M	X60M	Z60M	Z60M	Z60M	Z60M	Z60M	Z60M	Z60M	Z60M	130M	MOC I	.117	130M	W0E1	W0E1	130M	130M	130M	W0E1	W0E1	W0E1	156M
保全の 重要度	哐	恒	恒	恒	硘	恒	恒	硘	框	恒市	匣巾	Œ	恒	恒	画	恒	恒	恒	恒十	WE -	眶和	e H	Ē	框	硘	硘	恒	框	恒	恒	恒	恒	恒
点検及び試験の項目	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動 部等含む)	1. 機能・性能試験(ボンブ、電動機、弁、弁駆動 部等含む)	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	 分解点模 公知上始 	1. 分) 斯 京 (1. 分解点検	1. 分解点檢	1. 分解点検	 分解点模 公卸上給 	1. 万 牌 点快 1. 城 给 • 味 给 封 聯 (全	1.1%に「エルド級 (71、) 弁駆動部含む)	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点檢	1. 分解点検					
			3-LCV-121D	3-LCV-121E	3V-SI-023A	3V-SI-023B	3V-SI-042A	3V-SI-042B	3V-SI-099A			3V-S1-048A	3V-SI-048B	3V-SI-048C	3V-SI-106A	3V-SI-106B	3V-SI-106C	3V-SI-087A	3V-SI-087B	3V-SI-087C	3V-SI-088	11/			3V-SI-132B		3V-SI-134A	3V-SI-134B	3V-SI-134C	3V-SI-136A	3V-SI-136B	3V-SI-136C	1共
実施数(機器名)	高圧及び低圧注入系 [余熱除去設備(低圧注入機能)を含む]	その他原子哲注水系	高压注入系主要弁																		母海鱼伞用十岁 上次日和	同/庄(九/水土发 /	ンドノイナー(田	替压注入系主要弁									替圧注入系主要弁駆動部
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]																																

	備考 () 内は適用する 影価診断技術)	Lating to capital								91回悔勢完檢程/249開	21回施設に関係される。 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	保全の有効性評価結果No. 46の反映	•		21回施設定検時に設置 その他原子炉注水系機能検査は21回施設定 期検査より追加	21回施設定検時に設置	その他原子炉注水系ポンプ分解検査は51回 施設定期検査より追加	保全の有効性評価結果No. 47の反映		
上開放点検 Res Res									原子炉格納容器再循環サンプスク 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	フーン検迫 アクチャンを対象を対	いう にか にか にか にか にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	こうにがよりが仕込べいとうの時代重			原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査		原子炉格納容器安全系ポンプ分解検 本	その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
1. 開放点検 (前回実施時期 (定検回次)	21日	11日	110		H12	17回	24回	23回	回1/6	=======================================		回1/6	II #177	24回	ı	I		I	24回
1.	今回の実施 計画	ı	ı	ı		I	I	0	I	C)	ı	C)	0	I	I		Ι	0
1. 開放点検 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (電動機) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電力機) 1. 人	保全方式 又は頻度	130M	130M	120M	1001	130M	130M	ΙĿ	10Y	11	130M	MOCT 79M	16M 96M	1007	1F	В	130M		78M	Z6M
1. 開放点検 1. 機能・性能影響 2. 分解点検 (電響	保全の 重要度	咂	T 10	Z 14	₫ 1	Œ ł	Œ	岠	画	恒	Ē	1				恒	ı			
実施数 (機器名) アプスクリーン 7 () 7 () () () () () () () ()	点検及び試験の項目	1. 開放点檢	1 盟协占給	1 開始占檢	1. 7月/人/八人	1. 用双吊供	1. 開放点筷	1. 外観点検	1. 外観点検	1 2総合: 小生台等電	1.1次間 (上に) (大い) (大い)		2. 八叶/// (电影//) () () () () () () () () ()	ら 国 多 斥 次 、 「本 1 声 1 五 人 百 色)	1. 機能・性能試験 (ポン プ、電動機、弁、弁駆動 部等含む)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)			3. 簡易点檢 (潤滑油入替
実施数 (機器名) アプスクリーン アイスクリーン が補給用移送ボンブ・ 系 系 交 [非常用炉心冷却設 交 [非常用炉心冷却設 り的 りの										雪哥林鄉	WLW-H									
A番圧タンク 日番圧タンク (ほう酸圧メンク 様料取替用水タンク 格納容器再循環サン 格納容器再循環サン 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水タンク 機料取替用水がある 種子がわ知系能施設 備了子がわ知系能施設 備了子がわ知系能施設	実施数	A 潜圧タンク	ス数圧なンク	びまげった。	ノベノ上(里)	はり酸仕入タンク	燃料取替用水タンク	格納容器再循環サンプ	格納容器再循環サンプスクリーン	株乳町株田水タンク補給田銘洋ボンプ・					恒設代替低压注水系	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機				

備老 () 内は適用する 野種診断技術)	定期事業者檢查起動後	(振動診断: 3 M) その4 国子行注水多ポンプ分解 株本17 91 回	でで記れています。 エスススペッシン メルボス 生に立て 加設定期検査より追加		(振動診断: 3M)			(振動診断: 3M) その他原子哲洋水系ポンプ分解検査は21回	施設定期検査より追加				先行実施	先行実施				31回施設定期締本上の追加	21 国加克人的人工的 计记录记录 计记录记录 计记录记录 计记录 计记录 计记录 计记录 计记录 计	21回施設だ規模金より追加			一部先行実施				一部先行実施	一部BMあり 一部先行実施		(振動診断: 1 M)			(振動診断: 1 M)				駆動部のタービン含む	
検査名	化学体積制御系機能検査	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査をの44百子右注水多ポンプ分解検査			非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉沖水系ポンプ分解検査			非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査								4. 子/2. 整/2. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	1 公示於父安帝便員2.6年四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	たの他原ナ炉注水米土要井が降候値 その他原子だされる土里も分解権者	この個派リが日本派出交互の群役員との作成している。	その他原子が往水米主要平分解検金えの他の方式がある。	てい他原士が住かボ土を井が時候自	1 次系开模查 1 次系安全弁検査	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	1 次系弁検査					補助給水系機能檢查	補助給水系ポンプ分解検査			補助給水系ポンプ分解検査			2次系ポンプ機能検査	補助給水系ポンプ分解検査	
前回実施時期 (定検回次)	24回	20回	21回	24回	22回	三02	24回	21回	23回	24回	20回	21回	21回	20回	回61	19回	19E	18日	I [18日	回17	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	15回	21回	24回	16回	22回	24回	21回	21回	24回
今回の実施 計画	0	ı	1		ı	0	0	ı	1	0	_	Ι	I	ı	_	ı	ı	1 C) (0	(С	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	1F	117M	104M	Z6M	117M	104M	26М	117M	104M	Z6M	130M	130M	130M	130M	130M	195M	1000	130M	1004	130M	MOCI	В	13M~260M	В	$13M\sim156M$	$13M\sim 208M$	$13M\sim\!\!260M$	13М~260М	1F	130M	104M	13M	130M	104M	13M	В	52M	13M
保全の 重要度	逦	硘			恒			恒			車	恒	哐	恒	Œ		ł	恒恒	E 1	Œ i	E	高 •		岠	3	高・は	恒	低	恒	恒			咂			恒		
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	1. 分解点検(ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	 1. 簡易点檢(潤滑油入替他) 	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	2. 簡易点檢 (潤滑油入替 他)	1.分解点検 (ポンプ)		 1. 簡易点檢(潤滑油入替他) 	1. 開放点檢	1. 開放点検	 開放点検 			 開放点模 (胴側) 中砂塘製料 	 / 大板被引擎 / 经市技 	 力 平 京 使	1. 7. 74 77 77 75 1 1 7 4 1 1 1 7 4 1 1 1 7 4 1 1 1 7 4 1 1 1 7 4 1 1 1 1	 分解点極 公鄉上枠 	1. 万	 機能・性能試験 	2. 分解点檢	1. 機能·性能試験	2. 分解点検	3. 簡易点檢(特性試験他)	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動 部等会か)	1. 分解点検 (ポンプ)	 分解点検(電動機) 		1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	 1. 簡易点檢(潤滑油入替 他) 	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	 1. 簡易点檢(潤滑油入替他)
																	0 to 00 Mg	3V-CS-218	617 CO AG	3V-CS-233	5V-C3-254	KI.]注			1											
実施数(機器名)	化学体積制御系	A充てん/高圧注入ポンプ・電動機			B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機			C充てん/高圧注入ポンプ・電動機			体積制御タンク	冷却材フィルタ	A冷却材脱塩塔入口フィルタ	B冷却材脱塩塔入口フィルタ 非声事か 細盟	米中円行			んの旬原ナが往水米出数井				原子が希対米約施設「化学体積制御設備」その他の弁		原子炉冷却系統施設[化学体積制御設	備」その他の弁駆動部		原子炉冷却系統施設[化学体積制御設	編」かの名極器	補助給水系	A電動補助給水ポンプ・電動機			B電動補助給水ポンプ・電動機			タービン動補助給水ポンプ		
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設	[化学体積制御設備]																											原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]									

備考 (() 内は適用する 設備診断技術)										(振動診断: 3 M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	(头施		(振動診断: 3 M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	て実施		(北西市参照・19M)	(歌製で): 1 ZiM/ ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	て実施			(振動診断: 3 N)	※ ドノノ または 電動機の分解点 無いかた 子井	(実施		(振動診断: 3M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	て実施		プラント運転中又は定期事業者検査停止中の同時に必要を持ている。	2.1 日畑政左復時へ成員 保全の有効性評価結果No. 45の反映				※:1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に生命	目でインコーのようなで、くらは、こうではつい				※:1次系熱交換器検査結果にて有意な信	专指示か略の b f U に 場合に 美地
検査名	2 次系弁検査	2 次系弁検査		9 次系					原子炉補機冷却系機能検査	1次系ポンプ機能検査				1 次系ポンプ機能検査				1 かめポンプ機能格が	IOボベン・W配送車				1 次系ポンプ機能検査				1次系ポンプ機能検査				可搬型重大事故等対処設備機能検査			1 次系熱交換器検査		原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 丁重繼: • 吐能重業者給本	元子校院 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修	工事構造・強度事業者検査	**************************************	1 (八六熟)公撰	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修	工事機能,住能事業有機宜 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事權浩,确度事業者檢查
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	23回	23回	23回	24回	24回	21回	24回	24回	21回	24回	24回	24回	21回	24回	24回	田66	日6日	回66	24回	Į.	21回	21回	21回	24回	23回	21回	23回	24回	24回	I	24回	24回	24回	24回	24回	94回	1 T T	24回	24回	24回
今回の実施 計画	0	0	0	С	0	0	0	-	0	1	ı	_	0	ı	1	_	_	C) C)	С)	0	-	0	0	Ι	-	ı	0	0	ı	0	0	0	0	0	C) () C	0	0
保全方式 又は頻度	В	$52M\sim130M$	52M	æ	$52M\sim156M$	$13M \sim 52M$	$26M\sim260M$	$65M\sim130M$	1F	B%	130M	104M	Х6М	B%	130M	104M	Z6M	<u>%</u>	130M	104M	10±01		B%	130M	104M	26M	B%	130M	104M	78	11	Х	13M	13M	13M	*X	*X	13%	101	13M	*X	**X
保全の 重要度	喠			恒			恒	低	峘	恒				恒				h	E				岠				岠				恒		恒					恒	Ē			
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	3. 簡易点検 (グランド入 #)	1 機能・性能試験	2. 分解点検	3. 簡易点檢 (特性試験)	1. 分解点檢他	1. 分解点検他	1. 機能・性能試験(弁、 弁駆動部含まり	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点檢 (電動機)	3. 簡易点檢 (潤滑油入替 他)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点檢(潤滑油入替納)	1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1. 1% 肥・14 肥いが 2. 今解 占格 (ポンプ)	9 分解占格(雪計機)	 4. 力 併 示(収 、电到(取) 3. 節 易 占 格 (潤 滑 油 入 巷 	(全)	1. 機能·性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点検(電動機)	 1	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点檢 (潤滑油入替 他)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	1. 開放点検	2. 非破壊試験	3. 漏えい試験	4. 機能・性能試験	5. 開放点檢	1 開粉占操	1. THUX/TN/K	2. 非做要試験 3. 漏テい試験	4. 機能・性能試験	5. 開放点檢
実施数(機器名)	原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属 1式	設備]その他の弁		原子石冷却系統権勢 蒸気ターアンの附属 式			原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属]式	設備]その他機器	原子炉補機冷却系	A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機				B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機				で 国子 店					D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機				区原子炉補機冷却水ポンプ・電動機				大容量ポンプ 3台		A原子炉補機冷却水冷却器					12 国子后捕獵冷却水冷却哭				
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設	[蒸気タービンの附属設備]							原子炉冷却系統施設 「原子炉補機冷却水設備」																																	

備表 (() 内は適用する 設備診断技術)				※:1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に生権					※:1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が繋められた場合に実施				아기 때 나는 하나 나는 나는 하나 되었다.	21月施設 建筷臂 (高麗)	一部先行主権	마스다 1 곳으로				一部先行実施	一部BMあり		先行実施	(振動診断: 3 M (対象:電動機))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	て実施	先行実施	(振動診断: 3M(対象:電動機))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ		(振動診断:3M(対象:電動機))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	イ実施						一部BMあり
檢查名		1 次系熱交換器検査		原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 丁重繼託, 吐能重業者給本	二字版版 上記字光音改革 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 下事構法, 验	上 事 再 垣 · 蚀 尽 事 来 鱼 快 道.	1 次系熱交換器檢查		原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 丁車機能, 性能重業者檢查	<u>ユず城船</u> 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事構造・強度事業者検査		1 次系真空破壊弁検査	可搬型重大事故等対処設備機能検査	1次系弁検査	1次系安全并検査1次多金格本	1. 公示开模型 1. 次系逆止弁検査	1 次系弁検査					原子炉補機冷却系機能検査	2次系ポンプ機能検査	9 次系ポンプ分解給本	\		2 次系ポンプ機能検査	2 次系ポンプ分解検査			2 次系ポンプ機能検査	2次系ポンプ分解検査			2 次系弁検査				
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	21回	17回	24回	24回	回1/6	H 4-7	22回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	94回	24回	24回	23回	23 回	23回	23回	24回	24回	22回	24回	24回	24回	24回	24回	24回
今回の実施 計画	0	0	0	0	0	С	0	0	0	0	1	Τ	0	10	C)	1	0	0	0	0	0	ı	-	-	Ι	ı	ı	Ι	0	ı	ı	ı	ı	0	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	13M	13M	13M	*X	*X	13/	13M	13M	*X	**X	130M	130M	1F	IOF B	1 3 OM	1.00/1	В	$13M\sim156M$	13M~65M	$13M \sim 260M$	65M~208M	1F	B%	52M	104M	Z6M	%B	52M	104M	26М	B%	52M	104M	Z6M	117M	В	117M	$13M \sim 195M$	13M~195M
保全の 重要度	喠			1	1	硘	<u>?</u>		1	1	重	車	恒	高・低			恒			喠	低	恒	恒			ı	恒				嶇				逦	恒	1	恒	魚
点検及び試験の項目	1. 開放点檢	2. 非破壊試験	3. 漏えい試験	4. 機能・性能試験	5. 開放点檢	1 開粉占給	2. 非破壊試験	3. 漏えい試験	4. 機能·性能試験	5. 開放点檢	1. 開放点検	1. 分解点検	 機能・性能試験 へぬまや 	 7 時 点 検 1. 機能・性能試験 	2 今館 古掛	2. ノノカギボイ火	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	 6 6 6 7 6 7 6 7 7 8 9 9	1. 分解点檢他	1. 分解点檢他	1. 機能・性能試験(弁、 弁販制部会か)	1. 機能・性能試験	2 分解占権 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)		事/ 1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点検 (潤滑油入 株)	1. 分解点検	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 分解点検他	1. 分解点檢他
												ムリリーフ弁	5₽	社			紅			松I															紅	紅		11	
実施数(機器名)	C原子炉補機冷却水冷却器					D 原子炉補機冷却水冷却器					原子炉補機冷却水サージタンク	原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリ	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却水	設備]その他の弁		原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却水	設備」んの他の来駆動部		原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却水	設備]その他機器	原子炉補機冷却海水系	A海水ポンプ・電動機				B海水ポンプ・電動機				C海水ポンプ・電動機				原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海よれ。	小政備」との他の井原子が指機や却海原子が指機や対海上部、第二十の代の会野の	不政備」での他の井際則部	原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却海	水設備]その他機器
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設	[原子炉補機冷却水設備]																				原子炉冷却系統施設 「原子恒維機冷却強水設備」																	

備者 (() 内は適用する 設備診断技術)			※: 炉心設計による	※: 炉心設計による	※: 炉心設計による	※: 炉心設計による		(振動診断: 3M)	※発電機または電動機の分解点検に合わせ アポケ		(16:湖谷塘里)	(嫉凱診別:5.M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせ て実施	(振動診断: 3M)	※発電機または電動機の分解点検に合わせ	、 実施			(振動診断: 1 M)	※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせ アキオ	へ米局 (4) 名の石を名詞(年) 2) 名の日本	米土でするHittleff Hitter Airo. ovixiv	(振動診断: 1 M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ アキ**	へ米場 母父の右校科脳併結単No 4の同時	大土の古が正正正子に、tojkが	(振動診断: 1 M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ / 中林	こ実施 保会の有効体軽価結単No 5の反映		(振動診断: 6M (対象:ポンプ))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	て実施		(振動診断: 6 M (対象:ポンプ))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	·()	
	格納容器サンプ水位上昇率測定装置 及び格納容器内嶽縮液量測定装置漏 えい検出器機能検査	格納容器サンプ水位上昇率測定装置 及び格納容器内礙縮液量測定装置漏 えい検出器機能検査	制御棒クラスタ検査	制御棒クラスタ検査	制御棒クラスタ検査	制御棒クラスタ検査	制御棒駆動系機能検査 制御棒クラスタ動作検査									重大事故時安全停止回路機能検査	重大事故時安全停止回路機能検査	ほう酸ポンプ機能検査	ほう酸ポンプ分解検査			ほう酸ポンプ機能検査	ほう酸ポンプ分解検査			ほう酸ポンプ機能検査	ほう酸ポンプ分解検査			1次系ポンプ機能検査				1 次系ポンプ機能検査			
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	13回 24回	9.4 [11]	H-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7	21回	24回	24回	24回	24回	22回	22回	22回	24回	23回	23回	21回	24回	21回	21回	21回	24回	24回	7回	24回	24回	23回	8回	23回	24回
今回の実施	0	0	0	0	0	0	0	0	_	00)	0	_	0	0	0	-	1	1	0	0	1	0	0	1	_	1	0	0	0	ı	0	ı	-	_	-
保全方式 又は頻度	13M	13M	1F	1F	1F	1F	1F	B%	78M	CBM 13M	», a	%	78M	CBM	13M	13M	13M	B‰	78M	78M	13M~39M	B 	78M	78M	13M~39M	B**	78M	78M	13M~39M	B%	CBM	78M	26М	B%	CBM	78M	26M
保全の 重要度	恒		車	阜	恒	恒	恒	恒			ī	E	恒			阜		恒				軍				恒				低				低			
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 特性試験	1. 外観点検	1. 外観点検	1. 外観点検	1. 外観点検	1. 機能・性能試験		2. 分解点検 (発電機)	 分解点検(電動機) 簡易点検(潤滑油入替 	他)	1. 7% 把 . 1 并 据 5 人类	2. 分解点検 (発電機)	2. 分解点檢 (電動機)	 6 6 6 7 6 7 8 9 1 2 4 5 6 7 7 8 9 9	1. 機能・性能試験	2. 特性試験	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点檢 (潤滑油入替他)	1. 機能・性能試験		2. 分解点検 (電動機)	 6 6 6 7 6 7 6 7 7 4 4 5 6 7 7 8 9 9	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)		 簡易点檢(潤滑油入替他) 	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	 6. 簡易点檢(潤滑油入 整) 	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点検(潤滑油入 替)
	11 展		社 ※	忙 ※	남 ※	式 ※	計48本	(発電機・電動機)			(参与中心)	_				紅																					
実施数(機器名)	格納容器サンプ、格納容器内嶽縮液量測 定装置に係る設備		照射済制御棒クラスタ	照射済バーナルブルポイズン	照射済プラギングデバイス	照射済2次中性子源	制御棒クラスタ	A制御棒駆動装置MGセット (発電機			1 パインN番末場通幹場所	D 世紀神経劉汝同MGにソト(治島級	B制御棒駆動装置MGセット (発電機・電動機)			ATWS緩和設備		Aほう酸ポンプ・電動機				Bほう酸ポンプ・電動機				Cほう酸ポンプ・電動機				A1次系補給水ポンプ・電動機				B1次系補給水ポンプ・電動機			
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の漏え いを監視する装置]		計測制御系統施設	[制御材]			計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]				,					計測制御系統施設		計測制御系統施設	[ほう酸注入機能を有する設備]																		

備考 () 内は適用する 設備診断技術)																一部BMあり 一部先行実施	先行実施			先行実施			先行実施			一部先行実施		一部先行実施	一部BMあり 一部先行実施		(振動診断: 3M(対象:電動機))	保全の有効性評価結果No6の反映			(店里診路・3N(対象・無理線))	、(次数がおこう) (人) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大			
検査名			1 次系真空破壊弁検査	1 次系真空破壊弁検査	1 次系真空破壊弁検査	1 次系真空破壊弁検査		1 次系真空破壞弁検査	1 次系真空破壞弁検査		1 次系弁検査 1 次系安全弁検査	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	1 次系弁検査						1 次系熱交換器検査			1 次系熱交換器検査			1 次系熱交換器検査	1 次系安全弁検査	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査			制御用空気圧縮系機能検査									制御用空気圧縮系機能検査
前回実施時期 (定検回次)	23回	24回	21回	21回	19回	19回	14回	21回	21回	三02	23回	24回	19回	19回	24回	24回	18回	22回	18回	18回	22回	18回	18回	22回	18回	21回	24回	24回	23回	24回	24回	13回	24回	24回	9.4回	14回	24回	24回	24回
今回の実施 計画	1	ı	ı	ı	1	ı	-	ı	ı	ı	1	0	ı	1 (Э	0	ı	ı	ı	-	ı	ı	ı	-	I	_	I	0	1	0	ı	I	0	I	C)	Ι	1	0
保全方式 又は頻度	195M	195M	130M	130M	130M	130M	195M	130M	130M	130M	В	130M	В	156М	91M~221M	$104M\sim234M$	130M	195M	130M	130M	195M	130M	130M	195M	130M	В	130M	$104M\sim130M$	156M	1F	Z6M	CBM	Z6M	Z6M	N96	CBM	26M	Z6M	1F
保全の 重要度	喠	100	恒	恒	恒	恒	负	低	负	恒	高・低		恒	1	Œ:	色	硘			恒			嶇			高・低		电	色	硘	硘				10	<u>ī</u>			恒
点検及び試験の項目	1. 開放点検	1. 開放点檢	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 開放点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 開放点檢	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	1. 分弊点模他	1. 分解点検他	1. 開放点檢(管側)	1. 開放点檢 (胴側)	2. 非破壊試験	1. 開放点檢 (管側)	1. 開放点檢 (胴側)	2. 非破壞試験	1. 開放点検 (管側)	1. 開放点檢 (胴側)	2. 非破壞試験	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 分解点検他	1. 分解点檢他	1. 機能・性能試験 (圧縮 機、電動機含む)	1. 分解点検 (圧縮機)	1. 分解点檢 (電動機)	2. 簡易点検 (Vベルト調 敷)	2. 簡易点檢 (潤滑油入 基)	1 今館占操(圧縮機)			2. 簡易点檢 (潤滑油入 **)	1.機能・性能試験 (圧縮機、電動機含む)
											 社		11	4	I I											17		I¥		2台	•								2台
実施数(機器名)	Aほう酸タンク	Bほう酸タンク	Aほう酸タンクアトモス弁	Aほう酸タンクバキュームリリーフ弁	Bほう酸タンクアトモス弁	Bほう酸タンクバキュームリリーフ弁	1 次系純水タンク	1次系純水タンクアトモス弁	1次系純水タンクバキュームリリーフ弁	ほう酸フィルタ	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する影構] その他の弁		計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有	する設備』その他の弁駆動部	計測制御糸約施設 「はり酸圧人機能を有っておった。」 その 作器 にんしょう こんしょ こうしょ こく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょ	する設備」たの危機器	ほう素熱再生抽出水冷却器			ほう素熱再生再熱器			ほう素熱再生前置熱交換器			計測制御系統施設 [ほう素再生設備] そ	の他の弁	計測制御系統施設 [ほう素再生設備] そ	の他機器	格納容器外制御用空気圧縮機	A格納容器外制御用空気圧縮機・電動機				B校納於界外割御田巧亭圧綜緣·雪劃機				格納容器內制御用空気圧縮機
機器又は系統名	計測制御系統施設	[ほう酸注入機能を有する設備]															計測制御系統施設	[ほう素再生設備]												計測制御系統施設 [制御用空気設備]									

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の	保全方式	今回の実施	前回実施時期(完整回》)	検査名	備考 () 内は適用する
4. 通用 备 7. 软 未 5.	李事事,秦恭日中是田弟田子田孙寺全*		里安侯	人に残役	直	(是俄国次)		設備診断技術) /拒熱於照: 3.4 (對卷: 電點機))
計刻制御米約賄設「訓約日本行制・併」	V 格 約 谷 器 内 制 倒 用 空 気 上 縮 機・ 電 動 機		Œ	Z6M	Э	23回		(振動診断:3M(対象:電動機)) 「4のオギビジを注明を使用。
[制御用空気設備]				78M	I	24回		保全の有効性評価結果No.8の反映
		 1. 簡易点検(Vベルト調 敷か) 		Х6М	ı	24回		
		五世/ 2. 簡易点檢(潤滑油入替 44.)		$13M{\sim}26M$	0	24回		
	B格納容器内制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点格 (圧縮機)	恒	Z6M	1	24回		(振動診断: 3N(対象:電動機))
	Carrier Communication of the C	1. 分解点檢(電動機)		78M	0	21回		保全の有効性評価結果No. 9の反映
		2. 簡易点検(Vベルト調整化)		78	0	24回		
		2. 簡易点檢 (潤滑油入替 他)		$13M\sim\!\!26M$	0	24回		
	計測制御系統施設[制御用空気設備]そ 1式	1. 機能・性能試験	框	В	_	23回	1次系安全弁検査	
	の他の弁	2. 分解点檢		$130M\sim195M$	0	23回	1 次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] そ 1式 の他の弁駆動部	1. 分解点檢	恒	156M	1	24回		
	計測制御系統施設[制御用空気設備]そ 1式	1. 分解点檢他	恒	$13M\sim\!260M$	0	24回		保全の有効性評価結果No. 10の反映
	の他機器	1. 分解点檢他	负	13M~260M	0	24回		一部BMあり 保全の有効性評価結果No.11の反映
計測制御系統施設「その他設備」	1. 原子炉保護系ロジック回路 34回路 2. 安全防職系ロジック回路 26回路	1. 機能・性能試験	軍	1F	0	24回	安全保護系機能検査	
	1. 原子や配皮が設定にある原土で 1. 原子の起皮を設定にあるの原土を 方格線を器隔離等を行うためのすべての (大統領、設定器及び保護機電器 (1) 1次合却材等計測装置 (2)核計測装置 (2)核計測装置 (2)核計測装置 (2)核計測装置 (2)核計測装置 (2)核計測装置 (3)核計測装置 (4) 1次合力材等計測装置 (5)核計測装置 (5)核計測装置 (5)核計測装置 (6) 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、	1. 特性試験 1. 分解点検 1. 分解点検 2. 機能・性能試験	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	13M 130M 11 13 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		240 240 210 240 240	安全朱護米設定 恒備総 陳金 フラント状態監視設備機能検査 1 次系破壊紡検査 計測制御系機能検査	一部定期事業者檢查起動後
	1次系及び2次系計測制御装置 1式	1. 特性試験	南・低	13M	0	24回	計測制御系監視機能検査	一部定期事業者檢查起動後
	70.外核計測装置 2台中任子源領域計測装置 2台中間領域計測装置 2台中間領域計測装置 2台山力領域計測装置 8台	1. 特性試験	恒	13M	0	24回	核計裝設備検査	一部定期事業者檢查起動後

機器又は系統名	実施数(機器名)		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (() 内は適用する (() 野電影解技術)
計測制御系統施設	炉内核計装装置	13	1. 機能・性能試験	高・低	1F	0	24回	核計裝設備検査	
[その他設備]			2. 分解点検		13M	0	24回		
			3. 簡易点檢(特性試験)		13Ж	0	24回		
	炉内計装用シンブルチューブ	50本	1. 非破壞試験	框	52M	I	24回	炉内計装用シンブルチューブ体積検 査	
	制御棒位置指示装置	14	1. 特性試験	恒	13M	0	24回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	 パーミッシブロジック回路 原子炉保護系 パーミップロジック回路 か全的端率 	婦回8	1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	安全保護系機能検査	
	総合インターロック 1. ターピントリップによる原子炉、発 電機トリップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、ター ピントリップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発 電機トリップ回路	社 社	1.機能・性能就験	恒	11	0	24回	総合インターロック検査	
	原子炉の停止制御回路	11	1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	原子炉の停止制御回路健全性確認検 査	
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	2台	1. 機能・性能試験	喠	1F	0	24回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	
	計測制御系統施設[その他設備]その他の 弁	1月	1. 機能・性能試験	南・低	В	I	24回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2. 分解点檢	<u> </u>	78M~260M	0	24回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設[その他設備]その他の	14	1. 機能・性能試験	高・低	В	0	24回	1 次系弁検査	
	弁駆動部		2. 分解点檢		65M~156M	0	24回		
			3. 簡易点檢(特性試験)		65M~208M	0	24回		
	計測制御系統施設[その他設備]その他機 器		1. 分解点檢他	恒	13M~208M	0	24回		保全の有効性評価結果No. 12, 13, 14, 15の反映
				侹	12M~260M	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 保全の有効性評価結果 No.16,17,18,19,20,21,22の反映
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ガス圧縮機	5合	1.機能・性能試験 (圧縮 機、電動機含む)	侹	1F	0	24回	気体廃棄物処理系機能検査	
	Aガス圧縮機・電動機		1. 分解点検	魚	52M	I	24回		(振動診断: 4M)
	Bガス圧縮機・電動機		1. 分解点検	低	52M	0	21回		(振動診断: 4M)
	水素再結合装置	2台	1. 機能・性能試験(圧縮 機、電動機含む)	侹	1F	0	24回	気体廃棄物処理系機能検査	
	A水素再結合装置		1. 分解点検他	侹	130M	0	24回		
	B水素再結合装置		1. 分解点檢他	低	130M	0	24回		
	1 次系破壊板	12台	1. 分解点検	岠	130M		24回	1 次系破壊板検査	先行実施
	ほう酸回収装置	1基	1. 機能·性能試験	低	1F	0	24回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
	ほう酸回収装置	社	1. 分解点検他	魚	65M~130M	0	24回		先行実施
	(井、豫辞)		 1. 簡易点検(ガスケット パッキン取替) 		130M	I	24回		
	廃液蒸発装置	3雅	1. 機能·性能試験	低	1F	0	24回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
	廃液蒸発装置 (4)	1共	1. 分解点検他	色	65M~156M	0	24回		先行実施
	(开、横筘)		 1. 簡易点検(ガスケット パッキン取替) 		130M	0	24回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	編者 () 内は適用する 設備診断技術
枚射性廃棄物の廃棄施設 「気体・液体マは固体廢棄物処理診備」	A補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	田	B%	I	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断・4M (対象・ポンプ))
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	1	1世		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ
		2. 分解点検 (電動機)		M16	Ι	21回		一て実施
		 6	ı	39M	I	24回		
	B補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B%	0	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断・4M (対象・ポンプ))
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	1	田8		、(次が)がに、また、(など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2. 分解点検(電動機)		78M	0	21回		一て実施
		 6 6 6 7 6 7 6 7 7 8 9 9		39M	0	23回		
	Aほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能·性能試験	负	B%	1	21日	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検(ポンプ)		CBM	-	回9		(振動診断: 4M(対象:ポンプ)) ジョンようは無異数((2mに対けな))
		2. 分解点検 (電動機)		78M	1	21回		■※ホンノまたは電動機の分解点横に合わせ ■と実権
		3. 簡易点検(潤滑油入替)		39M	0	23回		ヨラント
	Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	负	B%	1	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	Ι	旦2		(版動物歴:4M(対像:ポンプ))
		2. 分膟点筷(電虭機)		78M	I	23回		(1974) 85(1)81 1985をひとがただいことに
		3. 簡易点檢(潤滑油入 替)		39M		24回		
	A補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	负	B%	_	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	1	23回		※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせ ト実施
	0 0-	2. 万	1	IOSM	ı	Holl	A TABLE AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE PART	
	B補助建屋サンプボンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (分類) (分類) (分類) (分類) (対対) (対対) (対対) (対対対) (対対対対対対対対対対対対対対対	梹	% B	ı	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプキケゴ艦= 鎌6公館占務が今でキ
		2. 分平方板 (ペンノ)2. 公平方板 (単型線)		M007	ı	Z1E		(さい) おごり 自然をひとされていて 1
	事を表	 分幣 (J.	169M	1 (24回	计存储 计记记记记录文件	サイント
	A価助建医機器ドアンタンクボンフ・電動機	T. 機能・性能対験 2. 7. 22 上が / 33 上が	裋	В %	Э	21回	液体廃棄物処埋杀設備棟金	北た東島 大台東島 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大
		 分解点検(ホンブ) 分解占検(雪軸機) 		260M	1 (21回		※ ジンノまには 电製像 シカ 時に使い ロシビー 大実施
		1. 人がたべて (同数元数) 1. 技会 2. 子名 2. 原	Ħ	₩GE-T)	□ P6	法保度垂點的国际配供协大	五分中協
	- 电影/微	1. 徳能・住能政験 2. 分解点検 (ポンプ)		ъж 260М	1 1	21回	攸冲矩果物処理术政脯棟重	エ11 未加 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ
		2. 分解点檢 (電動機)	1	156M	-	24回		/ 実施
	A格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能·性能試験	知	B%	ı	24回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ
		2. 分解点検(ポンプ)		Z6M	1	24回		- / 大実施
		2. 分解点検(電動機)		78M	ı	21回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入 替)		13M	0	24回		
	B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	田	B%	0	24回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ
		2. 分解点検(ポンプ)		Z6M	0	24回		て実施
		2. 分解点檢(電動機)		78M	0	21回		
		3. 簡易点檢 (潤滑油入 替)		13М	0	24回		
	A格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	故	B%	0	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ
		2. 分解点検 (ポンプ)		22M	0	22回		イ実施
		2. 分解点検(電動機)		52M	0	22回		
	B格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分部 = 16. / 35. = 3.	줘	B%	Ι	23回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ アキ特
		2. 分解点様 (ボンイ)		52M	I	23日		(米周
		2. 分幣点液 (電動機)		52M	ı	23回		

					_																									1				_			
備本 (() 内は適用する 設備診断技術)	先行実施	(振動診断: 4M (対象:ポンプ))			件 行車権		────────────────────────────────────		先行実施	(振動診断: 4M(対象:ポンプ))	────────────────────────────────────	- C. 表施 	先行実施	(振動診断: 4M (対象: ポンプ))	──※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせ		先行実施	── (振動診断: 4M(対象:ポンプ))		— 7 実施		先行実施	(振動診断: 4M(対象:ポンプ))	★ボンノまたは電動機の分解点板に行むセ / ##	- C 表胞	先行実施	(振動診断: 4M (対象: ポンプ))	────────────────────────────────────	- 7 米温	先行実施	(振動診断: 4M(対象:ポンプ))	────────────────────────────────────	(美麗 	先行実施	(振動診断: 4M(対象:ポンプ))	──※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ ノキ丼	- C 表記
検査名	液体廃棄物処理系設備検査				游优磨垂物処理系霒備拾杏				液体廃棄物処理系設備検査				液体廃棄物処理系設備検査				液体廃棄物処理系設備検査					液体廃棄物処理系設備検査				液体廃棄物処理系設備検査				液体廃棄物処理系設備検査				液体廃棄物処理系設備検査			
前回実施時期 (定検回次)	21回 3		21回	24回	23日		23日	24回	24回	回9	24回	24回	16回	回9	16回	24回	23回	四2	23回	94回	I i		8日	三23	24回	15回 }	4回	15回	24回	15回	旦2	15回	23回	16回		16回	24回
今回の実施 計画	0	ı	0	0	-	-	1	ı	1	1	1	_	0	1	0	-	I	1	_	-		I	I	ı	_	1	1	Ι	1	1	1	_	0	_	I	-	1
保全方式 又は頻度	8%	CBM	78M	Z6M		CBM	78M	Z6M	% B	CBM	78M	78	B%	CBM	156M	39M	<u>%</u>	CBM	156M	39M	100	8%	CBM	156M	39M	8% B	CBM	182M	39M	B%	CBM	Z08M	39M	<u>%</u>	CBM	182M	39M
保全の 重要度	英		1	<u> </u>	中	į		I	负	<u> </u>	<u> </u>		低			1	负	<u> </u>	1			低				田			l	斑	1			斑		1	
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検(電動機)	3. 簡易点檢(潤滑油入	(学) 1 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点檢(潤滑油入 禁)	f) 1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点檢 (電動機)	3. 簡易点檢 (潤滑油入 萃)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3. 簡易点檢 (潤滑油入 糕)	f) 1. 機能・性能試験	2. 分解点権 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	3 簡易占格 (潤滑油入	*:	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	 分解点検(電動機) 	3. 簡易点檢 (潤滑油入 替)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	 1. 簡易点檢(潤滑油人 基) 	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点檢 (電動機)	3. 簡易点檢(潤滑油入 糕)	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点檢 (電動機)	3. 簡易点檢 (潤滑油入
実施数(機器名)	A廃液給水ポンプ・電動機				B 陸海給水ポンプ・電動機				C廃液給水ポンプ・電動機				34A 洗浄排水ポンプ・電動機				34B 洗浄排水ポンプ・電動機					34A洗浄排水モニタポンプ・電動機				34B 洗浄排水モニタポンプ・電動機				34A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ・電動機				34B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ・電動機			
機器又は系統名	放射性廃棄物の廃棄施設	[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]																																			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備を (()内は適用する (※)借診権技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」	34A廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 ク解占格 (ポンプ)	苺	B%		18回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象:ポンプ))
		2. 分解点検(電動機)	I.	182M	ı	18日		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ
		育易点検		39M	ı	24回		イ実施
	34B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	音) 1.機能・性能試験	低	8%	ı	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検(ポンプ)		CBM	ı	3回		(振動診断: 4M (対象:ポンプ)) メポンプキキュ 垂軸操 (人) が 正ない くせき
		2. 分解点検(電動機)		208M	1 1	14回		※ホノノまだは電勘機の対解点候に合わせて実施
		5. 目 30 mm(px 、山雪1月 i口/ 、 替)		100				
	34廃液貯蔵タンク循環ポンプ・電動機		萸	%8 8%	I	24回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ ア事権
		2. 分解点検 (ホンブ) 2. 分解点検 (雪動機)		W09Z	1 1	24回		
				91M	0	21回		
	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏え 1式い防止に係る警報機能	1.特性試験	줘	13M	0	24回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警 報機能検査	
		2. 機能·性能試験		IF	0	24回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警 報機能検査	
	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装 1台 置及び警報装置 (34酸液ドレンタンク 水体伝法器)	1. 特性檢查	줘	13M	0	24回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警 報機能検査	
		1. 機能・性能試験	줘	1F	0	24回	液体廃棄物処理系アスファルト固化 設備機能給者	先行実施
	アスファルト固化設備(弁、機器) 1式	1. 機能・性能試験	低	В	ı	27回※	1 次系安全弁検査	先行実施
		2. 分解点検		$195M\sim 260M$	0	27回※	1 次系逆止弁検査	※アス固化定検回次、今回は28回定検
		3. 簡易点検(グランドペッ キン取替)		13M~260M	0	27回※		
	使用済樹脂スルースポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B%	ı	24回	固体廃棄物処理系設備検査	先行実施
				CBM	_	7回		(振動診断: 6 M (対級: デンプ)) ((() を) を () () () () () ()
		2. 分解点検 (電動機)	<u> </u>	W87	I	24回		※ボンノまたは電動機の分解点機に合わせ と実施
		3. 簡易点検(潤滑油入 替)		39M	0	23回		
	放射性廃棄物の廃棄施設[気体、液体又 1式	1. 機能・性能試験	高・低	В	0	24回	1 次系安全弁検査	一部先行実施
	は固体廃棄物処理設備」その他の弁	2. 分解点検		13M~260M	0	24回	1 次系逆止弁検査 1 次系真空破壊弁検査	
	放射性廃棄物の廃棄施設[気体、液体又 1式	1. 分解点檢他	恒	$13M\sim130M$	0	24回		一部先行実施
	【	1. 分解点檢他	桕	12M~260M	0	24回		一部BMあり 一部先行実施 保全の有効性評価結果No. 23の反映
放射性廃棄物の廃棄施設 「原子存格納容器本体外の廃棄物貯蔵設 備又は廃棄物処理設備からの液体状の放 射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動 繁熱報准署	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装 1式 置及び警報装置 (最終の流入サンプ)	1. 機能·性能試験	阅	IF.	0	24回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検 出装置及び警報装置機能検査 (最終 の流入サンプ)	
放射線管理施設	格納容器内高レンジエリアモニタ 4個	1. 特性試験	恒	13M	0	24回	エリアモニタ機能検査	
[放析線管理用計測裝置]								
	格納容器排気筒ガスモニタ (3R-21)	1. 機能·性能試験	恒	IF.	0	24回		
		2. 特性試験		13M	0	24回	放射線監視装置機能検査	

備考 (() 内は適用する 設備診断技術)									And the second of the second o	一部定期事業者檢查起動後							一部定期事業者檢查起動後									一部定期事業者検査起動後	一部定期事業者檢查起動後	一部定期事業者檢査起動後																			
検査名		放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査		放射線監視装置機能検査		放射線監視装置機能検査	7 1 7 1 7 7 7 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	放射線監視装置機能検査	*** V **** 70 100 *** 700 *** 70 *** 77 *** 71 *** 7	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査 払配給監視計開機能於素	以		放射線監視装置機能検査						放射線監視装置機能検査		放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査			*** VI *** VII 100 **** VII ***** VII ******************	放射綠監視装置機能検歪	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能檢查		放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能檢查	放射線監視装置機能檢查	The state of the s	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査
f 前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24日	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回		24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回
今回の実施 計画	0	0	0	0	0	0	0	0	Э	0	0	0	0	0) (0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0) (0) C	0	0	0	С)	0	0	С	С	0	0	0	0	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	1F	13M	1F	13M	1F	13M	1F	13M	IF	13M	IF	13M	13M	13M	15M	MC1 1F	13М	IF	13М	1F	13M	ΙF	13M	1F	13M	13M	13M	13M	13M	IF	13M	13M	13M	13M		13M	13M	13M	13M	13М	13M	13M	13M	13M	13M	13M	13M
保全の 重要度	恒		低		田		故	-	匣		句		母:	故	Ę Ę	神	: T	色	1	低		펎	2	杻		恒	恒	哐 !	句	故	1	Œ	喠	硘	Ē	恒	恒	140	100	(世	田	知	田	低	低	低	低
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	 特性試験 	 機能・性能試験 	 特性試験 	1. 機能•性能試験	 特性試験 	1. 機能·性能試験	2. 特性試験	1. 機能・性能試験	2. 特性試験	1. 機能・性能試験	2. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 将住时要 1. 车车等	1. 付工 N級 1. 機能 • 社能計職	2. 特性試験	1. 機能・性能試験	 特性試験 	1. 機能・性能試験	 特性試験 	1. 機能·性能試験	2. 特性試験	1. 機能·性能試験	 特性試験 	 特性試験 	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	 機能・性能試験 性性計算 	2. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特件試験	Van 1971 61 17	 特性試験 	1. 特性試験	1. 特件試験	1. 特件試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	 特性試験 	1. 特性試験	 特性試験 	 特性試験 	 特性試験
実施数(機器名)	補助建屋排気筒ガスモニタ(3R-26)		廃棄物処理設備排水モニタ(34R-35)		格納容器じんあいモニタ(3R-40)		格納容器ガスモニタ (3R-41)		(夏水器空気抽出器ガスモニタ (3R-43)		安全補機室排気ガスモニタ (3R-46)		(3R - 48A)		使用資際枠にツト排入スイナニタ (3Kー49) 毎日七部事物に対えてこなり(5Kー49)			原子炉補機冷却水モニタ (3R-56)		補助蒸気復水モニタ (3R-57)		タービンサンプ水モニタ (3R-58)		1 次系建屋基礎湧水モニタ(3R -59)		A 高感度型主蒸気管モニタ (3R -65)	主蒸気管モニタ	C 高 感 使 型 主 条 気 管 モ ニ タ (3R - 67)	1 次冷却材連続モニタ (3R-70)	ほう酸蒸留水モニタ (3R71)		希密容器排気筒局 アンジガスモニタ (根レンジ)(3R− 80A)	格納容器排気簡高レンジガスモニタ(高レンジ) (3Rー	80b) 補助建屋排気簡高レンジガスモニタ (低レンジ) (3R —	81A)	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) (3Rー	A 主		C 中蒸気管モニタ (3R-89)	放水口水モニタ (34R-99)	中央制御室エリアモニタ (34K-1)	格納容器内エアロック区域エリアモニタ (3R-2)	放射化学室エリアモニタ (34R-3)	A 充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4A)	B充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4B)	C 充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4C)	使用済燃料ピット区域エリアモニタ (3Rー5)
機器又は系統名	放射線管理施設	[放射線管理用計測装置]																																													

(備み (() 内は適用する 野僧参断技術)						プラント運転中又は定期事業者検査停止中			一部BMあり プラント運転中又は定期事業者検査停止中 保全の有効性評価結果No. 24の反映	21回施設定期検査より追加			先行実施	子们任本	 元打夫旭 						4号設備 ※4号での実績				※よう素フィルタ性能検査結果により適宜 実施		4号設備 ※1:よう素フィルタ性能検査結果により適 宜実施	※2:4号での実績			
検査名	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	放射線監視装置機能検査	1次系弁検査			中央制御室の居住性確認検査	緊急時対策所の居住性確認検査		1次系換気空調設備検査	- 当分对 山野盟門用之木	1 伙糸換风空調政脯快宜	1 次系換気空調設備検査		1 次系換気空調設備検査		中央制御室非常用循環系機能検査	中央制御室非常用循環系機能検査	中央制御室非常用循環系フィルター 性能検査	中央制御室非常用循環系フィルター 件能給香	1次系換気空調設備検査			中央制御室非常用循環系フィルター 性能検査	中央制御室非常用循環系フィルター 性能給を	1次系換気空調設備検査		
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	24回	24回	21回	24回	24回	21回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	22回	24回	22回	24回	23回※	24回	24回	24回	24回	22回	23回※2	23回※2	23回※2	22回※2	20回※2
今回の実施 計画	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 () I	1 0	С	0	0	0	I	0	0	0	I	ı	_	ı	ı	-	_
保全方式 又は頻度	13M	13M	13М	13M	13M	13M	130M	13M	1Y~2Y	К9	ΙF	3M∼1F	1F	4	IF	# H	4F	IF	4F	TF.	11F	1F	1F	1F	*X	4F	IF	IF	IF	X % 1	4F
保全の 重要度	知	斑	故	英	田	重	咂	画	줘	恒	恒	恒	斑	Ä	Ħ	知		田		恒	哐	岠	1		ı		恒	ı	ı		
点検及び試験の項目	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 特性試験	1. 分解点検	1. 分解点檢他	1. 分解点検他	1. 漏えい試験	1. 漏えい試験	1. 外觀点檢	1. 機能・性能試験	 開放点検 ・ 機体 ・ ルナキョン 	1. 機能・性能対験 9. 間站占給	 3. 開放 示し、 4. 機能・性能試験 	2. 開粉点権	1. 機能·性能試験	2. 開放点檢	 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部等含む) 	 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部等含む) 	 よう素フィルタ性能検査(よう素除去効率検査) 	1. よう素フィルタ性能検 香 (漏シい率給香)	2. 機能・性能試験	3. 開放点検(フィルタ取替)	3. 開放点検	1. よう素フィルタ性能検査(よう素除去効率検査)	1. よう素フィルタ性能検 香 (漏さい率給香)	2.機能・性能試験	3. 開放点検 (フィルタ取 替)	3. 開放点檢
実施数(機器名)	炉内計装区域エリアモニタ (3R-7)	装置ドラム充てん監視区域エリアモニ	ラム貯蔵室クレーン操作区域エリアモニタ (34	格納容器内オペレーティングフロアエリアモニタ (3R-10)	欠系補機操作室エリアモニタ (34R-11)	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリア 2台 チニタ	[放射線管理用計測装 1式	放射線管理施設 [放射線管理用計測装 1式		17	緊急時対策所遮蔽 1式	放射線管理施設 [生体遮蔽装置] その他 1式 機型		1	ロ合意な铅井スノインターーシャ	A格納容器空気浄化フィルタユニット		B 格納容器空気浄化フィルタユニット		中央制御室非常用循環系(A系列)	中央制御室非常用循環系 (B系列)	中央制御室非常用循環フィルタコニット (A系列)					中央制御室非常用循環フィルタユニット (B系列)				
機器又は系統名	放射線管理施設	[放射線管理用計測装置]								放射線管理施設	[生体遮蔽装置]		放射線管理施設	[

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	編札 (() 内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設					l			
[換気設備]								
	34A放射線管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	田	IF	0	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点檢		4F	0	24回		
	34B放射線管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	句	1F	0	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	г	2. 開放点検		4F	0	24回		
	緊急時対策所可機型空気浄化フィルタコ 4台ニット	1. 機能・性能試験(よう 素フィルタ性能検査)	恒	17	0	24回	可搬型換気空調設備検査	先行実施
	緊急時対策所非常用空気浄化フィルタコ 3台	1. 機能・性能試験(よう	恒	11	0	24回	可搬型換気空調設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
		素フィルタ性能検査)						
	A補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	斑	IF	0	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点檢	į	4F	1	22回		
	B補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	田	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4F	I	22回		
	燃料取扱室排気フィルタユニット	1. 機能·性能試験	低	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4F	-	22回		
	34ベイラ排気フィルタユニット	1. 機能·性能試験	低	1F	0	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4F	1	22回		
	34ホット工作室排気フィルタユニット	 機能・性能試験 間が上げ 	负	IF	0	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 指名字指
	of a state of the	2. 開放点筷	1	4F) (三52		先行実施
	34A 中央町御田沿端コニット 21th 古七直紹の作曲ニニニュ	1. 開灰点検 - III-4- F-4-	Œ l	WZG) (国22		
	34.B 中火西倉単位置コニット。 コーナ 監修中央語	1. 網放点模	Œ ł	WZG)	同四元		# 47 17
	34C中央制御室空調ユニット	1. 開放点横	Œ	22M	I	21回※		4号設備 ※4号での実績
	34D中央制御室空調ユニット	1. 開放点檢	画	52M	I	21回※		4号設備
	A 校 始於 男 给信 上	1 開始上級	世	MGS		91回		※4号での実績 生行事権
	A性的な協力による。 B格的な器給気ユニット	1. 用灰点板 1. 開放点格	包虫	52M) C	21日		九七十条施井行手権
	カロボカ 静格 ペーノー A 補甲 建 最 終 気 ユ ニット	1. 開放点格	1 年	52M) C	三177		7に10米温 休行実権
	A間の年達的ペーニント 日補用建局総写ユニット	1. 四次元次	3 年	M65) C	91E		7511天過年行事施
	D 転列 単	1. 用灰坑魚 1 間站上路	র দ	M26		21E		九11 天旭 上分生協
	2・4 反的際門出音 ペーーン: * *********************************	1. 用灰小树	4 F	M26) (24E	4 子 名 力 丘 生 出 光 年 本 木	九11 美間
	A格納谷器給スノアン・電動機	1. 機能・性能試験 9. 分解占権 (ファン)	Ŕ	1F) I	24回	1 次糸換気空調設備検査	先行美施 【振動診断:2.M(対象:雷動機))
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	ı	回8		
	B格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	0	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		Z60M	1	21回		(振動診断:2M(対象:電動機))
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	1	3回		

是又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)		編本 (() 内江適用する 設備診断技術)
放射線管理施設	A格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	0	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
[換気設備]		2. 分解点検(ファン)	l	Z60M	ı	21回		(振動診断:2M)
		2. 分解点検(電動機)		CBM	_	国8		
	B格納容器排気ファン・電動機	1. 機能•性能試験	低	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	_	21回		(振動診断:2M)
		2. 分解点検(電動機)		CBM	1	3回		
	A格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	_	22回		
		2. 分解点検(電動機)		104M	_	24回		
		 6. 簡易点檢(潤滑油入去) 		Z6M	_	24回		
•	B格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	1	19回		
		2. 分解点検 (電動機)		104M	I	24回		
		 6 6 6 7 8 9 9 1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 9		Z6M	I	24回		
•	C格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	_	三02		
		2. 分解点検(電動機)		104M	_	23回		
		3. 簡易点檢(潤滑油入 ^{麸)}		Z6M	0	23回		
•	D格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	恒	IF	0	24回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		Z60M	ı	21回		
		2. 分解点検(電動機)	l	104M	ı	23回		
		 3. 簡易点檢(潤滑油入 整) 		Z6M	0	23回		
	A格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	魚	1F	0	24回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		Z60M	ı	21回		
		2. 分解点検(電動機)		91M	ı	21回		
	B格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能•性能試験	田	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	
		分解点検		Z60M	_	18回		
		2. 分解点検(電動機)		91M	_	22回		
	34A中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M)
		分解点検		Z60M	ı	20回		
		2. 分解点検(電動機)		78M		22回		
	34B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能•性能試験	恒	1F	0	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4 M)
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	_	17回		
		2. 分解点検(電動機)		78M	_	24回		
	34C中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能•性能試験	恒	1F	_	23回※	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4 M)
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	1	16回※		4.5 影備
				78M	Ι	21回※		※4方 ごり 美類
	34D 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	恒	1F	1	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4 M)
		2. 分解点検(ファン)		Z60M	1	17回※		45段偏
		2. 分解点檢(電動機)		78M	I	20回※		※4カ ごり 米園

備本 (()内は適用する 設備診所技術)	(振動診断: 4M(対象:電動機))			(振動診断: 4M(対象:電動機))			(振動診断: 4M(対象:電動機))	4号設備	■※4号での実績	(振動診断: 4M (対象:電動機))	4号設備		(振動診断: 1 M)			(振動診断: 1 M)			(振動診断: 1 M)	4号設備	■※4号での実績	(振動診断: 1 M)	4号設備	※4号での実績	先行実施	先行実施			先行実施				(振動診断: 4M(対象:ファン))		先行実施 - 11 (対象・フェン))	ハ ハ ハ ハ ハ ・ No.1シン コロド・ Ld. Ali (権)(の)
検査名	1次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1次系換気空調設備検査			1次系換気空調設備検査			1次系換気空調設備検査				1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1次系換気空調設備検査	
前回実施時期 (定検回次)	24回	回61	22回	24回	15回	24回	23回※	※回02	※回02	23回※	16回※	※回02	24回	16回	21回	24回	17回	24回	23回※	16回※	21回※	23回※	16回※	※回61	24回	24回	旦2	21回	24回	16回	21回	24回	20回	21日	24回	23回
今回の実施 計画	0	-	ı	0	ı	1	ı	1	ı	ı	_	_	0	_	_	0	I	_	_	_	ı	_	1	_	0	0	-	_	0	ı	ı	0	_	0	0	1 1
保全方式 又は頻度	1F	Z60M	78M	1F	Z60M	78M	1F	Z60M	78M	1F	Z60M	78M	1F	Z60M	117M	1F	Z60M	117M	1F	Z60M	117M	1F	Z60M	117M	11	IF	260M	104M	1F	Z60M	104M	1F	260M	78M	1F	Z60M 78M
保全の関連を対象	硘			框		I	恒			峘			恒			画			軍			恒	I		恒	故			低			低			故	_
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点檢 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点檢 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ファン)	2. 分解点檢 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点檢 (電動機)	1. 機能・性能試験	1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	2. 分解点檢 (電動機)	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ファン)	2. 分解点檢 (電動機)	1. 機能·性能試験	2. 分解点検(ファン)	2. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験 5. 分類 E かく / デン	2. 分解点検(電動機)
実施数(機器名)	34A中央制御室循環ファン・電動機			34B 中央制御室循環ファン・電動機			34C中央制御室循環ファン・電動機			34D 中央制御室循環ファン・電動機			34A中央制御室非常用循環ファン・電動機			34B中央制御室非常用循環ファン・電動機			34C中央制御室非常用循環ファン・電動機			34D中央制御室非常用循環ファン・電動機			緊急時対策所可搬型空気浄化ファン 4台	34A放射線管理室給気ファン・電動機			34B 放射線管理室給気ファン・電動機			34A放射線管理室排気ファン・電動機			34B放射線管理室排気ファン・電動機	
機器又は系統名	放射線管理施設	[換気設備]		100			100			(102			102									man et	<u> </u>			100			100				

備考 (()内は適用する 設備診断技術)	ı	(振動診断: 4M(対象:電動機))			先行実 治型 表記 (1.4.4.4.4.4.4.3.)、	(版動診断:4M(对象:電動機))			先行実施	(振動診断: 4 M)		先行実施	(振動診断: 4M)		先行実施	(張動)診断: 4 W)		:	(振動診断:4M(対薬:電動機))		H 4 11 7 11 1	(振動診断: 4 M (対象:電動機))		先行実施 (清柔教詩 4.3)	(4次型)	于	先行美施 【/ (/ (/ (/ (/ (/ (/ (/ (/ (/ (于介书本	光行		井 介宝梅	an Krinc								一部先行実施				一部先行実施	一部BMあり	
検査名	1 次系換気空調設備検査				1 次系換気空調設備検査				1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1次系換気空調設備検査		4. 化表面子面的现在分词	1 次米換気空調設備検金		- 予比者 17 任 盟 8 至 3 大	1 次糸換気空調設備検金		1 次系			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査		1 次系安全弁検査	1次系弁検査 1か多治に弁棒本	1 以然应此开放量		
前回実施時期 (定検回次)	24回	21回	14回	21回	24回	21回	旦2	21回	24回	15回	21回		16回	21回	24回	17回			21回	7回	24回	21回			三00回	D17	24回	218	E12	24回	18日	24回	16回	回91	24回	21回	21回	24回	21回	21回	24回	24回		50回	24回	24回	24回
今回の実施 計画	0	-	1	ı	0	I	_	_	0	ı	0	0	I	-	0	1	I	0	I	1	0	I		0	I	1 (Э	1 1	1 (Э	1 1	С)	0	0	1	I	0	Ι	I	0	0	I	I	0	0	0
保全方式 又は頻度	1F	Z60M	CBM	156M	1F	260M	CBM	156M	1F	Z60M	104M	1F	Z60M	104M	1F	260M	104M	1F	260M	CBM	1F	260M	CBM	ΙF	260M	CDM	IF	ZOUM	CDM	IF	Z50M	1F	Z60M	156M	IF	260M	78M	1F	Z60M	78M	1F	$65M\sim130M$	В	130M	13M~260M	13M~260M	11
保全の 重要度	低				故				低			低			低			故			句		:	斑		Inc.	Ħ		IT	Ħ		#	3		低			低			画· 低		框		恒	负	恒
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験			3. 簡易点檢 (モータ内部	機能・性能	分解点検		3. 簡易点検 (モータ内部 き程)	TH	2. 分解点検 (ファン)		機能・性			1. 機能・性能試験	分解点検		機能・性能	2. 分解点検 (ファン)		1. 機能・性能試験	分解点検		機能・性能		7. 万 弄 5. (中 三 型 6) 1	1. 機能・性能対験 5. 八細士物 (コーン)	2. が 歴 示 使 (ノアノ) の (会 が が) の (会 が が)	万界后便 海鱼	機能・性制	2. 万 暦 京 (ノアノ) 9. 今 館 古 操 (雪 軒 機)	が中心が締む・中台	2. 分解点権 (ファン)	2. 分解点検(電動機)	機能・性能	2. 分解点検(ファン)		機能・性能					1. 機能·性能試験	2. 分解点檢	1. 分解点檢他	1. 分解点檢他	1. 特性試験
																																			・電動機			 電動機 			社		社		社		1共
実施数(機器名)	A補助建屋給気ファン・電動機				B補助建屋給気ファン・電動機				A補助建屋排気ファン・電動機			B補助建屋排気ファン・電動機			C補助建屋排気ファン・電動機			A燃料取扱室給気ファン・電動機			B燃料取扱室給気ファン・電動機			A燃料取扱室排気ファン・電動機		1 日報ご用店手手工として、 無理素	B 燃料取扱 国際 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係		では、一川寺町に、一部母孝	34ペイフ排気ファン・電動機		34ボット工作宏排停ファン・雷軋機			34廃棄物処理建屋送気ブースタファン・電			34廃棄物処理建屋排気ブースタファン・電			自動ダンパ		放射線管理施設 [換気設備] その他の弁		放射線管理施設 [換気設備] その他機器		可搬型気象観測装置
機器又は系統名	放射線管理施設	[換気設備]																																													放射線管理施設 [その他設備]

(23						編集
	水力》 由網 扫 詽 開 雕 升 分 拼 恢 重 原子 炉 格 納 容 器 隔離 弁 分解 検 査 原 子 炉 格 納 容 器 隔離 弁 分解 検 査	22回)	130M 130M		1. 分解点檢 1. 分解点檢 1. 分解点檢	3V-CC-523 3V-CC-521	
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	18回	0	130M	岠	1. 分解点検	3V-CC-482	
	ボリケゼが14部開催エク財政主 原子炉格納容器隔離弁分解検査	18日	С	130M		1. 分解点檢	3V-CC-489	
	原子PP格割浴器配件并分群使间面 2 下方数 4 於 型 图 4 於 型 6 以 6 数 4 於 型 6 以 6 数 4 於 4 於 4 於 4 於 4 於 4 於 4 於 4 於 4 於 4	21回		130M	喧闹	1. 分階京領 - 7. 20 上 2. 20 上 4. 2	3V-CS-3U8	
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	24回	ı	130M	恒十	1. 分解点検	3V-IA-508A	
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	19回	0	130M	恒	1. 分解点検	3V-VR-002B	
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	23回	1	130M	皇	1. 分解点検	3V-VR-002A	
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	回61	_	130M	阜	1. 分解点検	-VR-001B	ЗУ-
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	19回	ı	130M	恒	1. 分解点檢	'R-001A	3V-V
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	18回	0	130M	阜	1. 分解点検	-018	3V-WL
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	21回	_	130M	阜	1. 分解点検	-354	3V-WL
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	23回	0	52M	軍	1. 分解点檢	200-	3V-CS
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	18回	0	130M	軍	1. 分解点検	-019	3V-WL-
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	21回	1	130M	車	1. 分解点檢	-355	3V-WL
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	23回	ı	130M	軍	1. 分解点検	003B	3V-DP-
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	22回	1	130M	追	1. 分解点検	303A	3V-DP-(
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	21回	ı	130M	軍	1. 分解点検	301B	3V-DP-(
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	22回	I	130M	軍	1. 分解点檢	N100	3V−DP-
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	三22回	ı	52M	恒	1. 分解点檢	04C	3V-CS-0
	原子行 核納农 裝陽雕 中分解 格本	四66	ı	E2M	间	1 分解占格	004B	3V-CS-
	原子炉格納容器隔離弁分解検査	22回	1	52M	恒	7- 変別 できる 1. 分解 点検	004A	3V-CS-
	原子炉格納容器隔離弁機能検査	24回	0	1F	恒	1. 機能・性能試験 (弁、 弁販動部等会 f p)		
	以 丁岁 性 附各 备 開門性 扩 恢	H=7-7		IF	E	1.		
	(以2)が行作が行むの即編入2 十次月百万万枚物のお野原幣を凝める水	I II V6		10/11	Ē			
	原丁炉恰納谷舒周部備入V, 学陳宣 同子恒核納容器局部漏字1/%給各	回62	0 0	2回/3F		1. 備えい, 半氏製 1 漏シい燃計器		<u> 1</u>
※100、坂及1四/10.60億	米农班、小原环国品沙步华以内园	21回	1 (網及時%	÷	2. 選及京使 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1
外型で7 日・日田 (田本)	原子炉格納容器局部漏えい率検査	23回	0	2回/3F	哐	骤 🗄		Ħ
		24回	0	13M		3. 開放点検		
181/4クノムによる。 [別表-6]	原士炉 俗納谷 益快用期间 中供宜	H 22	_	25%/ IUI		2. 芥饭漿对颗		
	原子炉格納谷器局部漏えい率検査	23日	Э	2回/3F	Œ	1. 備えい挙試験		<u>国</u>
		H 42) (LSM	i	5. 間多点使 (パッキ/以 替他) 番他) エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エス・エ		ļ
		23回	1 (52M		2. 分解点檢		
	原子炉格納容器局部漏えい率検査	23回	0	2回/3F	恒	1. 漏えい率試験	1個	非常用
		j				替他)	j	
		24回	0	13M				
		24回)	52M	Ī	2. 分解点格	<u> </u>	Ē
任)	原子行格納容器局部漏さい塞給者	23回	С	2屆/3F	恒	1 漏シい密試験	1個	田東里
(第27回定検において設計) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7		Ī		5	1			
設備診断技術10年に1回は設計圧力にて3	THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED IN COL	1 77			in N	1 漏シい率試験		
	原子石枚 独交男 今休温シ こ 窓 株 本	B 16			とくと			

備考 (() 内は適用する 設備診断技術)									一部BMあり		[対象設備] ・A原子炉格納容器スプレイポンプによる 代替炉心注入系	24回定期事業者検査より追加	(振動診断: 1M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回 施設定期検査より追加			(振動診断: 1M)																
検査名	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検		1 次系弁検査	1次系弁検査9か玄弁検本		1 次系弁検査				原子炉格納容器安全系機能検査	その他原子炉注水系機能検査	圧力逃がし系作動検査	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検 査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査			原子炉格納容器安全系ポンプ分解検 本				中 VI III 好中 特 是一次。	1		1 次系熱交換器検査	原子炉格納容器安全系主要弁分解檢 香	原子炉格納容器安全系主要弁分解検	原子炉格納容器安全系主要弁分解検 香	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	原子炉格納容器安全系主要弁分解檢 查	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	原子炉格納容器安全系主要弁分解検 香	原子炉格納容器安全系主要弁分解検 香	
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	24回	24回	日42	回42	回42	24回	24回	24回	24回	I	19回	21回	24回	国82	回61	回42	日61	19回	国6I	三02	三000	三22	回22	国22	23回	22回	23回	21回	22回	20回
今回の実施 計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	I	ı	0	ı	ı	0	_	ı	ı	1 1	1	ı	ı	ı	Ι	Ι	1	I	Ι	0
保全方式 又は頻度	IF	IF	В	$52M\sim130M$	52M~130M	В	WG9~WZG	$13M\sim130M$	130M	1F	1F	1F	130M	130M	Z6M	W0E1	130M	W9Z	130M	195M	WOST	1.50M	130M	130M	130M	130M	130M	130M	130M	130M	130M	156М
保全の 重要度	岠		恒			軍		軍	低	恒		恒	恒			硘			峘		ł	Ē		恒	恒	逦	恒	恒	框	恒	恒	框
点検及び試験の項目	1. 機能・性能試験	2. 簡易点検(漏えい試験)	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	3. 簡易点検(グランドパッ キン取萃)	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 分解点検他	1. 分解点檢他	1. 機能・性能試験 (ポン プ、電動機、弁、弁駆動 部等含む)	2.機能・性能試験 (ポン プ、電動機、弁、弁駆動 部等含む)	1.機能・性能試験(弁、弁を駆動部等合む)	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点檢 (電動機)	2. 簡易点檢(潤滑油入替 他)	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	2. 簡易点檢(潤滑油入替他)	開放点検	1. 開放点検 (胴側) - 北平 (電子)	 非做製式票 = = 1 = 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +	1. 用双点做(冒侧) 1. 開扮点檢(胴側)		1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢	1. 分解点檢
	4個		17			社		11					355 7			nest care								3V-CP-024A	3V-CP-024B	3V-CP-054A	3V-CP-054B	3V-CP-001A	3V-CP-001B	3V-CP-003A	3V-CP-003B	11
実施数(機器名)	原子炉格納容器真空逃がし弁		原子炉格納施設[原子炉格納容器]その	他の弁		原子炉格納施設[原子炉格納容器]その		原子炉格納施設[原子炉格納容器]その	他機器	原子炉格納容器スプレイ系		圧力逃がし系	△原子炉格納容器スプレイボンブ・電動機			B原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機			A格納容器スプレイ冷却器		日本会へ、プロリカラをも	D台湾やおくノアム行為を		原子炉格納容器スプレイ系主要弁								原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部
機器又は系統名	原子炉格納施設	[原子炉格納容器]								原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]											•											

備考 (() 内は適用する 設備診断技術)	21回施設定期検査より追加		21回施設定期検査より追加		21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加					A系、B系交互に実施		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜 実施					(振動診断: 1M)		200 Ver 120-417	(坂動診勘: 1M)					※よう素フィルタ性能検査結果により適宜 宝協	N.E.	(振動診断: 1M)			(振動)診断: 1M)	
検査名	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検 香	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検 査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検 査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検 査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検 者	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検 査		1 次系真空破壊弁検査	アニュラス循環排気系機能検査	アニュラス循環排気系フィルター性 能検査	アニュラス循環排気系フィルター性 能検査		1 次系換気空調設備検査		1 次系換気空調設備検査		1 次系換気空調設備検査		The VI Will Do Library of the Sec. 10.	1 次糸換気空調設備検査		1 次系		1 次系換気空調設備検査			1 次系換気空調設備検査			1次系換気空調設備検査	
前回実施時期 (定検回次)	21回	22回	21回	22回	21回	21回	21回	23回	三02	20回	24回	24回	24回	24回	24回	22回	24回	22回	24回	20回	三22	24回	日17 日186	22回		24回	24回	22回	24回	20回	23回	24回	24回
今回の実施 計画	0	ı	ı	ı	0	ı	ı	-	1	I	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1 () ()	ı C)	0	0	1	0	ı	1	0 1	1
保全方式 又は頻度	W29	WS9	WS9	65M	65M	65M	WE9	WE9	130M	130M	IF	म	1F	*X	1F	4F	1F	4F	1F	Z60M	W8./	IF	ZOUM ZOV	15M		IF	*X	4F	1F	Z60M	78M	1F	78M
保全の 重要度	框	框	框	恒	嶇	恒	框	框	恒	恒	画	画			恒		恒		恒		1	Œ		恒	Ĩ				軍			Œ	
点検及び試験の項目	 分解点検 	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	 開放点檢 	1. 分解点檢	 機能・性能試験(ファン、電動機、弁、弁駆動 部等含む) 	1. よう素フィルタ性能検 査 (よう素除去効率検 査)	 よう素フィルタ性能検査(漏えい率検査) 	2. 開放点検(フィルタ取 替)	1. 機能·性能試験	2. 開放点検	1. 機能・性能試験	2. 開放点検	記試職		 分解点積(電動機) 	1. 機能・性能対験 - 7. 2 - 7. 4 - 7. 7 - 7.	 2. 万 卑 示(水) (・	4. 万 時 点 (电 動 (地)		1. 機能・性能試験	2. 開放点検 (フィルタ取 基)	2. 開放点檢	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ファン)	2. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験 つん (ファン)	2. 分解点検 (電動機)
	3V-VS-101A	3V-VS-101B	3V-VS-102A	3V-VS-102B	3V-VS-103A	3V-VS-103B	3-PCV-2465	3-PCV-2485		2台		<u>~</u>			A系		田米																
実施数(機器名)	可燃性ガス濃度制御系主要弁								よう素除去薬品タンク	バキュームリリー	アニュラス空気浄化系	A, Bアニュラス空気浄化フィルタユニッ			A, Bアニュラス空気浄化フィルタユ	 			Aアニュラス空気浄化ファン・電動機			Bアニュフス空気浄化ファン・電動機		安全補機室空気浄化フィルタユニット					A安全補機室空気浄化ファン・電動機			B安全補機室空気浄化ファン・電動機	
機器又は系統名	原子炉格納施設 「圧力低減設備その他の安全設備」																	1			1			,-							1		

備者 (() 内は適用する 設備診断技術)	21回施設定検時に設置	21回施設定期検査より追加	21回施設定検時に設置	21回施政 た 対 使 重 よ り 垣 加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21回施設圧模時心設置 21回施設定期検査より追加	21回施設定検時に設置	21回施設定期検査より追加	21回施設定検時に設置	21回施設定期検査より追加	21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加									ISIプログラムによる。	[hyx-1]	ISIプログラムによる。 「別表-21		ISIプログラムによる。	[坊]表-3]	ISIプログラムによる。 [別表-4]	ISIプログラムによる。 [別表-6]	ISIプログラムによる。 [別表-1]	ISIプログラムによる。 [別表-7] 25回定期事業者検査より設定	ISIプログラムによる。 [別表-1] 25回定期事業者検査より設定	ISIプログラムによる。 [別表-8]		ISIプログラムによる。 [別表-9] 24回定期事業者検査より設定	
検査名		原子炉格納容器水素再結合装置機能		原子炉格納容器水素冉福台装置機能	原子炉格納容器水素再結合装置機能		原子炉格納容器水素再結合装置機能		原子炉格納容器水素再結合装置機能	原子炉格納容器水素再結合装置機能 檢查	計測制御系監視機能檢查	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	1 次系弁検査				1 次系逆止弁検査	クラス1機器供用期間中検査	クラス1機器供用期間中検査	クラス2機器供用期間中検査	クラス2機器供用期間中検査	クラス3機器供用期間中検査	クラス3機器供用期間中検査	供用期間中特別検査のうちクラス1 機器Ni基合金使用部位特別検査	供用期間中特別検査のうちクラス2 管 (原子炉格納容器内) 特別検査	供用期間中特別検査のうち蒸気発生 器管台溶接部の健全性確認給者	<u>重大事故等クラス1機器供用期間中</u> 検査	重大事故等クラス1機器供用期間中 検査	重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	<u>重大事故等クラス2機器供用期間中</u> 検査	重大事故等クラス3機器供用期間中 検査	供用期間中特別検査のうちクラス1配 管特別検査
前回実施時期 (定検回次)	24回	_	24回	1	24回	24回	1	24回		24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	21回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	23回	24回	24回	I	I	24回	24回	Ι	I
今回の実施 計画	0	1	0	1 0) I	0	ı	0	Ι	0	0	I	I	_	ı	1 ()	I	0	0	ı	I	0	0	0	0	I	0	0	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	1F	2F	1F	5F	H 55	IF	5F	1F	5F	1F	13M	В	130M	В	65M~156M	65M 65M 130M	65M~130M	130M	77	1F	10Y	10Y	10Y	10Y	3Y	10Y	10Y	10Y	$1F\sim10Y$	10Y	$1F\sim10Y$	$65M\sim130M$	1F
保全の 重要度	咂		恒	1	Œ	框	I	恒		恒	恒	咂	画・低	恒		相	田田	恒	恒		恒		恒		恒	恒	框	恒	1	恒		恒	恒
点検及び試験の項目	1. 外観点検	2. 機能・性能試験	1. 外観点検	2. 機能・性能試験	 小観点模 機能・性能試験 	1. 外観点検	2. 機能·性能試験	1. 外観点検	2. 機能・性能試験	1. 機能・性能試験	1. 特性試験	1. 機能・性能試験	2. 分解点檢	1. 機能·性能試験	1 447	 1 国多点模(特性对聚) 1 公報占益化 	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 非破壞試験	2. 漏えい試験	1. 非破壞試験	2. 漏えい試験	1. 非破壞試験	2. 漏えい試験	1. 非破壞檢查	1. 非破壞試験	1. 非破壞試験	1. 非破壊試験	2. 漏えい試験	1. 非破壞試験	2. 漏えい試験	1. 漏えい試験	1. 非破壊検査
	MB-045		MB-046	!	MB-047	MB-048		MB-049		13個	1式	11		14		1	3	紅	社		出		17		幺	ব	1	പ		17		玉	പ
実施数(機器名)	静的触媒式水素再結合装置									原子炉格納容器水素燃焼装置	装置	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の 安全設備] その他の弁		原子炉格納施設[圧力低減設備その他の	対		次1ヶ石産が最大によるの数では、こうほう安全設備」その色機器	その他AM(代替再循環、格納容器内注 本) 機器	クシース 機器(供用期間中検査対象) ノチナギナゲドニュ・城田併田計画土社	(黒八事政寺/ノヘ1 協語医児児別同学院 査対象、重大事故等クラス2 機器供用期 間中給査対象会む)	カラス2機器(供用期間中検査対象) (電大事故等クラス2機器供用期間中検	本対象含む)	クラス3機器(供用期間中検査対象)		クラス1機器/1基合金使用部位 (重大事故等クラス1機器供用期間中検 置対象: 重大事故等クラス2機器供用期 間中格本社参会か)	クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	蒸気発生器管台 (重大事故等クラス2機 器供用期間中給杏対象会か)			重大事故等クラス 2 機器		重大事故等クラス3機器	クラス1配管特別検査
機器又は系統名	原子炉格納施設	[圧力低減設備その他の安全設備]																	原子力設備														

備考 (() 内は遠角子る 設備診断技術)								-部BMあり -部先行実施 保全の有効性評価結果No. 25の反映			保全の有効性評価結果No. 26の反映			保全の有効性評価結果No. 28の反映	保全の有効性評価結果No. 27の反映		保全の有効性評価結果No.30の反映	保全の有効性証価結単No 29の反映	주 바 간 교 첫 1 H FT 필급 수 있다. 63 건 1 건 5 건 5 건 5 건 5 건 5 건 5 건 5 건 5 건 5	保全の有効性評価結果No. 32の反映	四今○右站件評価注里N。31○同時		タービン開放時期に合わせて実施。	一部定期事業者檢查起動後	定期事業者檢查起動後															
檢查名	構造健全性検査	構造健全性検査	リストレイント絵本	アイドアイノト決重	1 次系安全弁検査	1 次系逆止弁検査			耐震健全性検査		蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査		蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査		蒸気タービン開放検査	表	※XX/ こくアルバボリ 蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	年々ーブン間	※AL こく MUXIX L	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン性能検査	総合負荷性能検査	蒸気タービン開放検査	※気タービン開放検金	然気ターにン選放検金素与して、調整を表	※ ペッー ロン 用 灰便 当 新 ケー レン 田 灰像 当	※ ダン こと 声が引 ままま またり アンコンドン 単大体 オープン 国 大格 大	※メン こと 西次は 単大 かん はん こうごう また はん こう	然気ターヒノ圏放倒金 蒸気タードン関払給水	ボベン ことが次式 地域になった、関連を表	※×ハノーこと ボスノーこと 川水東土 ボケカードン開始格本	※ X// こと	※※・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
前回実施時期 (定検回次)	24回	24回	16回	<u> </u>	23回	23回	24回	24回	24回	24回	23回	23回	24回	24回	23回	24回	23回	94回	24回	24回	1000	24回	24回	24回	24回	22回	三22日	三元	H 77	11 GG	I 77	国22	1 277 1 1 6 6	1177 1177	日27	22回	22回	22回	三22回	22日
今回の実施 計画	0	0	ı	l	_	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	С	1	0	-	C	0	0	0	0	0	Э() () () C) C	0	0	0	0	0
保全方式 又は頻度	$5Y{\sim}10Y$	1F	100%/10V	100% 101	В	130M	$13M\sim130M$	12M~156M	100%/10Y	52M~182M	39M	В	13M	39M	2回/3F	13M	39М	9년/3년	13M	39M	9년/3년	13M	В	1F	1F	39M	В	39M	D	D	DOM	39M R	O MOG	В	39M	В	39M	В	39M	В
保全の 重要度	画 • 负	恒	间	E	高・低		嶇	句	高・低	框	喠		1	恒			恒			恒				恒		恒		Œ	ł	Ē	ł	Ē	ł	E	10	Î	恒		峘	
点検及び試験の項目	1. 外観点検	1. 漏えい試験	1 从細占給	1. 7下脚心示(项	1. 機能・性能試験	2. 分解点検	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 外観点検	1. 分解点檢他	1. 開放点檢	2. 組立状況点検	3. 簡易点檢(軸受箱内部達提外)	1. 開放点檢	2. 外観点検	3. 簡易点檢(軸受箱内部注目 4.7)	(清/# 他) 1. 開放点檢	9 外細口枠	3. 簡易点檢(軸受箱内部注信化)	4 1 1 開放点検	り、外細片枠	3. 簡易点檢(軸受箱内部清掃他)	1. 組立状況点検	1. 保安装置点検	2. 負荷点檢	1. 開放点検	2. 組立状况点模	1. 選奴诉儀 2. 给非书的诉录		1. 用效示例 3. 给付书省占格	2. 哲学农艺术家 1 目 4 计 4	1. 別奴点領 2 2 3 3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	2. <u>相 中 化 元 元 月 </u>	1. 用灰示泉 3. 给力卡省占整	2. 和土化仍示以 1. 開坊 占権	2. 組立状況点檢	1. 開放点檢	2. 組立状況点檢	1. 開放点検	2. 組立状況点檢
実施数(機器名)	クラス3機器、クラス4管、排気筒及び 1式 安全上重要なダクト耐圧部 (クラス3機 器RR1対除く)	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓 1式		き去し付管 ホイップ・レストレイント 気配で ボイップ・レストレイント K配管 でオイップ・レストレイント	原子力設備 [その他設備] その他の弁 1式		原子力設備 [その他設備] その他機器 式		耐震クラスS, Bに属する設備の支持構 式造物 (クラス1, 2, 3供用期間中検査 対象機器を除く)	その他AM(格納容器内注水)機器 1式	高圧タービン			第1 低圧タービン			第2低圧タービン			第3低圧タービン			ロータ	蒸気タービン本体及び附属設備		#1主蒸気止め弁		#2王然気止め井	*************************************	≠ 5 日後 女生 5 才	4 4 林介二字本	# 4 共然汽上の井	# 1 整气扫消令	# 1 % XVJHJ&JT	#9蒸气加減杂		#3蒸気加減弁		#4素気加減弁	
機器又は系統名	原子力設備 [その他設備]								原子力設備・タービン設備 [その他設備]			[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]														蒸気タービン 開手手囲エッジ・音楽	「閏済牧画父の子市閏済牧画事の行閏済荘節が生産などの土産者と													

備考 (() 内は適用する 影備診断技術)														定期事業者檢查起動後									(振動診断: 3 M)				(振動診断: 3M)			(振動診断: 3M)			(振動診断: 6 M (対象:電動機))	保全の有効性評価結果No.33の反映		(振動診断: 6 M (対象:電動機))	保全の有効性評価結果No. 34の反映		(日本学院・67/74年・毎年報))	(仮則が例: Q IVI (X) 終: 电影(核) / 保全の有効性評価結果No 35の反映				一部BMあり
検査名	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン附属設備機能検査	蒸気タービン開放検査																													
前回実施時期 (定検回次)	23回	24回	23回	国87	24回	24回	国87	24回	23回	23回	24回	24回	24回	回42	24回	24回	口42	22回	回4亿	23日	23回	23回	24回	回61	24回	II #57	23回	11回	24回	22回	16回	24回	23回	19回	24回	24回	三00	24回	- P	147 1166	□ F6	II #57	24回	24回
今回の実施 計画	ı	1	ı	I	ı	I	1	-	ı	1	ı	1	0	0	0	0	_		_	0	1	0	-	1	C)	1	Ι	0	С	1	0	0	0	0	-	1	0)	0	0
保全方式 又は頻度	39M	39M	39M	39M	39M	39M	39M	39M	39M	39M	39M	39M	1F	1F	13M	Z6M	Z6M	104M	Х6М	Z6M	1.04M	Z6M	39M	CBM	13M	II OII	39M	CBM	13M	З9М	CBM	13M	39M	Х	13М	39M	Х	13M	NUG	Nec.	V 13M	1011	$78M\sim\!260M$	$13M\sim\!260M$
保全の 重要度	诓	恒	恒	恒	恒	恒	画	恒	恒	恒	恒	画	恒	画	恒		咂			硘			亜				軍			徊			恒			恒			ł	Ē			恒!	供
点検及び試験の項目	1. 開放点検	1. 開放点検	1. 開放点検	 開放点検 	1. 開放点檢	 開放点検 	1. 開放点検	 開放点検 	1. 開放点検	1. 開放点検	1. 開放点検	1. 開放点検		1. 機能・性能試験 (ポンプ) 電割機会 fb)	1. 開放点檢	2. 防汚塗装	1. 分解点検(ポンプ)	1. 分解点検(電動機)	2. 簡易点検(翼油ユニット 作動油清海 申答曲)	1. 分解点検(ポンプ)	1 分解点檢 (雷動機)	2. 簡易点検(翼油コニット) 作事計法等再無理)	F製 価値は後日生/ 1.分解点検(ポンプ)	1 分解占格 (雷動機)	1: ソ/卉//// (电න/後)	国	1.分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検(電動機)	2. 簡易点檢 (潤滑油入替 44)	1. 分解点権 (ポンプ)		2. 簡易点檢(潤滑油入替 他)	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	2. 簡易点検(ストレーナ清掃)		1. 分解点検 (電動機)	2. 簡易点検(ストレーナ清	() () () () () () () () () () () () () (5 年后候	5. 国 30 元(文 (* * * * * * * * * * * * * * * * * *	1. 分解点検他	1. 分解点検他
実施数(機器名)	A1再熟蒸気止め弁	A 2 再熱蒸気止め弁	A 3 再熱蒸気止め弁	B 1 再熟蒸気止め弁	B2再熱蒸気止め弁	B 3 再熟蒸気止め弁	A1インターセプト弁	A 2 インターセプト弁	A 3 インターセプト弁	B1インターセプト弁	B2インターセプト弁	B3インターセプト弁	調速装置(非常調速装置)	復水、循環水系統	復水器		A循環水ポンプ・電動機			B循環水ポンプ・電動機			A復水器真空ポンプ・電動機				B復水器真空ポンプ・電動機			C復水器真空ポンプ・雷動機			A復水ポンプ・電動機			B復水ポンプ・電動機			学 事事・ ポハギ 年 男 ご	•			蒸気タービン [復水器] その他機器 1式	
機器又は系統名	蒸気タービン	[調速装置及び非常調速装置並びに調速 	装置で制御される主要弁」											蒸気タービン 「復水器」																														

備表 (() 内は適用する 影響診断井法													保全の有効性評価結果No. 36の反映																																				
検査名	蒸気タービン開放検査	気ター		蒸気タービン開放検査		蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査		蒸気タービン開放検査		2 次系容器検査	2 次系容器検査	2 次系容器検査	2 次系熱交換器検査			2次系熱交換器検査			2次系熱交換器檢查		of the state of th	2次系熱交換器檢查		and the state and the state of	2. 吹糸熟父擙츎棟金			2次系熱交換器検査			2 次系熱交換器検査			2次系熱交換器検査			2 次系熱交換器検査			2次系熱交換器検査			2 次系熱交換器検査			2 次系熱交換器検査		
前回実施時期 (定検回次)	24回	18回	18回	三0回	三02	23回	19回	19回	21回	21回	24回	23回	24回	22回	22回	17回	23回	23回	18回	24回	24回	IBEI	22日	日22	17回	23回	23回	18回	24回	24回	19回	23回	23回	18回	24回	24回	19回	20回	三02	三00	23回	23回	18回	24回	24回	19回	20回	20回	20回
今回の実施 計画	1	ı	ı	ı	ı	0	_	_	_	-	_	0	-	Τ	ı	ı	ı	ı	I	ı	ı	I	ı	ı	ı	ı	ı	Ι	ı	ı	Ι	I	I	-	ı	-	-	0	0	ı	ı	ı	ı	ı	ı	ı	0	0	I
保全方式 又は頻度	26M	130M	130M	130M	130M	26M	130M	130M	130M	130M	Z6M	26M	39M	65M	В	130M	65M	В	130M	W29	В	I 30M	65M	В	130M	WG9	В	130M	65M	В	130M	65M	В	130M	65M	В	130M	65M	В	130M	W29	В	130M	65M	В	130M	65M	В	130M
保全の 重要度	岠	恒		恒		画	硘		喠		喠	車	恒	軍			咂			恒		1	匣		1	Œ			恒			恒			恒			喠			恒			硘			恒		
点検及び試験の項目	1. 開放点檢	1. 開放点檢	2. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 非破壞試験	1. 開放点検	1. 開放点檢	2. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 非破壞試験	1. 開放点検	1. 開放点檢	1. 開放点検	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 備スい試験	3. 半板搬式票	1. 開放点検 5. 法整	2. 備えい武頻	3. 非破壞試験	1. 開放点筷	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壊試験	1. 開放点検	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点検	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点檢	2. 漏えい試験	3. 非破壊試験
実施数(機器名)	3 A 湿分分離加熱器 胴側	<		3 A 湿分分離加熱器 管側 (調速機側)		3 B 湿分分離加熱器 胴側	3 B 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)		3 B 湿分分離加熱器 管側 (調速機側)		A脱気器	B脱気器	脱気器タンク	第1 A低压給水加熱器			第1B低圧給水加熱器			第10低圧給水加熱器		And the state of t	第2 A 仏圧給水加熱器		May Lot 1 - 1 1 - 1 1 1 1 1 1 1	第 2 B 位 上 給 水 加 熟 稀			第2C低圧給水加熱器		nn 197 - 197 - 197 - 197	第3A供压給水加熱器			第3B低圧給水加熱器			第3 C低圧給水加熱器			第 4 A低圧給水加熱器			第4B低圧給水加熱器			第40低圧給水加熱器		
機器又は系統名	Г	[蒸気タービンに附属する熱交換器]									•									,								1				*			. 3														

編表 () 内内()) () () () () () () () () (欧珊									定期事業者檢查起動後			保全の有効性評価結果No. 37の反映					保全の有効性評価結果No. 38の反映												保全の有効性評価結果No. 39の反映			保全の有効性評価結果No. 40の反映			保全の有効性評価結果No. 41の反映		
檢查名	9 次系數亦檢裝給亦	ログハボベ人が相当を重		2次系熱交換器檢查			2 次系熱交換器検査			蒸気タービン附属設備機能検査		2 次系ポンプ機能検査		2 次系ポンプ分解検査			2 次系ポンプ機能検査		2 次系ポンプ分解検査																			
前回実施時期 (定検回次)	19日		19日	19回	19回	18回	23回	23回	18回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	23回	23回	23回	23回	24回	三02	22回	24回	24回	24回	23回	24回	20回	24回	22回	21回	24回	23回	22回	24回	24回	22回	24回
今回の実施 計画	ı		1 1	1	1	I	I	ı	ı	0	1	I	ı	ı	0	0	0	I	0	0	ı	ı	0	ı	0	ı	0	I	0	ı	ı	0	_	_	0	I	1	0
保全方式又は頻度	130M	T COM	130M	130M	В	130M	W29	В	130M	ΙF	В	В	52M	78	13M	В	В	25M	76М	13M	130M	156M	13M	52M	13M	52M	13M	130M	13M	104M	104M	13M	104M	104M	13М	104M	104M	13M
保全の重要度	恒	Ī		恒		•	峘		•	恒	恒				•	恒					峘			硘		恒		峘		恒			恒			框		
点検及び試験の項目	1 開粉占給	1: 四次////////////////////////////////////	 備入り、以票 非協博計略 	1. 開放点検	2. 漏えい試験	3. 非破壞試験	1. 開放点検	2. 漏えい試験	3. 非破壊試験	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 雷動機会 fc)	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	1. 機能・性能試験 (駆動 タービン)	2. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (駆動タービン)	3. 簡易点検(オイルフィル タ取替)	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	1. 機能・性能試験 (駆動ターアン)	2. 分解点検 (ポンプ)	 分解点検(駆動タービック) 	3. 簡易点検(オイルフィル タ取替)	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	 6 6 6 6 7 6 7 8 9 1 1 2 4 4 5 6 7 7 8 9 9	1. 分解点検	2. 簡易点検(ストレーナ点 検)	1. 分解点檢	2. 簡易点検(ストレーナ点 給)	1. 分解点検	 6 6 6 7 6 7 8 9 1 1 2 4 4 5 6 7 7 8 9 9	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	 1. 簡易点檢(潤滑油入替他) 	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	 1. 簡易点檢(潤滑油入替他) 	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	 1. 簡易点検(潤滑油入替他)
実施数(機器名)	第6 4 真圧給水加敷器			第6 B高圧給水加熱器			グランド蒸気復水器			給水、復水系統	Aタービン動主給水ポンプ					Bタービン動主給木ポンプ					電動主給水ポンプ・電動機			4 タービン動主給水ブースタポンプ		Bタービン動主給水ブースタポンプ		電動主給水ブースタポンプ		A復水ブースタポンプ・電動機			B復水ブースタポンプ・電動機			C復水ブースタポンプ・電動機		
機器又は系統名		派ペペーコンプを開かれ機を被別		##			<u>v</u>			蒸気タービン 「蒸気タービンに附属する給水ポンプ及						<u>m</u>								A		B		電		V			<u>B</u>					

機器又は系統名	実施数 (機器名)		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備お (() 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン	A復水脱塩塔		1. 開放点檢	喠	130M	I	21回	2 次系容器検査	
	B復水脱塩塔		1. 開放点検	重	130M	ı	22回	2 次系容器検査	
•	C復水脱塩塔		1. 開放点検	恒	130M	-	23回	2 次系容器検査	
	D復水脱塩塔		1. 開放点検	喠	130M	1	24回	2 次系容器検査	
	医復水脱塩 塔		1. 開放点檢	恒	130M	С	15回	2次系容器檢查	
	復水タンク		1. 開放点検	咂	130M	1	17回		
			2. 簡易点檢(通気管金網 海場)	1	13M	0	24回		
		北	1. 分解点検他		65M~260M	0	24回		一部先行実施
	給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理 設備」その他機器		1. 分解点検他	故	13M~260M	0	24回		一部BMあり一部FMキの事権
	+	社	1. 開放点檢	恒	13М	0	24回	蒸気タービン開放検査	BP/1-1 分が正
[蒸気タービンに附属する管等]			2. 非破壞試験	1	肉厚管理指	0	24回	蒸気タービン開放検査	
•	2次系配管他(上記以外の主蒸気系統・給)	玉	1. 外観点検	画	100%/10Y	0	24回	2 次系配管検査	定期事業者檢查起動後
·	水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・企め水系・への他系統)※ ※配管の向、ポン、繋交換器、弁等を含い、はのは、数ををあるが、一般をあるが、のののでは、ポン、繋交換器、弁等を含い、の組り始のなり。		2. 非破壊試験	・ 色	肉厚管理指 針による	0	24回	2 次系配管検査	
		15個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	恒	1F	0	24回	タービンバイパス弁機能検査	
			2. 分解点検	1	26M~52M	0	24回		
			3. 簡易点検(グランドペッ キン取替)		79	0	24回		
	タービンバイパス弁駆動部	15個	1. 分解点検	軍	13M	0	24回		
			2. 簡易点檢(特性試験)		13M	0	24回		
	蒸気タービン [その他設備] その他の弁	I共	1. 機能・性能試験	南·低	В	0	24回	1 次系安全弁検査 2 次系弁検査 2 次系安全弁検査	
			2. 分解点檢	1	104M~130M	0	24回	1 次系逆止弁検査 2 次系弁検査	
			3. 簡易点検(グランド入 萃)	1	130M	I	20回		
•	蒸気タービン [その他設備] その他の弁 1	松	1. 機能・性能試験	恒	В	0	16回	2次系弁検査	
	駆動部		2. 分解点檢		182M	0	16回		
	1	2	3. 簡易点検(特性試験)	1	52M	(24回		Array Array (Mary Park) and the Control of the Cont
	然以ターアン「かの有販舗」かの有販部 」	KI.	1. 分雕点模他	Œ!	13M~260M) (24回		保全の有効性評価結果No. 42, 43の反映
			1. 分解点検他	故	12M~260M	0	24回		一部BMあり 一部先行実施
	[補助ポイラー] 「	പ്പ	1. 開放点検	向	120M%1	0	37 <u>=</u> % 2	補助ポイラー開放検査	先行実施 ※1:前回点検後の運転時間が4,000時間、 又は起動回数が120回に達すると見込まれる 時期までに実施する。 ※2:ポイラー辞絵回次、今回は38回定権
	ボイラーに付属する通風設備 ボイラーに付属する衝撃		1. 開放点檢		117M~240M	0	33回※		先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検
	油燃烧用機器		2. 性能試験	1	B <u>%</u> 1	0	37回※2	補助ボイラー性能検査 補助ボイラー設備検査	_ <u>=</u> #
			o Lei Alash BanA	1	į	(
			2. 性能試験 - 4 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	- 1	117	0	37E**		先行実施 光子 一定装回券 今回は38回近装
<u> </u>			3. 間易点検(クフンドハッ キン取替他)		12M~120M	Э	3/回※		是 俄国公,
	【補助ボイラーに属する燃料設備】 燃料運搬設備に係る油の輸送管 熱料時藤設備に係る油クかク	Ħ	1. 開放点檢	펎	120M	I	※ 回 98		先行実施 ※ポイラー定検回次、今回は38回定検
					1	1			

備考 (()内は適用する 設備診断技術)		→※ホイフ一圧領回次、今回は38回正領	先行実施 ※ボイラー定権回次、今回は38回定権		21回施設定検時に設置	プラント運転中又は定期事業者検査停止中				※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて ま施	(振動診断: 1 X (対象:電動機)) 』に、1 治計士 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	- ノフント運転中人は正規事業有棟鱼停止中		9. 厄索男が妻孝米トで沿走		プラント運転中又は定期事業者検査停止中						※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ ア告告	く 美加 21回拡設 定検時 に設置	21回施設定期検査より追加	21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	プラント運転中又は定期事業者検査停止中							
検査名							計測制御系監視機能検査			浸水防護設備検査			浸水防護設備検査	证少氏维沙(进分米	(文小的) 曖昧(第1)							火災防護設備検査			1 次系弁検査		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査
前回実施時期 (定検回次)	※回08	※回28	37回※	24回	_	24回	24回	24回	24回	24回	24回	22回	23回	23回	18日	24回	24回	24回	24回	24回	24回	_	-	_	_	23回	24回	24回	21回	23回	24回	三0回	21国
今回の実施 計画	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0	0	1	ı	1	0	0	0	1	0	0	_	I	1	I	0	0	0	I	I	ı	I	I
保全方式 又は頻度	$120M\sim\!\!240M$	12M	$12\mathrm{M}{\sim}240\mathrm{M}$	1F	10Y	11	13M	1F	1F	 B %	11	CBM	В	130M	182M	$1F{\sim}8F$	13M~208M	$39M\sim156M$	$52M{\sim}156M$	$26M \sim 104M$	$13M\sim\!\!240M$	B ※	10F	6F	Z60M	$5Y{\sim}10Y$	1F	1F	130M	130M	130M	130M	130M
保全の 重要度	负		故	恒	画	框	框	軍	斑	魚	负		负	Ā	1	高·低	高・低	岠	恒	恒	低	斑			知	画·低	恒	恒	恒	框	恒	恒	诓
点検及び試験の項目	1. 開放点検	2. 簡易点檢(內部清掃)	1. 分解点檢他	 外観点検 	 外観点検 	 外観点検 	1. 特性試験	1. 機能·性能試験	 機能・性能試験 み細点給 	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 電車機会が	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	1. 機能・性能試験	 分解点検 機能・体給 	1. 7% 記 - 14 記 14% 表 2. 分解点檢	1. 外観点検	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 分解点検他	1. 機能・性能試験	2. 分解点検(ポンプ)	2. 分解点検(電動機)	1. 分解点檢	1. 分解点檢他	1. 機能・性能試験	1. 機能・性能試験	1. 分解点檢	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検
	紅		紅	玉	1六	냅	17	5台	社 I						741	13	玉	社	1注	1月		5台			<u></u>	牡	24	45台	No. 1, 8	No. 2, 3, 9, 10	No. 4, 5, 11, 12	No. 6, 13	No. 7, 14
実施数(機器名)	 補助ボイラーに属するばい煙処理設 無】	備】 ・ 補助ボイラー集じん機	補助ボイラー [その他設備] その他機器	浸水防止蓋	伝播防止堰	木쑙扉	2 次系計測制御装置	津波監視カメラ	蒸気漏えい検知システム	湧水ピット排水系統	湧水サンプポンプ (吐出ラインを含む)		その他発電用原子炉の附属施設[浸水防護 1式 共乳 7 会場 6 会	周段」かの旬の才 2000年の10日の10日の日本記 コッド編	この同名も石水 デジアは 高温 以になべの 政権 [を 1 を 2 の他の 弁駆動 部	その他発電用原子炉の附属施設[浸水防護 施設]その他機器	発電機設備	変圧器設備	しや断器	その他発電用原子炉の附属施設「常用電	源設備」その他機器	消火水バックアップポンプ・電動機			煙等流入防止装置	その他発電用原子炉の附属施設「火災防 簿施設」その他機器	アイーガケ浴電機	安全注入信号及び格納容器スプレイ信号 発信時にディーゼル発電機に電源を求め る機器	A ディーゼル機関のシリンダ (ピストン、 ピストン連接棒、シリンダカバー、	クランク軸)			
機器又は系統名	補助ボイラー			その他発電用原子炉の附属施設	[浸水防護施設]												その他発電用原子炉の附属施設	[常用電源設備]				その他発電用原子炉の附属施設「よ※吐罐控制」	「プインペラン記載が西京又 」				その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]						

Ю																				Y 検査停止中	對檢査停止中	觜検査停止中	對檢查停止中	_
備表 () 内は適用する 動機参断技術)																21回施設定検時に設置				プラント運転中又は定期事業者検査停止中	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
検査名	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用ディーゼル発電機分解検査	非常用予備発電機付属設備検査	非常用予備発電機付属設備検査	非常用予備発電機付属設備検査	非常用予備発電機付属設備検査	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検 査				可搬型代替電源設備検査	可搬型代替電源設備検査	可搬型代替電源設備検査		
前回実施時期 (定検回次)	22回	24回	19回	21回	21回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	I			24回	24回	24回	24回	Z4 III
今回の実施計画	ı	I	0	ı	I	I	0	I	0	0	0	0	0	0	0	0	I			0	0	0	0	_
保全方式 又は頻度	130M	130M	130M	130M	130M	Z6M	Z6M	Z6M	Z6M	13M	13M	IF	$13M\sim78M$	$1F{\sim}10F$	13M	1F	130M			11	11	11	11	13M~208M
保全の 重要度	框	恒	哐	恒	恒	硘	恒	框	恒	恒	恒	恒			画 色	恒				峘	軍	軍	恒	Œ
点検及び試験の項目	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点検	1. 分解点檢	1. 分解点検	1. 分解点檢	1. 分解点検	1. 外観点検	2. 非破壞試験	3. 機能・性能試験	4. 特性試験	1. 機能・性能試験	2. 取替他			1. 機能・性能試験	1. 機能・性能試験	1. 機能·性能試験	機能点検公知 上於 	 力
	No. 1, 8	No. 2, 3, 9, 10	No. 4, 5, 11, 12 1	No. 6, 13	No. 7, 14	1	1	1	1	1	1	社	2	(e)	Б	2合 1	2				3台 1			T T
実施数(機器名)	Bディーゼル機関のシリンダ(ピストン アストン浦採練 ションダカバー	ハーベーン年収中、ソンアングランクランク軸)				Aディーゼル機関の吸気弁	Bディーゼル機関の吸気弁	Aディーゼル機関の排気弁	Bディーゼル機関の排気弁	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	ディーゼル発電機付属設備				空冷式非常用発電装置				可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	緊急時対策所用電源車	電源車	AVAILI)— mesenmesemment (mesenmenten)	作用用調販設備「非用用用用報買装置」かり
機器又は系統名	その他発電用原子炉の附属施設 「非党田経會批署」					P	<u> </u>	Ą	ш	d.	<u> </u>	117				M				∎ I¤́	が	(表世)	<u>~ [5</u>	<u> </u>

機器又は系統名	実施数(機器名)		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (()内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設	直流電源装置蓄電池		1. 機能・性能試験	恒	1F	0	24回	直流電源系機能検査	
「その他の電源装置」 		(80個/組)	 機能・性能試験(作動機能) 		ΙΕ	0	24回	直流電源系作動檢查	
			2. 簡易点検(充電)	1	2国/Y	0	24回		プラント運転中
	計器用電源	44	1. 機能・性能試験	恒	IF	0	24回	インバータ機能検査	
		I	 1. 簡易点檢(特性試験) 	ì	13M	0	24回	TANGE OF THE PARTY	
	可搬型バッテリ(加圧器逃がし弁用)	2個	1. 機能・性能試験	軍	1F	0	24回		
	The feet also the control of the con		 外観点検 ・ 操作 は 独当 M 	1	1F	0	24回		
	回機式臀消器	2個	 機能・性能試験 の 処細 占 協 	Œ	IF 11	00	24回		
	非常用電源設備 [その他の電源装置] そ の他機器	1天	 7. Purity 1. 分解点検他 	恒	6M~180M	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
			1. 分解点検他	低	$13M\sim180M$	0	24回		
土木建築設備	原子炉建屋	17	1. 外観点検	画 会	1F	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	外周建屋	14	1. 外観点検	恒	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	中間建屋	11	1. 外観点検	恒	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	原子炉補助建屋	1	1. 外観点検	框	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取扱建屋	11	1. 外観点検	恒	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	制御建屋	14	1. 外観点検	恒	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取替用水タンク建屋	私	1. 外観点検	軍	IY	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	ディーゼル発電機建屋	11	1. 外観点検	恒	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	1・2号機原子炉補助建屋	11	1. 外観点検	恒	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	固体廃棄物貯蔵庫	14	1. 外観点検	魚	11	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	取水口設備	1六	1. 外観点検	恒	$1Y{\sim}1F$	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
敷地内土木構造物	連続地中壁	宝	1. 外観点検	负	1Y	0	24回		ブラント運転中又は定期事業者検査停止中
	抑止ぐい	松	1. 外観点検	魚	ΙΥ	0	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発 電装置を除く)	び非常用予備発	_	恒	1F	0	24回	総合負荷性能検査	定期事業者檢查起動後
非常用取水設備 [取水設備]	海水取水トンネル	1天	1. 外観点検	框	4Y	-	23回		

クラス1機器供用期間中検査 供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査

B-A 下部胴の長手浴接継手 株養の類面 接着方法 検査の顧問 設備整数 株養方法 検査の顧問 機業方法 検査の顧問 機業方法 検査の顧問 機業方法 検査の顧問 機業方法 検査の顧問 機業方法 核素方法 表しの。 B-B 下部胴と下部所との開発接継手 株 積	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008**1	.008‰1			順	第一条	無 3 。 。	被 本	計 画 (7ヵ年)	<u></u>			備 考
1.102 B-A 下部側の長手沿接継手 体 類 可能能固 3 水中UT 可能能固 3.105 B-C 上部側と上がジンジンとの沿接継手 体 類 可能能固 3 水中UT 55% TOO%	ጎ	75 W W T + 47	; ; ;	検査の範囲		; ; ;	検査の範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
B-A 下部側の長手浴接線手 体積 高い 3 水中UT 可能範囲 B-B 下部側の長手浴接線手 体積 5% 1 水中UT 5% 下部側と下部線板との 開発機構手 下部側との周浴接線手 体積 5% 1 水中UT 5% トランジンコンリングと下部線板との 開浴接継手 株積 3%2 1 水中UT 5% トランジンコンリングと下部線板との 開浴接継手 株積 1000% 1 水中UT 5% トランジンコングとの海接継手 株積 1 水中UT 100% トランジンコングとの海接継手 株積 1 水中UT 可能範囲 ト型が外入口管台内面の丸みの部分 株積 4	П	使 鱼对雾固即	検 館力法	及び程度		検 食力法	及び程度	第23保全サイクル	_	第24保全 サイクル	保全 クル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
B-G 上部開上下部開上の用溶接機手 体 積		3の長手溶接継手		可能範囲各100%	ღ	水中して (内面)	可能範囲 各100%		ı	可能範囲 各100%					
B-B 下部間とトランジションリングとの 体積 5% 1 水中UT 5% トランジションリングと下部競技との 体積 5% 1 水中UT 5% トランジションリングと下部競技との 体積 5% 1 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と順との溶接離手 体積 4 相能範囲 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と順との溶接離手 体積 4 有 100% 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と間との溶接離手 体積 4 有 100% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と両の丸みの部分 体積 4 有 100% 3 水中UT 可能範囲 B-G-I 冷却材口口管台内面の丸みの部分 体積 4 <td>上部朋</td> <td>aと下部胴との周溶接継手</td> <td></td> <td>5 % %2</td> <td>٦</td> <td>水中∪⊤ (内固)</td> <td>5 %</td> <td></td> <td>1</td> <td>可能範囲100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	上部朋	aと下部胴との周溶接継手		5 % %2	٦	水中∪⊤ (内固)	5 %		1	可能範囲100%					
B-C 上部隔と上部扇石ランジとの溶接継手 体積 5% 1 水中UT 5% B-C 上部隔と上部扇フランジとの溶接継手 体積 可能範囲 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と周との溶接維手 体積 可能範囲 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と周との溶接維手 体積 有1000% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台内面の丸みの部分 体積 有1000% 3 水中UT 可能範囲 B-F 冷却材入口管台内面の丸みの部分 体積 有1000% 3 水中UT 可能範囲 B-F 冷却材口管台内面の丸みの部分 体積 有1000% 3 水中UT 有100% B-G-I 小期人口管台内面の丸みの部分 体積 有1000% 3 水中UT 有100% B-G-I 小期材入口管台内面の丸みの部分 体積 41000% 3 水中UT 有100% B-G-I ナット イ類 41000% 3 水中UT 可能範囲 B-G-I ナット メート イブーン スタッドボルト 本面 100% B-G-I フッシャ 大田		ランジションリング		5 % %2	٦	水中して (内囲)	5 % %2		1	可能範囲100%					
B-C 上部開と上部開フランジとの溶接継手 体積 可能範囲 1 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と胴との溶接継手 体積 各1000% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台と胴との溶接継手 体積 各1000% 3 水中UT 各1000% B-D 冷却材入口管台と両の丸みの部分 体積及び 可能範囲 3 水中UT 各1000% B-F 冷却材出口管台とセーフエンドの 株積及び 可能範囲 3 水中UT 各1000% B-F 冷却材出口管台とセーフエンドの 表面 日000% 5 水中UT 41000% B-G-I ナット VT-I 1000% 5 WALE) 6100% B-G-I スタッドボルト 体積 1000% 5 UT 1000% B-G-I アッシャ VT-I 1000% 5 UT 5 B-G-I アンシャ VT-I VT-I VT-I 25%	トラン周溶料	ョンリングと下部鏡板と		5 % %2	-	トロロオ (国内)	5 % **2		ı	可能範囲 100%					
B-D 冷却材入口管台と胴との溶接継手 体積 有100% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材出口管台と胴との溶接継手 体積 4100% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材出口管台と胴との溶接継手 体積 4100% 3 水中UT 可能範囲 B-F 冷却材出口管台内面の丸みの部分 体積及び 4100% 3 水中UT 可能範囲 B-F 冷却材出口管台内面の丸みの部分 体積及び 4100% 3 水中UT 可能範囲 B-F 冷却材出口管台内面の丸みの部分 体積及び 4100% 3 水中UT 可能範囲 B-G-1 ナット 2 4 <td></td> <td>フランジ</td> <td></td> <td>可能範囲 100%</td> <td>۳</td> <td>水中∪⊤ (内国)</td> <td>可能範囲100%</td> <td></td> <td>1</td> <td>可能範囲 100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>		フランジ		可能範囲 100%	۳	水中∪⊤ (内国)	可能範囲100%		1	可能範囲 100%					
B-D 冷却材出口管台と胴との溶接継手 体 積 合100% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台内面の丸みの部分 体 積 合100% 3 水中UT 合100% B-D 冷却材入口管台内面の丸みの部分 体 積 合100% 3 水中UT 合100% B-F 冷却材入口管台とセーフエンドの 株積及び 有能範囲 溶接継手(呼び径100A以上) 表面 合100% 3 水中UT 可能範囲 A中UT 合100% B-G-1 ナット 大中UT 有60% 3 水中UT 可能範囲 A中UT B-G-1 オント 表面 合100% 5 水中UT 可能範囲 A中UT B-G-1 オット 大中UT 100% B-G-1 フッシャ 大中UT 100% B-G-1 フッシャ 大中UT 100% B-G-1 フッシャ		台と胴との溶接継		可能範囲各100%	ღ	水中して (内囲)	可能範囲 各100%		1	ABC 可能範囲 各100%					
B-D 冷却材入口管台内面の丸みの部分 体積 各100% 3 水中UT 可能範囲 B-D 冷却材入口管台とセーフエンドの 株積及び 可能範囲 3 水中UT 可能範囲 B-G-I 冷却材入口管台とセーフエンドの 表面 各1000% 3 水中UT 可能範囲 B-G-I 冷却材入口管台とセーフエンドの 表面 各1000% 3 水中UT 可能範囲 B-G-I ナット ・ マーフエンドの 株積及び 百能範囲 3 水中UT 可能範囲 B-G-I ナット ・ マーブエンドの 株積 100% 58 原元い時文は 58 B-G-I オット ・ マーデボルト 株積 100% 58 UT 58 B-G-I フッシャ ・ 大ルト ・ 大田 100% 58 UT 58 B-G-I フッシャ ・ 大ルト ・ 大田 100% 58 UT 58 B-G-I フッシャ ・ 大田 100% 58 WT-I 100% B-G-I フッシャ ・ 大田 100% 58 WALLFI 100% <tr< td=""><td></td><td>オ出口管台と胴との溶接継手</td><td></td><td>可能範囲各100%</td><td>ღ</td><td>水中して (内固)</td><td>可能範囲 各100%</td><td></td><td>1</td><td>ABC 可能範囲 各100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr<>		オ出口管台と胴との溶接継手		可能範囲各100%	ღ	水中して (内固)	可能範囲 各100%		1	ABC 可能範囲 各100%					
冷却材出口管台内面の丸みの部分 体積及び 表面 可能範囲 各100% 3 水中UT (内面) 可能範囲 各100% A 中UT (内面) 可能範囲 各100% A 中UT (内面) 可能範囲 各100% A 中UT (内面) 可能範囲 各100% A 中UT (内面) 100% A 中UT (内面) 100% A 中UT (内面) 100% A HUT (内面) 100% A HUT (同る) A HUT (同る) 100% A HUT (同る)		1入口管台内面の丸みの部分		可能範囲各100%	ო	水中∪⊤ (内固)	可能範囲 各100%		1	ABC 可能範囲 各100%					
B-G-1 大型材入口管台とセーフエンドの 溶接機手 (呼び径100A以上) 体積及び 表面 表面 表面 各100% 可能範囲 3 PT PT PT PT PT PT PT PT PT PT PT PT PT		†出口管台内面の丸みの部分		可能範囲各100%	ღ	水中∪⊤ (内固)	可能範囲 各100%		1	ABC 可能範囲 各100%					
B-G-1 大中山工 治療継手(呼び径100A以上) 体積 100% 58 水中山工 内面) 大中山工 台100% 可能範囲 台100% 100% B-G-1 ナット VT-1 100% 58 (漏えい時Xは 取水し時) 100% 100% B-G-1 スタッドボルト 体積 100% 58 UT 100% B-G-1 アンジネジベのネジ部 体積 100% 58 UT 100% B-G-1 フッシャ VT-1 100% 58 (漏えい時Xは 取水し時) 100% 1		レ ト ス ス	体積及び 表 面	可能範囲 各100%	т	大 ○ (国国) □ □ □	可能範囲 各100%	A (PT)	1	ABC (UT) 可能能图 各100% B (PT) 100%		C (PT)			
B-G-1 ナット VT-1 100% 58 (漏えい時メは 58 100%		オ出口管台とセーフエンドの 飺手(呼び径100A以上)	体積及び 表 面	可能範囲 各100%	3	水中して (内面) PT			1	ABC (UT) 可能範囲 各100% A (PT) 100%		B (PT) 100%		C (PT)	
B-G-1 スタッドポルト 体積 100% 58 UT 58 B-G-1 調フランジネジ穴のネジ部 体積 100% 58 UT 58 B-G-1 ワッシャ VT-1 100% B-G-1 ワッシャ VT-1 100% B-G-1 フッシャ ジー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ナッ	,	T –	0 0		VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	100	1 3	1	17		1 0		18	
B-G-1 間フランジネジ穴のネジ部 体 積 100% 58 UT 100% 58 B-G-1 ロッシャ VT-1 100% 58 (漏えい時又は 100% 1 取外し時) 100% 1 100%	Κ	ボボン		0		F 5	100		1	1 7		1 0		1 8	
B-G-1 フッシャ VT-1 100% 58 (漏えい時又は 58 1 100%	胴刀			0		F O	0 0		1	2 0		1 9		1 9	
201	D	+,	⊢	0 0		VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	0 10		ı	17		1 0		18	
トート 25% 3 (満人で) ストーー 25% 3 (満人で) 本人は 13 (単人) 13 (単人) 13 (単人) 13 (単人) 13 (単人) 14 (単人) 14 (単人) 15 (単一) 15 (単人) 15 (単一)	B-G-2 4-4	ーマンカップリング	V T - 1	2 5 %	ო	VT-1(漏えい時又は 取外し時)	25%		1			F			

1. 原子炉容器(2,	-容器(2/	/2)		•											
光	発電用原子力設備規格	設備規格 維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008**1	1008‰1			咂	第一	第 3 号	機検	計 画 (7ヵ年)	(<u>+</u>			華
四路	= 'r ሁ ቶ	出 學 保 华 华 华	格本古	検査の範囲	亞佛教	格各方法	検査の範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
r H			大量が	及び程度	XX EE	A C E X	及び程度	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	報全 7.ル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
61. 10	G-P-1	容器内部	V T – 3	全範囲の 7.5% 各検査時期毎 ※2	-	V T – 3	可能範囲 100% 各検査時期毎		ı	可能範囲100%			可能範囲 100%		
		上部炉心支持構造物の内部取付物	V T – 3	全範囲の 7.5%	-	V T – 3	可能範囲 100%		1	可能範囲100%					
61.40	G-P-1	下部炉心支持構造物の内部取付物	× − − 3	全範囲の 7.5%	-	V T – 3	可能範囲 100%		1	可能範囲 100% 1					
		炉心内部取付物	V T – 3	全範囲の 7.5%	4	V T – 3	可能範囲 100%		1	可能範囲 100% 4					
5	9	上部炉心支持構造物	V T – 3	全範囲の 7.5%	-	V T – 3	可能範囲 100%		1	可能範囲 100%					
	7-1-5	下部炉心支持構造物	V T – 3	全範囲の 7.5%	-	V T – 3	可能範囲 100%		1	可能範囲100%					
01	c	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	11-2	^	最外周20 (全52)	H C	最外周の 25% 5		1				വ		
<u>+</u>	5	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	表面	2 2 %	最外周23 (全55)	<u>.</u>	最外周の 25% 6		ı	в			ဇ		
B15. 10	В-Р	压力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	I	V T – 2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	1		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
F1. 41	F-A	支持構造物 (サポートブラケット、 サポートシュー、基礎ボルト)	V T – 3	2 5 %	9	V T — 3	25%		1	A H T			C H T T		
※1:NRA5 申等)###	大書「実用: 3制亜佐1-15	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の 昨年、	技壊を引き起こ /会む 元年9日	- す亀裂その他	の欠陥の解	解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。 昨中の社画亦画)よ晩末3~9000年7月1日と11発性担故「PME C M41-9019/3017を選出する	3月5日原規技	発第1906051号	の改正版ははは	(以下、亀裂角 r v NA1 2013	解 ₩NRA文書改	(正という。) 楽曲ナブ	の施行及び公開会合「	3開会合「 (原	(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程

度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5% 各検査時期毎」は「全範囲の7.5%」と誘み替える。

纸	光电吊原十乙段偏风俗	准计校准(2000年校訂成)				ī		, ,	- <u>₹</u>	<u>=</u>	i I			三
1	= 1° -	4. ************************************	; + * \$	検査の範囲	华世,200	;; + * *	検査の範囲	2018年	2019年	2020年 20	2021年 20	2022年 202	2023年 2024年	
日番号	リロナロ	快 宣刈	(検査力法)	及び程度	設慵剱	(検査力法	及び程度	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第26 サイクル サイ	第26保全 第27保全 サイクル サイクル	[(4) X
11	0	上部胴と上部鏡板との周継手	体積	2 %	1	LΩ	2%		-	2 %				
-	<u>a</u>	下部胴と下部鏡板との周継手	体積	5%	-	⊢∩	5%		1				5%	
10	۵	上部胴の長手継手	体積	各10%	2	⊢⊃	各10%	A 1 0 %	ı		m	1 0 %		
71.	<u>.</u>	下部胴の長手継手	体積	各10%	2	LΩ	各10%		-	A 1 0 %		B 1	% 0	
B2. 13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	本	2%	-	F 0	2%		1		۵,	5%		Ī
B3. 30	B-D	管台と容器との溶接継手	本	25%	9	۲	2 5 % 2		ı	1 (サー ン管台)			1 (スプレイ) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	I ₉
B3. 40	B-D	管台内面の丸みの部分	本	25%	9	۲	2 5 % 2 2		1	1 (サー ン簡む)			1 (スプレイ)	I ₉₀
		管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)												ı
		加圧器逃がし弁管台			-				1					
B5. 40	B-F	加圧器安全弁管台	体積及び	i C	ო	⊢ ⊃	2 2 2		1					
		加圧器スプレイ管台	根面	n	٢	⊕	a	-	ı					
		加圧器サージ管台			٦			-	ı					
B7. 20	B-G-2	マンホールの取付けポルト	V T - 1	25%	16	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	2 5 % 4	1	-	-			2	
B8. 20	В-Н	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7. 5%	1	Ь	7.5%		1	7.5%				
B15. 20	B-P	压力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	I	V T - 2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	1	- <u>-</u>	可能範囲 可 100% 10	可能範囲 可能 100% 10	能範囲 可能範囲 00% 100%	
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト)	V T – 3	2 5 %	1	V T – 3	25%		ı			-		

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) 項目番号 カテゴリ 検査対象箇所 B2.40 B-B 管板と水室鏡との溶接継手 B3.60 B-D 冷却材入口管台の内面の丸みの部分、冷却材出口管台の内面の丸みの部分、溶却材出口管台の内面の丸みの部分等 第3.60 B-D 冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手 所知材出口管台とセーフエンドの溶接機 手、対却材出口管台とセーフエンドの溶接機 所知材出口管台とセーフエンドの溶接機 所知材化口管台とセーフエンドの溶接機 所知材出口管台とセーフエンドの溶接機 所知材出口管台とセーフエンドの溶接機	JSME S NA1-2008※1 検査方法 検査 及Z 体 積 2	28※1 検査の範囲 及び程度 1 # か		順	浜発電所	無	如 秦	蒼	画 (7ヵ年)			
カテゴリ B-B B-D B-D	検	検査の範囲及び程度					3					補 老
B-B B-D B-F	(本) (**)	及び程度・サール・サール・サール・サール・サール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カ	李州元	# # *	検査の範囲	2018年	2019年	2020年 202	2021年 2022年	年 2023年	車 2024年	
8-B B-D B-F		=	DX 17用 3X	快里刀法	及び程度	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	第25保全 サイクルー	3全 第26保 ル サイク	第26保全 第27保全 サイクル サイクル	
B-D B-F		- 2 5 8 8 8 8	ဇ	ΤO	1基の 25%		-	% 6 O	8	% 8	%8 O	
B-F		1基の 25%	ø	LΟ	1基の 25% 1		ı		с 1	П		
	能 体積及び 表 面	1基の 25%	9) (L	1基の 25% 1	ል አם 1 (РТ)	1	АДП 1 (UT) (ECT) (*I)				
B7.30 B-G-2 1次側マンホールの取付けボルト	V T — 1	1基の 25%	9 6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1基の 25% 8	с 3	1		С. 2	п суп	г	
B15.30 B-P 压力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	ı	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	ı	回 10	可能範囲 可能範囲 100% 100%	5囲 可能範囲 9% 100%	囲 可能範囲 % 100%	
支持構造物 「表持脚、ペースプレート、基礎ボル」 VT-3 1基の F1.41 F-A (支持脚、ペースプレート、基礎ボル VT-3 2.5%	V T – 3		1 2	1基の VT-3 25% - C1 1	1基の 25% 1		1					

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906061号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶 接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 (*1)代替試験として内面ECTを合わせて実施

4. 配管(1	1/3)														
光	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008***	2008※1		恒	浜発電	光	3 号 機	被	計画((7ヵ年)			備考
年 日 末	= 1 1 +	坦桑多特学科	*************************************	検査の範囲	* 地心	# # #	検査の範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
頃日番ち	F R	· 医国际 (文) 国际	(体) は			快軍力法	及び程度	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全サイクル・	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
	c c	圧力保持用ポルト締付け部 (直径50mm以下)													
67. 50	2-n-g	1次冷却材ポンプ封水注入ラインA, B, Cループ	V T - 1	25%	3	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	25%		-					C 1	
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)													
		1次治却材管 (27,5INID,836,00mm,29INID, 31INID) A, B, Cルーブ	本	25%	4 6	μn	25%	რ 4	1	B A 1		4 M O	0 B	0 A	
		加圧器サージ管 (148,355.60mm)	体積	25%	7	LΩ	25% 2		1	-				-	
		加圧器安全弁ライン (68) A, B, Cライン	体積	25%	3.0	ΤO	25% 8	A 1 B 1	-	A B			C 2	C A	
		加圧器逃がし弁ライン (68)	体積	25%	1 2	ΤO	25% 3		-	-		-	-		
B9. 11	B-J	加圧器スプレイライン (48,144,30mm) A, Cループ	体積	25%	5 0	ΤO	25% 13	A 2	-	A 2 C 1		A 2	A 2	4 O	
		加圧器補助スプレイライン (48)	体積	25%	٦	LΩ	F		-					-	
		余熱除去ポンプ入ロライン (128) B, Cループ	体積	25%	1 4	LΟ	25%	ш О Г Г	1	ш O		m 0	0 D	C B	
		S I S番圧注入ライン (128,318,50mm) A, B, Cループ	体積	25%	3 2	LΟ	25% 8	4 B	1	40		0	B 1	4 M	
		S I S高温៙低圧注入ライン (68, 165, 20mm) A, Bループ	体積	25%	3.0	LΩ	25% 8	A 1	-	4 B		B 1	B A	A 1	
		SIS低温側低圧注入ライン (68) A, B, Cループ	体積	25%	4 4	LΩ	25%	A 1	-	C 2 2		B 1	C 3	A 1	
		S I S高温側補助注入ライン (48, 68) Cループ	体積	2 5 %	9	ΤO	25%		1	-			1		
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)													
		加圧器逃がし弁ライン (38)	表面	2 5 %	2 0	РΤ	25% 5	ı	-	2		1		1	
		加圧器補助スプレイレイン (28,60.50mm)	至 承	25%	1 9	ЬТ	25% 5	1	-	-		۳		2	
e e	-	余熱除去ポンプ入ロライン (1 1/48) B, Cループ	表面	25%	4	ЬТ	25%		-				B 1		
P9. 7	2	RTDウェル及び閉止分岐管 (38) A, B, Cループ	表面	25%	7	ЬФ	25% 2		1	В 1-			٨		
		抽出・余剰抽出及びドレンライン (28,38,60.50mm,89.10mm) A, B, Cループ	表面	25%	3.1	ΡΤ	25% 8	B 1 C 1	-	C 1		C 3		C 1	
		C V C S 充てんライン (38, 89.10mm) B ループ	至 函	25%	80	ЬΤ	2 5 %		-	1 B			B 1		
		1.文冷却材ポンプ封水注入ライン (A.17.81) A. B. C.1ブ	表面	25%	ဧ	ЬЧ	25%		-	A 1					
※1:NRA3 容器の溶射	文書 「実用発 を接手の試験	st電用原子炉及びその附属施設における破壊 程度等)新規制要件に関する事業者意見の	を引き起こ 聴取にかた	こす亀裂そのf いる会合」(*	也の欠陥の され元年8)解釈』(令和元 8月5日)の結果	年6月5日房 (2019年度中	規技発第11の計画変更	906051号) [) を踏ま:	の改正版 え、2020年	(以下、編 7月1日より	裂解釈NRA J維持規格	文書改正。 JSME S N	という。) IA1-2012/2	釈」(令和元年6月5日原規技条第1906051号)の改正版(以下、電製縣郭MA人文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力 5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格。USNE、S MAI-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管(2/3)	(2/3)													
紫	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008※1	008‰1		恒	光	严	3 号 機	後 沓 計 画	[(7ヵ年)	į		赤 赤
日報日則	- ተ ተ	格本社多簡明	给杏方法	検査の範囲	線 剿心	格本方法	検査の範囲	2018年	2019年	2020年 2021年	F 2022年	F 2023年	2024年	
E E	ŝ	1大量 / 3 外區 / 1	1X = 7,1 /A	及び程度	DX IIII XX	ALC THE	及び程度	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	全 第26保全 ル サイクル	第27保全 サイクル	
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)												
ć		S 1 S 南温粤浦野洋入ライン (28,60:50mm) A, B, C ループ	表	25%	1 2	Ηd	25%		1	B 1	0	В		
89. Z	P-2	S 1 S 低温側補助注入ライン (2B, 60:50mm) A, B, C ループ	表	25%	7	Ηd	25%		1	L A			B 1	
		S I S低温側ほう酸注入ライン (28,60.50mm) A, B, Cループ	表面	25%	13	ЬЧ	25% 4	A 1	-	B 1	0		B 1	
e e	-	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)												
5. 5.	2	1 次冷却材管 (48, 68, 128, 148) A, B, Cループ	体積	25%	1-	⊢ ⊃	25%		1	L A	В 1	0		
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100 A未満)												
		1 次冷却材管 (28, 38, 63, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%	17	F d	25%	A 1	1	Т	0	4	B 1	
B9. 32	B-J	余熱除去ポンプ入ロライン (1 1/48) B, Cループ	表面	25%	2	ΡΗ	1 0 0 % %2 2		1		<u>а</u>	0		
		SIS南温側低圧注入ライン (28) A, Bループ	表面	25%	2	F d	25%		1				A 1	
		S I S 低温側低圧注入ライン (28) A, B, Cループ	表面	25%	9	ЬЧ	25%		-	A 1		C 1		
		ソケット溶接継手												
		加圧器補助スプレイライン (28)	表面	25%	1	ΡΤ	25%		1	F				
		RTDウェル及び閉止分岐管 (28) A, B, Cループ	表面	25%	ю	F d	25%		1	A L				
80 40	- d	抽出・余剰抽出及びドレンライン (28) A, B, Cループ	表面	25%	9	РТ	25% 2		1	A 1	0			
e i	2	1 次冷却材ポンプ封水注入ライン (1 1/2B, 48.60mm) A, B, Cループ	表面	25%	4 6	РТ	25% 12	A 2 B 1	1	B2 C1	C A 1	C 2	B 1	
		SIS高温側補助注入ライン (28) A, B, Cループ	表面	25%	1 5	ЬT	25% 4	A 1	ı	B 1	0		A 1	
		SIS低温側補助注入ライン (28) A, B, Cループ	表面	25%	8	ЬT	25%		ı	B 1				
		SIS低温側ほう酸注入ライン (28) A, B, Cループ	至 面	25%	8	ΡΤ	25%		1				C 1	
※1:NRA3 物器の溶料 ※9:簡単	女書「実用券 妾接手の試験 ul 4,3篇「新す	※1:NRA文書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠縮の解釈」(令和元年6月5日原規技務第1906051号)の改正版(以下、着製解那NRA文書改正という。)の能行及び公開会合 ※2、第の溶接接手の試験程序で可以表現で引きる事業を表現の課題にかか会会与1、今和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格(3ME S MAI-2012/2013/2014を適用する。 ※2、略しに、維一性もコモアの日本土が部門の始本大生の開発レーニュアコーディ、10のペナギ、	を引き起こ 聴取にかか s方法の明	: す亀裂その化 'る会合」 (全 ***!-つ!**	100欠陥の 3和元年8 「一流」、	解釈」(令和元 月5日)の結集 100%とオ	5年6月5日房 9 (2019年度中 2	規技発第11 の計画変更	906051号) [) を踏ま/	の改正版 (以下、 え、2020年7月1日	亀裂解粉 より維持	INRA文書改 現格 JSME	Eという。) : NA1-2012/;	の施行及び公開会合「(原子炉圧力 :013/2014を適用する。

光	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008;	13.8		恒	洪第	严	3 号 機	検査	画	(7ヵ年)			華水
6 8	1 1	75 43 48 Th. 44 Or	; + 4	検査の範囲	4# #/ UP	; + \$	検査の範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
坝日借芍	アコトロ	快宜刈雾固灯	快軍力法	及び程度	武川 致	快宜力法	及び程度	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	呆全 フル	第25保全サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	I	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
		支持構造物													
		加圧器サージ管	VT-3	25%	o	V T – 3	25% 3		1		-	-		-	
		加圧器逃がし弁ライン	V T – 3	25%	0	V T – 3	25% 5	-	ı		7	-		-	
		が圧器スプレイレイン A, Cループ	V T — 3	25%	6.2	V T – 3	25% 16	C 2	-	C A	C 2	A 2	A 2	c 3	
		余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ	V T – 3	25%	3.7	VT-3	25% 10	B 1	-		B 2 C 2	D 0	1 B	0 D	
		加圧器補助スプレイライン	ε − 1 ∧	25%	2 2	V T – 3	9 % 2 2		-		2	2		2	
		C V C S 充てんライン B ループ	VT-3	25%	9	V T – 3	25% 2		1		B 1	B 1			
F1. 10	F-A	抽出・余剰抽出及びドレンレイン A, B, Cループ	V T – 3	25%	3 2	V T – 3	25% 8	4 M	1	C 2		Д Т	4	0	
		1 次冷却材ポンプ封水注入ラインA, B, Cループ	V T – 3	25%	0	V T – 3	25% 5	4	1	H 1		0	A 1	H 9	
		SIS離圧注入ライン A, B, Cループ	V T – 3	25%	3 2	V T – 3	25% 8	4 M	1	C 1		A 0	B 1	C 2	
		SIS高温卿低圧注入ラインA, Bループ	V T – 3	2 5 %	1 2	VT-3	9 %27	A B	-		A 1	A 1	A 1	H 1	
		S I S 低温側低圧注入ライン A, B, Cループ	V T – 3	2 5 %	2 7	V T – 3	25% 7	A 1	-		A 1	B 1		C 2	
		S I S 高温側補助注入ライン A, B, Cループ	V T – 3	2 5 %	2 2	V T – 3	25% 6	A 1	-		C 1	B 1	C 1	C 1	
		S I S 低温側補助注入ライン A, B, Cループ	V T – 3	2 5 %	1 3	V T – 3	25% 4	A 1	-	B 1		C 1		A 1	
		S I S低温側ほう酸注入ラインA, B, Cループ	$\epsilon - \perp \wedge$	25%	2 4	V T – 3	25% 6	B A 1	-	C 1		A 1	B 1	C 1	
※1:NRA文 容器の浴接	r書「実用多 対接手の試験	※I:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の欠縮の解釈」 容器の途体株年の試験程度等)新規制夢件に関する毒業者音買の謎即にかかる会合」(会和元年8月5日	を引き起こ 聴取にかか	す亀裂その他 ス合合 (金	の欠陥の	(令和元	羊6月5日	規技発第10	(6021号)	の改正版	(以下、書	裂解釈RA	文書改正。	こいう。)	原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力

5. 1次汽	5. 1次冷却材ポンプ(1/1)	f(1/1)		}									- - 	
**	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008※1	108‰1		画	浜発電所	部 S	泰泰	声	画 (7ヵ年)	ļ		華
四里	= 1 1 1	出现多样学教	华 华	検査の範囲	記備数	************************************	_	2018年 2	2019年 20	2020年 202	2021年 2022年	2023年	F 2024年	
κ Π Έ		次正式等回び	がに見いな	及び程度	XX E	がとしいみ	及び程度第一年	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	呆全 第26保全 第 フル サイクル +	全 第27保全 ル サイクル	
B6. 180	B-G-1	B-G-1 スタッドポルト	体積	1 台の25%	7 2	して (装着時又は 取外し時)	1台の25% 6		1			C 6		
B6. 190	B-G-1	フランジ表面	V T — 1	1 台の25%	7 2	V T — 1	1台の25% 6		ı			9 O		
R6 200	R -6-1	ナット	V T — 1	1 台の25%	7 2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1台の25% 6		1			9 0		
2		ワッシャ	V T — 1	1 台の25%	7 2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1台の25% 6		1			C 6		
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	V T – 3	-	ю	V T – 3	-		ı			C 1		
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	I	VT-2	可能範囲 100% 1	可能範囲 100%	1	可能	可能範囲 可能範囲 100% 100%	節囲 可能範囲 3% 100%	囲 可能範囲 % 100%	
F1. 41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、 基礎ポルト)	V T – 3	1 台の25%	6	VT-3	1台の25% 1		-			C 1		

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の女陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶 接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

童 光	2024年	第27保全 サイクル								3V-RC-019A							3V-SI-203C
	2023年	第26保全 サイクル						3V-CS-225 6	3V-CS-234 1 O					3V-RH-003A 1 8			
年)	2022年	第25保全 サイクル					3PCV-454A 8								3V-SI-136B 1 6	3V-SI-209B 1 4	
計 画 (7ヵ年)	2021年	某全 クル															
機後香	2020年	第24保全 サイクル			3V-RC-054A 1 O	3PCV-455B 6							3PCV-430 1 8				
第3号模	2019年	-		1	1	Ţ	1	ı	1	1	ı	1	-	-	1	1	1
電所	2018年	第23保全 サイクル		3V-RC-057 8							3V-RC-017 1 O	3LCV-451 6					
高浜	検査の範囲	及び程度		類似弁ごと に1台分 8	類似弁ごと に1台分 10	類似弁ごと に1台分 6	類似弁ごと に1 台分 8	類似弁ごと に1 台分 6	類似弁ごと に1 台分 1 0	類似弁ごと に1台分 8	瀬安井ごと に1 6分 1 0	類似弁ごと に1 台分 6	類似弁ごと に1台分 18	類似弁ごと に1台分 18	類似弁ごと に1 台分 1 6	類似弁ごと に1台分 14	類位弁ごと に1台分 14
		快宜力法		VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)
	-0.44	改加数		2 4	3.0	1 8	1 6	9	2 0	2 4	10	1 2	3.6	3 6	9	5 6	8 4
18%1	検査の範囲	及び程度		類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 合の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%
JSME S NA1-2008; 1	† †	快宜力法		V T - 1	V T - 1	V T - 1	V T - 1	V T - 1	V T - 1	V T – 1	V T - 1	V T - 1	V T - 1	V T - 1	V T – 1	V T - 1	V T – 1
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JS		快重刈象箇別	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	3PCV-455A 3PCV-456B 3PCV-454C	加圧器スプレイライン A. Cループ 3PCV-454A 3PCV-454B	ど 田 諸 本 は の の の の の の の の の の の の の	CVCS充てんライン Bループ 3V-65-233 3V-65-234	曲田・栄養曲田及以ドレンカイソ A, B, C, L-J 3V-RC-019A 3V-RC-019B 3V-RC-019B	3V-RC-017	3L0V-451 3L0V-452	余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	3V-RH-003A 3V-RH-003B	S I S帯圧注入ライン A, B, C,ループ 3V-S -134A, 136A 3V-S -134B, 136B 3V-S -134B, 136C	S I S 南温側低圧注入ライン A, B ループ 3V-SI-208A, 208B 3V-SI-209A, 209B	S I S 低温機圧注入ライン A, B, C / L ー ブ 3V-SI – 2028, 2038 3V-SI – 2028, 2038
B用原子力設	1 1	71 1	ш							B-6-2							
光	0 H	項目會与								B7. 70							

弁(1/2)

6. #(2/2)	(7.5)			Ī											
栎	希電用原子力	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) J	JSME S NA1-2008;	138%1			順派	発所	第3市議	検査	計 画 (7ヵ年)	E)			華
0 H 0	-		1	検査の範囲	100 447 000	1	検査の範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
項 田 本 市	キャー	·	検 重万法	及び程度	設電数	核 耐力法	及び程度	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	呆全 7.儿	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
07 70	9	圧力保持用ポルト締付け部 (直径50mm以下)													
2	7 0	S 1 S 車油 車補野	> 1 - T -	類似弁ごとに 1 台の25%	4 1	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 14		ı					3V-SI-088 1 4	
		弁本体の内表面													
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 A'RC-056 3V-RC-056 3V-RC-056	V T – 3	類 (2 井 ご と に 1	ю	V T - 3	類 会 井 ご と に 1		1	3V-RC-055					
		余熱除去ポンプ入ロライン B. Cループ 3PCV-420 3PCV-430	V T – 3	類似弁ごとに 1	2	V T – 3	類似弁ごとに 1		1			3PCV-420			
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに 1	2	V T – 3	類似弁ごとに 1		-				3V-RH-003B		
B12. 50	B-₩-2	S I S 帯圧 法 入 ライン A. B. C ループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134G, 136C	> \ \	類似弁ごとに	ø	V T - 3	類の弁にとに 1	3V-SI-136A	ı						
		S 1 S 高温側低圧注入ライン A, B ループ 3V-S1-208A, 209A 3V-S1-208B, 209B	V T - 3	類似弁ごとに 1	4	V T – 3	瀬Q 弁 ごとに 1		1					3V-SI-209A	
		S 1 S 低温順低圧注入ライン A, B, C ルーブ 3V-S1-202A, 203A 3V-S1-2026, 2038 3V-S1-2026, 2036	× 1 - 3	類似弁ごとに 1	9	V T - 3	類 (会) 本 () 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ı			3V-S1-203C			
		S 1 S 南温 奥福野注入ライン C ループ 3V-SI-088	V T – 3	類似弁ごとに	-	V T - 3	類似弁ごとに 1	3V-S1-088	ı						
B15. 70	В-Р	压力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	1	V T – 2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	_		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
		支持構造物													
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 A) B, Cライン 3V-RC-056 3V-RC-057	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%	е	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25% 1	3V-RC-057	1						
		加圧器法がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054B	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%	9	V T - 3	類似弁ごとに 1台の25% 1		ı		3V-RC-054A 1				
		3P 0V-455A 3P 0V-455B 3P 0V-454C	V T - 3	類似弁ごとに 1台の25%	9	V T - 3	類似弁ごとに 1台の25% 1		1		3PCV-455B				
F1.41	F-A	加圧器スプレイライン A. Cループ 3PCV-454A 3PCV-454B	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%	4	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25% 1		1			3PCV-454A 1			
		加圧器補助スプレイライン 3V-0S-225	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%	-	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25% 1		ı			3V-CS-225			
		抽出ライン Cループ 3LCV-451 3LCV-452	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%	4	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25% 1		-				3LCV-451		
		余熱除去ポンプスロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%	4	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25% 1		ı					3PCV-430	
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	4	V T – 3	類似弁ごと に1台の 25%		-			3V-RH-003A			
※1:NRA5 等)新規制	文書 「実用§ 制要件に関す	※:WAX書「実用発電用用子序及びその解漏格別における破壊を引き起こす偏裂その他の次船の解釈」(今和7年6月5日原樹井参東1906561号)の改正版(以下、亀穀解解RAX書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の沿接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(今和7年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格(5ME 5 MA1-2012/2014を適用する。	を引き起こす 元年8月5日	- 集裂その他のク) の結果 (201)	で陥の解釈」 9年度中の計	(令和元年6月5 画変更)を踏まえ	5日原規技発第二、2020年7月11	1906051号)の 日より維持規約	D改正版(以格 JSME S NA	下、亀裂解釈 41-2012/2013	NRA文書改正 /2014を適用	という。)の する。	施行及び公開	報会合「 (原子	- 炉圧力容器の溶接接手の試験程度

クラス2機器供用期間中検査

\subseteq
ĺ
_
nile
冷却器
デ
热
计区
余數除

			ı	ı		7
概			(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)
	2024年	第27保全 サイクル				f公開会合
	2023年	第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル				の施行及び
	2022年	第25保全 サイクル				(。らいる。)
カ年)	2020年 2021年	第24保全 サイクル				(文書改正 適用する。
査計画(10ヵ年)	2020年	第24			۸ (کتار	.裂解釈NR/ 013/2014を
極	2019年	ı	1	1	-	(以下、亀 11-2012/20
电 蔽	2017年 2018年	第22保全 第23保全 サイクル サイクル				O改正版 JSME S N
無 3	2017年	第22保全 サイクル				906051号) 維持規格
第二	2016年	第21保全 サイクル				現技発第167月1日日より
浜	2015年	第21 サイ	A 7. 5%	A 7. 5%		月5日原決 、2020年7
	検査の範囲	及び程度	1基の7. 5%	1基の7.5%	7.5%	(令和元年6 更)を踏まえ
	; + *	食用力が	ΙN	ΙN	TA	箱の解釈」 中の計画変
	光井子	EX IIII SX	2	2	4	の他の欠 2019年度
008※1	検査の範囲	及び程度	1基の7.5%	1基の7.5%	7.5%	起こす亀裂そ 日)の結果
ME S NA1-2	# + *	快量力流	体積	体積	体積及び 表 面	破壊を引き 元年8月5
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNAT-2008※1	4. 本金花		管側胴と管側フランジとの周溶接継手	管側鏡と管側胴との溶接継手	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴 との溶接継手	※1:NRA文書「実用発電用原子序及ひその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の欠船の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1980651号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格。SME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
発電用原子		- T - F - F	C-A	C-A	G-B	IRA文書「⅓ Ⅰ要件に関3
	西	布	C1. 10	C1. 20	C2. 21	※ 新規制

維持規格(2008年版) JS	JSME S NA1-2008 11	008※1	•	-	-	恒	洪	電所第	3 号 機	極有	画 (10ヵ年)	_				華
	;; 	検査の範囲	5.在卷	; + *	検査の範囲	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
	似重力法	及び程度	以	(快重力法)	及び程度	第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	R全,7,1	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
配管の支持部材取付け溶接継手																
余熱除去ポンプスロライン (318.50mm, 355.60mm) A、Bライン	表面	7. 5%	1 2	₽	7. 5%	A 1				1						(重大事故等クラス2機器)
余熱除去ポンプ出ロライン (267.40mm) A、Bライン	表面	7. 5%	ю	₽	7. 5%	4				1						(重大事故等クラス2機器)
S I S 高温側低圧注入ライン (267. 40mm) A ライン	表面	7. 5%	4	₽	7. 5%			A 1		ı						
S I S 低温側低圧注入ライン (165. 20mm, 267. 40mm) A. B. Cライン	表面	7. 5%	-	₽	7. 5%					1	A 1					(重大事故等クラス2機器)
S I S 画温 宣 維 B 洋 ス ライソ (60.50mm, 89.10mm) A. B. C. 共 適 ライソ	表面	7. 5%	1 0	₽	7. 5%					ı	井通 1					
S I S 低温側補助注入ライン (89.10mm) 共通ライン	表面	7. 5%	2	F	7. 5%					-				共通 1		
	表面	7. 5%	4	Ь	7. 5%					_					1	
S I S 低温側ほう酸注入ライン (89, 10mm) 共通ライン	表面	7. 5%	3	Ь	7. 5%	共通1				-						(重大事故等クラス2機器)
充てん/高圧注入ポンプ入ロライン (216.30mm)	表面	7. 5%	ε	ЬЧ	7. 5%	٢				-						(重大事故等クラス2機器)
充てん/高圧注入ポンプ出ロライン (89.10mm,114.30mm)	表画	7. 5%	ю	- 4	7. 5%			-		1						(重大事故等クラス2機器)
1 次冷却材管高温側高圧注入ライン (89.10mm)	表面	7. 5%	2	₽	7. 5%					1	-					
1 次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm)	表	7. 5%	2	⊢	7. 5%					ı	-					
1 次冷却材管高温側高圧注入ライン (89:10mm) ほう酸注入タンク入口側	表面	7. 5%	2	₽	7. 5%					1				1		
1 次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm) ほう酸注入タンク出口側	表面	7. 5%	2	ΡΤ	7					-					1	(重大事故等クラス2機器)
 	表面	7. 5%	8	ЬЧ	7. 5%	A 1				_	7. 5% A1 -					(重大事故等クラス2機器)

2. 配管(1/5)

								4-
華				(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	「一个名式 日子
	2024年	第27保全サイクル		B 1				心性を対し
	2023年	第26保全 サイクル		A 1	A 1 (U T)	A 1 (U T)	B 1	中 日 日
	2022年	第25保全 サイクル						行及76小盟会
(±	2021年	第24保全 サイクル						い、しを
画(10ヵ年)	2020年	第24 サイ		A 1		B 1		ケ事みにとし
被一个	2019年	1		ı	ı	ı	1	单型做到NPA·
3 市 穣	2018年	第23保全 サイクル						(1) (1) (1)
圖所	2017年	第22保全 サイクル					A 1	140(計)
浜祭	2016年	保全 クル			A1(PT)	A1(PT)		+ 発 筆 1 9060F
恒	2015年	第21保全 サイクル		A 1	A 1	A 8		日5日百組
	検査の範囲	及び程度		7.5%	7. 5%	7.5%	7. 5%	(会和示在 6
		(検討 カンボ		F	⊢ ⊢	⊢ ⊢	ЬЧ	
		区 川 数		6 2	1.7	0 9	2 5	インサーチ
2008※1	検査の範囲			7. 5%	7. 5%	7. 5%	7. 5%	まお 二 古亀 烈
ISME S NA1-2	; † *	快車力が		体積又は 表 面	体積及び 表 面	体積及び 表 面	体積又は 表 面	る破壊を引き
カ設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NA1-2008※1	二年 30 40 44 44 44 44	東西交換图	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径10 0 A を超え公称肉厚9.5mmを超え るもの)	余熱除去ポンプスロライン (128,14B,318.50mm) A. Bライン	S I S高温側低圧注入ライン (68, 108, 267, 40mm) A, Bライン	S I S 低温側低圧注入ライン (6B, 10B, 165, 20mm, 267. 40mm) A, B, Cライン	格納容器再循環サンプ出ロライン (148,355.60mm) A. Bライン	※1・NRAケ聿「宇田発電目原子信及れるの附属施設における破壊を引き起こす象型をの他の夕略の解釈」
発電用原子力設備規格		7 1 1 2			Г			本文本 (本)
	西	梅			65. 11			*

2. 配管 (2/5)

※1:MAX文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における|破壊を引き起こす艦数その他の交縮の解釈」(今和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、強殺率る事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S IMI-2012/2013/2014を適用する。

編 日 本 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一							Ĭ				Ξ I	+ 52					無
	说 ************************************	; + *	検査の範囲	30 件 张	; ; ; ;	検査の範囲	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 202	2021年 202	2022年 2023年	3年 2024年	#	
		(大)		区 加 数		及び程度	第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	保全 第26保全 クル サイクル	保全 第27保全 クル サイクル	全	
	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50 A以上100A以下で公称肉厚5mmを 超えるもの)																
	S I S 庫通豊補助洋入ライン (28,38,60.50mm,89.10mm) A, B, C, 共適ライン	表	7.5%	1 1 9	<u>Б</u>	7. 5%	¥ 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		C 1		ı	B 1 共通 2		B 1	1 C 1		
15 21 F-F	S I S 低温側補助注入ライン (2B, 3B, 60. 50mm, 89. 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7. 5%	98	ΡΤ	7.5%	A 1				1	C 1 共通 1		新 十	[1] 共通	1	
17	補助注入ライン (38, 4B, 89, 10mm)	表	7. 5%	3 2	ΡΤ	7. 5%	٢				1	1		٢			
	S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B, 3B, 60. 50mm, 89. 10mm) A, B, C, 共適ライン	表	7.5%	6 5	ЬЧ	7. 5%	1 A				1	B 1 共通 1		并	[1] 共通	1 (重大事故等クラス	、2 機器)
	充てん/高圧注入ポンプ出ロライン(38,48,89.10mm)	表	7.5%	3 5	ΡΤ	7. 5%			-		1	-		٢		(重大事故等クラス	(2機器)
	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶 接継手)																
6 5	S I S 南温側補助沖入ライソ (28) A. B. Cライソ	表面	7. 5%	8	₽	7. 5%	A 1				ı			m	-		
3	S I S 低温側補助注入ライン (28) A, B, Cライン	表面	7. 5%	თ	- 4	7. 5%					1	0 1					
	S.I.S 低温側ほう酸注入ライン (28) A.B. Cライン	根恒	7. 5%	o	- ₽	7. 5%					I			∢	-	(重大事故等クラス	(2機器)
	能,																
C5. 41 C-F	補助注入ライン (38)	秦	7.5%	-	F d	7. 5%			-		1						
	充てん/高圧注入ポンプ出ロライン (38)	表	7. 5%	-	ΡΤ	7. 5%					ı	٦				(重大事故等クラス	(2機器)

2. 配管 (3/5)

									1									
.01	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年版)	JSME S NA1-2008※1	1008※1				画	発電	所 第 3	号 機 検	神	画 (10ヵ年)					備考
西		4. 木 4. 春 佐 兴	; + * \$	検査の範囲		; 	検査の範囲	2015年 201	2016年 20	2017年 2	2018年 2	2019年 7	2020年 202	2021年 202	2022年 202	2023年 20	2024年	
梅	- T - K - R	(東西) 多国际	使用力が	及び程度	1 数	(大)	及び程度	第21保全 サイクル	4 未	第22保全 サイクル サ	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	第25	第25保全 第26 サイクル サイ	第26保全 第2 サイクル サ	第27保全 サイクル	
		支持構造物																
		余熱除去ポンプ入ロライン A. Bライン	V T - 3	7. 5%	5 2	V T – 3	7. 5%	4				1	B 1		∢	-	B 1	重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン	V T – 3	7. 5%	8 0	V T – 3	7. 5%	A 80				1	A B		∢	-		重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ラインAライン	V T – 3	7. 5%	2 0	V T – 3	7. 5%			- A		ı	A 1					
F1. 21	F–A	SIS低温側低圧注入ラインA, B, Cライン	V T – 3	7. 5%	4 6	V T – 3	7. 5%			- A		1	B 1-		O	-	A 1	重大事故等クラス2機器)
		補助注入ライン	V T – 3	7. 5%	2 3	V T – 3	7.5%	F-				ı	-					
		充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	V T – 3	7. 5%	2 7	V T – 3	7. 5% 3	-				1	-			-		重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ入ロライン	V T – 3	%S 'L	2 3	V T – 3	7.5%	F-				1				-		
		格納容器再循環サンプ出ロライン A, Bライン	V T – 3	7.5%	1 6	V T – 3	7. 5%			۲ ۲		1					B 1	重大事故等クラス2機器)
- N - M - M - M - M - M - M - M - M - M - M	RA文書「実 者意見の聴	※1:NRA文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の文脳の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合 る事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格(SME S MAI-2012/2013/2014を適用する。	る破壊を引き り結果 (201)	を起こす亀裂そ 9年度中の計画	: の他の欠 変更) を[陥の解釈」 沓まえ、26	(令和元年6) 20年7月1日より	引5日原規技発第 J維持規格 JSME	\$1906051号) S NA1-2012	, の改正版 ?/2013/2014	(以下、亀氢 1を適用する。	¥解釈NRA文書	書改正という。	の施行及び	<u> </u> 公開会合「	(原子炉圧	モカ容器の消	「『原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関す

2. 配管 (4/5)

2. 酉	2. 配管 (5/5)	(2)																
oth	8電用原子;	発電用原子力設備規格《維持規格(2008年版) JSME S NAI-2006※1	JSME S NAT	-2008‰1			,-	高浜発	電所	第 3 号	被	香計画	画 (10ヵ年)	<u> </u>			華	
項目	カテゴリ	檢查対象簡所	検香方法	44-	設備数	検査方法	検査の範囲	2018年	2019年	2020年 2	2021年 20	2022年 20	2023年 20	2024年 2025年	年 2026年	丰 2027年		
争				及り程度			及い程度	第23保全 サイクル	ı	第24保全 サイクル		第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル	第26保全 第2 サイクル サ	第27保全 サイクル		第28保全 第29保全 サイクル サイクル	Lack	
		支持構造物																
5		S I S 高温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	>	7.5%	8 3	V T – 3	7.5%	0	I	井通 1		#	井通1 井	井 川 川 一	0	井通2		
17.17	K	S I S 低温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	V T – 3	7.5%	5 6	V T – 3	7.5%		I	L A		`	A 1 #	+通1	#	1 A 1		
		S I S 低温側ほう酸注入ラインA, B, C, 共通ライン	V T - 3	7.5%	5 9	V T – 3	7. 5%		ı	A			¥ +	共通1	4	4	(重大事故等クラス2機器)	
- -	RA文書「吳	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀	ける破壊を引	き起こす亀裂	裂その他の欠陥の解釈」	「陥の解釈」	」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)	6月5日原	規技発第19	00051号) 0	の改正版(以下、亀裂	解釈NRA文	に書改正とい	う。)の簡	行及び公開9	の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程	

※I:NNA文書「実用等電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技等策1906051号)の改正版(以下、電巡所称weA、車のにていつ。 度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI -2012/2013/2014を適用する。

	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NAI-2008※1	JSME S NA1-	-2008※1				海米	€ E P	所 第 3 电	機機	柯	計 画 (10ヵ年)				羅
通田	1 - - -	1. 多米卡鲁格斯	# # *	*	北井	# # * \$	検査の範囲	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年	21年 202	2022年 203	2023年 2024年	ш
梅.			快車力成		以圖数	牧車力法	及び程度	第21保全 サイクル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	§23保全 ナイクル	ı	第24保全 サイクル		保全 第2(クル サイ	第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル	全
C6. 1	9-0	06.10 C-G ケーシングの溶接継手	松	1台の7.5%	4	F	1台の7.5% 1			L A		1					(重大事故等クラス2機器)
F1. 4	3 F-A	F1. 43 F-A ポンプの合板脚	V T - 3	VT-3 1台の7.5%	4	V T – 3	1台の7.5% 1					1	A 1				(重大事故等クラス2機器)
※1 ※ ※ ※	NRA文書)新規制引	1:IRA文書「集用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす艦穀等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)	3ける破壊を引き起さ 5合」(令和元年8)	 き起こす亀裂 年8月5日)	4その他のグ の結果 (2	で陥の解釈」 019年度中の	その他の太陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀穀解釈NRA文書改正という。 の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S NAI-2012/2013/2014を適用する。	6月5日原 を踏まえ、	規技発第19 2020年7月	906051号) 1日より維	の改正版 寺規格 JSN	(以下、鲁 E S NA1-2	6 月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。 を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USWE S NA1-2012/2013/2014を適用する。	:書改正とい)14を適用す	_	の施行及び公開会合「	引会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程

操	2022年 2023年 2024年	第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	3H0V-603 (重大事故等クラス2機器)	3FCV-614 (重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)			(重大事故等クラス2機器)
: 計 画 (10ヵ年)	2020年 2021年	第24保全 サイクル			3V-RH- 024A	3PCV-611					3V-SI- 094	3V-SI- 042A
第3号機検査	2017年 2018年 2019年	第22保全 第23保全 サイクル サイクル		1	ı	ı	ı	ı	ı	ı	ı	ı
高浜発電所	2015年 2016年 2	第21保全 第 サイクル サ		3V-RH- 041A					3V-SI- 1978 1	3V-SI- 101		
		検査力法 及び程度		類似弁ごと VT-3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと -3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと -3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと VT-3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと -3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと VT-3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと VT-3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと -3 に1台の 7.5%1	類似弁ごと VT-3 に1台の 7 5%1
		設 備数 横道		4 ->	2 >	2 \	4 T >	4 ⊢ >	2 \	8	4 	4 T >
-2008※1	検査の範囲			類似弁ごと に1台の 7.5%	類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁ばと に1台の 7.5%	類似弁 に と に 1 台の 7.5%	類似弁ごと に1台の 7.5%	類似弁ばと に1台の 7.5%	類似弁ばと に1台の 7 5%
JSME S NA1-2008;	† † *	検管力法		× 1 – 3	V T – 3	× T - 3	V T – 3	ε - ⊥ >	× + ×	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	× T - 3	V T - 3
備規格 維持規格(2008年版)	10 th 10 th	大国米	支持構造物	余繁祭去ポンプ入ロライン A. Bライン 3V-RH-041B	余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B	余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン 3PCV-601 3PCV-611	余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3HCV-603 3HCV-613	余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3FCV-604 3FCV-614	S I S 低温側低圧注入ラインA, Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B	S I S 神温密補助沿入ライン 3V-SI-082 3V-SI-101 3V-SI-301 3V-SI-303	S I S 低温側補助注入ライン 3N-SI-094 3N-SI-302	S I S 低温側ほう酸注入ライン 3N-S1-042A 3V-S1-042B
発電用原子力設備規格	1 1	L L	本	<u> </u>				F-A				
架	理	(番						F1. 43		_		

(1/2)

						땓
華					(重大事故等クラス2機器)	合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程
	2027年	第28保全 第29保全 サイクル サイクル		3V-SI-206		の施行及び公開会合
	2026年	第28保全 サイクル			3V-SI- 023B 1	$\overline{}$
	2025年	I		I	ı	こという。
5年)	2024年	第27保全 サイクル				A文書改正
画 (10ヵ年)	2023年	第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル				原規技発第1906051号)の改正版 <u>(以下、</u> 亀裂解釈NRA文書改正という。
後番	2022年	第25保全 サイクル				(以下,
轍	2021年					の改正版
第 3	2020年	第24保全 サイクル				{規技発第1906051号)の改正版 <u>(以下、</u> 亀裂解釈NRA文書改正という
発電所	2019年	I		I	ı	規技発第1
恒浜	2018年	第23保全 サイクル				8月5日原
	検査の範囲	及び程度		類似弁ごと に1台の 7.5%1	類似弁ごと に1台の 7.5%1	その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日
	; 	検 目 カ		V T – 3	V T – 3	2陥の解釈
	-0.1# %t	这 ^训 数		-	4	その他のグ
2008※1	検査の範囲	法 検査の範囲 設備数 及び程度		類似弁ごと VT-3 に1台の 7.5%	類似弁ごと VT-3 に1台の 7.5%	き起こす亀裂
NE S NA1-2	; + *			V T – 3	× 1 − 3	破壊を引
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNA1-2008※1	1 2世 郑 9 1年 米 今年		支持構造物	SIS高温側低圧注入ライン Aライン 3V-SI-206	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 3V-S1-023A \ 3V-S1-023B	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日1
原子力設備	- 1		本	Α-		書「実用発
発電用		番号		F1. 43 F-A		1 : NRA文
	Ĭ	ulder		iL.		ЖI

無	電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SINAI-2008※1	18 %1			恒	浜	肥	継 ⊗ m,	号 機 検	有	画 (10ヵ年)	ı L				備 考 (漏えい区分)
	į	田穏や砕くしを興		運転圧力又は			2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
(番) (中)	U L L		検金万法	最高使用压力 MPa	MPa	検舎万法	第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第セイクル ナ	第26保全 第 サイクル ±	第27保全 サイクル	
	4.	比学体積制御系統															
C7.10 C7.30 C7.70	0-H	体積制御タンク及び出入ロライン	√1-2	0.11	0.11	VT-2					I					0	一部又は全部を気圧により検査 (3-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	H O	A 一充てん/ 趣圧注 入ポンプ田ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2					ı	0					(3–2)
C7.30 C7.50 C7.70	H-0	B-充てん/恵圧注 入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2			0		ı						(3-3)
C7.10	#	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				0	ı						(3–2)
		甘田ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2				0	ı						(9–8)
	#	申田レイソ(3)	VT-2	0.46	0.46	VT-2					1		0				(3-7)
C7.70		封水戻りライン(PEN#217)	VT-2	0.20	0.20	VT-2		0			ı						(3-39)
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	体積制御タンク入口ライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2			0		1						(3–8)
C7.30 C7.50 C7.70	H-O	まう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2	0				1						(6-8)
C7.10 C7.30 C7.50	H-0	まう酸ポンプ出ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2					1					0	(3–10)

新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる表合)(647年)で17年215日~18年(2018年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSKF S.M.1-2012/2014/2014を商用する。

	発電用原	発電用原子力設備規格(2008年版) JSMES IVAI-2008※1	1%			峘	浜発	電所等	第 3 号	機	查計画	画 (10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
四				運転圧力又は	格本斤力	1	2015年	2016年 2	2017年 2	2018年 2	2019年 2	2020年 2021年	年 2022年	年 2023年	2024年	
海1中	υ L L		検 合力法	最高使用压力 MPa	MPa		第21保全 サイクル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	23保全 イクル	1	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	R全 第26保全 37ル サイクル・	全 第27保全 ル サイクル	
		余熟除去系統														
C7.30	3	A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2					ı			0		(3–11)
C7.70		Bー余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2					1	0				(3–12)
C7.10 C7.30	3	A-余熱除去ポンブ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2					1	0				(3–13)
C7.50 C7.70		B-余熱除去ポンブ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2			0		1					(3–14)
		燃料取替用水系統														
C7.30 C7.70	H-0	燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	か 番水	VT-2	0				1					(3–15)
C7.30 C7.70	H-0	燃料取替用水タンク原子炉キャビティ連絡ライン(PEN#222)	VT-2	0.14	0.14	VT-2	0				1					(3-41)
新規制	NRA文書 「」 J要件に関す	※1:NPA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(争新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)	す亀裂その の結果 (20	他の久陥の解釈 19年度中の計画	7」(令和元 ī変更) を路	5年6月5日 \$まえ、2020	1原規技発3)年7月1日。	第1906051号 より維持規	号)の改正} 格 JSME S	版(以下、 NA1-2012,	亀裂解釈 /2013/201	NRA文書改正と 1を適用する。	(°Ç(1)	の施行及び.	2開会合「 (0他の欠縮の解釈」(令和元年6月5 <u>日原規技発第1906051号)の改正版(以下、</u> 亀製解釈NRA文書改正とい <u>う。)の施</u> 行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(2/8)

5. 9	ラス 2様	クラス2機器漏えい検査(3/8)														
	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNA1-2008※1	-			恒	浜	電所第	3 市	被	計 画 (10)	(10ヵ年)				備 表 (漏えい区分)
項目	: 1 1		# # \$	運転圧力又は	検査圧力	; + *	2015年 2	2016年 20	2017年 2018年	8年 2019年	年 2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
梅	-	レイン名称			MPa	(検) は (体) は	第21保サイク)	₩⊇	第22保全 第23保全 サイクル サイクル	発やし	第2	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 第サイクル	第27保全 サイクル	
		安全注入系統														
C7.10		書 圧タンク及び出入ロライン	VT-2	4.22	4.22	VT-2			0	'						一部又は全部を気圧により検査 (3-16)
C7.70	F	(ほう酸注 入タンク及び出 入ロライン	VT-2	8.00	8.00	VT-2				'	0					(3–17)
		書圧タンク注入ライン(PEN#216)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				1					0	(3–43)
		善圧タンクテストライン(PEN#227)	VT-2	6.90	06.90	VT-2				1					0	(3–44)
C7.30	3	充てん/高圧注入ポンブ出口安全注入ライン(2)	VT-2	8.00	8.00	VT-2				1	0					(3–19)
C7.70		充てん/高圧注入ポンブ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2				ı	0					(3–20)
		充てん/高圧注入ポンブ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2			0	1						(3–21)
		格納容器再循環サンブ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2				ı					0	(3–22)
		格納容器スプレイ系統														
C7.10 C7.30 C7.70	H-O	よう素除去薬品タンク及び出入ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2				1	0					一部又は全部を気圧により検査 (3-23)
C7.30 C7.70	H-O	よう素除去薬品タンク出ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2				-	0					(3–85)
C7.30	1	A - 格納容器スプレイポンプスロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2				-	0					(3–24)
C7.70	= > 	B - 格納容器スプレイポンプスロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2				-				0		(3–25)
C7.10 C7.30	J	A - 格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2				1				0		(3–26)
C7.50 C7.70		B - 格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2				-					0	(3–27)
C7.30	ä	格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2	0			-						(3–28)
C7.70	:	格納容器再循環サンプ出ロライン(格納容器スプフィボング側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2					0					(3–29)
※1:N 新規制	RA文書 「要件に関	※1:IRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の文脳の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解駅NRX文書改正という。) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より推特規格 JSNE S INN1-2012/2014を適用する。	す亀裂その の結果 (20	他の欠陥の解釈 19年度中の計画	[] (令和] [変更) を <u>B</u>	5年6月5日 第末元、202	3原規技発第 0年7月1日よ	1906051号) リ維持規格)の改正版 st JSME S NA	(以下、亀) 1-2012/201	夏解釈NRA文書 3/2014を適月	背改正とい 引する。	う。)の稿	の施行及び公開会合	_	(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)

5	プライン体	5.ソフム2筬楍瀰えい快宜(4/8)	•												-		
	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNAI-2008※1	-			恒	光光	平 3	号機	抽	画 (10ヵ年)	E)				備 売 (漏えい区分)	
通	= 1 1			運転圧力又は	検査圧力	; + *	2015年 2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 2	2023年 2	2024年		
梅		レイン角巻	快管力法		МРа	(英) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	き 第23保全 レサイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第サイクル サ	第26保全 第 サイクル サ	第27保全 サイクル		
		主給水系統															
C7.10	d	A-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2				1		0				(3–30)	
C7.73		B-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2				1		0				(3–31)	
		主蒸気系統															
C7.30	3	A-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2				ı		0				(3–33)	
C7.70		B-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2				İ		0				(3–34)	
		1次系補給水系統															
C7.30	3	加圧器 逃がしタンクPMW供給ライン (PEN #279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2	0			İ						(3–38)	
C7.70		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	09'0	09:0	VT-2	0			ı						(3–86)	
		廃棄物処理系統															
		蓍圧タンク窒素充てんライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2	0			1						一部又は全部を気圧により検査 (3-42)	
C7.30 C7.70	o H	格納容器冷却材ドレンポンプ出ロライン(PEN#225)	VT-2	0.70	0.70	VT-2	0			-						(3–83)	
		格納容器サンプポンプ出□ライン(PEN#234)	VT-2	0.15	0.15	VT-2	0			ı						(3-84)	
- # - #	IRA文書「	※1:IRA文書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書の正しいう。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等 かは他に開発します。	す無裂その	他の久陥の解釈	1 (令和元	5年6月5日	3原規技発第190	16051号)の引	发正版 (以	下、亀裂解	釈NRA文書改	ほという。	、)の簡介	及び公開き	会合「(原子炉	P圧力容器の溶接接手の試験程度等)	1

新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME 3 MA1-2012/2013/2014を適用する。

υ	7ラス2	クラス2機器漏えい検査(5/8)	•												•	
	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNAI-2008※1	<u>*</u>			硘	浜発電	所第	3 号 機	検 査 計	- 画 (10ヵ年)	(±				備 考 (漏えい区分)
西				運転圧力又は	格香压力		2015年 20.	2016年 2017年	年 2018年	F 2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 2	2024年	
集工中	74 7 1	ルインが弊し	被 會力法		MPa	被 有 所 所	第21保全 サイクル	第22保全・サイクル・	R全 第23保全 7ル サイクル	41	第24保全 サイクル		第25保全 第サイクル サ	第26保全 第 サイクル サ	第27保全 サイクル	
		蒸気発生器ブローダウン系統														
		A - 蒸気発生器プローダウンライン(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		0		1						(3-45-1)
C7.30 C7.70	Ŧ 0	B - 蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#318)	√1−2	4.80	4.80	VT-2		0		ı						(3-45-2)
		C - 蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		0		1						(3-45-3)
		試料探取系統														
		A - 蒸気発生器ブローダウンサンブルライン(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		0		1						(3-46-1)
		B - 蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2				ı	0					(3-46-2)
		C — 蒸気発生器ブローダウンサンブルライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2				1				0		(3-46-3)
C7.30 C7.70	5	加圧器気相部サンプルライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				ı					0	(3–60)
		加圧器液相部・Bループ高温側 サンプルライン(PEN #231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				ı				0		(3–61)
		A ループ 高温電 サンプルライン (PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				1					0	(3–64)
		蓄圧タンクサンプルライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				ı					0	(3–65)
	NRA文書 「 『無件「盟	※1:IRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀穀解釈IRA文書改正という。)の施行及び公開会合「 本出台庫は「EBL 7 市帯 主等自の時間によれてみる。(会記二年の日で日)の代開、2000年は七月10日(1900年1月11日)には今代日は、2011年の11日)には、2011年の11年の11日)には、2011年の11年の11日)には、2011年の11年の11日)には、2011年の11年の11日)には、2011年の11日)には、2011年の11年の11日)の11日)には、2011年の11年の11日)の11日)には、2011年の11年の11日)の11日)には、2011年の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)には、2011年の11日)には、2011年の11日)には、2011年の11日)の11日)には、2011年の11日)に	す亀裂その	他の欠陥の解釈	1(令和元	5年6月5日	原規技発第1	906051号) 0.	の改正版(じ	以下、亀裂(A R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	でいる近な)の衙行	及び公開を		(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)

新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2014を適用する。

5. 7	7ラス2巻	クラス2機器漏えい検査(6/8)														
	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNA1-2008※1	<u>%</u> 1			硘	浜	電所	第3号機	検	計 画 (10ヵ年)					備 考 (漏えい区分)
西西				運転圧力又は	検査圧力	; ;	2015年	2016年	2017年 2018	8年 2019年	2020年	2021年 2	2022年 2	2023年 2	2024年	
梅마	1 + R	レイン角巻	(検管 カボ		MPa	(単位) 対 (単位) が (第21保全 サイクル		第22保全 第23 サイクル サイ	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル		第25保全 第 サイクル サ	第26保全 第 サイクル サ	第27保全 サイクル	
		原子炉槽機冷却水系統														
		CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン(PEN#313)	VT-2	09:0	09:0	VT-2				1				0		(3–56)
		CRDM冷却ユニット他冷却火出ロライン(PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2				1				0		(3–57)
		RCP冷却水入ロライン(PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2			0	1						(3–58)
		RCP冷却水出ロライン(PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2			0	1						(3–29)
		A・B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン (PEN#255)	VT-2	09'0	09:0	VT-2	0			1						(3–87)
C7.30	Ç	A - C / V 再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2	0			1						(3–88)
C7.70		B - C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2				1	0					(3–89)
		C・DーC/V再循環ユニット冷却水入ロライン (PEN#229)	VT-2	09'0	09:0	VT-2				1	0					(3-90)
		C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2				1	0					(3–91)
		DーC/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2	0			1						(3–92)
		DRPI室冷却ユニット冷却水入ロライン(PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2	0			1						(3–93)
		DRPI室冷却ユニット冷却水出ロライン(PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2				-					0	(3–94)
- X	NRA文書「 無件「贈	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月 本出自第4: man z 主き事業を目の時間におれるなる。(みむこちのはことに)のは一番(2017年)の4年(2017年)	す亀裂その	他の欠陥の解釈 10年 年七の計画	」(令和元本書)本書	年6月5日	3原規技発	第1906051号	3)の改正版	(以下、亀)	以解釈NRA文書改]	Eという。)の橋行	及び公開会	 	5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)

新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる金合」に分割で表で、12m2の15m2に対象では、2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSM:SM1-2012/2014を適用する。

	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNAI-2008※1	1**			硘	浜発電	所 第 3	号機検	本	画 (10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
西			; + *	運転圧力又は	検査圧力		2015年 2016年	年 2017年	2018年	2019年	2020年 2021年	丰 2022年	2023年	2024年	
(梅	Н СП Р	D ・	(検管 力法)	最高使用压力 MPa	MPa		第21保全 サイクル	第22保全 サイクル・	e 第23保全 レサイクル	1	第24保全 サイクル	第25保全サイクル	き 第26保全 ・サイクル	第26保全 第27保全 サイクル サイクル	
		空気系統													
		制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	99'0	99:0	VT-2	0			ı					一部又は全部を気圧により検査 (3-74)
C7.30	3	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	99'0	0.66	VT-2	0			ı					一部又は全部を気圧により検査 (3ー75)
J.7.7		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	99'0	99:0	VT-2		0		ı					一部又は全部を気圧により検査 (3-76)
		所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	17.0	0.71	VT-2		0		ı					一部又は全部を気圧により検査 (3-77)
		消火水系統													
C7.30 C7.70	0-H	消火水ライン(PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2	0			ı					(3–78)
		炭酸ガス系統													
C7.30 C7.70	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				ı	0				一部又は全部を気圧により検査 (3-79)
*	NRA文書「	※1:NRA文書「実用発雷用原子炉及7/4の附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の経釈」	す無裂その	他の欠陥の解釈		-年6月5日	1原規持拳筆1900	6051号)の改	上门) 朔土4	二 角裂解系	イエ化字本Vbb	10 (51)	布行 № 78小	調令令「同	(今和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂経釈NRA文書改正という。)の旅行及7f公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)

5. クラス2機器漏えい検査(7/8)

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NBA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USML S NA 1-2012/2013/2014を適用する。

	発電月	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NA1-2008※1	≼1			恒	浜発	電所	第 3 号	機検査	毒	画 (10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)	
項目	1 1 1		# # *	運転压力又は ま	£	;; + *	2018年 2	2019年	2020年 20	2021年 20	2022年 20	2023年 202	2024年 2025年	年 2026年	年 2027年		
番		ライン名称				(大田力) なり (大田力) は (大田力	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第2 サイクル サイ	第26保全 第27 サイクル サイ	第27保全 サイクル	第28保全 9サイクル -	8全 第29保全 7.ル サイクル		
		化学体積制御系統															
C7.30 C7.50 C7.70	H-O 0.0	H C一充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2		1					1	0		(3–4)	
		安全注入系統															
C7.30 C7.70	O-H	H 充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8:00	8.00	VT-2		1					ı	0		(3–18)	
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	H C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2		1					ı		0	(3–32)	
		主蒸気系統															
C7.30 C7.70	H-O	H C-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2		ı					I		0	(38–8)	
新 一 規	: NRA文書 制要件に	※1:NRA文書「美用発電用原子炉及ひその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の欠陥の解釈 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画3	ナ亀裂その り結果 (20	 他の欠陥の解釈 19年度中の計画変更)	-Kal	年6月5日 まえ、202(原規技発等)年7月1日よ	\$19060515 : り維持規	(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀穀解釈NRX主管改正という。)の施行及び公開会合 更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。	ī (以下、1 VA1-2012/2	亀裂解釈NF 2013/2014	A文書改正。 を適用する。	たいう。) (の施行及び		 原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)	1

3. クラス2機器漏えい検査(8/8)

クラス3機器供用期間中検査

1.余熟除去冷却器(胴側) (1/1)

谼	電用原子力	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	E S NA1-	2008%1					高浜発	電所第3号	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)	j (10ヵ年						備考	
項目	- T !} F	4000年本本	# # #	*************************************	条担品	大 中 米 紫	検査の範囲	2013年	2014年	2015年	2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年	2017年	2018年	2019年	2020年 2021年	2021年	2022年		
海 中		(英里: 7) 96 国 (2)	対しては	及び程度	以開教	気量の存	及び程度		第21	第21保全 サイクル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル		
D1.10	D-A	D1.10 D-A 胴と当板との溶接継手	VT-3 **2	1基の7.5%	4	VT-3 * 2	VT-3 1基の7.5% ※2 1		A1					1					
F1.44	F1.44 F-A 支持脚	支持脚	VT-3	VT-3 1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1		A1					ı					
***	#+10	****、**・古井『中日の棚田田より*** 《町田井記』 ************************************	神中 ムナいっ	1 1 4 4 1 4	A 70 10 10	1. m 1. 11 m		1 1	14 11 11 11	100000	7100 (11)	-111/	A 751 Peri	- The state of the state of		1	V V II	THE PERSON	the Late Late

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施<mark>打変い公</mark>開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維特規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維特 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

2.格納容器スプレイ冷却器(胴側) (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2 0 0 8 年版) JSME S Na1 - 2008 ※1 高浜発電所第3 号機検査計画 (10 か年) 項目 番号 カテゴリ 検査力影 機差力影 機差力器 及び程度 機差力器 接近力器 機差力器 接近子影 大子ル																			
所を重力法 検査方法 機業方法 検査方法 機工分配 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 VTー3 L基の7.5% 4 VTー3 1基の7.5% 1 A1 A1	発電	11用原子力部	设備規格 維持規格(2008年版) JSMI	3 S NA1-2	2008%1					高浜発1	電所第3号	機檢查計画	(10ヵ年)						
VT-3 1基の7.5% 4 VT-3 1基の7.5% 4 VT-3 1基の7.5% AI AI	項目	= T !} 1	多木本色統正	大 中 米	検査の範囲			検査の範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1	:019年 2	3020年 2	3021年	2022年	
	梅	1	(英里为) 美国万	(東国) 位	及び程度			及び程度		第21/ サイジ	保全 クル	201.3	第22保全 身 サイクル ナ	育23保全 トイクル	ı	第24保 サイク		第25保全 サイクル	
$VT-3 1 \pm 0.7.5\% 4 VT-3 1 \pm 0.7.5\% $ A1	D1.10	D-A		VT-3 **2	1基の7.5%	4	VT-3 %2	1基の7.5% 1					A1		1				
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1					A1		ı				

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈)(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維粹 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

3.原子炉補機冷却水冷却器(1/1)

從	電用原子力	発電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	TE S NA1-	2008%1					高浜発	電所第3号	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)	i (10ヵ年)						備考	
通	= T !} +	华杰才在然间	北 平 全	検査の範囲	·殊 罪/心=	**************************************	検査の範囲	2013年	2014年	2015年	2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		
梅	1		東軍ンは	及び程度		実量づけ			第21 サイ	第21保全 サイクル		第22保全 サイクル サイクル	第23保全 サイクル	ı	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル		
D1.10	D-A	D1.10 D-A 胴と当板との溶接継手	VT-3 **2	1基の7.5%	×	VT-3 **2	VT-3 1基の7.5% ※2 1					A1		1					
F1.44	F1.44 F-A 支持脚	支持脚	VT-3	VT-3 1基の7.5%	œ	VT-3	1基の7.5% 1					A1		ı					
	10	1 5 1 2 1 4 4 1 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	The same of the same	1 1 7 7 1 7 7	1 - 101		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		177	The Address of the same		111111111111111111111111111111111111111		A will have former and the same of the sam		111		11 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施<u>行及び公開会合「(原子炉圧力容器の容接接</u> 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維特規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維特 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

4.非常用ディーゼル発電機清水冷却器 (1/1)

	界十刀散1	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	3 S NA1-2	2008%1					高浜発電	I所第3号模	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)	(10ヵ年)					備考	
項目	= T !!	多木 十名 统 正	# # *	検査の範囲	- 米 田/ 心-	# # *	検査の範囲	2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 2021年	2022年		
	1	東重な 全国 万	快里力広	及び程度	以開教	(気量/2)な	及び程度		第21保全 サイクル	会 之	(4()	第22保全 第23保全 サイクル サイクル	第23保全 サイクル	ı	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル		
D1.10 D)—A	D1.10 D-A 胴と補強板との溶接継手	VT-3 **2	1基の7.5%	4	VT-3 **2	VT -3 1基07.5 $%$ $\%$ 2 1						A1	ı				
F1.44 F-A 取付脚	F-A 1	取付脚	VT-3	VT-3 1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1						A1	ı				

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施<u>行及び公開</u>会合「(原子炉圧力容器の溶接接 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維特規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維特 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

5. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

発電	111用原子力部	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	E S NA1-:	2008%1					高浜発	電所第3号	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)	頁 (10ヵ年.	(備考
項目	= T !} #	4. 木本鱼统订	# # *	検査の範囲	米田品	**************************************	検査の範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年	2018年	2019年	2020年 2021年	2021年	2022年	
中	1	(双耳: 为) 类 固万	(関重) 位	及び程度		(東重/) 位	及び程度		第21	第21保全 サイクル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	第23保全 サイクル	ı	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル	
1.10	D-A	D1.10 D-A 胴と補強板との溶接継手	VT-3 **2	1基の7.5%	4	VT-3 **2	1基の7.5% 1							1			A1	
1.44	F1.44 F-A 取付脚	取付脚	VT-3	VT-3 1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1							ı			A1	

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施<u>行及び公開</u>会合「(原子炉圧力容器の溶接接 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維特規格「SME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維特「SME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

洪	発電用原子力設備規格	&備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1−2008※1	E S NA1-2	.008%1					高浜発電	高浜発電所第3号機検査計画	幾檢査計画	$(10 \text{h} \oplus)$						備考
曹)) 1)	; + + \$	******** 検査の範囲	7# #7 '11	# +	検査の範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
梅	7 K	快 恤 為樂國灯	(単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位)	及び程度	过	(神色など)	及び程度		第 21 保全 サイクル	※ かん	64/ †,	第22保全 第23保全 サイクル サイクル	第23保全 トイクル	I	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル	
		配管の支持部材取付け溶接継手																
D1.20	D-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3 **2	7.5%	78	VT-3 %2	7.5%		1			1	1	ı	2		1	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3 **2	7.5%	22	VT-3 %2	7.5%		1				1	ı				
		支持構造物																
F1.31	F-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	414	VT-3	7.5%		L			4	œ	ı	∞		ю	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	178	VT-3	7.5% 14		က			2	3	-	4		2	
※1:NR 中の試験 ※2:20	A文書「実」	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の施行及 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維特 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。	らける破壊る なにかかる全 3/2014を適	한테き起こす 3合」(令和 用し、VT-3½	-亀裂その他 元年8月 5 はVT-1と読ん	<u>trの欠陥の</u> (5日)の結 (3日)の結 (3日)か特	解釈」(令和5 果(2019年度中	5年6月5 3の計画変	日原規枝発 更) を踏ま	8第1906051 ミえ、2020€	号)の改፲ 年7月1日よ	E版(以下 り維持規Å	、亀裂解形 k JSME S]	RNRA文書改 NA1-2012/	く正 という。 2013/2014・	。) の施? を適用す?	5。 5。	の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接 酱用する。

6. 配管 (1/1)

7.原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

※	쏕	用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	IE S NA1-	2008%1					高浜発1	電所第3号	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)	i (10ヵ年)						備考	
項目	= T !} F	一种 化苯合物	# + * *	. 検査の範囲		为 中 华	検査の範囲	2013年	2014年	2015年	2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		
梅	_		実工とは		以開教	実用ンけ	及び程度		第21保全 サイクル	保全 クル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル		
F1.31	F-A	F1.31 F-A ポンプ台板脚	$V\Gamma$ -3	VT-3 1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5% 1					A1		1					

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠焔の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の施<u>行及び公開会</u>合「(原子炉圧力容器の溶接接 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維特規格「SME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

電用原子力	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	TES NA1-	-2008%1			•		高浜発	電所第3号	高浜発電所第3号機検査計画	頁 (10ヵ年)						備考
1		† 1 1 3	権 本の 領田		# 1		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
T F R	7	検金力法	及び程度	討備 剱	横 金万法	及び程度		第21保全 サイクル	保全 クル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	第23保全 サイクル	ı	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル	
	支持構造物																
	原子炉補機冷却水系統															3TCV-	
F1.31 F-A	3TCV – 2342A 3TCV – 2342B 3TCV – 2342C 3TCV – 2342D	VT-3	VT-3 1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% 1							ı			2342A 1	
	原子炉補機冷却水系統					1台の7.5%						3V-CC					
	3V - CC - 043 3V - CC - 044	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3							-043 1	ı				

8. 年 (1/1)

9.クラス 3 機器漏えい検査 (1/2)

· · ·	(N)															=		ſ
	発電	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NA1-2008※1	A1-2008	*1				PE.	高浜発電所第3号機検査計画	f第3号機核		(10 imes					備 考 (漏えい区分)	
国中	カケゴ	漏えい検査範囲ニックを	検査方	運転圧力又は最高使用圧力	検査圧 カ	検査方	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		
年 た				MPa		R	-	第21保全 サイクル	R ト ア	241 Tr	第22保全 第	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル		
		使用済燃料ピット冷却浄化・燃料検査ピット水移送 系統																
D2.30	D-B	使用済燃料ビットポンプ入口ライン	VT-2	0.10	0.10	VT-2		0					1				(4-1)	
D2.10	6	A-使用済燃料ビットポンプ出ロライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2		0					ı				(4-2)	I
D2.30		B-使用済燃料ピットポンプ出ロライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2		0					ı				(4-3)	l
		原子炉補機冷却水系統																
		A,B,C-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	VT-2	0.31	0.31	$V\Gamma$ -2		0					ı				(4-4)	
 D2.10	5	D, E - 原子 炉補機 冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2					0		ı				(4-5)	1
D2.30		原子炉補機冷却水ポンプ出ロA供給ライン	VT-2	08.0	08.0	VT-2						0	ı				(4-6)	I
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	08:0	08'0	VT-2						0	1				(4-7)	
		原子炉補機冷却海水系統																
		A 一海水ポンプ出ロライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2					0		1				(4-8)	1
D2.10 D2.30	D-B	B -海水ポンプ出ロライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2						0	1				(4-9)	
		C-海水ポンプ出ロライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2						0	1				(4-10)	
× 1 %	※1·NPAサ車「	「生田 教書田 国 7 17 2 7 18 7 18 7 19 7 19 7 19 7 19 7 19 7 19	1年1十年 2017	型之の州の左陸	- D#2#D	(今和三年	今和三年6月5日百月甘共癸第1006051号)	互担任双体	100001 1	1746	一 分 班 上 比 上	备 ≫il 429 4EUNID A サーサン		12 P	() () () () () () () () () ()	五元が八間人人	7 () () 四人后只七次出分数格技	7

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行<mark>及び公開</mark>会合「(原子炉圧力容器の溶接接 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2014を適用する。

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接 手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「SME S NM1-2012/2013/2014を適用する。 編 水 (漏えい区分) (4-11)(4-12)(4-14)(4-15)(4-16)(4-13)第25保全 サイクル 2022年 0 2021年 第24保全 サイクル 2020年 2019年 1 第23保全 サイクル 2018年 高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) 第22保全 サイクル 2017年 2016年 2015年 第21保全 サイクル 2014年 2013年 VT-2 ${
m VT}{-2}$ 検査方 法 VT-2VT-2 ${
m VT}{-2}$ VT-2検査圧 力 MPa 0.660.660.660.662.652.65運転圧力又は 最高使用圧力 MPa 0.660.660.660.662.652.65発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NA1-2008※1 VT-2VT-2検査力 法 VT-2VT-2 ${
m VT}{-2}$ VT-2Aーディーゼル発電機始動用空気ライン B -ディーゼル発電機始動用空気ライン A-格納容器内制御用空気供給ライン B-格納容器内制御用空気供給ライン A - 格納容器外制御用空気供給ライン B - 格納容器外制御用空気供給ライン 漏えい検査範囲 ライン名称 ディーゼル発電機始動用空気系統 制御用空気系統 カテゴ リ $\mathrm{D}\mathrm{-B}$ $_{\mathrm{D-B}}$ D2.10 D2.30 D2.10 D2.30 通 番 号

9.クラス 3 機器漏えい検査 (2/2)

供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査

1. 原子炉容器 (1/1)

		NRA文書※1,※2					恒	高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)	育3号機検፯	(7):	5年)				備考
通	カテ)= 44 °2/1" + 4 VT	条	検査の範囲	73% ##7 10+	検査	検査の範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
番号	Ĭ,	(東京) 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	力法	及び程度	設温級	力法	及び程度	第23保全 サイクル	ı	第24保全 サイクル	果全 7.ル	第25保全 サイクル	第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル	第27保全 サイクル	
I	1	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600 系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底 部管台まわり360°を含む。)													
		底部表面 (計測用管台)	BMV	100%	50	BMV	100% 50	50	ı			50			

※1:「実用発電用原子が及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原想技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定)) ※2:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子 炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査

		NRA文書※1						通	発電所	第 3	瘷	神画	画 (10ヵ年)				華
西	カテ	14 4 1 2			# H Co		検査の範囲	2022年	2023年 20	2024年 20	2025年 202	2026年 2027年	7年 2028年	丰 2029年	F 2030年	2031年	
番号	Î	使 宜刈涤固 까	検 宜ク法	及び程度	設備剱	(検査な)	_	第25保全 第セイクル	第26保全 ナイクル	第27保全 サイクル	- 第28 サイ	第28保全 第29保全 サイクル サイクル	案全 クル	第30保サイク	第30保全 第31保全 サイクル サイクル	第32保全 サイクル	
		配管の耐圧部分の溶接継手															
		苗丑ライソ(38)	本	2 5 %	1 8	⊢⊃	2 5 % 5	-	-		1		ı		8		
		充てんライン (38)	体積	2 5 %	6 5	LΩ	2 5 % 1 7	-	4		1	гo	-		7		(重大事故等クラス2機器)
l	l	再生熱交換器連絡管(3B)															
		抽出レムン連絡管	本	2 5 %	1 2	⊢⊃	2 5 % 3		-		1		1		-		
		充てんライン連絡管	本	2 5 %	1 2	LΟ	2 5 % 3		-		ı	-	ı		-		(重大事故等クラス2機器)
\ \ \ \	事」事やV	※1・ND^女士「宇田祭毎田店之后なれる人附属協設における随待を引き却一才争到多の併の分院の紹弈	もとコキ	りを脳事ギーの	340まり	2の部部 -	/ 今む 中午 6 日 5 口 百 扫 甘 桑 筆 1006051 早	世見 口 と 日	计 条等10060)도1무)							

原子炉格納容器供用期間中検査

1. 原子炉格納容器(1/1)

				Ī
				原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程 0020年7月1日より維特規格 JSME S NA1-2012/2014を適用する。
析				沒接接手
튶				器の器
				正力容
	- 6年	第28保全 サイクル		(原子炉
	2026年	第28 ナイ		余合
	2025年	1	ı	及び公開
	2024年	第27保全 サイクル)の精化
		4 年		という。
	2023年	第26保全 サイクル		■ C書改正 I4を適用
(10ヵ年)	2022年	第25保全 サイクル		积NRA为 013/201
		無中		電裂解 2012/20
検査計画	2021年	保全 クル		以下、
櫢	2020年	第24保全 サイクル		数正版(
第3号				号)の引 特制格
発電所	2019年	1	ı	1906051
响	2018年	第23保全 サイクル		和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という) 間)を除まえ 900在7月1日上J維持措格、ISMF S NA1-2017/2013-2014を適用する
			_	5日原表
	2017年	第22保全 サイクル	18	元年6月 を踏ま
	の範囲	及び程度	25% 18	1.NRA大書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日) 等) 新期制要性に関する事業者言目の謎酌にかかる会合(今和元年8日5日)の結果(2019年年中の計画変事)を踏ます。20
				の解釈し
	+ * \$	改備数 快重力法	VT-4	の久陥(19年)
	=7./# *1.	以順数	72	その他 計算(20
			25%	す亀裂
.008※1				川き起こ年8日に
S NA1-2	; + *	(快重力法)	VT-4	破壊を引
JSME :	+	€	# #	- おける - 金令 (
羊版)			機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部	施設にかれる
(2008	li H	百	ボル	の附属に関する
持規格	4	快 国	保持月	及びそう
4 推	* \$	秋	1圧力	[子炉]
備規格			搬入口	電用原 ナス率
子力設			機器	写用発育 七一関 2
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1	- 1 1	. T + 67	р-П	文書「吳目制要化
毲	Ш	卟	E8.10	※1:NRA文書[: 展笔) 新趙制要
	哲	梅	E8	ж <u>ш</u>

1				
里入事改寺クフス1機畚供用規削甲検貸計画				
発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/201 JSME S NAI-2012/2013/2014※1	3追補/2	014追補)	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7ヵ年)	盖
項目番号 カテゴリ 検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
	体積	可能範囲各100%		
	体積	5 % %2		
	体積	5 % %2		
	体積	5 % %2		
	体積	可能範囲 100%		
	体積	可能範囲 各100%		
	体積及び 表 面	可能範囲 各 1 0 0 %		
	体積及び 表 面	可能範囲 各100%		
	V T – 1	100%		
	体積	100%		
	体積	100%		
	V T – 1	100%		
	V T - 1	25%		
※1:NRA文書 1実用発電用原子炉及ひその附属施設における 度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」 ※2:2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/201	破壊を引き起こ (令和元年8月 4を適用し、「	- す亀裂その他C 3 5 日)の結果 5 %」は「可能	※1:INNA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NNA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と誘み替える。	炉圧力容器の溶接接手の試験程

重大事	牧等クミ	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画 ■ ■				
発電用』	発電用原子力設備規格	規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NAT-2012/2013/2014※1	3追補/20	14追補)	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7ヵ年) 備 考	凇
項目番号	カテゴリ	核查対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
			V T – 3	全範囲の 7.5% 各検査時期毎 ※2		
			V T - 3	全範囲の 7.5%		
			× 1 – 3	全範囲の 7.5%		
			V T – 3	全範囲の 7.5%		
			V T - 3	全範囲の 7.5%		
			V T - 3	全範囲の 7.5%		
			体積又は 表 面	最外周の 25%		
			V T – 2	可能範囲 100%		
			V T – 3	2 5 %		
※1:NRAS 度等)新規 ※2:2020	7書 「実用§ 3制要件にB 年7日1日上	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその筋属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原 報等)新規制報件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(今和元年8日5日)の結果。(2019年年の計画報要)を経まえ、 ※3・2070年7月1日 - Lia針鉢鉢柱、RMF、8 MAI-2019/2013/2014左第日)	寒を引き起こ 9和元年8月 海田1	: す亀裂その他(5日) の結果 *新田の7 に	ク欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程 2、2018年は中の計画変見 を踏まえ、2020年1月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 ※ 全鉢香本出版:1 十 合範囲のフ・ c ca. レ 誌入数きス	容接接手の試験程

张 (C)	無												
				ı									
及	1 4 追補)	検査の範囲 及び程度	2 %	5 %	各10%	各10%	5 %	2 5 %	2 5 %	2 5 %	25%	7. 5%	可能範囲100%
株 様 2 0 1 4 記補 2 0 1 4 記補 2 0 1 4 記補 2 0 0 4 2 0 0 1 4 2 0 1 0 9 6 4 4 4 4 4 5 9 6 4 1 0 9 6 4 6 4 1 0 9 6 4 6 4 6 1 0 0 9 6 4 6 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	3 追補/2014追補)		積	養	積 各1	積 各1	養	積 2	積 2		-1 2	一	- 2
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NA1−2012/2013/2014※1	検査対象箇所検査方法	積	養	積 各1	積 各1	養	積 2	積 2		-1 2	一	- 2
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	発電用原子力設備規格(推特規格(2.0.1.2 年改版/2.0.1.3 追補/2.0.1.4 追補) JSMF S NA1-2012/2014※1	カテゴリ 検査対象箇所 検査方法	積	養	積 各1	積 各1	養	積 2	積 2		-1 2	一	- 2

重大事	む等クラス	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画 ┏━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	l l			
発	発電用原子力設備規格	条件規格(2012年改版/2013追補/2014追補/ JSME S NA1-2012/2013/2014※1	3追補/201	4 追補)	高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年) 備考	
項目番号	ት አテゴリ	核查対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
			体積	1基の 25%		
			体積	1基の 25%		
			体積及び 表 面	1基の 25%		
			V T — 1	1基の 25%		
			V T – 2	可能範囲 100%		
			ε−⊥∧	1基の 25%		
※1:NRA 接接手の	文書「実用発電屏 試験程度等)新規	※1:IRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」 接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	を引き起こす かる会合」(亀裂その他の√ 令和元年8月(.陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶 - 日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。	力容器の溶

き電用原子	発電用原子力設備規格	維持規格(2012年改版/201	3追補/20	014追補)	高沃発電所第3号機核香計画(7.4年)	垂
		JOME 5 NAI-2012/2013/2014%1				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
			体積	25%		
			体積	2 5 %		
			体積	2 5 %		
			体積	2 5 %		
			表面	2 5 %		
			表画	2 5 %		
			体	2 5 %		

□ 2 0 1 2 年改版 / 2 0 1 3	3 追補 / 2 (014追補)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
JSME S NA1-2012/2013/2014%1	ı	-	高 浜 発 電 肋 第 3 号 機 検 査 計 画 (/カ年)	華
検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
	表面	2 5 %		
	表面	2 5 %		
	米国	2 5 %		
	V T - 2	可能範囲100%		
	V T – 3	2 5 %		
	V T – 3	2 5 %		
	V T – 3	2 5 %		
	V T – 3	2 5 %		
	× T – 3	2 5 %		

巨大事故	女等クラス	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画					П							
発電用原-	原子力設備規格	維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1	追補 / 2 0	14追補)		恒	浜 発 電	所 第 3	中徽	極	計 画 (7ヵ年)	(世)		華
世 年 日	= 1 1 +	出现每次米女	# # #	検査の範囲	記様茶	# # #	検査の範囲	2021年	2022年	2023年 2	2024年 202	2025年 2026年	年 2027年	
頃ロ町ウ		(大量人) 外回 7.1	(大量 / 1 / A	及び程度	三 三 三 三	(大) (大) (大)	及び程度	第24保全 第 サイクル サ	第25保全 第 サイクル サ	第26保全 第 サイクル サ	: 第27保全 ・サイクル	第28保全 サイクル	R全 第29保全 7 ル サイクル	
			体積	2 5 %	6 8	LΟ	25%							
※1:NRA文 王力容器の	書「実用発電」 溶接接手の試験	※I:NRA文書「実用発電用原子炉及ひその附属施設における破職を引き起こす亀裂その4 圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」	裏を引き起; §見の聴取!	こす亀裂その こかかる会合	170	!の欠陥の解釈」(令和元年6月5日 (令和元年8月5日)の結果(2019:	元年6月5 <u>日</u> 原 の結果(2019年)	原規技発 原度中の計画変更	<u>ч</u> г	の改正 踏まえ、	(以下 020年7	裂解釈NRA5 ヨより維持	、亀裂解釈NRA文書改正という。) 7月1日より維持規格 JSME S NAI-2	にいう。)の施行及び公開会合「(原子炉 IE S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画 	画			
発電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSMF S MA1-2012/2013/2014※1	013追補/20	14追補)	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7ヵ年)	垂
項目番号 力号	カテゴリ 検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
		体積	1 台の25%		
		V T – 1	1 台の25%	^ #	ポンプ分解点検時に実施
		V T – 1	1 台の25%		
		V T – 1	1 台の25%		
		V T – 3	F	↑ 米	ポンプ分解点検時に実施
		V T – 2	可能範囲 100%		
		V T – 3	1 台の25%		
※1:NRA文書 接接手の試験程	※1:INA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の 接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月	破壊を引き起こす にかかる会合」 (- 亀裂その他の 令和元年8月	欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。	び公開会合「(原子炉圧力容器の溶-5。

重大事故等クラ	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画				
			-		
発電用原子力設備規格	規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追 JSME S NAI-2012/2013/2014※1	3追補/20-	1 4 追補)	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7ヵ年) 備 #	柴
項目番号 カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
		V T - 1	類似弁ごとに 1台の25%		
		V T - 1	類似弁ごとに 1 台の25%		
		V T – 1	類似弁ごとに 1 台の25%		
		V T – 3	類似弁ごとに 1		
		V T – 2	可能範囲 100%		
		V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%		
		V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%		
※1:NKA文書「実用3 の溶接接手の試験程度	希電用原子炉及ひその附属施設における破壊 度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取	まを引き起こす スピープログラング かんる会合	「亀裂その他の と」(令和元年	※I:NKAX書「実用発電用原子炉及ひその断属施設における破壞を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器 の済辞辞手の試験程度等)新規制要件に関する事業者實見の購取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格、SME S MA1-2012/2013/2014を適用する。	(原子炉圧力容器

重大事	対等クラ	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■					П									
発電用	発電用原子力設備規格	規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NAI-2012/2013/2014※1	3追補/20	14追補)		恒	浜発電所	悉	号機	抽	画 (7ヵ年)				華	
項目番号	; カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2021年	2022年 2	2023年 20		2025年 20	2026年 202	2027年		
				<u>{</u>				第24保筆 9 サイクル +	現24保室 第25保室 第20保室 第21保室 サイクル サイクル サイクル サイクル	20保筆 事: イクル サ	ハ保ゴイクル	- 第2	第28保室 第29保室 サイクル サイクル	9保ビ 「クル		
			V T — 1	類似弁ごとに 1 台の25%	2 4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に 1 台分 1 4									
			V T – 3	類似弁ごとに 1	ε	VT-3	類似弁ごとに 1									
※1: NRA の溶接接	文書「実用発 手の試験程度	※I:INAX文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(変を引き起こ 対にかかる会	 女亀裂その他の 合割に	 その他の欠陥の解釈 令和元年8月5日)の	2」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀穀解釈NRA文書改正という。) の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013	月5日原規技発 寛中の計画変更	第1906051 () を踏まえ	号)の改正 、2020年7.	版(以下、 月1日より終	亀裂解釈№ ŧ持規格 ∪	RA文書改I SME S NA1	Eという。) -2012/2013	1906051号)の改正版(以下、亀契縣駅MR女書改正という。)の施行及び公開会を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S MA1-2012/2013/2014を適用する。	の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器 //2014を適用する。	王力容器

重大事	重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画	1機器供用	期間中	7検査計		
	NRA	NRA文書※1,※2			高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)	一种
項目 カテ 番号 ゴリ	検査対象箇所	箇 列	検 社 法	検査の範囲 及び程度		
			BMV	100%		
※1:「実用発 ※2:NRA文書 炉圧力容器の	8電用原子炉及びその附属 §「実用発電用原子炉及び)溶接接手の試験程度等):	が散設における破壊を その附属施設におけ 新規制要件に関する	引き起こす る破壊を引 事業者意見	- 亀裂その他の き起こす 亀裂 の聴取にかか	※1:「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(半成26年8月6日原子力規制委員会決定)) ※2:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子 炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。)の施行及び公開会合「(原子 Eを適用する。

5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	_ K	2023年 第28条全 サイクル サイクル	2026年 第288条 十 4イクル	中 1 2027年	2028年 2028年 - 第308年 中イイクル サイクル 2028年 2028	第31保全 サイクル	#E
5 5 6 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9							
5% 23							
7. 5% 13 VT-3	VT-3 7.5%						

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画

検査対象箇所 検査対象箇所 検査が配置 接債をが定	発電用原子	発電用原子力設備規格	格 維持規格(2012年改版/2013追補 JSME S NA1-2012/2013/2014※1	3追補/20	/2014追補)				恒洪	発電 所第 3	3 号機檢查	計画 (10ヵ年	年)					華
カーゴリ (検責が終慮所) 検達 7 次 6 程度 第20保全 中イクル サイクル		- 1)= 40 W TT TT 40 YT	† †	検査の範囲		† †	検査の範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	
職員弁工と 1-15% 2 VT-3 7-5% 2 MG分子と 2 VT-3 7-5% 2 MG分子と 2 VT-3 7-5% 2 MG分子と 1-15% 2 VT-3 7-5% 3 MG分子と 1-15% 3 VT-3 7-5% 3 MG分子と 1-15% 3 VT-3 7-5%		П Г	子园水区油及	(検管力法)	及び程度		検管力法	及び程度	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	ı	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	ı	第30保全 サイクル	第31保全サイクル	
職役弁ごと VT-3 7. 5% 職役弁ごと VT-3 1. 15% 7. 5% 1. 140 1. 150 7. 5% 1. 15% 1. 15% 2. 15% 1. 15% 2. 15% 3. 15% 3. 15% 4. 17-3 1. 15% 5. 15% 7. 15% 7. 15% 7. 15% 7. 15% 7. 15% 7. 15% 8. 15% 8. 15% 9. 15%																		
整成井にと 1-1台の 7-5% 整砂井にと に1台の 7-5% 1-1台の 7-5%				× 1 – 3	類似弁ばと に1台の 7.5%	2	V T – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1										
数位弁ごと (こ1台の) 4 VI-3 (こ1を7・5%) 7.5%				V T – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%	2	V T – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1									!	
				V T - 3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	× 1 – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1										

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(1/2)

高浜発電 所第 3 中 穢 核 香 計 画									クラス 1 機器供用期間中検査で管理								
	検査の範囲 及び程度	可能範囲 各100%	5 % %2	5.% %2	5% %2	可能範囲 100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	%00	%00	%00	%00	
JSME S NA1-2008%1	検査方法検査	体積 49-1	体 積	体 積	体 積	本積 1	体積 各1	体積 各1	体積 49-1	体積 6-1	体積及び 可表 面 各1	体積及び 可表 面 各1	V T - 1	体 積 1	体 積 1	V T - 1	
維特規格(2008年改訂版) JSM	· 医圆拳拉骨板	下部胴の長手溶接継手	上部胴と下部胴との周溶接継手	下部調とトランジションリングとの 周溶接継手	トランジションリングと下部鏡板との 周溶接継手	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	冷却材入口管台と胴との溶接継手	冷却材出口管台と胴との溶接継手	冷却材入口管台内面の丸みの部分	冷却材出口管台内面の丸みの部分	冷却材入口管台とセーフエンドの 溶接継手 (呼び径100A以上)	冷却材出口管台とセーフエンドの 溶接継手 (呼び径100A以上)	7×+	スタッドボルト	置レーソンキン穴のキン哲	キンマロ	
		۲	Ŧ			1	_	_	_	_	R-F		B-G-1	B-G-1	B-G-1	- T	
# = #*(・/ こ/ 発電用原子力設備規格 維持規格	目番号 カテゴリ	B-A	-4	B-B		B-C	٥	<u></u>	٥	<u></u>	ď	1	₽	₩	B.	B-G-1	

程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と誘み替える。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

<u></u>	
/	
Ø	
器	
松	
子为	
画	

· ·	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008%1	108%1	高 浜 発 電 所 第 3 号 榛 榛 楂 幹 画	華
項目番号	カテゴリ	応嗣豢权 葡教	検査方法	検査の範囲 及び程度		
61.10	G-P-1	容器内部	V T – 3	全範囲の 7.5% 各検査時期毎 ※2		
		上部炉心支持構造物の内部取付物	V T – 3	全範囲の 7.5%		
61. 40	G-P-1	下部炉心支持構造物の内部取付物	V T – 3	全範囲の 7.5%		
		炉心内部取付物	V T — 3	全範囲の 7.5%		
5	6	上部炉心支持構造物	V T — 3	全範囲の 7.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
8	7	下部炉心支持構造物	V T — 3	全範囲の 7.5%		
2	٥	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は	最外周の		
	2	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	表面	25%		
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%		
F1. 41	F–A	支持構造物 (サポートブラケット、 サポートシュー、基礎ポルト)	V T – 3	2 5 %		
×1 NDV	4年 「中田名	※1.NDA 女事「中田教师田陌又指女式女色群居拉影」大江又群指大马才赶一才争到女色建长在好的剧型。	セニサゼーナ	アラモラト高の	(今起中在6日6日西世世教知1006051年)(号に開くには、帝劉愈群MDAセ事場にフェス、)(長行51476公職今今「	1. 四月后日七份四人沙林林子(1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こず亀裂その他の文稲の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S NA1-2012/2014を適用する。 ※2:2020年7月1日より維持維持 USME S NA1-2012/2014を適用し、「全範囲のフ. 5% 各検査時期毎」は「全範囲のフ. 5%」と誘み替える。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲) 2. mg器(1/1)

$\overline{}$	
-	
/	
_	
$\overline{}$	
器	
H	
加	

1972 1972	2. 加工部	イー・ハーン毎日					
18-8 工部別上土部線板上の開継手 体 積 各 10% 及び程度	791	発電用原子力	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-20	108‰1	浜発電所第3号機検査計	
B-B 上部調と上部鉄板との周継手 体積 5% 上部調の長手継手 体積 610% 上部調の長手継手 体積 610% 上部調の長手継手 体積 610% 上部調の長手継手 体積 5% 10	項目番号	カテ		検査方法	検査の範囲 及び程度		
12 下部順と下部線板との周継手 体積 5%6 12 B-B 下部順の長手継手 体積 各10% 13 B-B 上部間の長手継手 体積 5%6 10 B-D 管台と容器との消接継手 体積 2.5% 10 B-D 管台と音器との消接継手 体積 2.5% 10 B-D 管台と音器をの消接継手 株積 2.5% 10 B-D 管台と音器をの消接継手 株積 2.5% 10 B-D 管台と音器をの消接継手 株積 2.5% 10 B-D 管台を音器を介護を計算がしま 本積 2.5% 10 B-G マンホールの取付けボルト VTー1 2.5% 10 B-P (エカ保持範囲 VTー2 可能範囲 10 B-A (スカード海接継手) VTー3 2.5% 11 F-A 支持橋連節 (スカート、基礎バルト) VTー3 2.5%	B2 11		上部胴と上部鏡板との周継手		2%		
2 B-B 下部部の長手継手 体積 各10% 本部部の長手継手 体積 各10% 本部部の長手継手 体積 各10% 本部部の表示の部分 本 積 25% 本 積 25% 本 4 10% 和 4 10%	DZ: 11		下部胴と下部鏡板との周継手		2 %		
13 B-B 上部胴と下部側をの周継手 体積 59% 10 B-D 管台と容器との溶接継手 体積 25% 管台とセーフエンドの溶接継手 体積 25% (呼び径100A以上) 加圧器迭がし弁管台 表面 25% 加圧器とのの取付けボルト VT-1 25% 20 B-G-2 マンホールの取付けボルト VT-1 25% 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 可能範囲 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 可能範囲 VT-2 100%	60		上部胴の長手継手		各10%		
13 B-B 上部開と下部開との周継手 体積 5% 10 B-D 管台と容器との溶接継手 体積 2.5% 10 B-D 管台とセーフエンドの溶接継手 体積 2.5% 10 B-F 加圧器金がし弁管台 表面 2.5% 10 B-F 加圧器女全弁管台 表面 2.5% 10 B-G-2 マンホールの取付けボルト VT-1 2.5% 10 B-H 支持部材の容器への取付け消接継手 表面 7.5% 10 B-H 支持部材の容器への取付け消接機率 表面 VT-2 可能範囲 10 B-H 支持機造物 (スカート、基礎ボルト) VT-3 2.5%	71 .Zg		下部胴の長手継手		各10%		
80 B-D 管台と容器との溶接維手 体積 25% 10 B-D 管台内面の丸みの部分 体積 25% 10 B-F 加圧器並がし弁管台 株積及び 25% 10 B-F 加圧器女会弁管台 株積及び 25% 10 B-F 加圧器女子上で溶音台 表面 7.5% 10 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 表面 7.5% 10 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 数面 7.5% 10 B-P 圧力保持範囲 VT-2 可能範囲 10 B-P 左持橋造物 (スカート、基礎ボルト) VT-3 2.5%	B2. 13		上部胴と下部胴との周継手		5%		
10 B-D 管台内面の丸みの部分 体積及び 10 B-F 加圧器逃がし弁管台 株積及び 25% 10 B-F 加圧器支全弁管台 株積及び 25% 20 B-G-2 マンホールの取付けボルト VT-1 25% 20 B-P 支持部材の容器への取付け溶接維手 表面 7.5% 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 可能範囲 11 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ボルト) VT-3 25%	B3. 30		管台と容器との溶接継手				
10 B-F 体積及び 加圧器送がし弁管台 本積及び 東面 加圧器スプレイ管台 25% 20 B-G-2 マンホールの取付けボルト スカート溶接継手) VT-1 25% 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 可能範囲 100% 41 F-A 支持構造物(スカート、基礎ボルト) VT-3 25%	B3. 40		管台内面の丸みの部分		Ŋ		
10 B-F 加圧器支全弁管台 株積及び 加圧器スプレイ管台 兼面 20 B-G-2 マンホールの取付けボルト VT-1 20 B-H 支持部材の容器への取付けボルト (スカート溶接継手) VT-2 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ボルト) VT-3			管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)			クラス 1 機器供用期間中検査で管理	
10 B-F 加圧器女全弁管台 株積及び 加圧器スプレイ管台 表面 Dare B-G-2 マンホールの取付けポルト VT-1 20 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 表面 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-3			加圧器逃がし弁管台				
20 B-G-2 マンホールの取付けポルト VT-1 20 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 表面 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-2	B5. 40		加圧器安全弁管台	体積及び	26 u		
20 B-G-2 マンホールの取付けポルト VT-1 20 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 表面 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-3			加圧器スプレイ管台	表面	8 0 N		
20 B-G-2 マンホールの取付けポルト VT-1 20 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 表面 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-3			加圧器サージ管台				
20 B-H 支持部材の容器への取付け溶接継手 表面 20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-3	B7. 20			⊢	Ŋ		
20 B-P 圧力保持範囲 VT-2 41 F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-3	B8. 20		支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)				
F-A 支持構造物 (スカート、基礎ポルト) VT-3 2	B15. 20		圧力保持範囲	1	可能範囲 100%		
	F1. 41		支持構造物(スカート、基礎ボルト)	× 1 – 3	2 5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器(1/1)

₩ .	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008**1	1388	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画	華
項目番号	8 አテゴリ	校查对象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
B2. 40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	1基の 25%		
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の 25%		
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、 ・ 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び 表 面	1基の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	V T – 1	1基の 25%		
B15. 30	В-Р	圧力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%		
F1. 41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	V T – 3	1基の 25%		
※1:NRA文書 度等)新規制	文書「実用! 規制要件に[※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠縮 度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019	を引き起こす 和元年8月5	「亀裂その他の; ;日)の結果(2	の解釈」(令和元年6月5日原想技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合 年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。	(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲) 4・配管(1/3)

亏 儉 性 計 囲						11. W - +	団中夜崎 で雪苗						
							ソフトー懐姦供用期间中検査で管理						
	検査の範囲 及び程度		2 5 %	2 5 %	2 5 %	2 5 %	2 5 %	2 5 %	2 5 %		2 5 %	2 5 %	2 5 %
	検査方法 7		体積	本	体積	体積	本	体積	体積		表	根	米国
	核查对象箇所	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	1 次冷却材管 (27.5INID, 836. OOmm, 29INID, 31INID) A, B, Cループ	加圧器サージ管 (14B, 355. 60mm)	加圧器安全弁ライン (68) A. B. Cライン	加圧器逃がし弁ライン (6B)	余熱除去ポンプ入ロライン (128) B. Cループ	S I S蓄圧注入ライン (12B,318.50mm) A, B, Cループ	S 1 S 低温側低圧注入ライン (6B) A, B, Cループ	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	加圧器逃がし弁ライン (38)	条熱除去ポンプ入ロライン (128) B. Oループ	C V C S 充てんライン (38,89.10mm)
	カテゴリ				B-J						-	۲- هـ	
	日番 号				B9. 11						-	B9. 21	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

3	
/	
'n	
) Kinn	
配會	

発電	用原子力設	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSM	JSME S NA1-2008※1	2008※1	阿沃洛龍 咒笑的 泰 核 有 早 画	華
項目番号	カテゴリ	檢查対象簡所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
i d	-	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)				
D9. 21	 	S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B,60,50mm) A, B, Cループ	至	2 5 %		
20	-	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)				
2	7-2	1 次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cループ	本	2 5%		
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)			クラス 1 機器供用期間中検査で管理	
R0 32	- -	1 次冷却材管 (2B,3B,63,50mm) A,B,Cループ	¥ 至	2 5 %		
20.		余熱除去ポンプ入ロライン (128) B, Cループ	表面	2 5 %		
		S I S 低温側低圧注入ライン (2B) A, B, Cループ	表	2 5 %		
9	-	ソケット溶接継手				
B9. 40	7-20	S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B) A, B, C ループ	表	2 5 %		

駿程度等)新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」、C名和元年8月5日)の結果「2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「SME 3 MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲) 4・配管(3/3)

en ∰	およっては	光馬石派士乙氏圖然石 霍沙洛伯(人 0 0 4 块型灰) 0.00000000000000000000000000000000000			回 长 光 馬 匹 光 3 九 寂 家 叫 三 面
項目番号	カテゴリ	核查对象簡別	検査方法	検査の範囲 及び程度	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%	
		支持構造物			
		加圧器サージ管	V T – 3	25%	
		加圧器逃がし弁ライン	V T – 3	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
Ę	4	余熱除去ポンプ入ロライン B. Cループ	× 1 − 3	25%	
2	-	CVCS充てんライン Bループ	V T – 3	2 5 %	
		S I S 蓄圧注入ライン A. B. C ループ	V T — 3	2 5 %	
		S I S 低温倒低圧注入ライン A. B. Cループ	V T - 3	25%	
		SIS低温側ほう酸注入ラインA. B. Cループ	V T – 3	2 5 %	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

華			ポンプ分解点検時に実施			ポンプ分解点検時に実施			「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程
回洪光高坪 第3 中縣 核 查 早 画				クラス1機器供用期間中検査で管理					欠的の解釈)(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及1が公開会会
18 % 1	検査の範囲 及び程度	1台の25%	1台の25%	1台の25%	1台の25%	1	可能範囲 100%	1台の25%	亀裂その他の
JSME S NA1-2008※1	検査方法	体積	V T — 1	V T — 1	V T — 1	V T – 3	V T – 2	V T – 3	추리キ起こす
維持規格(2008年改訂版)	校查对象箇所	スタッドポルト	フランジ表面	ナット	ケシシウ	ケーシングの内表面	圧力保持範囲	支持構造物(支持脚、ペースプレート、 基礎ポルト)	※1・NRA文書「実用発雷用原子炉及パタの附属施設における破壊を引き起こす角裂その他の女B
発電用原子力設備規格	カテゴリ	B-G-1	B-G-1	9		B-L-2	B-P	F-A	泰田志」 書.
絮	項目番号	B6. 180	B6. 190	006 98	007 .000	B12. 20	B15. 60	F1. 41	₩1 · NRA☆

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲) |6. 弁(1/2)

計 画 特										
阿沃米 晶 兇 第 3 中 赫 核 香 青						クラス 1 機器供用期間中核査で管理				
18%1	検査の範囲 及び程度		類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%	類似弁ごとに 1 台の25%
JSME S NA1-2008※1	検査方法		> - T - L - T - L - T - L - T - L - T - T	V T — 1	> - T -	V T — 1	V T — 1	V T — 1	V T - 1	1-1A
	検査対象 箇所	圧力保持用ポルト締付け部 (直径50mm以下)	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RO-055 3V-RO-056 3V-RO-057	加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	3PCV-455A 3PCV-456B 3PCV-454C	C V C S 充 てんライン B ループ 3V-CS-233 3V-CS-234	余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	3V-RH-003A 3V-RH-003B	S I S蓄圧注入ライン A, B, C,ループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134G, 130C	S I S 佐温側低圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B
備規格 維持規格(2008年改訂版)	~ 本	E力保持用(直径50	₽∢							
発電用原子力設備規格 維持規格(200	カテゴリ 検	压力保持用 (直径50	III A			B-G-2				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲) 6. 新(2/2)

W.	発電用原子力設備規格	維持規格(2008年改訂版)	JSME S NA1-2008%1	108※1	高浜発電所第3号機核香計画	華
項目番号	カテゴリ	按替对黎 爾列	検査方法	検査の範囲 及び程度		
		弁本体の内表面				
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056	× 1 – 3	類似弁 ごとに 1		
		余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ 3P0V-420 3P0V-430	V T – 3	類似弁ごとに 1		
B12. 50	B-M-2	3V-RH-003A 3V-RH-003B	V T - 3	類似弁ごとに 1		
		S I S 番圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-1344, 136A 3V-SI-1348, 136B 3V-SI-1346, 136B	× − ×	類似弁 L とに 1		
		S I S 低温側低圧注入ライン A, B, C ループ 3V-S1-202A, 203A 3V-S1-202B, 203B 3V-S1-202C, 203C	V T – 3	類似弁ごとに 1	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	V T – 2	可能範囲 100%		
		支持構造物				
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%		
14	A -	加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%		
:	:	3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	V T - 3	類似弁ごとに 1台の25%		
		余熱除去ポンプスロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	V T – 3	類似弁ごとに 1台の25%		
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	V T - 3	類似弁ごとに 1台の25%		
※1:NRA 度等)新	 文書「実用発 海制要件に関		초引き起こす 都中年 8 目 5	 観裂その他の3 日、の結単 (3	※1:NRA文書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧 度类)新辑制亜化上間オス重業寿音の時間にもかる会会」(会和デ年8日5日)の辞里(20110年度山の計画本電)を終すす。2020年7日1日より維持相数(SMF & MJ-2013/2011を選出する	(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器N;基合金使用部位特別検査範囲)

1. 原子炉容器 (1/1)

備 老			
高浜発電所第3号機検査計画		クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理	
	検査の範囲 及び程度		1
	本 共		2
NRA文書※1, ※2	検査対象箇所	600系NI 基合金製の上蓋及び底部表面 (600系 NI 基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台 まわり360°を含む。)	\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	ナ ル リ	ı	
	項目番号		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)

		NRA文書※1, ※2			高浜発電所第3号機檢查計画	華 考
項目番号	セ ル リ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
		配管の耐圧部分の溶接継手				
		充てんライン (38)	体積	25%	クラス2管(原子庁格納容器内)特別検査で管理	
I	l	再生熱交換器連絡管(3B)				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

※1:「実用発電用原子p及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号「平成26年8月6日原子力規制委員会決定)) ※2:NRA文書「実用発電用原子pp及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

	1		1	1	1
備 港					3「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度
	2024年	第26保全 第27保全 サイクル サイクル			の施行及び公開会合
	2023年	第26保全 サイクル	A 7. 5%		の施行及
	2022年	第25保全 サイクル		A 7. 5%	という。) する。
(年)	2021年				文書改正 114を適用
計 画 (10ヵ年)	2020年	第24保全 サイクル			裂解釈NRA 2/2013/20
検査計	2019年	ı	1	-	日原規技発第1 <u>906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正とい</u> 、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する
号機格	2017年 2018年 2019年	第23保全 サイクル			の改正版 現格 JSME
第	2017年	第22保全 サイクル サイクル			906051号) より維持
6 電 所	2016年	保全 クル			現技発第16 20年7月1日
高浜発	2015年	第21保全 サイクル			月5日原 まえ、202
		及び程度	1基の7.5%	1基の7.5%	<u>1の欠陥の解釈」(令和元年6月5</u> (2019年度中の計画変更)を踏まえ、
	# # #	快車力体	ΤO	ΤO	他の欠陥の解釈」 (2019年度中の計
	元 排 米	以⊪ 数	2	2	: の他の欠 き果 (2019:
2008※1	検査の範囲		1基の7.5%	1基の7.5%	引き起こす亀裂その化 年8月5日)の結果
ME S NA1-	# # #	快里刀体	体積	体積	破壞を引 (令和元年)
.用原子力設備規格 維持規格(2008年版) ∪SME SM1−2008※i	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1		管側胴と管側フランジとの周溶接継手	管側鏡と管側胴との周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引: に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年:
発電用原子	= 1 	7 1 1 2	C-A	C-A	: NRA文書「実 新規制要件に
紙	項目	梅	C1. 10	C1. 20	※ ※ ※ ※ ※

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

☶	
各环石沙园	
È	
k	
-	
告	,
Ķ	
=	•
Ì	`
v	-
,	Щ
<	Ħ
`	8
`	Ŧ
	4
 	+
×	- '
α,	3
#	今替珍十 今村昭新星
,	4
۲	•
まくずび	c

	発電用原	.用原子力設備規格 維持規格(2008年版) USM	JSME S NA1-2008 11 11 2008 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	008※1	南 浜 発 鴨 所 第 3 号 機 検 査 計 画	非
番 田 田 中	カテゴリ	店園兼女御祭	検査方法	検査の範囲 及び程度		
01.10	10 C-A	A 管側胴と管側フランジとの周溶接継手	本	1基の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C1.2	20 C-A	A 管側鏡と管側胴との溶接継手	体	1基の7.5%		
C2. 2	. 21 C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴 との溶接継手	体積及び 表 面	7. 5%		
**************************************	: NRA文書 新規制要	Ⅰ:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす1))新規制要件に関する毒業者意見の譲取にかかる会合」(令和元年8月5日)	破壊を引き 令和元年8	:起こす亀裂その作月5日)の結果	20の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発薬1906051号)の改正版(以下、亀穀解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「((2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年/月1日より維持規格 JSMC S NAT-2012/2013/2014を適用する。	原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 3. 配管 (1/3)

Mail		電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) USME	ME S NA1-2008%1	2008‰1				高浜発	電所第	第 3 号	蔽	神	(10ヵ年)				華
Part				† †				格香の節用	-	-				2021	2022	2023年	2024年	
Companies of the contribution of the contrib		カテゴリ		検金万法				及び程度	第21保:サイク)			3保全 (クル		第24保全 サイクル	第25保á サイクル		第27保全 サイクル	
1.0% Commendate			配管の支持部材取付け溶接継手															
	c3. 20	9-0	出口ランプレイ			2					- A		1					
Proceedings			主蒸気大気放出ライン (68,165.20) Aライン			1		٦ -					1			A 1		
1.64 5.5 c			配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径10 0Aを超え公称肉厚9.5mmを超える もの)															
(486.58 g) (20 0	1	<u>ر</u> د	格納容器再循環サンプ出ロライン (148,355,60mm) Aライン(格納容器スプレイ系統)	体積又は 表 面	7.	9	ΡΤ						1					全箇所、ガードパイプ内の溶接継手であり、維持規格1A2360(接近性)の規定を適用し、検査を免除する。
1885次数を出ライン 株型 X	= 3	5	格勢容器スプレイポンプスロライン (148,355.60mm) A、Bライン	体積又は 表 面	٠.								∢	-				
大学権債務 大学権債 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大			主蒸気大気放出ライン (68, 165. 20) Aライン	体積又は 表 面	7.	9	ΡΤ	٠ -					1			A 1		
5 L S 通過機能圧込んさん VT-3 7.5% 3 VT-3 7.5% - 1 1 1 1 1 A A A A M C A A M C			支持構造物															
FA			1 S高温側低圧注入ライライン	- 1		ю	F	- ي					1		4			
F-A 構造等額 12.9 VT-3 7.5% 4 - 3 (本) 大学舗機等 A 1.5% 1.5% 1.5% - 3 - 3 (本) 大学 1.5% 1.5% 1.5% 1.5% - - 3 - - 9 -			充てん/高圧注入ポンプ入ロライン	- 1			Ï E									-		
A ライン (格納容勝五リンブ出ロライン (格納容勝スプレイボンブムロライン (格納容勝スプレイボンブカロライン VT-3 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5%			原子炉補機冷却水ポンプ出入ロライン	- 1			i F	- L 0 0			4						ю	
F-A 特齢容器スプレイボンブルコライン VT-3 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 7.5% 8 F-A A、Bライン A A A A A A A A A A A A A A A A A A A			格納容器再循環サンプ出ロライン Aライン(格納容器スプレイ系統)	- 1		-	Ï E						1				4	
F-A 株納容器スプレイボンブ出ロライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A、Bライン A I 3 VT-3 7.5% 7.5% 7.5% 9 植物容器スプレイ系統余験株式系統 A W I 3 7.5% 13 VT-3 7.5% 7.5% - 1 - 1 直般代替低圧注水ボンブ出ロライン D 機式代替低圧注水ボンブ出ロライ D 機式代替低圧注水ボンブ出ロライ V I - 3 7.5% 2 V I - 3 7.5% 7.5% - 1 可機式代替低圧注水ボンブ出ロライ D 機式代替低圧注水ボンブ出ロライ V I - 3 7.5% 2 V I - 3 7.5% - 1 - 1 アニュラス空気浄化ライン V I - 3 7.5% 3 V I - 3 7.5% 3 V I - 3 7.5% - 82 - 82 A 1			格納容器スプレイポンプ入ロライン Aライン	- 1		7	i F	-					1				4	
VT-3 7. 5% 19 VT-3 7. 5% - A1 - A1 VT-3 7. 5% 13 VT-3 7. 5% - 1 - 1 VT-3 7. 5% 20 VT-3 7. 5% - 1 - 1 VT-3 7. 5% 2 VT-3 7. 5% B1 - B2 A1 VT-3 7. 5% 3 VT-3 7. 5% B1 - B2 A1	F1. 21	F-A	格納容器スプレイポンプ出ロラインA、Bライン	- 1			Ï						1				A 1	
VT-3 7. 5% 13 VT-3 7. 5% - 1 VT-3 7. 5% 20 VT-3 7. 5% - 1 VT-3 7. 5% 2 VT-3 7. 5% B1 - B2 VT-3 7. 5% 3 VT-3 7. 5% B1 - B2			格納容器スプレイ冷却器出ロラインA、Bライン	- 1			Ï E	. 2					∢	-				
VT-3 7. 5% 20 VT-3 7. 5% - 1 VT-3 7. 5% 2 VT-3 7. 5% - - - - - VT-3 7. 5% 59 VT-3 7. 5% B1 - B2 A VT-3 7. 5% 3 VT-3 7. 5% A1 - A1			格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン	- 1			Ï											
VT-3 7. 5% 2 VT-3 7. 5% B1 - B2 A1			恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	- 1	D		i F	D G									-	
75 VT-3 7.5% 59 VT-3 7.5% B1 - B2 A A A A A A A A A A A A A A A A A A			可機式代替低圧注水ポンプ出ロライン	- 1		8	F	- ي					1				-	
VT-3 7.5% 3 VT-3 7.5%			アニュラス空気浄化ライン	- 1			i L						В	5			A 2	
			主蒸気大気放出ライン	- 1		ო	 -						1			A		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (2/3)

## 1 2 1		発電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSML	JSME S NA1-2008%1	2008%1	圖古神祭黎中 8 無法 編 光 減	童
Right Day 1 1 2 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	展 年 日 中			検査方法	検査の範囲 及び程度		
(3.8.5 ph. 12.5 cm)			配管の支持部材取付け溶接継手				
(25) 40m			余繁除去ポンプスロライン (318.50mm,355.60mm) A、Bライン				
(5.20 Gev 20mm 201 Admin 24 2 7 5 % 6 % 6 % 6 % 6 % 6 % 6 % 6 % 6 % 6 %			余熱除去ポンプ出ロライン (267.40mm) A、Bライン				
State St			S I S 街温側低圧沖入ライン (165.20mm, 267.40mm) A, B, Cライソ				
26.50km 24.74ボンブ人ロライン 表面 7.5% 25%	63.20		S.I.S.低温側ほう酸注入ライン (89:10mm) 共通ライン				
## 1			充てん/高圧注入ポンプ入ロライン (216.30mm)			イコンの書館手を入るの語	
1.0%			充てん/高圧注入ポンプ出ロライン (89.10mm,114.30mm)			アント 7 88 静沢王忠三千宮神に面併	
Reg-Omjergangeの機能を基本的 表面 7.5% Regular Regular Control Co			1 次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm) ほう酸注入タンク出口側				
Defe Om E			格納容器再循環サンプ出ロライン (355.60mm) A, Bライン (余熱除去系統)				
(128 148, 318.50mm, 355.60mm) 表面 7.5% 大田 1.0% 1.0% 2.5%			配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径10 0Aを超え公称肉厚9.5mmを超える もの)				
05.11 C-FS.1.S 低温側低圧注入ライン (68.108,165,20mm,267.40mm)体積及び 表面7.5%A. B. Cライン (48.355,60mm)株納容器再循環サンブ出口ライン (148.355,60mm) 表面体積又は 表面7.5%				体積又は 表 面	7.		
格納容器再循環サンプ出口ライン 体積又は (148,355,60mm) 表 面 7.5% A.Bライン (余熱除去系統) 表 面 7.5%	65. 11			体積及び 表 面	7.		
			格納容器再循環サンブ出ロライン (148,355.60mm) A. Bライン(余熱除去系統)	体積又は 表 面	7. 5%		

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解器NRA文書改正という。) 等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (3/3)

備寿															
高浜発電所第3号機検査計画							田城 化苯合甲酯甲甲状腺素 化二二十二	ハントル協権実正を三十支対に証益							
2008※1	検査の範囲 及び程度		7. 5%	7. 5%		7. 5%		7. 5%		7. 5%	7. 5%	7. 5%	7. 5%	7. 5%	7. 5%
JSME S NA1-2008%1	検査方法		根	表		表		表面		V T – 3	V T — 3	V T – 3	VT-3	V T – 3	V T – 3
維持規格(2008年版)	近圆条女相袋	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50 A以上100A以下で公称肉厚5mmを 超えるもの)	S I S低温側ほう酸注入ライン (28,38,60.50mm,89.10mm) A, B, C, 共通ライン	充てん/高圧注入ポンプ出ロライン (38,48,89.10mm)	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	S I S低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. Cライン	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径50 Aを超える、母管と管台及び母管と枝 管)	充てん/高圧注入ポンプ出ロライン (38)	支持構造物	余熱除去ポンプ入口ライン A. Bライン	余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン	SIS低温側低圧注入ライン A. B. Cライン	SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	格勢容器再循環サンプ出口ライン A. Bライン (余熱除去系統)
発電用原子力設備規格	カテゴリ		G-F		L	5	L					F-A			
.417	斯 田 中		05. 21		i S		5	3				F1.21			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

生 ヘ 宇 以 サ ノ ノ ヘ ~ loo te に に が 川 回 4. 格納容器スプレイポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) LSME 8 NAI — 2008※11 本語 活 発 電 所 第 3 号 機 核 査 計 画 (10ヵ年) 本語 (10ヵ年) 金 全 計 画 (10ヵ年) 金 全 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 計 画 (10ヵ年) 金 記 書 計 画 (10ヵ年) 金 記 書 計 画 (10ヵ年) 本 記 書 計 画 (10ヵ年) 本 記 書 計 画 (10ヵ年) 本 記 書 計 画 (10ヵ年) 本 記 書 書 記 書 記 記 書 記 記 書 記 記 記 記 記 記 記 記						1
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその解嘱施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果						
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果		2024年	第27保全 サイクル			なび公開会合
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果		2023年	第26保全 サイクル			の施行及
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果			第25保全 サイクル			という。) する。
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	(本)	2021年				4文書改正 014を適用
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	画(10力		第24 サイク	A 1		§裂解釈NR/ 12/2013/20
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	₩	2019年	1	1	I	(以下、倡 S NA1-20
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	鞍		第23保全 サイクル			の改正版 規格 JSME
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	第 3		第22保全 サイクル		A 1	906051号) ヨより維持
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	€ ₽	2016年	保全 'クル			規技発第1 20年7月16
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果	浜	2015年	第21 十イ			5月5日原 8まえ、20
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果		検査の範囲	及び程度	1台の7.5% 1	1台の7.5% 1	(令和元年 6 画変更)を 容
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USME S NAI - 2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査方法 検査の範囲 設 及び程度 及び程度 表 面 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% トA ポンプの台板脚 VT-3 1台の7.5% 現故書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす偏裂その4規制要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果		# # *	快車力法	ΡΤ	V T – 3	陥の解釈」 年度中の計
電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※11 カテゴリ 検査対象箇所 検査が 及び程 トーム ポンプの合板脚 マアクの附属施設における機様を引き起こす 現及書「実用発電用原子炉及びその附属施設における機様を引き起こす 2000年 1年の7.			EX IIII XX	4		₹ ■
電用原子力設備規格 維特規格(2008年版) USM カテゴリ 検査対象箇所 G-6 ケーシングの溶接継手 F-A ポンプの台板脚 以文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における 規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(2008※1	検査の範囲	及び程度	1 台の7.5%	1台の7.5%	ATTIVE STATE OF THE PARTY.
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSN	SME S NA1-	# # * *	(大量力法)		8 − 1 ∧	破壊を引き (令和元年8
参電用原子	►力設備規格 維持規格(2008年版) JSM			ケーシングの溶接継手	ポンプの台板脚	<u>実用発電用原子炉及びその附属施設における</u> に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(
藤	発電用原子			9-0	F-A	NRA文書「 規制要件
	-ATA	西田	梅	06.10	F1. 43	※ # - 海

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

5. 余熱除去ポンプ (1/1)

ρΗ·	8電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNA1-2008※1	ME S NA1-	2008※1	国 枯 梨 梨 乳 印 銀 光 極	華
重 年 日	አ _ቸ ግሀ	核產対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	田が一条や土田田田田 井市寺 ウィーン	
C6. 10	9-0	G-G ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	± ₹ #	
F1. 43	F-A	F1.43 F-A ポンプの台板脚	V T - 3	VT-3 1台の7.5%		
*************************************	RA文書「 規制要件」	i. MAA 文書「実用祭運用原子/存及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2	5破壊を引き (令和元年8	き起こす亀裂そ6 3 月 5 日)の結∮	1他の文稿の解釈」(今和元年6月5日原提技卷第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NR大輩改正という。)の施行及び公開会合「(原子伊正) ≷ (2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USMES NAI-2012/2013/2014を適用する。	炉圧力容器の溶接接手の試験程度

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

6. 原子炉補機冷却水ポンプ(1/1)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

				-
黄 老				合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度
	2024年	第26保全 第27保全 サイクル サイクル		の施行及び公開会合「
	2023年	第26保全 サイクル)の施行
	2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年	第25保全 サイクル サイクル	1	原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解報NRA文書改正という。) 2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
5年)	2021年	保全 クル		051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正5 り維持規格 USME S NA1-2012/2013/2014を適用す
画 (10ヵ年)	2020年	第24保全 サイクル		亀裂解釈N 012/2013/
機検査計	2019年	1	1	夏 (以下、 E S NA1-2
号 機 柜	2018年	第22保全 サイクル サイクル)の改正版 F規格 JSM
所 第 3 号	2017年	第22保全 サイクル		1906051号 日より維持
発電 所	2016年			(規技発第)20年7月1
高浜	2015年	第21保全 サイクル		6 月 5 日原 踏まえ、20
	検査の範囲	及び程度	1台の7.5% 1	他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日] (2019年度中の計画変更)を踏まえ、2
	# # * *	快里刀流	VT-3	他の欠陥の解釈」 (2019年度中の計
			2	è.₩
-2008※1	検査の範囲	及び程度	VT-3 1台の7.5%	き起こす亀 3月5日)
ME S NA1-	# # * *	E 7	£-⊥∧	における破壊を引き 会合」(令和元年8
電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) USME S NAIー2008※1	2. 数备卡米令	(欠員 2) 楽 固	FI.43 F-A ポンプの合板部	引発電用原子炉及びその附属施設 引する事業者意見の聴取にかかる
(電用原子)	= 1 - 	-	F-A	: NRA文書「実月 新規制要件に厚
紙	項目	番号	F1. 43	# ** **

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

١.	
	1
	\sim
•	_
•	w
	\
	_ \
•	_
	\sim
	#
	4

	卷電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) USME S NA1-2008※1	SME S NA1-	.2008::1			PE	司 浜 発	電所	第 3 号	機横	本	画 (10ヵ年)				盖 赤
買	- 1 1 1	地黎多代米奇	# # # #	検査の範囲	5年	# # #	検査の範囲	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 2	2020年 20	2021年 2022年		2023年 2024年	
番号			大声には	及び程度		(大田) (本田) (本田) (本田) (本田) (本田) (本田) (本田) (本	及び程度	第21保全 サイクル		第22保全 サイクル サイクル	523保全 ナイクル	1	第24保全 サイクル	V-1	第25保全 第26保全 サイクル サイクル	保全 第27保全 クル サイクル	
		支持構造物															
		原子炉補機冷却水ボンブ出入ロライン 3V-TCV-2342A 3V-TCV-2342B	× − − ×	類似弁ごと に1台の 7.5%	Ø	V T – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1					ı			38-1	3V-TCV- 2342A 1	
F1. 43	F-A	格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン 3V-RH-100 3V-RH-101	× + ×	類似弁ごと に1台の 7.5%	0	V T – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1					ı			3V-RH- 100	# 0	
		主燕気大気放出ライン 3V-PCV-3810 3V-PCV-3820 3V-PCV-3830	V T – 3	類似弁ごと に1台の 7.5%	9	V T — 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1					ı			3V-F	3V-PCV- 3610 1	
※1:N 度等)	RA文書「新規制要	IRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)	r る破壊を引 こ (令和元	5破壊を引き起こす亀裂 (令和元年8月5日)	その他の欠陥の解釈」 の結果(2019年度中の	陥の解釈」 19年度中の	その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈WA文書改正という。 の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MAI-2012/2014を適用する。	3月5日原 2踏まえ、2	現技発第19 2020年7月1	106051号) 日より維持	の改正版 寺規格 JSM	(以下、亀 E S NA1-2	裂解釈NRA文 012/2013/2	:書改正とい)14を適用す	_	の施行及び公開会合「	会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

推										
画 沂 劣 禹 泙 郑 3 中 隸 核 岑 早 国					クラス2機器供用期間中検査で管理					
-2008‰1	検査の範囲 及び程度		類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁ごと に1台の 7.5%	類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁ごと に1台の 7.5%	類似弁 ごと に 1 台の 7.5%	類似弁ごと に1台の 7.5%	類似弁ごと に1台の 7.5%
JSME S NA1-2008; 1	検査方法		V T – 3	× 1 − 3	V T – 3	V T – 3	V T – 3	V T – 3	V T – 3	V T — 3
維持規格(2008年版)	拉爾泰拉魯茲	支持構造物	条熱除去ポンプ入ロライン A. Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B	余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B	余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン 3PCV-601 3PCV-611	余熱除去ポンプ田ロライン A. Bライン 3HCV-603 3HCV-613	余熱除去ポンプ出ロライン A. Bライン 3FCV-604 3FCV-614	SIS低温側低圧注入ライン A. Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B	S I S 低温側ほう酸注入ライン 3V-SI-042A 3V-SI-042B	充てん/高圧注入ポンプ出ロライン 3V-SI-023A 3V-SI-023B
発電用原子力設備規格	カテゴリ	1PX	I .			F-A				
光明	原梅 田中					F1. 43				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 <u>9. クラス2機器漏えい検査(1/4)</u>

	発電用原	発電用原子力設備規格(2008年版) JSME SIM 1-2008※1	٤١ ٤١		1	恒	浜発電所	第 3 号	蔽	神	画 (10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
西	ή 1			SA使用時圧力	検査圧力		2015年 2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 2021年	F 2022年	2023年	2024年	
番号	ロート化	ライン名称	(検査など) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一	МРа	MPa	(() () () () ()	第21保全 サイクル	第22保全 9サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
		化学体積制御系統													
C7.30 C7.70	H-0	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2				1				0	(SA-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	A H	A一充てん/恵田洋スポンプ出ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				1	0				(SA-2)
C7.30 C7.50 C7.70	H H	B-花てん/庖田洋入ボンプ田ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				1	0				(SA-3)
C7.30 C7.50 C7.70	Н-О	C-充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				1	0				(SA-4)
C7.30 C7.70	H-0	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2			0	1					(SA-5)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	H-0	ほう酸ポンプ出ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				1				0	(SA-6)
C7.30 C7.70	H-O	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(先てん/高圧注入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2		0		1					(SA-7)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2		0		ı					(SA-8)
※ 開 二 二 二 二	NRA文書「§ ・関する事	※1:NAA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の欠縮の解황要件に関する毒業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)	す亀裂その (2019年度)	他の欠陥の解釈」 中の計画変更)を	(令和元年 踏まえ、20)	6月5日原 20年7月1日。	規技発第1906051年より維持規格 JSM	号)の改正版 E S NA1-201	(以下、創 2/2013/20	§製解釈NR 14を適用す	A文書改正という - る。	。)の簡行	及び公開会	合「(原子均	RJ (令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈MRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制 を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

黒八事以寺ソノヘと版命[沃川朔]B] 9. クラス2機器漏えい検査 (2/4)

	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NA1-2008※1	<u>*</u>			咂	浜発帽	電所第	3	機体	査 計 画	i (10ヵ年)				()	備 考 (漏えい区分)
重	- 1 1 1	漏えい液査範囲	; + *	S A &	検査圧力		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 2	2021年 20	2022年 203	2023年 202	2024年	
梅		レイン角巻	快車力が	2	MPa	(検証の法)	第21保全サイクル		第22保全 第 サイクル +	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第20 サイクル サイ	第26保全 第27 サイクル サイ	第27保全 サイクル	
		余熟除去系統															
C7.30	3	A-余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					1				0		(SA-9)
C7.70		B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					1	0					(SA-10)
C7.10 C7.30	3	A-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					1	0					(SA-11)
C7.50 C7.70		B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					1				0		(SA-12)
		燃料取替用水系統															
C7.30 C7.70	÷.	燃料取替用水ダンク出口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1	0					(SA-13)
		安全注入系統															
C7.10		著 圧 タンク 及び出 入 ロライン	VT-2	4.9	4.9	VT-2					ı		0				(SA-14)
C7.70	F O	ほう酸注 入タンク及び出入ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2					1	0					(SA-15)
C7.30	3	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	17.16	17.16	VT-2					1	0					(SA-16)
C7.70		格納容器再循環サンプ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.1	4.1	VT-2					-					0	(SA-17)
	IRA文書「3 関する事き	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠縮の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制 悪典に関する事業を書自の講覧にかれる会会」(会知一年8日5日)の純里(2010年度由の計画で面)を終する。2020年1月上は維持組数、NSFにSNA1-2019が20114を満田する	す亀裂その (2019年度	他の久陥の解釈」 はの計画が重	(令和元年 ※ = > 20	6月5日原	規技発第11年日報共	906051号)	の改正版	(以下、亀	3裂解釈NR.	/文書改正と	こいう。)の	施行及び	以開会合「	(原子炉圧力容器の溶接	き接手の試験程度等)新規制

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (3/4)

1	1	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES MAI-2008※1	61			恒	浜発電	1 第	3 号 機	被	垣	(10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)	
1997 1995			漏えい格合節用	; ;	SA使用時圧力	格香压力												
6H 中級時報スプレイポレスA Dライン (水Tンス Dライン DATE) 2.7 VT-2 2.7 2.7 VT-2 2.7 2.7 VT-2 2.7 2.7 VT-2 2.7	- als		ルンソの整	検金力法	MPa	MPa	横香方法 一	第21保3サイクル		22保全 第2イクル サー	3保全イクル	1	第24保4 サイクル		5保全 第261 パクル サイジ	呆全 第27保全 7ル サイクル		
CH (44) (44) 전 A D D D D D D D D D D D D D D D D D D	1		格納容器スプレイ系統															
CH 中静時間深入しイボンブルロライン VT-2 2.7 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 2.7 VT-2 2.7 VT-2 2.7 2.7 2.7 2.7	30		A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					1	0				(SA-18)	
A-MMPREMENDAL/AND-DALCAL MARCH MARC	0.7		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					1			0		(SA-19)	
日本	9.8		A-格納容器スプレイボンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					1			O		(SA-20)	
C+H 権券容器再高額サンプ出口ライン(格納容器スプレイポンプ間) VT-2 2.7 VT-2 0 -	7.50		B - 格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					1				0	(SA-21)	
C+H 機能容器再循環サンプ出口ライン(格納容器スプレイポンブ側) VT-2 1.4 VT-2 VT-2 O - O - O - O P <td>7.30</td> <td></td> <td>格総容器スプレイボング出ロレイン</td> <td>VT-2</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> <td>VT-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(SA-22)</td> <td></td>	7.30		格総容器スプレイボング出ロレイン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					1	0				(SA-22)	
C-H 個別代替低圧達水ポンブムワライン VT-2 1.4 VT-2 2.7 VT-2 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 0 - 0 <	7.70		格納容器再循環サンプ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	0.283	0.283	VT-2					1	0				(SA-23)	
CH Inaccession of the district of the	7.30		恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2				0	1					(SA-24)	
C+H 開放代替低圧注水ボンブ出口ライン VT-2 1.55 VT-2 O - P	7.70		恒設代替 低圧 注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2				0	1					(SA-25)	
換気空間装置系統 VT-2 VT-2 <td>7.30</td> <td></td> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン</td> <td>VT-2</td> <td>1.55</td> <td>1.55</td> <td>VT-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(SA-26)</td> <td></td>	7.30		可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2				0	-					(SA-26)	
C-H アニュラス空気浄化ライン VT-2 001 VT-2 (*1) 0 - (*2) 0 0 C-H 中央制御室換気空調設備加ライン VT-2 (*1) (*1) - (*2) (*2) (*2) (*2) C-H 中央制御室換気空調設備加ライン VT-2 (*1) (*1) - (*2) (*2) (*2)			換気空調装置系統															
C-H 中央制御室検気空調設備入口ライン VT-Z -0.00392 - (*1) - (*2) (*2) (*2) TY-Z 0.00392 - (*1) - (*2) (*2) (*2)	30		アニュラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2					1			O		(SA-27)	
C-T (*1) (*1) 中央制御室検気空調設備出口ライン VT-2 0.00392 - (*1) O O	ç		中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	1	(*1)						,*O)	*5)		(SA-56)	
	3		中央制御室換気空調設備出口ライン	VT-2	0.00392	ı	(*1)						O	۳	*O		(SA-57)	

※:・navo声:マホホモルはアメないてい即映画は1-の21、多数では「さ起しり电波でい世が大幅の時帯で」(か4ル7年も月ら日原域技術場 1900と19)のQに版(以)、 電影解教MAX書奏作に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(今和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S MA1-2012/2014を適用する。 (*)技術基準第8条第2頃に記載の「他の方法」により外観点検を実施 (*)分割して外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 <u>9. クラス2機器漏えい検査(4/4)</u>

	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNA1-2008※1				硘	浜 発 電	严 第	号機	福	画 (10ヵ年)	<u>.</u>				備 考 (漏えい区分)
西田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	= 1 1 1	漏えい検査範囲	# # #	SA使用時圧力	検査圧力	# # *	2015年 20	2016年 201	2017年 2018年	三 2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
梅				МРа	МРа	快重力法	第21保全 サイクル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	색 그 '	第24 サイ	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
		試料探取系統														
C7.30	3	格納容器ガスサンプリング入口ライン	V T – 2	0.350	0.350	V T – 2				ı				0		(\$A-58)
JZ.Z		格納容器ガスサンプリング戻りライン	V T - 2	0.350	0.350	V T - 2				ı				0		(\$A-59)
		原子炉槽機冷却水系統														
		A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				1					0	(SA-42)
C7.10 C7.30 C7.50	÷	原 子炉補 機冷 却水ポンプ出 ロA供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				ı			0			(SA-43)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				1		0				(SA-44)
C7.30 C7.70	+ O	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却 水側)	VT-2	0.98	0.98	VT-2				ı		0				(SA-45)
		空気系統														
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)	VT-2	0.98	0.98	VT-2				-	0					(SA-53)
C7.30 C7.70	, ,	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)	VT-2	0.98	0.98	VT-2				1	0					(SA-54)
		アニュラスダンパ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2			0	ı						(SA-55)
		補助給水系統														
C7.30 C7.50	H 0	燃料取替用水ダンク補給用移送ポンプ出ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2			0	I						(SA-40)
※ W 二 车	NRA文書 こ関する事	※I:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の欠要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計	r亀裂その (2019年度	他の欠陥の解釈」 中の計画変更)を	(令和元年)踏まえ、20	6月5日原 20年7月1日	現技発第1906 より維持規格	(021号) の (18ME S N	数正版(以下 N1-2012/2013	、	NRA文書改ī 引する。	Eという。) の 施行及	び公開会	原子	陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀契解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制 画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維特規格 USME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

10. 原子炉補機冷却水冷却器胴側(1/1)

F	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) が	JSME S NA1-2008%1	-2008%1			-	高渓	電所	88	小椒	梅	画 (10ヵ年)	(乖
	J= 349 98777 \$4. 577	† †	検査の範囲	# # 4	; 	権者の範囲	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
ь Б С	秦世之 秦国 <u>万</u>	(体) は (本) は (大)		設調	検性力が		第21保全 サイクル		第22保全 第サイクル・	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル	f26保全 第 ナイクル	f27保全 サイクル	
	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体	1基の7.5%	4	⊢∩	1基の7.5%					1			15	. ه 50 %	IA.	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
	胴側胴の周溶接継手	本	1基の7.5%	4	LΩ	1基の7.5%					1			A . 5%		IX.	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
	胴と当板との溶接継手	表回	1基の7.5%	4	ΡΤ	1基の7.5% 1					1			۸ 1		IA.	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
	支持脚	V T – 3	1基の7.5%	4	V T – 3	1基の7.5% 1					1			A 1		iA.	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
with -	- INA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他 本組組細形・開土2事参率を目の時間・4×4、2 4~6・10 5 0 5 0 6 4 目 6	T る破壊を引 (今 計 二 4		よりものを	の欠陥の解釈」	の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正というか10年年七の計画本第) たみます ののかま 1日 P List は出め (SUE C MAL_2017)の175つが174 英語 中土	6月5日原 ※キャッの	規技発第1.30年7月1日	906051号)		(以下、 MA1.30	自裂解釈NR 12/2012/20	■	という。)	の施行及	の施行及び公開会合	ら「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 11. クラス2機器漏えい検査 (1/2)

	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNAI-2006※1	%1			個	浜発電	頁 所 第	3 号	機検	車	(10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
西田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	- 'T I) f	漏えい検査範囲	# # *	SA使用時圧力	検査圧力	# # *	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 2021	#	2022年 2023年	年 2024年	
番		ライン名称	快 重力法	МРа	МРа	(検重力法)	第21保全 サイクル		第22保全 第 サイクル +	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル		第25保全 第26保全 サイクル サイクル	R全 第27保全 パル サイクル	м ,
		主給水系統														
		A - 蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					1		0			(SA-28)
C7.10 C7.30 C7.70	O T	B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					1		0			(SA-29)
		C – 蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					ı			0		(SA-30)
		主蒸気系統														
		A-蒸気発生器出口ライン	VT-2	8	8	VT-2					1		0			(SA-31)
C7.30 C7.70	O T	B - 蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					1		0			(SA-32)
		C - 蒸気発生器出口ライン	VT-2	8	8	VT-2					1			0		(SA-33)
		補助給水系統														
C7.30 C7.70	H-0	タービン動補助給水ポング蒸気ライン	VT-2	8	8	VT-2					ı			0		(SA-34)
C7.30 C7.50 C7.70	H-O	タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク補給用移送ポ ンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1			0		(SA-35)
C7.30 C7.50 C7.70	H-O	ターピン 動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2					-			0		(SA-36)
C7.30 C7.50 C7.70	H-O	電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					ı			0		(SA-37)
C7.30 C7.50 C7.70	Н-О	電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2					ı			0		(SA-38)
C7.30 C7.70	H-O	補助給米ポンプ田ロライン	VT-2	8.6	8.6	VT-2					1			0		(SA-39)
		2次系補助給水系統														
C7.30 C7.70	H-O	復水タンク給水ライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2					ı			0		(SA-41)
 □ 型 □ 型	NRA文書「st する事業を	※I:NBA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の文陥の件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更	- 亀裂その他 019年度中の	bの欠陥の解釈」 O計画変更)を踏ま	(令和元年6 5元、2020年	月5日原規技 7月1日より	女発第1906 維持規格 J	051号)の SME S NA1-	数正版(以 -2012/2013	(下、亀裂/ 3/2014を選	解釈NRA文 用する。	野政正という	。)の施	庁及び公開 9	さ合「(原子	解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906061号)の改正版(以下、亀製解釈WA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子庐圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 USME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

11. クラス2機器漏えい検査 (2/2)

	発電用』	発電用原子力設備規格《4008年版》 JSME SNAI-2008※1	≼1			峘	浜 発 電	所 第 3	号機材	検査計	画 (10ヵ年)					備 考 (漏えい区分)	
項目	= 1 1 1	漏えい検査範囲	# # *	SA使用時圧力	検査圧力	; + *	2015年 20	2016年 201	2017年 2018年	年 2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
番号			快量力法	MPa	МРа	快軍力法	第21保全 サイクル		第22保全 第23保全 サイクル サイクル	全 小	第24保全 サイクル		第25保全 第 サイクル +	第26保全 第 サイクル +	第27保全 サイクル		
		原子炉補機冷却海水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	- -	A-海米ポング田ロライン(海米ストレーナ入口)	VT-2	0.7	0.7	√T-2				ı			0			(SA-46)	
C7.10	d	A-海水ボンブ出ロライン (A原子炉補機冷却水冷却器海水出入 ロライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2				ı			0			(SA-47)	
C7.70		A-海水ボンブ出ロライン(D原子炉補機冷却水冷却器海水出入ロライン)	VT-2	0.7	7.0	VT-2				-			0			(SA-48)	
C7.30 C7.50 C7.70	O-H	B-海水ポンプ出ロライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2				ı				0		(SA-49)	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	H-O	C-海水ポンブ出ロライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2				1				0		(SA-50)	
C7.30	Ç	A.B原子炉補機冷却水冷却器海水出ロライン	VT-2	0.7	7.0	VT-2				1			0			(SA-51)	
C7.70		C.D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	7.0	VT-2				-				0		(SA-52)	
		ディーゼル発電機始動用空気系統															
C7.10	7	A — ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	3.2	3.2	VT-2				-			0			(SA-60)	
C7.70		B – ディーゼル発電機站動用空気ライン	VT-2	3.2	3.2	VT-2				ı			0			(SA-61)	
*************************************	NRA文書「 する事業	※I:NRA文書「渠用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀製その他の次略のJ件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更	- 亀裂その他 319年度中の	二二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	(令和元年 6 (元、2020年	月5日原規 7月1日より	邪」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈MRA文書改正という。)の施行及び公開会合を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。	1号)の改立 E S NA1-20	E版(以下、 12/2013/201	亀裂解釈NRA 4を適用する	文書改正と	いう。)の	施行及び公	開涂合「	(原子炉圧)	「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要	_

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉格納容器(1/1)

光画	用原子力設(力設備規格	維持規格 (2008年版) JSME S NA1-2008※	JSME S N	IA1-2008※1					响	浜発電所	第3号機	検査計画	頁 (10ヵ年)	,				備寿
	カチュ	·	记 世 母 下 米 全	; * \$	検査の範囲	# \$ # E	÷	検査の範囲	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
梅	<u> </u>		校 世	夜间力が	及び程度	5文 1用 9X/K块	K K	なび程度	第21保全 サイクル	程全 7.儿	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	I	第24保全 サイクル	某全 クル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
E8. 10	E-G	機 器	搬入口圧力保持用ボルト締付け	(† VT-4	25%	72	VT-4	25% 18			18		ı						
※ 一 業	(1:NRA文書「写 事業者意見の聴す	:書「実用発電用原子炉及! の聴取にかかる会合」(*	びその附属施設 令和元年8月5	おける破塩)の結果	における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解 日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、	す亀裂その り計画変更	他の欠陥の)を踏まえ	釈」(4 2020年7	5和元年6月5 月1日より維持	3月5日原規技発第1 1維持規格 JSMESN	906051号) IA1-2012/20	の改正版(以下、1)13/2014を適用する	1/1	亀裂解釈NRA文書改正という。 5。	_	の施行及び公開会合	_	原子炉圧力容器の溶接	接接手の試験程度等)新規制要件に関する

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

	発電用原	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES MA1-2008※11	1			恒	浜発電	電所第	3 号 機	後 査	計画	(10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
通		漏えい検査範囲	; + 4	SA使用時圧力			2015年 2	2016年 20	2017年 20	2018年 20	2019年 2	2020年 202.	2021年 2022年	年 2023年	2024年	
番	いコトバ	ライン名称	快宜力法		МРа	快重力法 一	第21保全 サイクル		第22保全 第2 サイクル サ	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	全 第26保全 ル サイクル	: 第27保全 サイクル	
		原子炉補機冷却水系統														
D2.30	D-B	可機型原子炉補機冷却水循環ポンプ出入ロライン	VT-2	0. 33	0. 33	VT-2					1			0		(SA3-1)
D2.10	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素ボンベ	VT-2	14. 7	14. 7	VT-2					ı			0		(SA3-2)
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素供給ライン	VT-2	17. 16	17. 16	VT-2					1			0		(SA3-3)
D2.30	D-B	Aーガスサンプル冷却水屋外排水ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1			0		(SA3-4)
		制御用空気系統														
D2.10	D-B	アニュラスダンパ作動用窒素ポンペ	VT-2	14. 7	14. 7	VT-2					1			0		(SA3-5)
D2.30	D-B	アニュラスダンパ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2					-			0		(\$A3-6)
		討料採取系統														
D2.30	D-B	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置及び可搬型格納容器水素 濃度計測装置供給ライン	VT-2	0.5	0.5	VT-2					1			0		(SA3-7)
※1 ※	NRA文書「写 ,事業者意身	※1:IRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こず亀裂その他の次縮の解釈」 関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、	亀裂その他 度中の計画	の欠陥の解釈」(変更)を踏まえ、	令和元年6〕 2020年7月16	引5日原規お 3より維持規	支発第19060 3格 JSME S)51号) の改 ; NA1-2012/	女正版(以 ⁻ /2013/2014	F、亀裂解 を適用する	級NRA文書 5。	(令和元年6月5日原規技発第1906051号) の改正版(以下、亀製解釈NAX書改正という。)の施行及び公開会合 2020年7月1日より維持規格 USME S NAI-2012/2013/2014を適用する。)の施行及	び公開会合	「 (原子炉圧	「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画 <u>1. クラス3機器漏えい検査</u>

																	•
	発電	発電用原子力設備規格	 	1			恒	浜	電所第	3 3	機検査	盂	画 (10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
严		= 1 1	漏えい検査範囲	; 	SA使用時圧力	検査圧力	; † *	2015年	2016年 2	2017年 2	2018年 2	2019年 2	2020年 2	2021年 20	2022年 202	2023年 2024年	
神田	番号 777		レイン免粋	(快車/カ)が	MPa	MPa	快軍力法	第21保全サイクル		第22保全 サイクル サ	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		第25保全 第26 サイクル サイ	第26保全 第27 サイクル サイ	第27保全 サイクル
D2	D2.30 D-	D-B 大容量 ¹	大容量ポンプ(放水砲用)(3・4号機共用)(2台)	VT-2	1.05	1.05	VT-2					1		O 120	0 ±	04	
D2	D2.10 D-	D-B 大容量 ¹	大容量ポンプ(放水砲用)燃料タンク(3・4号機共用)(2基)	VT-2	大気圧	ん鉛ル	VT-2					1		〇連	0 =	○増	※当該設備の燃料油にて実施。
D2	D2.30 D-	D-B 大容量 ¹	大容量ポンプ(3・4号機共用)(3台)	VT-2	1.00	1.00	VT-2					1			9.0	O∰.	
D2	D2.10 D-	D-B 大容量 ¹	大容量ポンプ燃料タンク(3・4号機共用)(3基)	VT-2	大気圧	6番米	VT-2					1			3.0	3章	※当該設備の燃料油にて実施。
D2	D2.30 D-	D-B 放水砲(放水砲(3·4号機共用)(3台)	VT-2	1.0	1.0	VT-2					1		O [‡]	2.	2 ⁵ 0	
D2	D2.30 D-	D-B 大容量+ (11本)	大容量ポンプ入ロライン放水砲用20m、10m、5mホース(3・4 号機共用) (11本)	VT-2	0.25	0.25	VT-2					1			0 %	0₩	
D2	D2.30 D-	D-B 大容量 (25本)	大容量ポンプ出口ライン放水砲用50m、10m、5mホース(3・4 号機共用) (25本)	VT-2	1.05	1.05	VT-2					1		0#	0 0 4:	0 4 33	3*
D2	D2.30 D-	D-B 大容量 ^ル 本)	大容量ポンプ入口ライン送水用20m、10m、5mホース(3・4号機共用)(19 本)	VT-2	0.25	0.25	VT-2					1		O. \ \\	0 5 4	0 5 5 5 5	0 44
D2	D2.30 D-	D-B 大容量 ^并 7本)	大容量ポンプ出ロライン送水用50m、10m、8m、5m、3m、2m、1mホース (6 7本)	VT-2	1.00	1.00	VT-2					1		O #91	O 10*	O 0 17本 24本	- *
;	1	用念田田」 申	2: notif 世 『手目を作目行し言わぶるの言目子は「大ことなるチョナオートの関する」のです。	0 11 0	l.	1	(0,10000; W& THE B 1 0 4 1 1 4	*10000		1	As well by the	4 Zil Minnin III + + + + + - + - + - + - + - + - + -		1-7-1-0	A A 22	,	1911年,中国《李林林》《李林文》的《中世》

※1:NRA文書「実用発電用原子序及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠縮の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀製解釈NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画 1. クラス3機器漏えい検査

AU.	発電用原子	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) USMESNAI-2008 ※	:1			恒	浜	電所第	3 号	機検	查計画	(10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
項目	 	漏えい検査範囲	# # # \$	SA使用時压力	検査圧力	# # *	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 2	2026年 203	2027年 2028年	uL
梅	7	ライン名称		MPa	MPa	気量力点	1	第24保全 サイクル		第25保全 等サイクル	育26保全 サイクル	第27保全 第 サイクル +	第28保全 サイクル	- 第26	第29保全 サイクル サイクル	供し
D2. 30	D-B	送水車(3台)	VT-2	1.22	1.22	VT-2	1				O ∰			1		
D2. 10	g-q	送水車燃料タンク(3基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2	1				3春			1		※当該設備の燃料油にて実施。
D2. 30	g-q	送水車送水用50mホース(65本)	VT-2	1.22	1.22	VT-2	1					32≉	32≉	1	0₩	
D2. 30	B-Q	送水車送水用20 m水一ス(7本)	VT-2	1.22	1.22	VT-2	1					0₩	o₩	1	0₩	
	VRA文書「 る事業者意	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」 に関する事業者意見の糖取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏ま	- 亀裂その 年度中の計	他の欠陥の解釈」 画変更)を踏まえ	限] (令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀穀解釈NRA文書改正という。) 『まえ、亀穀解釈NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NAI-2012/2013	, 月5日原射 NRA 文書改正	『技発第190 『の施行 (⁴	6051号) <i>0</i> 冷和元年 6	り改正版 (J月5日) 後	以下、亀裂には、維持)	解釈NRA文現格 JSWE	書改正とU S NA1-201	(以下、亀裂解釈MRA文書改正という。) の施行及び公後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用す	の施行及び公開会合 1/2014を適用する。	_	(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

	然	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMES NA1-2008 ※1				恒	浜	調用網	∞ ф	極極	画	(10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
通	1 1	湯えい、検査範囲	; + 4	SA使用時圧力	検査圧力	† † *	2015年	2016年	2017年 2	2018年 2	2019年 2	2020年 2021年	年 2022年	₽ 2023年	2024年	
梅	C T FR	レイン名称	快宜力法	MPa	МРа	使じつ法	第21保全 サイクル		第22保全 第 サイクル サ	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	全 第26保全 ル サイクル	e 第27保全 ・サイクル	
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ (3台)	VT-2	1.47	1.47	VT-2					1		O∰			
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ~可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口(3本)	VT-2	1.47	1.47	VT-2					-		0			
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ吸水用3mホース(3本)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1		0#			
D2.10	D-B	仮設組立式水槽(3基)	VT-2	大気圧	か 雅り	VT-2					1		(費)			
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース(フランジ継手付、フランジ継手なし)(12本)	VT-2	1.47	1.47	VT-2					ı	O. ‡	.,	0#	0₩	
※1 :	NRA文書「§ の聴取にか	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年 者意見の聴取にかかる会合」(今和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正	の欠陥の角 Fえ、亀裂	 新釈NRA文書改正の施行(令和	 月5日原規技発第1 施行(令和元年6月	技発第1元年6	 1906051号) の改 月5日) 後は、	↓ 这正版(以 ⁷ 維持規格 J	11号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)の))後に、維持規格 JSWE S NAI-2012/2013/2014を適用する。	 	女正という 3/2014を説	。)の施行及 5用する。	施行及び公開会合	-	田力容器の溶	

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

	然	発電用原子力設備規格(2008年版) USMES NAI-2008 ※1				恒	浜発電所	無	市 穢 敬	神	画 (10ヵ年)				備者(漏えい区分)
通			; + *	SA使用時圧力	検査圧力	; + *	2015年 2016年	年 2017年	2018年	2019年	2020年 2	2021年 2	2022年 202	2023年 2024年	
梅	71 FW	レイン角巻	検討力法	МРа	МРа	(本) は (本)	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	E 第23保全 ・ サイクル	I	第24保全サイクル		第25保全 第26 サイクル サイ	第26保全 第27保全 サイクル サイクル	果全
D2.10		D-B ダンクローリー(3・4号機共用)(3台))	VT-2	20kPa	20kPa	VT-2				ı			0-0	04	○ ※窒素加圧にて実施。
D2.30	D-B	タンクローリー給油ライン接続用30m、20mホース(3・4号機共用)(3本)	VT-2	1.0	1.0	VT-2				1			0₩	0¥ 0¥	- 14
D2.30	D-B	タンクローリー給油ライン接続用20mホース(燃料油貯油そう用)(3・4号機共用)(4本)	VT-2	0.78	0.78	VT-2				1			0,₹	0 \$*	. K
D2.30	D-B	タンクローリー給油ライン接続用5mホース(空冷式非常用発電装置用) (迅速流体継手、おじ込み継手)(3・4号機共用)(RHB-1)(6本)	VT-2	0.39	0.39	VT-2				I			0₩	3 * 0 × 2 × 0	N
※ 一 前 … 三	NRA文書 1 の聴取に7	※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の次陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第196 者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正の施行(令和元年6月	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 解釈NRA文書改正の	3月5日原規)施行(令和	技発第1906 元年6月5	日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀製解釈NRA文書改正という。)((令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用す	(以下、亀) 見格 JSME S	亀裂解釈NRA文書改正という。 S NA1-2012/2013/2014を適用	:書改正とい 013/2014を	う。)の施行適用する。	の施行及び公開会合 - る。	1_	子炉压力容	(原子炉圧力容器の溶接後手の試験程度等) 新規制要件に関する事業

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

\検査
_
ıΚ
嘿
器
機
က
K
Ī
7

	発電用	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMESNAI-2008				恒	浜発	電所第	3	機検査	盐	画 (10ヵ年)				備 考 (漏えい区分)
項目	- 1 1 1	漏えい検査範囲	# # \$	SA使用時圧力	検査圧力	## # # #	2015年	2016年 2	2017年 2	2018年 2	2019年 2	2020年 202	2021年 2022年	:年 2023年	丰 2024年	
梅			(大) 日 (大) 日	MPa		(検) は、 (体) は、 (第21保全サイクル		第22保全 第3サイクル サ	第23保全 サイクル	1	第24保全 サイクル		呆全 第26保 7ル サイク	第25保全 第26保全 第27保全 サイクル サイクル サイクル	
		非常用電源														
D2.10	B-B	燃料タンク(8A電源車)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1			0		
D2.10	D-B	燃料タンク(3B電源車)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1			0		
D2.10	D-B	燃料タンク(8A電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					1			0		
D2.10	D-B	燃料タンク(3B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					ı			0		

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

クラス3機器漏えい検査

	備者(漏えい区分)			(SA3-1)	(SA3-2)	(SA3-3)	(SA3-4)	1-5)	(SA3-6)	(SA3-7)	(SA3-8)	(SA3-9)	(SA3-10)	(SA3-11)	3–12)	(SA3-13)	(SA3-14)	(SA3-15)	(SA3-16)
	卅	課全 7ル						(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3	(SA3
	年 2024年	i		0	0	0	0												
	F 2023年	全 第26保全 ル サイクル																	
	2022年	第25保全 サイクル						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査計画(10ヵ年)	2021年	第24保全 サイクル																	
後査計	2020年	第2																	
高浜発電所第3号機	2019年	1		I	1	I	I	-	I	1	_	1	I	I	1	I	-	1	ı
高浜発電	2018年	第23保全 サイクル																	
	2017年	第22保全 サイクル																	
	2016年																		
	2015年	第21保全 サイクル																	
	; +	(体質の法)		VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2
为容		(MPa)		V V	V 7.41	V V.7	V 7.41	V 91.71	۸ 86.0	V 91.71	۸ 86:0	17.16 V	۸ 86.0	V 86.0	۷ 86.0	V 86.0	۷ 86.0	۷ 86.0	۸ 86.0
検査内容	6							-		-		-							
	SA使用時	(MPa)		14.7	14.7	14.7	14.7	17.16	0.98	17.16	86'0	17.16	86'0	0.98	86'0	0.98	86'0	86'0	0.98
) **1	; + 4	快宜力法		VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	V.T2	7-1-2	V.T2	7	0 T/	7-11	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008 (ID-2500)	漏えい検査範囲	ライン名称	制御用空気系統	3窒素ポンペ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用)	3窒素ボンベ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用予備)	3窒素ポンペ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用)	3窒素ボンベ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用予備)	1 一十一十一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		7 一十一十一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二				3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(A系用30m)	3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(B系用8m)	3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(30m予備)	3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(A系用15m)	3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(B系用20m)	3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(20m予備)
原子力設備規格	1 1 1	ジェナバ		D-B	D-B	D-B	D-B	a	a 5	a	a a	a		D-B	D-B	D-B	D-B	D-B	D-B
発電用』	0 H 0 K	頃日番芍		D2.10	D2.10	D2.10	D2.10	66	02:30	00 00	5	6	02.30	D2.30	D2.30	D2.30	D2.30	D2.30	D2.30

NRA文書[実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版 (以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行 及び公開会合「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果 (2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正 の施行 (令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。 *

備 考 (漏えい区分) SA3-2 SA3-3 SA3-1 第27保全 サイクル 2024年 0 0 第26保全 サイクル 2023年 第25保全 サイクル 2022年 2021年 第24保全 サイクル 検査計画(10ヵ年) 2020年 2019年 第23保全 サイクル 2018年 搬 発電所第4号 第22保全 サイクル 2017年 2016年 第21保全 サイクル 洪 恒 検査方法 VT-2VT-2VT-2検査圧力 MPa SA使用時圧力 MPa 検査方法 VT-2VT-2発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME) 漏えい検査範囲 ライン名称 SFPスプレイ系統 スプレイヘッダ(1~4u共用予備) スプレイヘッダ(A) スプレイヘッダ(B) 1. クラス3機器漏えい検査 カテゴリ B-B B-B 0-B D2.30 D2.30 D2.30

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

Кш
徴
7
漏
器
攤
က
K
ıΓ
7

	##	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年間) USMF S NA1-2008				łoś	# #	品	事	本	画 (10ヵ年)				華
	70 E/I	יייי ביייי			<u>a</u>	2	R	š	<u> </u>	È				(漏えい区分)	
西	= 1 1	漏えい検査範囲	# # #	狂力	検査圧力	# # *	2015年 20	2016年 2017年	丰 2018年	2019年	2020年 202	2021年 2022年	年 2023年	F 2024年	
梅		ライン名称			MPa	快重力広	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	全 第23保全 ル サイクル	ı	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	R全 第26保全 ル サイクル	全 第27保全 ル サイクル	
D2.10	D-B	空気供給装置(1・2・3・4号機共用)	VT-2	19. 6	19.6	VT-2				-		0	0	0	
		マニホールド(空気供給装置用)(1・2・3・4号機共用)													
D2.30	D-B	容器弁~集合管~充填口金	VT-2	19. 6	19.6	VT-2				-		0	0	0	
D2.30	D-B	充填口金 ~ カードル受入ユニット入口弁 ~空気供給母管(減圧弁1次開接続口)	VT-2	19. 6	19.6	VT-2				1		I	0		
D2.30	D-B	空気供給母管 (滅圧弁1次側)	VT-2	19. 6	19.6	VT-2				1		ı	0		
D2.30	D-B	減圧 弁2 次側配管	VT-2	0.46	0. 46	VT-2				1		1	0		
D2.30	D-B	ホース(空気供給装置用)(1・2・3・4号機共用)	VT-2	1.0	1.0	VT-2				1		ı	0		

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査

ン配管溶接部の有意な欠陥指示に対する対応)	
151	
ذ	
13号機加圧器スプ	
(大飯発電所	
1特別検査のうちクラス1配管特別検査	
供用期間中	

備考										
画	2024年	第27保全 サイクル		-	A	C 2	C B A	A B	B A 1	0
草.	2023年	第26保全 サイクル		1	A 1	C 2	A 1 C 1	A 1	A 1 B 2	C 1
操機	2022年	第25保全 サイクル		1	A 1	C 2	C B A	A 1	A 1	C 1
所 第 3 号	検査の範囲			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
浜発電	# * *	1大量 7.1.A		⊢∩	⊢∩	⊢ ⊃	⊢ ⊃	⊢ ∩	L D	LΩ
硘	空佛粉	X		-	-	0	4	8	ო	-
3/2014※1	検査の範囲	及び程度		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
JSME S NA1-2012/2013/2014※1	# # #			体積	体積	体積	体積	体積	体積	体積
維持規格(2012年版)	出现每件字交	(大量人) 外面[7]	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	加圧器サージ管 (148, 355.60mm)	カ圧器スプレイライン (48,144,30mm) Aループ	余熱除去ポンプスロライン (12B) Cループ	S I S 蓄圧注入ライン (12B, 318.50mm) A, B, Cループ	S I S 高温側低圧注入ライン (68,165,20mm) A, Bループ	S I S 低温側低圧注入ライン (68) A, B ループ	S I S 高温側補助注入ライン (4B, 6B) C ループ
発電用原子力設備規格	= 1 +					l	I			
発電用原	出来	大田田 大				l	l			

※1:NMAメ書・実用発電用原士炉及ひての酌隔施設における破蹊を引き、う。)及び維持規格 JSME 3 NA1-2012/2013/2014を適用する。

定期事業者検査時の安全管理の計画

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

項目表表別報告機能第					▽解列 RCS降温	SS欧温			燃料取出	₽ ¥	然港荷		起航線		起動前弁点検	And	▽並列	P)
		中 本 一 田 一 五 一 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 一 五 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	un en				R/V開放	開放				R/M組立				起航機		
		<u>1</u> K	н							- 父米ポンプも点検				RCS漏えい検査	¥m		ibid.	調整運転
			キャビーイ猫犬															
	RCS 水位		ROS 獅犬 ブーパン:::															
	4		その子とロー	‡ = 1 + 1 = 0								-		-				
	保女規定条文	器水モート	ww.N%	對建設備	m	4	5-1 5-2	2 <u>6-1</u>	6-2	<u>₹</u> 1—₩	6-2	6-1 5-2	2 5-1	4	2-1	4	e	
1	第20条	€ ─⊬3,4	・停止余裕: 18% Δ/K 以上	I	×	×								×		×	×	
yc	7年 大台	# - -\f	・停止余格:10%な/k 以上	I			×					×	×		×			
無漢	第22条 減速材温度係数	# - - - - -	・減速材温度係数:-78×10° 仏ペペン以上	I	×												×	
無	第55条	# 1,3	・ほう酸注入タンク(まう素濃度:21000ppm 以上・ほう酸注入タンク(まう素濃度:21000ppm 以上・ほう酸注入タンクほう酸水量(有効水量):34㎡以上	・ほう酸主入タンク	×												×	
ED.	ほう酸主入タンク		・ほう酸主入タンクほう酸水温度、65°C以上															
	第81条 1次令却材中のほう素濃度	£—¥6	・1次冷却材中のIまう素濃度:2800ppm 以上	1				×	×		×	×						
放射性物質の閉第じ込め機能、放け、	第50条 1次冷却材中のよう素131 ^{油再}	モード3(1次令虫附温度が280°C 以上)	・1 次冷却材中のよう素131濃度:62×10 ¹ Bq/am³以下	ı	⊲												4	
	*		- 一 7 十 7 人生がたを生み 品がものを用されました。	出生,														
O/放出1生。影然所能			(1) 原子子指統等法の機能が推生であること (2) 原子子指統等器工力・38やalgages以下 (3) 原子子持格終容器エアロックが動作可能原子行格終容器エアロックが動作の能原子持格終容器エアロックのインターロック機構が健全であること、および原子炉	・原子な社教会器・原子など教会器エアロック・原子など教会器電響弁														
	第56条原子小科納容器	₹—ド3、4	格納容器エアロックが閉止可能(閉止状態であることを含む)) であること。モード4の原子炉格納容器パージ後、直ちに閉止		×	◁								×		×	×	
			できることを条件に原子が格終容器エアロックの両方のドアを開放する場合、適用しない。)															
			(4) 原子炉格納容器隔離弁が動作可能(閉止可能(閉止状態であることを含む))															
無	第57条		・原子灯格約容器真空逃かし系:2系統動作可能(真空逃かし機能	・原子が平納容器真空逃がし弁														
<u></u> 帐	原子炉格納容器真空逃がし系	€-ド3、4	が確保されていること)		×	×								×		×	×	
			(1) 原子庁格参の器スプノイ系:2条街動作回能(0) 下1乗を主導品な、プロ芸者、一点連串な 17(芸術・)一が浚	・原子が格容器スプレイ系・トン素を土地になって														
			で Constitution C															
SHK E	第58条第44年114、78	€—₹3,4	・苛性ノーダ濃度:30mg以上 + 44・ ファボー・ナー・ファン		×	×								×		×	×	
<u> </u>	原ナ子を変えなおくノフム米		・可性ノータ 浴後庫(有效M/重):11,/m,以上															
			原子が将納容器スフレイ糸が動作不能時は、第85条(表85 -4および表85-6)の運転上の制限も確認。															
無 下	第59条 アニュラス空気浄化系	₽─₭3、4	・アニュラス空気浄化系・2系紡動作可能(Aアニュラス空気浄化 系が動作不能時は、第85条(表85-11)の運転上の制限も 確認)	・アニュラス空気浄化系	×	×								×		×	×	
無	第60条	H	・アニュラスの機能が健全であること(アニュラス内点検、原子炉 核34878世・マロ、ハムは 店でに存なる。	・アニュラス	<	<								<		<	<	
7	アニュラス	1	古名中語ーンコンノ派な、ボコメーロの中部ではなずらいない。自己ンとの一つ、適用しない)		1	1								1		1	1	

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

					▽解列 RC:	BCS類類	が一方の	開料	然料	_	然業			起航域		起動門弁点検	北江衛指土電台	□ □ □	
		主要工程	пщ				2	XIME				2	7.04				Kewake	#E	言語数に重要に
									1	1 次系ポンプ他点検	- 極			RCS漏えい検査	い検査			E.	
			キャビティ満水									_							
			RCS辦大						_		_		7						
	RCS 水位		ミッドループ]		7		_								
			RCS 全ブロー								_								
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4 5	5-1 5-2	2 6-1	6-2	4/一十	6-2	1-9	2-5	2-1	4	5-	4 3		
	第71条安全体数字空気净化系	£—⊬3,4	·安全楠機室空気浄化系.2系統動作可能	・安全神機室空気浄化系	×	×									×		×		
放射性物質放出	+-	使用済燃料ポットでの照射済燃料	·燃料建屋空気浄化系作動論理回路:2系統	・燃料落下および燃料建屋空気浄															
の防止機能		移動中	・手動起動: 1チャンネル	化系計装															
	気浄化系計装		・燃料落下検知:2チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン	◁		4	4	◁	◁	⊲	⊲	⊲	◁	◁		4	_	
			(照射終了後、所定の期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合 は除外)																
	第72条	使用済燃料ポットでの照射済燃料	・燃料取扱建屋空気浄化系:2系統動作可能(照射終了後の所定	・燃料取扱建屋空気浄化系	4			4	4	<	4	4	<	4	4	<			
	燃料球戏建屋空气净化系	移動中	期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は適用しない)																
			・原子炉キャビティ水位:EL31.4m以上(原子炉路絡容器内での蒸	·1次治时系統															
	第82条周辺によっプルンを存	モード6(キャビティ高水位)	料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ水抜き1-11エードの1/4・4イン・20ペート 11エードの1/4・4/1-48ペート 4番の 1番前 1・6番目 4 1番						△		△								
			のでも、このでは、は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この																
			(1) 機器 シナが全ボルトで閉じられていること	・原子が音楽容器機器ハッチ															
			(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合、速やか	・原子が戸絡終密器エアロック															
			に閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合に	·原子好格物容器隔離弁															
			開放することを許容する。この場合、運転上の制限を満足して	·原子好給經器貫通部															
			いないとはみなさない。																
			・1 次冷街材ポンプ停止中で余勲除去系統による冷却時、加																
			圧器安全弁が健全であることおよび加圧器水位が10%か																
	第83条02	,	ら30%の範囲にある場合																
	原子好奇物容器真通部	-	・原子が木とにアンズはかに1314を以上である地合)						<		⊲	◁	⊲						
			〈グ・ローン コンンだ・ ノグニップ・ こずは ちほこぎ はんぶく このうし マケル・																
			- 1117. (3) その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であるに																
			と(閉止状態であることを含む)、隔離弁以外については閉止																
			フランジまたは同等なものによって閉じられていること(原子																
			/ 対格・対容器内で燃料・移動を行っていない。場合は、速やかに																
			AT COOLOR 米干に形成りのCOV.HTの12のこのでの、通常上の色限を満足していない人はみななない。																
	第84条		・使用済燃料ポット水位:EL31.4m以上(照射済燃料の移動を行う	・使用済然にプト	<					*	<	<			<				
	使用済燃料ピットの水位	全モード	ていない場合は適用しない		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	および水温		・使用済燃料ピット水温:65°C以下	・使用済然料ピット冷却系	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	,.	
原子炉停止後の			(1) 制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生 ************************************	・蒸気発生器															
5天光光被用5			位しその窓が大大大大がプラフトの場合は、1900年では、1900年では、1900年では1900年では1900年では1900年では1900年では1900年では1900年では1900年では1900年で1900年では1900年では1900年では1900年では1900年で1900年に1900	· 1次治益之米野															
	第37条		くが、Mindre から1次の1年1771人で大災であり、ありにも、派文に工程による数条大多の多辞による権力的であり、大道を自己を対し、そのいち、1																
	1次治却系	뉴 - - -	系統也上於重素中		×												×		
			蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条(表85一																
			8)の運転上の制限も確認																
													1						

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

百 本 こ		調整運転																																											
							3																																						
٥	超頻線						4				×																																		
44 4 4 M	AND THE WAY						5-1												×																										
			RCS漏えい検査				4				×																																		
全国中学科学工			RCS淵		L		5-1												×																										
	R_V組立						2-5																							×															
							9-1																																						×
Abrahaya+	King Tage II		- 4K		_	_	6-2																																		×				
			1 次系ポンプ他点検				老一一																																						
LI HE KINGGO	TAXE TAXE		-				6-2																														1				×				
4							6-1																																						×
	R/V開放						5-2																							×															
							5–1												×																										
B(%)	1						4				×																																		
	1 CAHU A						က							_																															
					-	!	関連設備	·余熱除去系統	·蒸気発生器	·1次给树系统	・次治性を大プル				·余熱除去系統	・※気光圧器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	SCTAINS NOU						·余熱除去系統	·1次治树系统														·余數除去系統	·1次合出时系统					·余勲除去系統	·1次令却材系統
	5 · H	土罗二柱		キャパナン潜火	RCS 谢火	ミッドループ RCS 全プロー	要求内容	・余熱除去系または蒸気発生器による熱除去系のうち、2系統以・・	上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中・導	-	余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制・1	限も確認。	蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条(表85ー			(2) 他の余紫紫大糸が割作り能またに連転中であるが、2基以 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		%: 計画的/こモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の	水位(狭域) が計器スパンの 5%以上であることを条件に全	ての余勲除去系を隔離することを許容	余熱除去系が衝作不能時は、第85条(表85ー4)の運転上の制	限も確認。	余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>.</u>	・1次令却材ポンプによる1次冷却系空気抜きを行う場合は2時間	に限り全ての余熱除去系を隔離することを許容	・ボンプの切替を行う場合は、abcの全てを選択させることを条件	これのおけるとの表数除去式入力を停止することを許容	。 (回い出口)温度大(約35)温度上い 56,000 トスロスナン(一緒)	インター - 1 - 1 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	b. 1次冷却材中のほう素濃度が低下する操作が行われてい	ないこと	c. 1次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこ	٧.	THE CONTRACT OF THE CONTRACT O	※※除法米か割作不能時式、第85条(表85-4)のJ車ALの制		(1) 余穀除去系1系統以上が運転中(1次令法)対中の(5)素濃度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		間に限り、余勲除去ポンプを停止することを許容)	(2) 1次冷却材温度:65℃以下	in the total measure the months of the total measure to the total measu	米淡涂点米沙·罗萨PC-阿萨马····································	(1) 余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上運・・	
	'	''					要求モード				#-1,4							于一55-1	(1次冷却系满水)											E —⊬5−2	(1次冷却系非潜水)									14—146—2	(キャビティ高水位)			E —Ķ6—1	(キャビティ低水位)
					RCS 水位		保安規定条文			\$ 00 Att	38条	一名记述来						第39条	1次令却系											第40条	1次令却系									第41条	1次令却系			第42条	1次令却系
							項目																																						

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

▽並列	Ì	二字进入存田中	品が否定単位						m	,							4			4			4				×					4										×
	474ELE-28EA	起弧弧线							4																		⊿										<	1				4
起動前弁点検									Ī	-																																
起動			¥ .	- (本)					4																		◁										<	1				<
起動抗験			**************************************	と同じて					Ī	-																																-
*11-2		ヨ				_			5-0	1																																_
	(R V 器片			_				Ī	;																																
燃料装荷									6-9	4																																
	`		\$4.5° ***********************************	やドノノ的原体					₩. ₩. ₩.	-																																_
燃料取出			\$	3		_		ا	6-9																																	_
数米					_	_			17	۱																																_
	74887	RV開放							7	4																																-
		Ľ							Ī	-																																_
SCS陸温									4																		⊲										<	1				<
▽解列 RCS降温									e	,							×			◁			◁				×					×										×
									出、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、市場、	E XI HYK						·主蒸気安全弁			·主蒸気隔離弁		·主給水隔離弁	·主給大制御井	・十巻が、イパス制御弁		・主蒸気逃がし弁				·補助給水系	・電動が曲が合大ポンプ	・ターバン製作的を分がたり					·補助給水系	・電域が開発が大きった。			(復水タンク		
		野			ナケバーン猶失	ROS 湖水	プーパッピ	RCS 争ブロー	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		製味去米への均容操作から前であること、およい他の一米	終む、重要な中であることを発生に1米統を整理することを罪な)	(2) 1次令却材温度:65℃以下	余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制	限も確認。	Ĥ	原子炉熱出力25%以下: 2個		・主蒸気隔離弁が閉止可能(閉止状態にある場合は、適用しない)		・主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が	別止可能(閉止または手動弁で隔離された状態にある場合は、	適用しない。		・主蒸気逃がし弁:手動での開弁ができること		主蒸気逃がし弁が動作不能時は、第85条(表85-9)の運転上	の制限も確認	・電気補助給水ポンプによる2系結およびタービン動補助給水ポ	ンプによる1系統が動作可能(タービン動補助給大ポンプにつ	いては原子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を	行っている場合は適用しない		補助給水系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の	制顺 县心確認	・電気体制を分ポンプによる1系統以上が動作可能		補助給水系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の	 	・復水タンク水量(有効水量):520m³以上		
		主要工程							11世代	XX						モード3(原子/内起動時のモード3	から主蒸気安全弁機能検査完了	までを除く)		뉴 5.		,	#—¥3			モード3、4(蒸気発生器が熱除去	のために使用されている場合)					14-14-3					モード4(蒸気発生器が熱除去の	ために使用されている場合)			モード3、4(蒸気発生器が熱除去	
							RCS 水位		保安相完	イメルがイイン						部6.1 外	大芸術学会会	エ条えな手井	第62条	主蒸気隔離弁	第63条	主給水隔離弁、主給水制御	弁および主給がバイパス制	(金)		第64条	主蒸気逃がし弁						年65条	補助給水条							第66条	
									四里	Ķ																																

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程				▽解列 RCS階譜	頭	ACS降温 R/開放		₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	神文田	燃料装荷	RV網立	TT-2		起動前弁点検	起動抗境後	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	IM
		大瀬・ナージャー]				1次系ポンプ他点検)]	RCS漏えい検査			1	
		ROS 様女 ミッドループ ROS 全プロー															1
要求モード		要求内容	関連設備	က	4 5	5-1 5-2	6–1	6-2	モードチ	6-2	6-1 5-	5-2 5-1	4	5-1	4 3		
モード3(1 次冷却材圧力が 689MPalgage)提別 (原子存起動時のモード3(1 次冷 知圧力が689MPalgage)を超えた 時点)から、全での出口弁が全開 たなるまでの間は際く)	% dr.∪ ■=	(1) 15.5素濃度、16.7酸小量、圧力が ⁴ 階段値内 ・蓄圧セン/15.7素濃度、3800pm 以上 ・著圧セン/15.7酸水量(有効水量):280m ³ 以上 ・著圧タン/7圧力:404MPa[gage]以上 (2) 着圧ケンク加口弁全開 蓄圧ケンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85 -4)の運転上の制限も確認。	・離圧やンと出口弁・	∢											4		
# # #	+	 (1) 高圧注入系:2系結動作可能 (2) (伍圧注入系:2系結動作可能 高圧注入系・2系結動作可能 4)の連転上の制限は確認 (伍圧注入系動作不能制は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限 も確認 	·高旺注入系 ·低旺注入系	×											×		
표~ / 4		(1) 高圧主入系または充てん系:1系砂以上動作可能 (2) 低圧注入系:1系砂以上動作可能(余穀粉去代ンプを用いて 余穀粉去)動法行っている場合は、低圧注入系への切替線 作が可能であることを条件に、動作不能とはおなさない) 高圧主入系動作不能時は策略を条(表略5-3および表85-4)、 充てん系および低圧主入系動作不能時は策略6条(表85-4)、	・高圧注入系・充てん系・位圧注入系		×								×		×		
在一片3.4		 ・燃料取替用水ダングほう素濃度:2800pm 以上 ・燃料取替用水ダングほう酸水量(有効水量):1600m²以上 燃料取替用水ダンクが運転上の制限を造形した場合は、第85条(表85-14)の運転上の制限も確認 	・燃料であった。	×	×								×		×		
通常の1次令却系の加熱・冷却時 (原子炉起動、原子炉停止、異常 時を除く、、1次令却系の耐圧・漏 えい検査および安全注入系逆止 弁漏えい検査のための昇温、降 温操作階始いる終了まで)	寺治漏上傘	・1次治却が温度・圧力が原子内容器の非延性破壊防止のための 1次治却が温度・圧力の制限随困内 ・1次治却附温度変化率(原子内容器):55°C・h以下 ・1次治地附温度変化率(加圧器)加熱率:55°C・h以下 ・1次冷地附温度変化率(加圧器)冷熱率:110°C・h以下	・1次冷却材系統	×	×	×						×	×	×	×		
		(1) 加圧器水位:計器スパンの 94%以下 (2) 所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ:2系統動作 可能	・方圧器・シュータ	×											×		

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

				-														
				D	▽解列 RC	RCS際調	組入と		然料取出	£X	然地被拒	アン細サ	起航線		起動前弁点検	金融機構		○並列
		主要工程	ан				- C	ž l									K	調整運
		-							1次	1 次系ポンプ他点検			RC.	RCS漏えい検査	¥mi			
			キャパト~道ス															
	RCS 水位		RCS 海水															
			、ハバル / RCS 全ブロー						_]									
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	8	4 5	5-1 5-2	6–1	6-2	サード外	6-2	6-1 5-	5-2 5-1	4	5-1	4	က	
	第44条	モード3、4(1次冷却材温度	・加圧器女全弁:全てが動作可能 (3個のうち 1個は 17.16MPa[gage]以下 他は 1731MPa[gage]以	·加王器安全弁	×	△								△		△	×	
	加土奇女王井	130 0億	Ĺ															
	1		・加圧器逃がし弁:全てが動作可能(動作不能時は、第85条(表8	加工器述がし弁														
	第45条	₹—¥3	5-3)および第85条の2(表85の2-2)の連査上の制限も確===	・加圧器階かて弁元井	×												×	
	加土者をひし、井		感。 ・加圧器逃が心弁元弁: 全てが動作可能															
			(1)-1 2台の加圧器逃がし弁が低圧設定で動作可能であり、2台	・加圧器逃がし弁														
			の加圧器逃がし弁元弁が開状態	・加圧器逃がし弁元弁														
			表 4 4 2 1 6 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	・ 宣士器文件 注 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
		モード4(1次令却材温度 130℃以	(1)-2 「日次二の辺山土谷文土ナナジョメックトウイン こううしん 大・ナイド	・死へと、同年年とうく・数下々、クモロ弁														
	\$ 0 C S	下。ただし加圧器逃がし弁が低圧	3590. ●本国的が布ても、/高田洋スポンプ1台以下(ポンプの灯棒)	声にくいくはまた。									_					
	第40条 在:電:過加圧附護	設定になるまでの間を除く)、5、	(1) がにはなる (1) がに限り、充てん/高圧注入ポンプを台運動			^ ⊲	×	◁				× ⊲	×	4	×	◁		
	ZUCA TO A COMMING	6(原子炉容器の蓋が閉められて	することを許容)															
		いる場合)	および															
			(3) 蓄圧タンク全基が隔離されていること(蓄圧タンク出口弁の開															
			閉確認を行う場合、蓄圧ダンク圧力が1次令却材圧力以下で															
			のでしてたメニコン・金母・小母母子のこのコオノ															
			・原子が格勢や器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によった。	- 1次令却对系统压力流移物。														
			こ。別さられるのよう、中の2つのドナゲーも対応によってノイングンからのの言言になって、下が、神野女七、アーンない。温度、大体教の論	・原子が在後を辞りノノバは打・経絡を冒当に禁匿														
			スレ)類):023m3/h以下															
	第47条		・原子で移物容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によっ															
	1次令法内湯えい率	₽—ド3、4	て測定される漏えい。率のうち原子炉冷却材圧力パウンダリから		×	×								×		×	×	
			の漏えいでないことは確認されているが、「次令却系からの漏え															
			いでないことが確認されていない漏えい率(原子炉冷却材圧力															
			、パレンダンジがからの漏れい海):53mg~以下・「中人位女教の訳中・レッケーを行きを持ち、															
			・蒸気発生器細管に漏えいがないこと	·蒸気発生器細管														
	第48条	₹—₹3,4	・蒸気発生器細管漏えい監視装置(蒸気発生器ブローダウン水モ	・蒸気発生器ブローダウン水モニ	×	×								×		×	×	
	蒸気発生器細管漏えい監視		ニタ)が動作可能(プラント状態により監視ができない場合、または洋浄中を除く)	8	:											:		
	第49条	モード3、4(余熱除去系隔離弁が	・1次冷却系から余勲除去系への漏えいがないこと(余勲除去系	·余熱除去系隔離弁														
	余熱除去系への漏えい監視		の逃がり弁が作動していないこと)	・余熱除去系の逃がし弁	×	◁								◁		⊲	×	
工学的安全施設			·原子炉保護系諭理回路:2系統	·原子炉锅镬系計装														
及び原子炉停止		ا د د د	・手動原子/行リップ:2チャンネル	・左記部号検出、伝送ライン									_					
系への作動信号	第34条(表34-2)		・中性子源領域中性子東高:2チャンネル(「中間領域中性子東高」		<										<	<	<	
の発生機能	原子炉保護系計裝	(ボールー・ソンクでや即はおり131つ、 単独は の目 字 指字 ができ み 埋 今)	2チャンネルが動作可能であることを条件に、P-6リセット		1	1	1					1	1 1	1	1	1	1	
			時においては、2チャンネルをバイ・公することを許容。「中															
			性子源領域万亭山時中性子東高」の警報を設定する場合は、残															

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

Fig. 2016 Fig. 2017 Fig.					Δ	▽解列 RCS降温	製		燃料取出	丑	燃料装荷	執		起動試験		起動前弁点検		▽並列	
FROS Mits Front			主要工程					R/V黯数				9	立服/\				起弧缆		-
FIGS.NGE Fig. Fi										- 次条ポンプ	作品機			RCS淵	RCS漏えい検査			調整調整	THE STATE OF THE S
		†/ AF 300		々ピーティ潜犬 RCS 猫米															
Paragraphy		TIN CON		:ッドループ 3S 全ブロー]			J		,		•			
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備								2-5	5-1	4	51	8		
(りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間に限り、1チャンネルをパイパなをすることを許容。)															
			₹—₹3,4,5	・中性子源領域中性子東高:1チャンネル(監視機能のみ)	・原子戸保護系計装														
中一十年(((原子炉トリップしゃ断器が開放されている場合)		・左記音号検出、伝送ライン			◁					٥	△	◁	4	4		
				・中性子源領域中性子東高:1チャンネル(監視機能のみ)	・原子炉保護系計装・左記言号検出、伝送ライン						4								
(
(月本常用序しか独原(作動師型の路・2系統"				・中性子源領域中性子東高:2チャンネル(監視機能のみ)	・原子庁保護系計装・左記言号検出、伝送ライン				4		<u> </u>								
・ 事故起助、ラナインネル (原子が特殊管数スプレイ系) (原子が特殊管数 (原子が特殊管数 (原子が特殊管数 (原子が 表) (原子が 特殊管数 (原子が 特別 (原子が 特別 を) (原子が 特別 (原子が 特別 (原子が 大き) (原子が 特別 (原子が 大き) (原子が 大き) (原子が 特別 (原子が 大き) (原子が 大き				(非常用炉心冷却系)	(工学的安全施設等作動情装)														
- 手動起動、2キャンネル (原子序件整体電腦内盤) (原子序件整体管器内型 (原子序件整体管器内型 (原子序件整体管器内型 (原子序件整体管器内型 (原子序件整体管器内型 (原子序传体管器内型 (原子序传标管器内型 (原子序传统 (原子序传标管器内型 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序传统 (原子序 (原子序 (原子序 (原子序 (原子序 (原子序 (原子序 (原子序				·非常用炉心冷却系作動論理回路:2系統※	·非常用炉心冷却系													_	
(原子学科を経過器以入了レイ系) (原子学科を経過器以入了レイ系) (原子学科を経過器とスプレイ系件制御器団路・2系統**) (原子学科を経過器に対して系件制御器団路・2系統***) (原子学科を発音器の関係と表が、				・手動起動:2チャンネル	・原子が格容器スプレイ系													_	
(原子が中級が容器が強入ンレイ系) (原子が特別を認知などの) (原子が特別を認知などの) (原子が特別を認知などの) (原子が特別を認知などの) (原子が特別を認知などの) (原子が特別を認知などの) (原子が中級が容器が関本) (原子が上のは一般が定置) (原子が上のが関本) (原子が上のが表が下動) (原子が上のが表が下動) (原子が上のが表が下動) (原子が上のが上のが上のが上のが上のが主が上のが大変が上のが上のが上のが上のが上のが上のが上のが上のが上のが上のでとを発展が上のが上のでとを発展が上のが上のでは、上ので表が上のである。 (原子が上ので) (原本が上のでを参照) (原子が上ので) (原子が上ので) (原本が上のできを参照) (原子が上ので) (原本が上のをを参照) (原子が上ので) (原本が上ので) (原本が上のをを参照) (原子が上ので) (原本が上ので) (原本が上ので) (原本が上のをを参照) (原子が上の下の原本が上ので) (原本が上のをを参照) (原子が上の下の原本が上ので) (原本が上の下の原本が上の下の下の正の) (原子が上の下の正の) (原本が上の下の正の) (原子が上の下の正の) (原子が上の下の正の) (原子が上の下の正の) (原子が上の下の正の) (原子が上の下の正の) (原子が上の正の正の) (原子が上の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正の正					·原子对格洛尔器局體A													_	
(原子存性体を指標されて 1871年1870年1870年1870年1870年1870年1870年1870年				(原士が古教会を持くファイ米)・国子には、日本の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	・京ナデを名を指記の一部・西子に対象を必要を開発している。													_	
(原子庁中株が容器の機な) (原子庁中株が容器の機な) ・原子庁中株が容器の機な(を表表) ・事が起動・2千ン・ネル ・非常用声しか知るを参照 (原子庁中株が容器の機とすがより。 ・原子庁・2・4 ・原子庁・4 が 1 に記す常用声しか知るを参照 (原子庁・4 ・原子庁・4 が 1 に記す常用声に母線低電圧信号による隔離 1 原子庁・4 が発酵を発展の機とと非常用面圧母線低電圧信号による隔離 1 原子庁・4 が発酵を発酵の機とと非常用面圧母線低電圧信号による隔離 1 原子庁・4 が発酵を発酵を変します。 1 原子庁・4 が発酵を発酵を変しる 1 に原子庁・4 が 1 に原子庁・4 が 1 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子庁・4 に原子・4 に原子・4 に原子・6 に原子・6 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に				このこと、日のとはものくくして、これにもの言・壮口声は、イスののこ・平地行向地、イナン・ベーフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	派し、アコルコを記録して、北中の高田の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の													_	
(原子が音称を発展の離れて自動が重回路・2系統************************************					·原子/对格納容器換気空間隔離													_	
・原子が有格容器隔離入件到益型回路・2系統。 ・事数定動、2子ャンネル ・事数定動、2子ャンネル ・原子が格納容器隔離り、上記非常用所しが知系を参照 (原子が格納容器隔離入と非常用高圧母級低電圧信号による隔離 離性動態回路・2系統。 ・原子が格納容器隔離入上計率用高圧母級低電圧信号による隔離 連件動態回路・2系統。 ・原子が格納容器隔離入上計率用高圧母級低電圧信号による隔離 連件動態回路・2系統。 ・原子が格納容器隔離入上部の子が出て日級低電圧信号による隔 連件動態回路・2系統。 ・原子が特納容器隔離入上半常用高圧母級低電圧信号による隔 連件動態回路・2系統。 ・原子が特納容器隔離、上記原子が特殊容器隔離入参照 ・原子が特殊容器隔離、1年3年火ンネル(1母級あたり) ・原子が特殊容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が特殊容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が特殊容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が特殊容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が特殊容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子ヤンネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子でネル ・原子が指数容器機構入手動位面。5子が表別 ・原子が指数容器機構入手動位面。5子が表別 ・原子が指数高面回路の機能機能をとかまして表別。系統が ・ 原子が自然表別を回路のの機能を指揮して表別。系統が ・ ・ 原子が自然表別を可能を表別を表別。 ・ ・ 原子が自然表別を可能を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を				(原子/打格教容器隔離人)	・左記信号検出、伝送ライン													_	
・手動症動、2キャンネル ・非常用が心や知尿体動:上記非常用が心や知系を参照 (原子が手物を温影機能を作動・上記非常用が心や知系を参照 (原子が手物を温影機能を自動範囲の路・2系統**) ・原子が手物を温影機能を自動範囲の路・2系統**) ・原子が手物を温影機と上非常用高圧母線低電圧管号による隔離性動態回回路・2系統** ・原子が手物を温影機と上非常用高圧母線低電圧管号による隔離性動態回回路・2系統** ・原子が手物を温影機と上非常用高圧母線低電圧管号による隔離を打力を持ちを温影機と上記の原子が発展で到底を照像・2系統** ・原子が手物を温影機を空間隔離に上記の子が母が登響隔離る参照 ・原子が手物を温影機を空間隔離に上記が手間を2系統** ・原子が手物を温影機を空間隔離に重要を2系統** ・原子が手物を温影機を重正・3チャンネル(1母機あたり) ・原子が手物を温影機は子動は到か・2チャンネル ・原子が手物を温影機は子動は到か・2チャンネル ・原子が手物を温影機は手動は到・2チャンネル ・原子が手物を温影機は手動は到・2チャンネル ・原子が手物を容器を変します。1上記字が用手の込みは深まを参照 ・1年が手物を容器を変しかます。1上記字が用手の込みは深まを参照 ・1年が再場が音響を回じの機能は高声にいて減り、系統が				·原子炉格納容器隔離A件動炉里回路:2系統※														_	
・非常用が心や却形体動:上記字常用呼いか却系を参照 (原子が手格が容器所離り(またま)。 ・原子が手格が容器所離りを12を3、4 ・原子が手格が容器所離とより、指面圧母線低電圧信号による隔離。 (原子が手格が容器所離とより、指面圧母線低電圧信号による隔離十個動物の部部の12を3を3。) 原子が手格が容器所離へとまり、用面圧母線低電圧信号による隔離十個動物の部部の12を3を3を3。 ・原子が音体容器所離へ上記原子が音が容器所離へ参照 ・原子が音体容器が離へ上記原子が音が容器所離へ参照 ・原子が音体容器が強へ上記原子が音が容器所離へ参照 ・原子が音体容器を20個所離り、2チャンネル ・原子が音体容器を20個所離り、2チャンネル ・原子が音体容器を20個所離)・エ記すが用が正母線を2条紙。・ ・原子が音体容器を20個所離)・エ記すが用が正母線を2条紙。・ ・原子が音体容器を20個所離)・上記序が音が高端を多照 ・原子が音体容器を20個所離)・上記すが用が高いて深い。				・手動起動:2チャンネル														_	
(原子が再格が容器隔離と) ・原子が再格が容器隔離と作動は課回路・2系統**** ・原子が再格が容器隔離と上野は通過・4チャンネル (原子が再格が容器隔離と上野は通過・4チャンネル ・原子が再格が容器隔離と上部原子が各級管器隔離る参照 ・原子が再格が容器隔離と上部原子が各級管器隔離る参照 ・原子が再格が容器隔離と上部原子が各級管器隔離る参照 ・原子が再格が容器隔離と上部原子が各級管器隔離る参照 ・原子が再格が容器形成と上部度が上側を加速した。) ・原子が再格が容器形成を全型隔離性動態型回路・2系統*** ・原子が中格が容器形成と2000隔離 ・原子が中格が容器形成と2000隔離と1000を1000を1000を1000を1000を1000を1000を100				・非常用炉心冷却系作動:上記非常用炉心冷却系を参照															
				(原子方在各名品語高維色)														_	
モード3、4 ・原子が特殊容器スプレイ手動は動:4 チャンネル (原子が音称の容器原離 Aと非常用高圧 B線低電圧信号による隔離		1		·原子炉格約容器隔離B作動論里回路:2系統※														_	
(原子が指令が登場原籍へと非常用語圧母線低電圧信号による隔離では、 ・原子が特殊登場原建しよる係 離性も認識回路、2条件。 ・原子が特殊管理機関を立てては ・原子が特殊管理機を立しては関係を ・原子が特殊管理機を立して理解を ・原子が特殊管理を立して手動に動、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を立して手動に動、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を立して手動に動、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を立して手動に動、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を登り、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を登り、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を登り、3年ケンネル ・原子が特殊管理機を登り、1427年を ・原子が関係を開展を ・原子が関係を開展を ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		第34条(表34-3) 工学的安全施設等作動情報	₹—٢3,4	・原子庁格終מ器スプレイ手動は動:4チャンネル			~								×		×		
# 1 原子庁科林存益網別離九と非常用高圧日操低電圧信号による隔離付割が自由の路、2 系状*** - 原子庁科林存益網の建し、2 系状*** - 原子庁科林存金器の電子、上口原子庁科林が容器の選入を無し、 (原子庁科林存容器の運用・1 ま口原子庁子科林介容器を変更の運用・1 ま口原子庁子科林内容器を変更の運用・1 ま口の 子子やナル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				(原子行格約容器隔離Aと非常用高圧登線低電圧信号による隔														_	
 原子が中体が容器の離れと手が用面圧 日線低電圧信号による隔離付面値回路:2.系統が 原子が中格が容器の離れ、上記の下子は特殊の器の離れ、上記の下子は特殊の器の重ねを無 ・原子が特殊な器との回場を ・原子が特殊な器との回場を ・原子が特殊な器の重要ところをは、 ・原子が特殊な器の重要ところをは、 ・原子が特殊な器の重要とすいストル(1 日線なたり) ・原子が特殊な器の重要ところをは、 ・原子が特殊な器の重要とすいストル ・原子が特殊な器の重要とすいると、 ・原子は特殊な器の重要と手が、 ・原子が保護を参照 ・・非常用がしか知系を参照 ※1・原子保護系施理回路の機能を包囲でよりにで繋り」系載が、 ・・・原子保護系施理回路の機能を包囲でよりにで繋り」系載が、 				(職)														_	
離れ動画国面路:2系統 ²⁵ ・原子が自然の経過隔離と、上記原子が打禁を指置の離れたり) (原子が自然の経過で国際に、3チャンネル(1母機あたり) (原子が自然の経過を登りで国際機) ・原子が自然の経過数を受国際機)・原子がネル・ ・原子が指数で監視数(1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を1を				・原子庁格終容器高離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔														_	
 原子が戸格納容器原動へ上記原子が中格約容器の ・非常用高圧母級低電圧:3チャンネル(1母総あたり) (原子が开格約容器投資空間隔離) ・原子が有格線容器接換で空間隔離れず動車回路:2条材*** ・原子が有格線容器のメーチ動車割:4チャンネル ・原子がも指条管器のメーチ動車割:2チャンネル ・・非常用がい冷却系を参照 ※・・・原子がもが条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				離作動論理回路:2系統※1														_	
 ・非常用高圧母線(信電圧: 3子ヤンネル(1母線あたり) (原子庁格線存留接換受空間隔離) ・原子庁格線存留接換受空間隔離 ・原子庁格線存留器を受空間隔離 ・原子庁格線存留器を受ごして事故しました。 ・原子庁格線存留器を登録し、2チャンネル ・原子庁格線存留器を再進し、2キャンネル ・・非常用戸心や却深を参照 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				·原子炉格納容器隔離A:上記原子が再格納容器隔離A参照														_	
(原子が中体が容器が変に回帰ると系統**) ・原子が日体が容器が変に回帰権・自動を回いまと系統** ・原子が日体が容器が変に回帰すと系統** ・原子が日体が容器のコントイキ動を動・4チャンネル ・ 原子が日体が経験の種を手動を動・4チャンネル ・ 非常用所いか相深を参照 ※・・ 原子が根據系練用回路の機能が配所・1よいて減り・系統が				・非常用高圧母線低電圧:3チャンネル(1母線あたり)															
・原子庁格等合語が全国の第2条体が。 ・原子庁格等合語の第2年インネル ・原子庁格等合語の第2年インネル ・非常用でいか却米作動:上記書作用でいる地系を参照 ※:原子序模様系論国国路の機能は着用したいて残り1系統が				(期間、以外の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の															
ルコケード (1947年 1948年 194																			
・原子行格終谷護路職A手動を到: 2チャンネル・非常用戸い冷却系を参照・非常用戸い冷却系を参照 ※:原子の保護系論理回路の機能が発出する参照				3.7.7~110%で1405人、上記のでは15分割を出当されている。 原子で枯落後の器 スプノイ 手動荷動 ・4 チャン イン														_	
・非常用炉心冷却系を参照 ※1:原子炉保護系論理回路の機能は資品。よいて残り、系統が				・原子が格容器高端A手動は動じ2チャンネル														_	
※1.原子庁保護系譜国国路の機能被否を出して残り一系統が				·非常用炉心冷却系作動 :上記非常用炉心冷却系を参照														_	
and the manufacture of the first of the firs				※1:原子炉保護系論理回路の機能検査時において残り1系統が														_	
粤作の形式をあられるを表しています。または、大学でしているとのできます。				動作可能であることを条件に2時間に限り1系統バイパスする															

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

	- ##	中心																				
▽並列	一	副推到建																				
	起動域					e						×							◁			◁
松	中					4																
起動前弁点検						5-1																_
起動情式験		RCS漏えい検査				5-1 4																
型	村	ě.		<u> </u>		5-2 5																
	R/V組立		_			1-9																_
燃料装荷		- dest		_	_	6-2	1															
然外相及出 然						4-1/3																
燃料取出		1次	Γ			6-2																
						9-1																
	R/V開放					5-2	1															
∞ 目						5-1																
▽解列 RCS降温						4													_			_
▽角容列						8				***		×							4			٥
				 		里油砂備		·非常用炉心冷却系	·原子河格納容器隔離A	・原子が平谷を器換気空間隔離	・原子戸格納容器スプレイ系	·原子/中絡格器隔離B	・左記ざ号検出、伝送ライン			・主蒸気ライン隔離	·非常用戶心冷却系	・左記信号検出、伝送ライン				・給がる影響
	대		キャピティ潜火		ミッドループ RCS 全プロー	要求内容	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	内容器(兩離A)	(原子/可格約容器換気空調隔離)		・主蒸気ライン差圧高:各主蒸気ライン毎3チャンネル			・原子炉格納容器圧力異常高(高一3):3チャンネル(残りの3チ	ャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる)	強	神里回路:2系統**		・原ナで名誉な器上力異常。高(高一2):3チャノメラ・・東参与イン・油を高して、注意高アキ技会コインドナのまた「17条地対平・	均温度異常低の一致:モード3(P-12超)(非常用炉心冷却	系)参照	(約7万部維)
	主要工程					1一世 英華	-					₹—¥3						モード3(全主蒸気隔離弁が閉じ	ている場合は除く)			モード3(主給水隔離弁、主給水
				RCS 水位		保安排定条文																
						四里	I															

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

▽並列		調整重															_																			
	試験							3												⊲								△				×				×
樫	起動結構							4																								×				×
起動前弁点検			¥mi					5-1																									>	<		×
			RCS漏えい検査					4																								×				×
起動試験			RCS			7		5-1																									>	<		×
	R/V組立							5-2																									>	<		×
in aff	3			Γ		J		6-1																									>	<		×
然港荷			徴		_	_	7	6-2																									>	‹		×
			1 次系ポンプ他点検	_				モード外																									<	1		⊲
燃料取出								6-2																									>	<		×
-	*							1-9																									>	<		×
	R~V開粉				_			5-2																									>	<		×
								5-1																									>	<		×
SCS容温								4																								×				×
▽解列 RCS降温								က												◁								△				×				×
								関連設備	·非常用炉心冷却系	·原子炉保護系計装	・左記信号検出、伝送ライン						·非常用炉心冷却系	·原子炉格約容器隔離A	·原子炉格納容器換気空調扇離	・インターロック	・左記信号検出、伝送ライン			·非常用炉心冷却系	·原子炉格容器隔離A	· 原子戶格納容器換気空調扇離	・インターロック	・左記背号検出、伝送ライン			・ディーゼル発電機団動士装	・左記さ号検出、伝送ライン	・ディーゼル発電機団婦仕装	・左記信号検出、伝送ライン	・ディーゼル発電機透動指装	・左記背号検出、伝送ライン
		<u> </u>		オポートが来	RCS 辦大	ゲループ	RCS全ブロー	要求内容	· 給力局離作動協等国回路: 2系統**1	・蒸気発生器水位異常高:1基あたり3チャンネル	・非常用炉心冷却系作動: 本表の要求モード「モード3、4」、「モ	ード3」、「モード3(Pー11以上)」、「モード3(Pー12超)」の	非常用炉心冷却系参照	・1次冷虫材平均温度低1次冷却材平均温度低:3チャンネル)と	本表の保安規定条文の「第34条(表34ー2)原子炉保護系計	装」のモード3、4、5(原子炉トリップしゃ断器が閉じ、制御棒	(非常用方字/中的一种一种的一种,1995年,	(原子炉格納容器換気空調隔離)	・原子炉圧力低(3チャンネル)と加圧器水位低(3チャンネル)の		<u>·</u>	(ケッコータント)	・P-11(加圧器圧力):3チャンネル	· (非常用的心冷却系)(原子/可格為容器隔離 A)	(原子/可格納容器換気空調隔離)	・主蒸気ライン流量高(各主蒸気ライン毎2チャンネル)と主蒸気	ライン圧力低(各主蒸気ライン毎3チャンネル)または1次令却	材平均温度異常低(3チャンネル)の一致	(グジローやゲナ)	・P-12(1次/治域科平均温度):3チャンネル	(ディーゼル発電機は運動1装)	・ディーゼル発電機型は無国回路・2系統。	(ディーゼル発電機は動情接)	即路:1系統	(ディーゼル・発電機の動作装)	・非常用高圧母線低電圧:3チャンネル(所要の母線あたり)
	+ 華土	1 1				KCS 가선과	:	1条文 要求モード	制御弁、主給水バイパス制御弁	が閉止または隔離されている場	合は除く)									モード3(P-11以上)								モード3(P-12超)			Ű,	-5.) 機造脈は	五作制 七一ド5、6および照射済燃料移	3)工学的安]		
						ACS.		項目保安規定条文																							安全上特に重要等の4条/主の4一6)	な関連機能 ディーゼル発電機起動は装 (電源供給)	事が 田内 (公本) 多作動 (生)	34条(表34一3)工学的安全	シェニー/シー・シュニョン・シュニョン・シュニュン・シュニュン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ショ	上

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

○並列 調整連							
起動情境		4 3	×	×		×	× ×
起動前升点後		5-1	×		×	×	
		4	×	×		×	×
起航線起		5-1	×		×	×	
R/V組立		2-5	×		×	×	
		6-1	×		×	×	
燃料装荷		6-2	×		×	×	
次系ポンプ他点検		ボード学	×		×	×	Ì
以料和工		6-2	×		×	×	
		6–1	×		×	×	
R/V開版		5-2	×		×	×	
明		5-1	×		×	×	
▽解別 RCS降温		3 4	×	×		×	×
		関連設備	· 外部電源 · 起動用変圧器 · 予備変圧器 · 非常用高压母線	・ディーゼル発電機・蒸売毎十二スタンク	・ディーゼル発電機 ・非常用発電機 ・機禁油サービスタンク	・ディーゼル発電機燃料油砂油で う ・ディーゼル発電機制制用位気が め	·非常用直流充電器
пн	キたディ瀬矢 ROS 着X ミッドンープ ROS 全プロー	要求内容	(1) 3回線(当版原子内に対する個々の非常用高圧母線全でに対 して電力供給ができる発電所がからの送電線の回線数とす る)以上が動作可能(送電線舞故の瞬停時は適用しない) (2) 上記が衛電源のづち、1回線以上は他の回線に対して独立性 を有していること(独立性を有するとは、「送電線の上流にお いて1つの変電所非とは開閉所のルートにより供給または受 電している場合であっても、設備構成として、別ルートで連系 が可能な状態であれば、独立性を有しているとかなす)	(1) ディーゼル発電機・2基動作可能(予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合適用しない) (2) 燃料油サービスタンク貯油量(保有油量):1.10㎡ 以上(ディーゼル発電機が運転中および)顕減?了後の24時間よ適用しない) ディーゼル発電機が運転中および調整。740㎡ 第85条(表85-15)の運転上の制限も確認	(1) ディーゼル発電機:2基動作可能(予備潤滑運能(ターニング、エアラン)を行う場合適用しない(ディーゼル発電機には非常用機には所要の電力供給が可能なものをいう。なお、非常用発電機は有数の号炉で共用することができる。)1基を含めることができる。 (2) 上記ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタング門油屋(保有油量):110㎡以上(ディーゼル発電機が運転中および運動で減れ重要では調整に対応する燃料油が運転中および運動できてが出産。(2) 上記ディーゼル発電機が運転中おましば運動ででが出産に対している。とび運動がであるとは時間は適用しない)ディーゼル発電機が運動が動作不能時は、第85条(表85-15)の運転上の郵限も確認	・所要のディーゼル発電機の燃料油炉油そう油量(保有油量): 220m ¹ 以上 ・所要のディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量(保有油量): 36m ³ 以上 ³⁸ ・所要のディーゼル発電機の指動用空気だめ圧力: 243MP ₆₂₀₈ ¹ 以上 ³⁸ ・所要のディーゼル発電機が運転内エアランを行う場合適用しない。 ※: 予備潤%重転(ターニング、エアラン)を行う場合適用しない。 ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の 24 時間は 適用しない。 燃料油貯油そう油量を確認する場合は、第85条(表85-15) の運転上の手限料が超窓	・非常用直流電源:2系統(蓄電池(安全防護系用)および充電器
主要工程		要求モード	モード3、4、5、6、使用済務時ピットに燃料を発売している場間	±−1,3,4	王一 ⁵ 5.6. 七一 ⁵ 外	±−+3,4,5,6,±−+54	F 0.1
	RCS 水位	保安規定条文	第73条 外部電腦	第74条 ディーゼル発電機	第76条 ディーゼル発電機	第76条 ドムーゼル発電機の蒸料 油、調達油および結動用空 気	第77条
		項目					

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

10/64/C7/16/64/64 1 10/64/C7/16/64/64						▽解列 RCS降温	0E		数	炒米4取出		欧洲装荷		莊	起情式験	北部一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	4 位格		□本型	
### PROS #### PROS ##### PROS ####################################			日 日 十	п			!	R>V體					R M					重加式錄		
FROS ACE FRO			土炭工権	UH.															調整	蓮
FEGS Fig.										1次	を ポンプ も 点を	ADV		ш	RCS漏えし	横				
FIGS ACT Fig. Fig				キャバナイ猫犬					_	Γ										
Machine Mach		RCS 水位		NOS NATA																
Secretaries Secretaries				ミントルーン RCS全ブロー						_										
### STATE OF THE PROPERTY AND P	項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備			5-2	1-9		モード外	6-2	1-9		2-1					
### STATE OF THE PROPERTY OF T				失した場合、動作不能とみなす))が動作可能	・後備充電器															
The control of the				善電池が動作不能時は、第85条(表85-15)の運転上の制限																
### State Control Cont				七所語表																
The control of the				・所要の設備の維持こ必要な非常用直流母線は接続する系統(蓄	·非常用直流充電器															
### ### ### ##########################				電池(安全防護系用)および充電器(充電器または後備充電器	·非常用直流蓄電池															
### STATE OF THE PROPERTY OF T		第78条		のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能とみ	·後備充電器															
### State		非常用直流電源	モード5、6、照射済燃料移動中	なす))が動作可能			×	×	×	×	⊲	×	×	×	×		×			
## 70-06 From the continue				書電池が動作不能時は、第85条(表85-15)の運転上の制限																
				も確認																
Transport Tra				次の所内非常用母線が受電していること(電源の自動切替の間	·非常用高压母線															
Figure F		1		「は適用しない)	·非常用低压母線															
Professional Pr		第79条 1	· · ·	・2つの非常用高圧母線	·非常用直流母線											:				
The control of the		別人非形用技術	±—₹3,4	-2つの非常用低圧母線	· 非常用品格用母線		.,									×	×	_		
				・2つの非常用直流母線																
Figure 1987 Figure 1987				・4つの非常用計器用母線																
第808条 1-15.6.				所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電している	·非常用高压母線															
### ### ### #########################				こと(電源の自動切替の間は適用しない)	·非常用低王母線															
#50		第80条	エーバーの一路供文像が投稿中	·非常用高圧母線	·非常用直流母線		>	>	>	>	<	>	>	>	>		>			
## 1979年		所内非常用母線	十二年のネスズズでおけ、ロ、ロ・コート	·非常用低圧母線	·非常用品器用母線		<	<	<	·	1	<	<	<	<		·			
## 1				・非常用直流母線																
# 第67条	1			· 平元														ł	l	
### 1975年	安全上特に重要な関連機の	第67条		·原子好醉檄令法D水系:2系統動作可能	·原子/对耐機冷却水系															
#ELONOMERATION FF7PHMB/NATION	(油大系統元)	第07条原子以中都治疗大系	₹—٢3、4	原子/时邮機冷却水系が動作不能時は、第85条(表85-7)の運			,.									×	×			
				車元上の制限も確認																
##☆和海水系				·原子/对軸機冷却海水系: 2系統動作可能	・原子が斉献数令払海水系															
## 1958条(表 85 - 7 0		第68条	₹—Ķ3.4													×	×			
<u>amachonitivalistics</u> <u>amachonitics (職権式クラッチおよび電機式クラッチ anykitha) か</u> (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (事産電話(津波防護用) (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものを A 中央制御室方 (国定)と兼用するものるとができる)が動作可能		原子好幹機冷却海水系		原子/坪神機冷払(海水系が)動作不能時は、第85条(表85-7)の																
- **DYCHAGNINT TH: Zakht(MRKE 1797 + 75 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y th 3 x U night 20 y nigh				2里年11月2日の中では、11	S. S. Marine Landers I								Ī							
0.7 一 YA YA YA YA YA YA YA YA YA YA YA YA YA					・野大路50弾ゲート															
信号によい、ケートが各下できること(外間電影要失時音む)。な ・ 南連電話(第20038用)					• 净州立															
A5. PHILOLOUS MITCH NOT THILLY A MILE A MI				信句により、ケートの名下でからして(外部)制御状大が四句)。 キャン・ヨー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• (年) (年) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本															
### Tensor A. S. O. WHATWASH CONTRIBLE WINDOWS WITH WIND STORT WITH CONTRIBLE WIND WITH WIND WIND WITH WIND WIND WITH WIND WIND WIND WITH WIND WIND WITH WIND WIND WIND WIND WIND WIND WIND WIND		2002	で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の、実計しているイートにして、これ、製作の開かれる)																
		来00米072	トート3、4、9、8、1945年2547 ジアに教護者を開催している措置	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				△	◁	◁	◁	◁	◁	◁	◁					
の各々2台をいう。				・衛星電話(津波)が護用): 4台(A中央制御室およびB中央制御室																
(固定)と兼用するものを A 中央制御室および B 中央制御室で 各々1 台含めることができる)が動作可能				の各々2台をいう。また、衛星電話(津波加護用)には、衛星電話																
				(固定)と兼用するものを A 中央制御室および B 中央制御室で																
				各々1台含めることができる)が動作可能																

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

				\$\triangle \triangle \trian	▽解列 RC:	RCS解詞	発配く口	品种	然料取出		燃料装荷	1:		起弧式験	起動前弁点検		炎量 □	▽並列	
		主要工程					Y	HUX H				¥	7			딙	到馬丸陽失	調整運転	
										1 次系ポンプ他点検	ا		-	RCS漏えい検査	検査]	
			オポートエー							_		_							
			SCS 謝光						_				_						
	RCS 水位		3√√√√√						_		_								
			RCS 全ブロー																
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	8	4 5-	5-1 5-2	2 6-1	6-2	モード外	6-2	1-9	2-5	2-1	4 5-1	1 4	က		
			衛星電話(津波的護用)と兼用する衛星電話(固定)が動作不能時 (ま、第85条(表85-20)の運転上の制限も確認																T
安全上待こ重要な開連機能 (制御用空気系)	第69条制御用空気系	モーゲ3、4	·格納容器外事條則用空気压力(母管压力):0.56MPa[gago]以上	・格納容器外制御用空気系	×	×									×	×	×		ı
安全上特に重要			(中央制御室非常用循環系)	・中央制御室非常用循環系計装															_
な関連機能			・中央制御室非常用循環系作動論理回路:所要の中央制御室非常	·工学的安全施設等作動計装															
(制御室及びそ			用循環系につき2系統(原子炉保護系論理回路の機能検査時に	・左記信号検出、伝送ライン															
の減へい・ 物例	第34条(表34—6)																		
空調系)		ホード3、4、使用済然料パットで 6個年が過ぎる場合			×	×	4	4	△	⊲	◁	◁	◁	◁	×	×	×		
	採	十一年の大大学の世代の	・手動は動:所要の中央制御室非常用循環系につき2チャンネル																
			非常田恒心会打多作制土第34条(表34一3)下端的安全協設等																
			作動情報の非常用於公治和系参照																
	第70条	11一ドの 4 年田松素光子。	・中央制御室非常用循環系:2系統動作可能(中央制御室あたり)	・中央制御室非常用循環系															
	中央制御室非常用循環系	トでの照射済燃料移動中	中央制御室非常用循環系動作不能時よ、第85条(表85-17) の運転上の制限も確認		×	×	4	4	△	◁	⊲	⊲	⊲	◁	×	× 4	×		
制御室外からの		₹—ኑ3	・ほう酸代プ・カロボル	・中央制御室外原子炉停止装置・ナギューを	×												×		
HATTER STREET			・充てん/高圧注入ポンプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																
			いませんない。一番は、大きないのでは、一番は、大きない。																
	第34条(表34-7)		・ 第47 第47 第47 第47 第47 第47 第47 第47		:												_		
	中央制御室外原子炉停止装		・原ナな主要物に対してドンク・調査が開発が大力と・調査を開発が大力と		×	×									×	×	×		
	鮰	モード3,4	・加王器かく立																
			· 蒸気発生器水位(広域) 甘有 % 中 m T 工																
			· 然为先生都主力 • 中性子東(中性子)源(砂域)																
			·1次令机材压力(広域)																
			·1次冷却对温度(広域)(低温側)																
		£—Ķ4	・余勲除去ポンプ			×		\dashv							×	×			_

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

1.55 1.5	1.25(4)(2)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	
1.376-1-716-16 1.376-16 1.376-16	1.756/1-7746/18 1.756/1-774	
######################################	Mississified 3 4 5-1 5-2 6-1 6-2 年-1-75 6-2 6-1 4 4 5-1 5-2 6-1 6-2 年-1-75 6-2 6-1 6-2 6-2 6-1 6-2 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-2 6-1 6-2 6-2 6-2 6-2 6-2 6-2 6-2 6-2 6-2 6-2	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	<u>関連条件</u> 3 4 5-1 5-2 6-1 6-2 モージ 6-2 6-1 4 4 4 5-1 5-2 6-1 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1 6-2 6-1	
* (本記等時出、応送づい ** 本記等時出、応送づい ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	- 本の経験性後 - 本記略等終出、伝送ライン × - まてん、 本正注 メヤン - ** 本工法 メヤン - ** 本工	
* 立	- 本記録時候出、伝送ライン - 本でなん、顔正まひむとブー・微写版時形なシケー が正確認めの4 キ × A	
× × × ********************************	************************************	
************************************	************************************	

************************************	* 子でん/ 瀬正注がたプ (機工能力がた) * 小では (機工能力がた) * 小でに (機工能力が た) * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
************************************	× ************************************	
************************************	************************************	
************************************	× ************************************	
************************************	× ************************************	
*** *** *** *** *** *** *** ** ** ** **	・	

************************************	************************************	
************************************	************************************	
・充てん/衛圧注入化シブ ・燃料収給用バタンク ・加圧器述がし非	- 近てん/画圧注入状ンプ - 様知は当人状ンプ - 様知時間	
・ 元 たん、 海圧注 がた プ ・ 海は歌歌の (身	- 近代ル/画圧注入ポンプ - (業性的性) 大力 - (業性的性) 大力 - (業性的性) 大力 - (業性的性) 大力 - (計圧器域の人) キュート - トロード	
- 近てん/高圧注入だン/ - (学科の替用水タン) - が知で替用水タン - 加圧器逃がし. 非 × A A A A A A A A A A A A A A A A A A	- 光てん/画圧注み代ンプ - - **禁却で替用水タンク - 加工器送めし弁 × A A	
・	・ ・ ・ ・ ・ ・ が は は は は は は は は は は は は は	
・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ が は は は は は は は は は は は は は	
<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ が は は は は は は は は は は は は は</td></td>	<td>・ ・ ・ ・ ・ ・ が は は は は は は は は は は は は は</td>	・ ・ ・ ・ ・ ・ が は は は は は は は は は は は は は
・ またん/ 適圧注み状ンプ・ 機構取替用水タンプ・ 加圧器送がし非 *** 本本本の *** 本本本本の		・ ・ ・ ・ ・ ・ が は は は は は は は は は は は は は
・まてん/適圧注み代ンプ ・燃料取替用水ケンタ・加圧器送がし非 × A	・	
・	・ 元 て	
・ 近てん 画圧注入代ンプ	- 光でん/画圧注入状ンプ - 様知時間水ケンク - 連圧語送がし事 × 本 本	
・ 近て	- 光でん/画圧注入状ンプ - 様知時間水ケンプ - 様知時間水ケンク - 加圧器域が () 非 × 本 本	
- 光でん/高圧注入状プ - 微性的替用水タン - 加圧器逃がし事 × A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	・光でん/鳥圧注入すむプ ・縁性可能用水タンク ・加圧器逃がし事 × A	
- 光てん/高圧注入状プ - 微性的替用水タン - 加圧器逃がし事 × A A A A A A A A A A A A A A A A A A	・光でん/ 海圧注入ポンプ ・緑油四個用水タンク ・加圧器送が () 弁	
・発てん/画圧注み状ご ・燃料取替用水グン ・加圧器巡がし事 ×	・完てん/画圧注みばご ・燃料取替用水グン ・加圧器送がし、弁 ×	
・発生の音圧はみ代ンプ・ ・ 機等の音用水タンタ・ ・ 加工器送めし弁 × A A	・	
- ************************************	- ************************************	
・加圧器送が し 弁 × A A A A A A A A A A A A A A A A A A	・加圧器送かじ.弁 × A	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
	X	
燃料取替用がタンク 	A TOTAL PROBLEM TO THE PROPERTY OF THE PROPERT	
7 to 1 to 1 to 1 to 1 to 1 to 1 to 1 to	/ C / リー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	
(表85-14-302において連転上の制度を定める)	0.21 (おいて) 重要な上の制度な 元 (8.3.6.)	

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

		単					
▽並列		調整重転					
	弧			8	×	∢	×
继	起航缆			4	×	∢	×
起動前弁点検				5-1	×	∢	×
		RCS漏えい検査		4	×	∢	×
起航城		RCS		5-1	×	∢	×
	R/V組立			2-5	×	4	×
地	3			6–1	×	4	×
燃捲荷				6-2	x	∢	×
		1 次系ポンプ他点検		ボード外			
燃料取出				6-2	×	٩	×
婺	×			6-1	×	٩	×
	R~V開放			5-2	×	∢	×
				5-1	×	∢	×
▽解列 RCS降温				4	×	∢	×
▽解列				က	×	∢	×
				関連設備	・売れる一個圧性などが、金融のおけ、大学の大学・金融のおけられ、大学をおけられ、大学を対象を表える。	・満圧タンク	・8 充 て 人 人 高 圧 注 入 ポンプ (自 こ 冷 却) ・
		#	キャピティ樹女 RCS 樹木 ミッド・ループ ROS 全プロー	要求内容	(1) 高圧注入系が1系統型作可能(ボンブル手動起動(系統構成 含む)できること、または調整中であること) ② 低圧注入系が1系統型作可能(ボンブル手動起動(系統構成 含む)できること、または調整中であること) ・充でん/高圧注入ボンブ:1台 ・条総線法ボンブ:1台 ・燃料取替用水ダンク (表85-14-3の2において運転上の制限を定める)	(1) 着在タングほう素濃度 (2800ppm 以上 (2) 着在タングほう酸水量(有効水量):280m ² 以上(1基めたり) (3) 着在タング店力・404M ² は82ge]以上(モード3(1次令却材圧 力 6.89M ² に82ge]以下の場合) (4) 着在タング圧力:10M ² に82ge]以上(モード3(1次令却材圧力 6.89M ² に82ge]以下の場合) (5) 着在タング出口弁が「動作可能(手動での開弁および開弁がで きること) (6) 着在タンク・3基 (モード3(1次令乱材圧力 6.89M ² に82ge]超の場合) (7) 着在タンク・2基 (モード3(1次令却材圧力 6.89M ² に82ge]以下の場合)、4、 5、6の場合)	B充てん、高圧主入ポンプ(自己冷却)による充てん系が「動作可能(ポンプが手動起動)(系統構成含む)できること、または、運転やること、または、運転やること、または、運転やること、または、運転を高い、(養米を一14-3の2において運転上の制限を定める)・(電水ケンク・(養米を一14-2の2において運転上の制限を定める)・空冷式非常用発電装置(養86-15-1の2において運転上の制限を定める)・(繁料油的油そう)・(秦86-15-1の2において運転上の制限を定める)・(タンクロー))・(タンクロー))・(表86-15-7の2において運転上の制限を定める)・(タンクロー)」・(表86-15-7の2において運転上の制限を定める)・(タンクロー)」・(表86-15-7の2において運転上の制限を定める)・(多2のコー)
	日 上 単 十	1 K 1	RCS 水位	保安規定条文 要求モード	第85条(表85—4—1002) 炣心辻水一非常用河心冷却 モード3.4.5.6 系—	第85条(表85—4—2002) 伊心注水-蓋田注入系-	第86条(表85-4-3の2) 代替炉心注水-B充てん/ 高圧注入ポンプ(自己冷却) による代替所心注水-
				項目 保	第86条(所分子)不	※86条 (大公)以	第86条 代替河 恵田辻子

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

原業な	I GHE	調整運転																																												
						3				×										×																×										
#	超頻線					4				×										×																×										
公子与	ATCINITION AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN	拠				5				×										×																×										
中国12年	Kenne	RCS漏えい検査				4		_		×						_	_	_	_	×	_	_				_			_	_	_	_	_	_	_	×	_				_	_		_	_	
#3C#		8		\ 		5-2 5-1		_		× ×						_	_	_	_	× ×	_	_				_			_	_	_	_	_	_	_	×	_				_	_		_	_	
	R/M組立					6-1 5-																														×										
秦				_		6-2				×										×																×										
	W	プ他点検		_																																										
		1 次条ポンプ他点検				ボード外																																								
中田村田	TXH-HXT					6-2				×										×																×										
						1-9				×										×																×										
	R~V開放					5-2				×										×																×										
	Ę					5-1				×										×																×										
	100					4				×										×																×										
\(\triangle \)	- rit-					3	퓬			×				芝						×					-	Į Ž		{\{\}	tı e			Ĺ		_	捜	×										
						関連設備	・A格徴容器スプレイポンプ(RH	RSーCSS連絡ライン使用)	・燃料取替用水タンク				・可搬式代替低圧注水ポンプ	・電源車(可搬式代替低圧注水ポ	ンプ用)	·仮認細立式水槽	·送水車	・数学は曲だ由をい	-バーロケンか・							・女を多か指入ノフィドノノ(大工・	RSーCSS通路ウイン倒用)	・大石が石造くノフィー・石戸・マー・マを紹介・マ女名を貼った。・イン・プログ	「作品的ななくノフ・ノン・ロッドを開出されています。」「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「「」」「「」」「「	名も四条・ノノスノアを数字を表示しまれた。	・名誉を指用のはない。	・右差や岩中温原 サンノインニー	٨	・B余熱除去ポンプ(海水冷却)	・C充てん/高圧注入ポンプ(海	水冷却)	・大容量ポンプ	·空冷式非常用発電装置	・燃料は開か由そう	・ゲンクローリー						
	-		キャパティ潜火	RCS 謝天	ミッドルーフ RCS 全ブロー	要求内容	A格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水系が動作可能(ポ	ンプが手動起動(系統構成含む)できること)	・A格終容器スプレイポンプ(RHRSーCSS)連絡ライン使用):	14	・燃料取替用水ダンク	(表85-14-3の21こおいて運転上の制限を定める)	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水系2系統が動作	可能	・可搬式代替伍圧油水ポンプ:1台×2	・電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用):1台×2	·仮設組立式水槽: 1台×2	· 沃水車:1台×2		これにいい。画語、この集団はないの人	/2/00 10 11-200 (All-Part All-Part All-	ーニーログンが・	(表85-15-7において運転上の制限を定める)				- 動起動(糸紙構					以内型(大名式角)でいる「C、そ/こと単性子である」		・A格納容器スプレイポンプ(RHRS —CSS連絡ウイン使用):	- -	・ 女格姿容器 スプライ・台語・1 基	・A格納容器スプレイポンブ格納容器再循環サンプ側入口隔		・格納容器再循環サンプ:2基※		・B余熱除去ポンプ(海水冷却):1台	・C充てん/高圧注入ポンプ(海水冷却):1台	・大容量ポンプ	(表85-7-2の2において運転上の制限を定める)	·空冷式非常用発電装置	(乗96-16-16-140/14)/(連続して発信を行みな)
	日田十	上 大 大				要求モード		5)		·C	8							8		世 モード3、4、5、6	I														í	z) ∓—ド3,4,5,6										
				RCS 水位		保安規定条文		第85条(表85-4-4の2)	代替炉心注水-A格納容器	スプレイボンプ (RHRS-C	SS連絡ライン使用)による	代替为以主水一						第85条(表85-4-502)	代替(四)公子大——四部北代替	年日 エオポンプニース 全様		が デン デス エー													4000年0年	東85米(表85-4-60)Z/ は禁宙狂弾	17台中側項									
						祖臣																																								

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

Fig. 2014 Fig.																		
Fig. 12 Fig.					\$\overline{\chi}\$	解列 RCS原	明	R>>醴		祖政田	松木		\#\\	起航线			C重/填式整条	△無列
Resp 26.5			主要工程	西				2	¥			2	7.0%			Ž.	Xevery	調整温
RECS AND										1 次系ポン	プ他点検			RCS漏	1. 検査			
### PROS 外位				キャビティ潜水					L	Γ	L	ſ						
This Actual This Actual		4		RCS辦大					_		_							
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		ACS AN		ニッドループ								J						
Figure F				RCS 全プロー											-		E	-
####################################	項目	保安規定条文	要求モード		関連設備	-	+	-	-			-	2-5	2-1	+			
(・燃料は田守田そう													_	
10 10 10 10 10 10 10 10				(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)													_	
### (**###############################				ーバーロケンダ・													_	
### A ** #############################				(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)													_	
(1. ************************************				※:A 格納容器スプレイボンプ(RHRSーCSS 連絡ライン使用)を														
(1) 「「 「 「 「 「				用いる再循環用1基および B 余熱除去ポンブ(海水冷却)を用いて 正徳問目 まい アモ (海火冷却) を用いて 正徳問目 まい														
(1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				いる中間以上を入っている。	・発手ボング(加口架深が)会体													
1. *** 1. ***					単一 「													
(3 中国																		
## 145 (1 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19																		
####################################					(日本) (日本) 日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (
####################################					TO CONTRACTOR													
(1 年 + 13																		
#### 1				(1セット2本(A系1本、B系1本)	・空冷式非常用発電装置													
(1 (1 + 12 + 12 + 12 + 12 + 12 + 12 + 1				・可搬式空気圧縮機(加圧器逃がし弁作動用):2台	・可搬式整流器													
(2014年 1978年 1978年 1978年 1979年 19		第85条(表85-5-102)	Ç,	(1セット2台(A系1台、B系1台)	・核料はまであって	>											>	
(後86 - 16 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 1		加圧器逃がし弁による減圧	2	・可搬型バッテリ(加圧器逃め、し弁用):1個	ーバーロケンタ・	<											<	
(後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-11-124) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-16-10-20214) *Callet_LOMBRE 200.6) (後86-14-20214) *Callet_LOMBRE 200.6)				・空冷式非常用発電装置														
((表85-15-1において運転上の制限を定める)														
(・可搬式整流器														
(#85-15-71/43/V工器社上の制限を定める) (#85-15-71/43/V工器社上の制限を定める) (#85-15-71/43/V工器社上の制限を定める) (#85-15-71/43/V工器社上の制限を定める) (#85-15-71/44/7工程社の制限を定める) (#85-15-71/44/7工程社の制限を定める) (#85-15-71/44/7工程社の制度を定める) (#85-15-02/143/V工程社の制度を定める)				(表85-15-51こおいて運転上の制限を定める)														
(表85-15-7(よがくご動走しの機能を起る)				・終料は使む中へい														
((表85-15-71こおいて運転上の制限を定める)														
(ーバーロケンダ・														
## 153.4.5.6																		
####################################					・格誉を語スプレイポンプ												_	
 (本務が容器スプレイポンブ:1台 (本885-14-302において選手上の制限を定める) (本86-14-202において選手上の制限を定める) (本86-14-202において選手上の制限を定める) (本86-14-202において選手上の制限を定める) (本86-14-202において選手上の制限を定める) (本86-14-202において選手上の制限を定める) (本86-14-302において選手上の制限を定める) 					・燃料取替用水タンク												_	
- 機能容略スプレイ代ンブ: 1台 - 機構容略スプレイ代ンブ: 1台 - 機構容略スプレイ代ンブ: 1台 - 機構容略スプレイボンブによる代替原子伝が高子でから - (電放大型 大型		第85条(表85-6-102)	H					×	×	×	×		×	×	×	_		
(後85-14-302において運転上の制限を定める) (債85-14-302において運転上の制限を定める) (債85-14-302において運転上の制限を定める) (債85-14-202において運転上の制限を定める) (債85-14-302において運転上の制限を定める) (債85-14-302において運転上の制限を定める) (債85-14-302において運転上の制限を定める)		原子が特徴を踏みプレイ		・ 格登容器 スプフイボンプ・1 台		_	_						:	:	:	_		
(義85-14-302において運転上の制限を定める)				・燃料取替用水タンク													_	
個別代替低圧込水代ンプによる代替原子内格線容器スプレイ系 ・個別代替低圧が大しず				(表85-14-3の21こおいて運転上の制限を定める)														
が動作可能 ・歯型体型を指揮性質を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型を表面 ・歯型体型を表面 ・歯型を表面 ・電子・3.4.5.6 ・本本 × <t< td=""><th></th><td></td><td></td><td>恒設代替低圧注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイ系</td><td>・国設代替西田油水ポンプ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>				恒設代替低圧注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイ系	・国設代替西田油水ポンプ													
- 通数代替旧田				が動作可能	·空冷式非常用発電装置												_	
- 近分式は発用発電装置 - ・燃料設替用火タンが備給用移送 - ・燃料の機を定める) ポンゴ - ・燃料の機を定める) ・・燃料の着用火タンク - ・燃料の着用水タンク - ・燃料の着用水タンク - ・燃料の着用が多いて適能上の制限を定める) ・・燃料の着用が多いて適能上の制限を定める) ・・ダンコーリー - ・燃料の作用・ダンゴージャング (後85-14-202において適能上の制限を定める) ・・ダンコーリー - ・燃料の作用・ダング - ・・ダングローリー - ・・燃料の作用・ダングローリー - ・・減料の作用・ダング - ・・ダングローリー - ・・減料の作用・ダング - ・・ダングローリー - ・・減料の作用・ダング - ・・ダングローリー - ・ ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ダングローリー - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				・恒設代替低圧注水パンプ:1台	・復水タンク												_	
(表85-15-102にはいて運転上の制限を定める) ポンプ x x x x x x x x x x x x x x x x x x x		第85条(表85-6-202)		・空冷式非常用発電装置	・燃料取替用水タンク補給用移送													
モーデ3.4.5.6 ・鎌井政権用がタンク ×		代替原子炉格納容器スプレ			ポンプ												_	
(表85-144-202において運転上の制限を定める) ・燃料取替用水ダンケ補給研務送代ンプ (表85-144-202において運転上の制限を定める) ・燃料取替用水ダンク (表85-14-302において運転上の制限を定める)		イー恒設代替低圧注水ポン	₹—٢3,4,5,6		・燃料取替用水タンク			×		×	×		×	×	×			
・燃料取替用水タンク維約用移送水ンプ (表85-14-2の2において運転上の制限を定める) ・燃料取替用水タンク (表85-14-3の2において運転上の制限を定める)		プによる代替原子炉格納容			・送水車												_	
2において運転上の制限を定める)		器スプレイー			・終発は世代由そう													
・燃料取替用水ケンケ (表85-14-302)において運転上の制限を定める)				(表85-14-2の2において運転上の制限を定める)	・ケンクローリー												_	
(表85-14-302)において連転上の制限を定める)				・燃料取替用水タンク													_	
				(表85-14-3の2において運転上の制限を定める)													_	

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

				D	▽解列 RCS降温		発調く口		귏	※	然装荷	7884	起弧式験		起動前弁点検	*************************************	△並列	(3)
		主要工程	甚								r	74至				ACHIER SAN		調整運転
		-							1 次系ポンプ他点検	他点検			RCS	RCS漏えい検査				
			キャビティ猫水					L	Γ									
	なべる。		RCS 浦水				_	_		_								
	<u> </u>		ループ								J]					
			RCS 全ブロー														F	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3 4	2-1	2-5	6-1 6-2	2 モード外	\$ 6-2	2 6-1	1 5-2	5-1	4	2-1	4	8	
			・送水車															
			(表85-14-1の2/こおいて運転上の制限を定める)								_							
			・終本は田に由そし															
			(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)															
			ーバーロケンダ・								_							
			(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)															
			可搬式代替低圧注水ポンプによる代替原子炉格納容器スプレイ	・回搬式代替毎日当大ポップ														
			系2系統5域外行可能	・電源車(可搬式代替低圧注水ポ														
			・可搬式代替低圧並大ポンプ:1台×2	ンプ用)							_							
	第85条(表85-6-3の2)		・電源車(回搬式代替低圧)大ポンプ用):1 台×2	・送水車														
	代替原ナア格納容器スプレ		·送水車:1台×2	・仮記祭用立式・水槽									_					
	イー可搬式代替低圧注水ポ	モード3、4、5、6	· 仮設組立式水槽: 1 台×2	・ 数学 は の か の の の の の の の の の の の の の の の の の	×	×	×	× ×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	ンプによる代替原子好略総		・終禁は田に中へ	・ケンケローノー														
	容器スプレイー		(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)															
			-()ロケンタ・								_							
			//// / / / / / / / / / / / / / / / / /															
			原子的神樂冷却水系による原子的格納容器内自然対流冷却系が	・A、B格納容器再循環ユニット														
			が、3.6 18188 1840と2017 01873 1845 1840と 1								_							
			第71年51日で「ノン・十兆氏は7.4%に出る口で、「こうして、そこに	くいろいは中球語がようでしょう。							_							
			連合中であること)	7														
			・A、B格約容器再循環ユニット:2基	·A、B原子好兩數治型大治型器							_							
	第85条(表85-7-102)		・A、B、C原子が早齢機合独立とポンプ:2台	・原子が中離後令却大ナージタンク														
			(A、B、Cのうち、いずれか2台)	・窒素ポンス(原子炉補機冷却水							_							
	原子が作成が石がかれてよる国子には名の国子には名のの	±—⊬3,4,5,6	·A、B原子/环神機令法DK合去D器:2基	サージタンク加圧用)	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	がナイロがは古る前がは日がたりがし、		・原子/対離機冷却水サージタンク:1基	・海大木プル														
	/III		・窒素ポンズ(原子が平静後令払いオージタンク加圧用):1本	・可搬型温度計測裝置(格納容器														
			・海水ボンブ:1台	再循環ユニット入口温度/出口温														
			・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出	度(SA)用)														
			口温度(SA)用)															
			(表85-16-1の2/こおいて運転上の制限を定める)															
			大容量ポンプによる海火供給系(大容量ポンプから海水管接続ロ	・大谷量ボンプ														
			まで)2系統が動作可能	・A、B格納容器再循環ユニット														
			・大容量ポンプ:1台×2(3号/55よび4号/5の合計所要数)	・燃料は明か由そう														
			・A、B格納容器再循環ユニット	・ダンクローリー														
	第95条(事85-7-200)		(表85-7-1の21こおいて運転上の制限を定める)	可搬型温度計測裝置(格納容器														
	※30米(3630-/-2022) 木突電ボンプロエス 百子店		・核性は形をつ	再循環ユニット入口温度/出口温														
	大中軍インニャのボナル女名の器中中衆学が今世代	₹─├3,4,5,6	(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)	度(SA)用)	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	作品が名を置く 田次次と かいてはらり トナバイナギオー		-ビーロケンダ・	・B余熱除去ポンプ(海水冷却)														
	POLCETE WATER		(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)	・C充てん/高圧注入ポンプ(海														
			・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出	水冷却														
			口温度(SA)用)	・空冷式非常用発電装置														
			(表85-16-1の2において運転上の制限を定める)															
			・B余熱除去ポンプ(海水冷却)															

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

	○並列	二年出、今田中	別を発展																																												
	北江市情光電金	NEWSK						_	7																	4													×					×			
		귀							4																	٥													△					×			
	起動門弁点検		一海						4 L																	◁													◁					× ×			
	起航線		RCS漏えい検査					,	- -																																			×			
		7.11			_			C	2-6																																			×			ı
	西 ロ <編む	2		۲				q	Ī																																			×			
I	然港市		一条		_	_	7	ď	7_0																																			×			
			1 次系ポンプ他点検					E H	1																																						
I	然料取出			Γ					7-6																																			×			
 		×			_	7		-	Ī																																			×			
	外間への	11年~ / 11年)			_			c	2-5																																			×			
<u> </u>	盟							ū	Н																																			×			
1 /	ii RCS 政治							-	ა 4																																			×			
	△解列							F								プ起動																									配定		扫				
!					 		-	井/心中里/日日	(米)))(田)					・電車が乗りを示して	・ダー ロソ 関 を デ が に が が	・タービン動補助給水ポンプ起動	弁(現場手動操作)	·蒸気発生器	・復水タンク	·空冷式非常用発電装置	・燃料油貯油やシ	・ゲンケローリー																- 土		·静的蜘蛛式水素再結合装置	·静的触媒式水素再結合装置温度	監視接置	·原子炉格納容器水素燃耗装置	·原子炉格納容器水素燃耗装置温	度監視裝置	·空冷式非常用発電装置	1 N + 140+ 12144
		逛		キャビティ潜水	RCS 辦大	F = 500 H	ハンハン・ノ RCS 全ブロー	11 11 11 11	安水(小谷) (表85-4-6の2)において運転上の制限を定める)	・○本アイ、ノ画田はスポンプ(海水浴柱)	うたい により (表別の) (表	·空冷式非常用発電裝置	(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)				動起動	材構成含む)できること、または、運転中であること)				£9	ること。タービン動権財給大ポンプは原子が迅動時のモード3	において記載動に係る調整を行っている場合は運転上の制限			・電動補助給かれている。	・ターにン型が曲型統分ない。これ	・タービン動体制を含水ポンプを動作(現場手動操作):1台	·蒸気発生器:3基	・復大ダンク	(表85-14-2の2において運転上の制限を定める)	·空冷式非常用発電装置	(表85-15-11こおいて運転上の制限を定める)	・燃料・田町で田木の	(表85-15-7において理事をより制度を定める)	・・タノ・ロー・リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(ten	上派を記らいた。1987と弁・3個	(1) 精的例數某式水素再結合装置の所要数が動作可能	数が動作可		(3) 原子戸谷谷容器水素燃焼装置の所要数が動作可能・原	数が動作		・静的触集式水素再結合装置:5基・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		主要工程				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		当日報	枚米ポープ																モード3.4(蒸気発生器が効除夫														モード3、4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)					₹—₹3,4,5,6			
					:	RCS 水位		PD 240000	不女恐た米人																第85条(表85-8-102)	蒸気発生器2次側による炉	心冷却()注水)											第85条(第85-0-1)	素気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)				第85条(表85-10-1の	2)	水素濃度低減		
								면	祖田																																						

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

1-2 1-								: 	#KF#####	#15	**	井口暦七十三年	光神神+	4		同帯口
FIGURE NATE		1 1	Ç		II.	く開め		1	XFLIVIN			XIA-BY BY				
First Art Firs		工解工	上程 1					- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	製型			NO.	梅			調整運転
No. No.			米雅ノー・ブイナ					<u> </u>		[1			
RESS ACTOR RESPECTAGE RES		!	子班 200				_		_		Ļ					
HESTRIGATES STATE Control Miles Mile	S S	S 水位	た。 1 = 5 × 11				٦		_							
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			スプンプン RCS 全ブロー						7							
The control of the			要求内容		7	-				9-1	5-2				e	
######################################			マンココロ・アンココロ・アンココロ・アン・エー・ 近子が一般なのない。 できる (12個) ・ 12個													
GRID 1-7002-15/CORLESPOND GRID 1-7002-15/CORLESPOND			- 空冷式非常用発電装置										_	_		
## 13 4 A. 6			(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)													
## 175 A. S. G ## 185 A. C. B. L. DOISE LEVERE PROP.			・核禁は田行由そう				_						_			
## 13 4.1.0 Amount of the control			(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)													
### 15.4.0.0 Indextrological production of the control production of			ーバーロケンダ・													
# 十代3.4.5.6			(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)													
	第85条(表85		可搬型格納容器内水素濃度計測装置等による水素濃度監視系1													
	2		系統(1系統とは可搬型格納容器内水素濃度計測裝置1個、可搬										_	_		
	水素濃度監視		型原子炉補機冷却水循環ポンプ1台、可搬型格納容器ガス試料				_						_			
			圧縮装置1台、Aガスサンプリング圧縮装置1個、Aガスサンプル				_						_	_		
- 1			冷却器1個、A湿分分離器1個)が動作可能	・可搬型格約容器ガス試料圧縮装									_	_		
(1)			·可搬型格納容器内水素濃度計測裝置:1個	脚									_	_		
1995年 1			・可搬型原子好華機令却水循環状プグニ台	・Aガスサンプリング圧縮装置			_						_			
4.457477/17/4 (2484年) 18			・可搬型格納容器ガス試料圧縮装置:1台	・Aガスサンプル冷却器			_						_	_		
************************************			・Aガスサンプリング圧縮装置:1個	・人量分分離器												
(後86 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			・Aガスサンプル冷却器:1個		×	×			×	×	×	_			×	
大会量から			·A:显分分離器:1個	·空冷式非常用発電装置									_	_		
(後86-7) - 2002において選集上の制限を定める) (今20日 - 1) - 1 - 1 (後86-16 - 1) - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			・大容量ポンプ	・終粋は東方中へい			_									
(#865-16-1021-5) **Calle LOMBRE 200-5)			(表85-7-2の2において運転上の制限を定める)	・ゲンローバー			_						_	_		
(株86 – 16 – 10 20 において選手上の影響を変める)			・空冷式非常用発電装置													
「後86-16-702において選集上の参照を定める (485-16-702において選集上の参照を定める)			(表85-15-1の2にだいて運動との制限を定める)				_						_	_		
(************************************			・核学は田下心													
((表85-15-7の2において運転上の制限を定める)				_						_			
(後85-15-702において選手上の制度を定める) (1) A7ニュラス整体(地方の関係を定める) (2) (特殊を対してもうしま) (2) (特殊を対します) (2) (特殊を対します) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4			ーバーロケンダ・				_						_			
(1) Aアニコンな気が製作の形が動作の形(ファンが手動は動)(系統 マアニコンな気が化力で) (2) APエコンス型気が化力で): す。 マニコンス型が利に対しています			(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)				_									
# (2) (1 位替 空気 (2) (1 位替 空気 (2) (1 位替 空気 (3) (1 位 位 2) (1 位 2) ((1) Aアニュラス空気浄化系が動作可能(ファンが手動起動(系統													
(2) 化替金烷(選集)系統が動作可能 少ト ・タアニョスを気冷化フルクニーント・1 基本作動用 ・シアニョス等が化力・1 音楽作動用 ・シアニョス等が化力・1 音楽作動用 ・シアニョス等が化力・1 音楽作動用 ・シアニョス等が化剤・1 音楽作動用 ・シアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・シアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアニョス等に構造・1 音楽作動用 ・メアンコーリー ・オアンコーリー ・オアンコーリー ・オアンコーリー ・オア・エートのコートのコートのコートのコートのコートのコートのコートのコートのコートのコ			構成含む)できること)										_	_		
モード3.4、5.6 ・Aアニコラス整強やにプルクコニット・1番・金素ボンベ(アニコラス強化排気)・作動用) : 本 × x </td <td></td> <td></td> <td>(2) 代替空気(窒素)系統が動作可能</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td>_</td> <td></td> <td></td>			(2) 代替空気(窒素)系統が動作可能	7									_	_		
- A アニュラス空が中にカルクユニット: は			・Aアニュラス空気浄化ファン:1台	・窒素ボンベ(アニュラス浄化排気			_									
電乗代ンペパアニコラス浄化排気弁等値制用:3本 ・空舎式が指数行動用:3本 ・空舎式が指数行動用:3本 ・空舎式が指数行動用:4本 ・空舎式が指数行動用:4本 ・空舎式が指数行動用:4本 ・マンカーリー ・空舎式が出数が確認 ・金舎式が出数を定める) ・機料油砂油でき ・金舎式が出数を定める) ・機料油砂油でき ・本 ・			・Aアニュラス空気浄化フィルタユニット:1基	并等作動用)									_	_		
モード3.4.5.6 (1セット2本(アニュラス浄化排気弁作動用1 未) でカンコーリー・ウルラス浄化排気分析動用1 未) でカンコーリー・ウルコール でカンコーリー・ウルコール でカンコーリー (表85-15-102において運転上の制限を定める) ・ 株料油貯油でう (表85-15-102において運転上の制限を定める) ・ 株料油貯油でう (表85-15-102において運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・ 大・グ・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制度を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制度を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制度を定める) ・ 大・クリーリー (表85-15-702にはいて運転上の制度を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	第85条(表85	3-11-10	・窒素ポンベ(アニュラス浄化排気弁等作動用):2本	·空冷式非常用発電装置			_						_			
# 1	(5)		(1セット2本(アニュラス浄化排気・弁作動用1本、アニュラス											_		
・空冷丸は洋用発電装置 (表85-15-102において運転上の制限を定める) ・燃料通行油でう (表85-15-102において運転上の制限を定める) ・ダンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・ダンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・ダンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) ・グンクローリー (表85-15-702にはいて運転上の制限を定める) ・ 後数計画が用をう ・ が料・車が ・ が料を ・ が料・車が ・ が料・ ・ が料・車が ・ が料・ ・ が料・車が ・ が料・ ・ br>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	水素排出、放身		排気弁件動用1本)		×	×			×	×	×				×	
(表85-15-102において運転上の制限を定める) ・参数は銀行由そう ・参数は銀行由そう (表85-15-702において運転上の制限を定める) (表85-15-102において運転上の制限を定める) (本85-15-702において運転上の制限を定める) ・ダンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	度低減		·空冷式非常用発電装置										_	_		
- 機対通的治氏(表85-15-702において通転上の制限を定める) ・分ンローリー (表85-15-702において通転上の制限を定める) 使用発燃料でいて燃料を貯蔵 消防付ンブによる海込がら使用液燃料でいての知大系2系統制 ・送入庫 作用が燃料を貯蔵 消防付ンブによる海込がら使用液燃料でいての知大系2系統制 ・送入庫 (表86-15-702において運転上の制限を定める) (表86-15-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める) (表85-16-702にはいて運転上の制限を定める)			(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)				_						_			
(表85-15-702において運転上の制限を定める) ・タンクローリー (表85-15-702において運転上の制限を定める) (表85-15-702において運転上の制限を定める) 使用済燃料でいて燃料体を貯蔵 消防やプリニよる海大がら使用液燃料でいたのゴ大ボ2系統制 (地)のイボ2系統制 (中)の (世)の (世)の (世)の (世)の (世)の (世)の (世)の (世			・終料、油肥、油・水・				_						_			
・ダンクローリー (表85 – 15 – 702において運転上の制限を定める) (表85 – 15 – 702において運転上の制限を定める) (表85 – 15 – 702において運転上の制限を定める) 使用済業料でいて誘導体を貯蔵 消防センブによる海水から使用済業者にいくの注水系の系統制 ・送水車 x x x x x x x x x x x x x x x x x x x			(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)				_									
(表85-15-702において運転上の制限を定める) (表86-15-702においた) (表85-15-702においた) (表別を記録した) (表別を記録した) (表別を記録した) (表別を記録した) (表別を記録した) (表別を記録した) (表別を記録した) (表別を記録しません) (表別を記述しません) (表別を			ーバーロケンダ・													
使用済燃料を引き続いに燃料体を貯蔵 消防やプラーによる海火から使用済燃料ビットへの注水系2系統動 ・送水車 している規間 作可能 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)				_									
・数学品で中心	第85条(表85			・送水車	×	×			×	×	×				×	
	2)		作可能													

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

FIGS NOTE Fig. 1989 Fig.					▽解列 RCS降温	数			然和政田		黎·琳 柜		南	起凱克斯	起動前并点検	鉄	○並列
10,000 kg 10,0		中華土					R	撒				R M	村			起弧環	Ø∰K
1995年 1992年 19										1 次系ポンプ他点			2	S漏えい検	 		
1944年 1945年 19			キャビナイ謝犬									_					
### 16 1			BCS 潮水						_		_		L				
## 19 2			ミッドループ						7		_						
### 1			RCS 全ブロー								1						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		要求モード	要求内容	関連設備	က				6-2	ボード	6-2	9-1			Ē	4	က
(1596 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 20 D) (1596 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 20 D) (1596 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20 D) (2015 11-7 00-12) (2015 12-20 MB 12-20			·送水車:1台×2	ーバーロケンダ・													
(1985年11-1-7021年) (1987年) (1			・燃料は開け由そう														
(************************************			(表85-15-7の2/こおいて運転上の制限を定める)														
(1) (1997) (1			ーバーロケンダ・														
Control (Control			(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)														
CTU-VCT-MRM-1 MRACLEM-1- EMPT-6-ARM			(1) 使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋外に配備する設備	・送水車													
### ### ### ### ### ### #### #########			について2系統(1系統とは屋外に配備する送水車1台)が動	・スプレイヘッダ													
			4 日能	・核米は田代田そう													
(中国			(2) 使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋内に配補する設備	-バーロケンダ・													
### 10	6		について1系統(1系統とは屋内に配備するスプレイ〜ジダ4														
(中国		使用済数学式 シアロ数学を予請	個(1セット2個、3号におよび4号に共用の予備機2個を含														
		している期間			×			×	×	×	×	×			×	×	×
(### ### ### ### ### ### ### ### ### #			・スプレイヘッダ・4個														
(・数数は田野田かり														
(機能が無比してのは、1997年17日			(表85-15-7の2にだいて)重転上の制限を定める)														
((3X C) (3														
(- アノノコー・フー (表85-15-7の2において運転 Fの制限を定める)														
- (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (世間が数性と)からがは「200 2個 (生間が数性と)からがは「200 2個 (生間が数性と)からがは「200 2個 200 200			(は一般を表現して) これ (1977) (・一日は必要がよう。このな問され													
(動所が関係と対して) (動性の)			・石田道会等に、これには、この面の、一つ田道会等に、これは、日本田道会等に、これは、日本は、日本の一方の一方は、日本の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の	・毎田冷然光ット大位(内域)													
#歴史の解析を発展			満足しない場合において、	・伊田学会派にいた調理(AMII)													
# ELD Pelling # A			大学によるParticularies アイベルでは、アン・アローン・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・使用済然料で、トエリア監視力メ													
- 他国外機構を所載 - 17-17-17-18-12-17-12			受けているがは「しょうな」となる。 かっちゅうりきょう	10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年													
###################################			サムエンとも実践が一直について、その、「「このからのなっ、」	ノンズボボボイントエン・目が													
(世界が終年シャトに修算体を所載 (1987年) 17年3月 (1987年) 17年3日 (1987年) 17			・他用が然業に少い間域(AM用):2個	カメフジの装置を組む)													
###################################			・使用済燃料ピットエリア監視カメラ(使用済燃料ピットエリア監視	・可被型使用が終業でットス位													
- 19番型機能が対すいを必要 - 19番型機能が対すいを必要 - 19番目を関係的はよいな連携上の制限を定める) - 20~42年が1・15年にの制限を定める) - 20~42年が1・15年にの制限を定める) - 20~42年が1・15年にの制限を定める) - 20~42年が1・15年に関係上の制限を定める) - 20~42年が1・15年に関係との表別を定める) - 20~42年が1・15年に関係との表別を定める) - 20~42年が1・15年に関係との表別を定める) - 20~42年が1・15年に関係との表別を定める) - 20~42年が1・15年に関係との表別を定める) - 20~42年が10年に関係を定める) - 20~42年が10年に関係を定める) - 20~42年が10年に関係を定める。 - 20~42年に対象が10	_	便用済燃料でいて「燃料をを貯蔵」	カメラ翌治装置(1セット1個)を含む):2個	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	×	_		×	×	×	×	×	_		×	×	×
- 空が式力学用発電子である。		している期間	・可機型の用が燃料でいたが位に2個	辺エリアモニタ													
- 空か式学科研究機能 - (後855-15-102]において選手上の解码を定める) - (後855-15-102]において選手上の解码を定める) - タンクローリー (後855-15-702]において選手上の解码を定める) - ケンクローリー (後856-15-702]において選手上の解码を定める) - 大容量ポンプまとが外の回しよるが、7. 米を電がングがが回用 を確かとプラは予確を用き合う。 がか必要 - 大容量ポンプ(がか必用) 36 - 大容量がンプ(がか必用) 36 - 大容量がンプ(がか必用) 36 - 大容量がンプ(がか必用) 36 - 大容量がンプ(がか必用) 36 - 大容量が、7. 米 × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			・りあれたものながれていて区が西方ムーン、ホース:2個	- 空冷以非常用光电波直													
(表85-15-102において運転上の制限を定める)			・空冷式非常用発電装置	・松米や田沢田そう													
24895-15-702において連転上の制限を定める)			(表85-15-1の2 こおいて運転上の制限を定める)	ーバーロケンダ・													
(表85-15-702において運転上の制限を定める) - タンクローリー - (表85-15-71において運転上の制限を定める) - 大容量ポンプおよび防水砲による放水系・系統(1系統とは、大会量ポンプ(放水砲用) - 本容量ポンプおよび防水砲による放水系・系統(1系統とは、大会量ポンプ(放水砲用) - 本な量ポンプを指数による指数を指摘されてきる容量を有 ・タンクローリー × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			・核禁は田で由そう														
(表85-15-71において適転上の制限を定める) 大容量ポンプおよび放水砲1-5点が系・1系統(1系統とは、大容量ポンプは水砲用) ・ 次容量ポンプは水砲用 キード3、4、5、6、使用済燃料といる時間、ひかた砲・3号序及び4号序合計所要数) ・ 次容量インプは水砲用 ・ 次容量インプは水砲用 ・ 次を量インプは水砲用 ・ 次分コーリー × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)														
(表85-15-71において選手上の制度を定める)			ーバーロケンダ・														
大容量化ンプおよび放水を削しまる放水系 1系統 (1系統 L14、大谷量化ンプ(放水を削) 全量化ンプさら「保機性 1合きも)、放水を30億 予備機 1倍合も)、放水を30億 予備機 1倍合も)、放水を30億 予備機 1倍合も)、放水を30億 予備機 1倍合も)、放水を30億 予備機 1倍合も)、放水を30億 予備機 1倍合も)、水子を3 4、5、6、使用済燃料と (2台接続で3号 4 2 4 4 5 4 5 6、使用済燃料と (2台接続で3号 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4			(表85-15-7において運転上の制限を定める)														
容量化シブ3台・子(権機1 信合も2)、放水砲3個・子(権機1 信合も2)、放水砲3個・子(権機1 信合も2)、放水砲3個・予(権機1 信合も2)、放水砲3個・子(権機1 信合も2)、放水砲3個・予(権機1 信合も2)、放水砲3周・治型を設置 ・ 大容量化・ブ(放水砲用)・治 と			大容量ポンプおよび放水砲による放水系1系統(1系統とは、大	・大容量ポンプ(放水砲用)													
モード3.4.5.6.使用済燃料と ・大容量化ンブ(放水配用):3台 ・一般計劃作品を引 ・一ド3.4.5.6.使用済燃料と ・一ド3.4.5.6.使用済燃料と ・一ド3.4.5.6.使用済燃料と ・一ド3.4.5.6.使用済燃料と ・一ド3.4.5.6.使用済燃料と ・一ド3.4.5.6.使用済燃料を ・一ド3.4.5.6.作用 ・一ド3.4.5.6.作用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			容量ポンプ3台(予備機1台含む)、放水砲3個(予備機1個含む)	· bby Kita													
モード3.4,5,6,6 使用済燃料ビス(放水砲用):3台 ・ 大谷量化ンブ(放水砲用):3台 ・ 水 × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			および泡混合器1台)が動作可能	・泡混合器													
モード3.4.5.6.使用済燃料ビ (2台接続で3号が2人4号が5月間は、12かできる容量を有・タンクローリー × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			・大容量ポンプ(物水効用)・3会	・参照は世代年かん													
- V-L-機関体を貯蔵している機関		モード3、4、5、6、使用済燃料ピ	くて事こう くぶんきじょうコンコン くんせい カナンキ 2 物中大力 (の人体をよっし) こうしん 日下市 十回 はっせい アキン 窓中大力	- II- II- II- II-	>	_		>	>	>	>	>	_		>	>	>
y ************************************		ットに燃料を貯蔵してる期間	くて口が売いっっかってものではこうでもこうとうです。 イン・カー・カイ・エー・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(·	(<	(ζ	_		·	ζ	ζ.
- IDANAS - GBIC - 755-7-0-1171年度80 - 1-0-1-0-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			4 らしい。 5 かが大くし 4 かが ロボロ アロガダン 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
・17世紀計畫: 1日(3号/A) 及(34年/A)計刊製製(3			・ 放び込む (4) である (4) できます (4)														
			·沙路台希: 1 中(3 卡万女女4 卡万克里宁姆数)										_				

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

高帯区	[元末 ^	言語整つ運動を	THE CHARLE																																								
		Kenna				8										×									×				×						×	ţ						×	
4	代文本に指揮者	j				4										×									×				×						×	ζ						×	
外上 华禄福二年			 梅			5-1										×									×				×						×	(×	
			RCS漏えい検査			4										×									×				×						×	¢						×	
お田子学会にサ	A COMPANY					5-1										×				_				_	×				×						×							×	
	ロン細寸	7 111				1 5-2										×				_				_	×				×						×							×	
共	KAN-FEKTUJ D	-				6-2 6-1										× ×				_				_	×				×						<]						× ×	
STERON	Ж		他点檢	_																					^				^														
			1 次系ポンプ他点検			モード外										×																										×	
HAPPEN HT-LT-	W+4XIII					6-2										×									×				×													×	
-		X				1-9										×									×				×						<	1						×	
	発置/ロ			ĺ		5-2										×									×				×						×	ξ						×	
۵	Į .					5-1										×									×				×						×	¢						×	
	1					4										×									×				×	_					×							×	
□ 482 Fil	v H#90					8										×									×				× 拠						×							×	
						関連設備				・シルトフェンス												・送水車	が計画が中から	がおして				・復水タンク	・燃料取替用水タンク補給用移送	よっぱん	・機型的禁囲水グンク	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\								·空冷式非常用発電装置	・核学は世代由そう	・ゲンローリー	
				キがアを満次	ACS 資水 レープドッド RCS 全プロー	要求内容	(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)	ーバーロケンや・	(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)	所要数が使用可能	2組(1号炉、2号炉、3号炉および4号炉の合	計所要数)	耳功才路側:	高さ約8m/m解約12m/本を2本で1組として2組4本)	放大口(刨:	高さ約 13m/m器約 80m(m器約 20m/本を4本を接続した状態で	- 「	「MAYANO SHATES YOU CHEST AND A YOU CHEST AND A YOU CHEST AND A YOU CHEST A THE SHATES A THE SH	(RECOLUMN) ひとく (RECOLUMN) できたい (RECO		高い約103m/mm333m(mm333m/4を64c1 組合して2巻5mm4を64c1 組合して2巻5mm/mm335m/4を14に3mm/mm3mm/mm3mm/mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm				- ************************************	ーバーロケンダ・	(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)	こよる復水タンクから燃料			(2) 然料は質用がダブン4輌合用が送用ンフ:1 日後半1円券 田水グ・ン・	T (5)	(2) ほう酸水量(有効水量):1600m3以上	(原子炉キャビティ水張り、水抜き期間においては第85条に	定める水源および炉心注入手段等が確保されていることを条	件に運転上の制限を満足していないとはみなさない。なお、	原子炉キャビティ水張り期間とは、原子炉キャビティ水張り作	業開始から水張り完了までの期間を、また、原子炉キャビティ	水抜き期間とは、原子炉キャビティ水抜き作業開始から燃料取替用水タンク水位を回復するまでの期間をいう)	充とは、モード		貯蔵している期間こおいて空冷式非常用発電装置1	台)動作可能
		主要工程				要求モード				(金田子3、4、5、6、使用済燃料に)													6	8	₹—¥3,4,5,6			3.0	王—					•		(42)					100円 大田林里林田林 100円円 100円		
					RCS 水位	保安規定条文				第85条(表85-13-2)	海洋への抗散印制												第85条(表85-14-10	+1 COXF)*COCK	2/ 海水を用いた復水タンクへ	の雑給		第85条(表85-14-2の	5)	復水タンクから燃料取替用	ズダンとの主義			#\ #\ #\ LO4#	第85条(後85-14-3)の	と 燃料取替用水タンク	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			1	第85条(表85-15-10)	2/ 空冷式非堂田拳雷装置九以	
						項目																																					

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

日本口		調整運転						
				က	×		×	×
49	超頻頻			4	х		×	×
計画相待日禄	The second of th			Ē	∢		×	×
		RCS漏えい検査		4	x		×	×
北海福才縣		RCS		7-	4		×	×
	R~V組立			5-2	4		×	×
柜				£	4		×	×
恢乳生活	Kid-T-day	一 紫		6-2			×	×
		1 次系ポンプ他点検		<u>秦</u> 	∢		×	×
秋料田7 井	WWWTHALL			6-2	4		×	×
				Ţ	4		×	×
	R/V開坡			5-2	4		×	×
	I			7			×	×
	1			4	×		×	×
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1.C±U ^			8	ラ ラ タ × ×		×	×
-				期·登車(諸 	・ 与機間電力融通信設ケーブル (3号~4号) (3号~4号) (3号~4号) ・ (3号~4号) ・ ディーゼル発電機(他号炉) ・ 紫梨雄労神そう(他号炉)		・電影車・燃料は銀行をついなンクローノー	·蓄電池(安全防護系用)
			キャビアイ謝水 RCS 謝米 ミッドレーブ	RCS全7ロー 要求内容	歳している排割において空冷式が常用発電装置1台) ・タンクローリー (表856-15-702において連転上の制限を定める) ・燃料油が油そう (表86-15-702において連転上の制限を定める) ・燃料油が油をう (ま86-15-702において連転上の制限を定める) ・機制電力船通面段ケーブル(3号 4号)による電源系 1 系 様(1系統上は、他号がのモード」2、3、4の場合の所要数 他号がフェード5、6、使用済燃料ビットに燃料体を所蔵している が開め場合においての所要数のが使用可能 は(1系統上は、他号がのモード」2、3、4の場合の所要数 他号がフェード5、6、使用済燃料ビットに燃料体を所蔵している が開か場合においての所要数のが使用可能 a.他号がモード1、2、3、4の場合 ・号機間電力船通電配ケーブル(3号~4号):1 組 (3号がおよび4号炉の台計所要数) ・ディーゼル発電機(他号が):24 ・特別電力器通電配が一ブル(3号~4号):1 組 (3号がおよび4号炉の台計所要数) ・ディーゼル発電機(他号が):24 ・号機間電力船通面配が一ブル(3号~4号):1 組 (3号がおよび4号炉の台計所要数) ・ディーゼル発電機(他号が):24 ・号機間電力船通面配が一ブル(3号~4号):1 組 (3号がおよび4号炉の台計所要数) ・ディーゼル発電機(16号が):246cm³ ・号機間電力船通面配が一ブル(3号~4号):1 組 (3号がおよび4号炉の台計所要数) ・ディーゼル発電機(16号所):246cm³ ・号機間電力船通音音が一ブル(3号~4号):1 組 (3号がおよび4号炉の台計所要数) ・ディーゼル発電機(16号所):1基	・蘇洋油駅中そう(も町/位):226m³ (「右串/位)とは4年/行わい)	電源車による電源系2系結が動作可能 ・電源車:1台×2 ・燃料銀行社でう (表85-15-7の2において運転上の制限を定める) ・タンクローリー (表85-15-7の2において運転上の制限を定める)	書電池(安全防護系用)による電源系および蓄電池(3系統目)動作可能 ・蓄電池(安全防護系用):1組 ・蓄電池(3系統目):1組
	; ; ;	王罗工柱		が出来	(の) モード3、4、5、6、使用姿態当ビリン・ドニ酸性な経過にている時間		(の モード3、4、5、6、使用済燃料ビ ットに燃料体を貯蔵している時間	(の モード3、4、5、6、使用済機料に ットに燃料体を貯御している規間 5よ
			RCS 水位	保安規定条文	第85条(表85-15-2の2) 5) 号機間電力融通値設ケーブ ル(3号~4号)(号機間電力 融通予備ケーブル(3号~4号))からの給電		第85条(表85-15-3の 2) 電源車からの裕電	第86条(表85-15-4の 2) 蓄電池(安全防護系用)およ び蓄電池(3系統目)からの 給電
				理				

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

日本口	Wy)		調整重転																																												
		験						က													×																×								×		
4		起煽动						4												:	×																×								×		
华上李禄福二								5-1												:	×																×								×		
								4												:	×																×								×		
4.3年4年2年	NEW TOWNS					_		5-1												:	×																×								×		
		R/X組立						5-2												:	×																×								×	:	
Ħ		δ.			_	ل		- 9													×																×								×	: 	
を記された	WONTHAN TO		4	K		_	\neg	6-2			_					_	_	_		:	×					_											×								×		
								4—15												:	×																×								×		
HP-MATH	HXHX							6-2													×																×								×		
2		¥			_			6-1													×																×								×		
	į	R~V開放			ı			5-2													×																×								×		
_	a [5–1												:	×																×								×	:	
日のの一世の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	性のこと							4												:	×																×								×		
\(\frac{42}{2}\)	V ##91							က						د						:	×																×								×		
								関連設備	・可搬式整流器	. 化冷子中节田祭雨社服		・号機間電力融通恒設ケーフル	(3号~4号)	・号機間電力融通予備ケーブル	(3号~4号)	() 自己 () 美田名 () () ()	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・熬料曲だ由そり(街号が)	·電源車	I h Thirting	・ 交 来 決 ま ま た 五 ト ク	・ケンケーニノー										· 化苯肟 女語 包 语 公 權 分 語 验	- 化苯肟内雷色 铅槽水压器	• 沿行以并吊用 光电波画	・可搬工器流器	ーバーロケンダ・	・核性は由から						・燃料油貯油をシ	ーバーロケンダ・			
		п	ш	1	ンタアノレント		ミッドルーフ RCS 全ブロー	要求内容	可搬式整流器からの電源系1系統(1系統とは、可搬式整流器1	医海洛巴纳	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	・口搬式整流器:1個	・空冷式非常用発電装置	(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)	・号機間雷力融・通信をケーブル(3号~4号)		(女女の) ― こう ― とりと こうとう こうときな こう 中間など ためいのう	・号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)	(表85-15-2の2において運転上の制限を定める)		・ナイーセン発電機(包を足)	(表85-15-2の2において運転上の制限を定める)	・核料は用む由そう(もも)	(表85-15-202において運転上の制限を定める)	中区学	11年	(表85-15-3の21こおいて運転上の制限を定める)	・燃料は明が由そう	(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)	-1-04/4	/ 1// 1 / (表85 - 15 - 7の2 にだいて) 神歌 上の 制限 夕 定める)	代替所力量活動権人にの終題を大は田可能	- イボアカ語の記録を記述しています。	- 化管理公司法国第二法第二位	・空冷式非常用発電装置	(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)	・可機式整流器	(表85-15-5の2において運転上の制限を定める)	ーバーロケンな・	(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)	・ 数学、 田 に 由 い	(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)	(1) 燃料油貯油そうの油量(4基分):466m3以上	(2) タンクローリー:3台が使用可能	(重大事故等対処認備の連続定格、重視に必要な検料を補給を	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Coballina Social Targe Transports からいったいない。
		4年上程	-					要求モード												モード3、4、5、6、使用済燃料ピ	シトに数学3本を貯蔵している期間															『三葉外田世 ひ L ▼ りご ト	十一ト6、4、0、0、18日が終れ	シトに燃料本を貯蔵している期間					モード3、4、5、6、使用済燃料ピ	ットに燃料本を貯蔵している期間			
						RCS 水位		保安規定条文											第85条(表85-15-5の			回搬式整流器からの給電													第95条(事85—15—60			替所内電気設備からの給	€m²				第85条(表85-15-7の	2)	表述、出作年をつくなってロー	単ら言うを呼べては ダーノー ニ	HINDRICH CONTRACTOR
								項目																																	_						

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

							10.40			1000000		The same of the same			****	1	4111		1	
						✓型列 RCI	明世 E E E E E E E E E E E E E	Ć	##	松米村区田	_	20米米河			起馬式縣		位置 当 市 市 本	******		
		主要工程	щ					KV服务	用政				K/編以	ZH			12	起調理	5.4和田田	#
											1次条ポンプ他点検	46/			RCS漏えい検査	 極			副衛子里和	ш
				キャビーイ猫大							1									
	+7/4F 000			RCS潮水						_				_						
	<u> </u>			゛ループ 全ブロー]		ī		_								
項目	保安規定条文	要求モード		要求内容	関連設備	8	4	5-1 5-2	6	6-2	モード%	6-2	1-9	5-2	5-1	4 5	5-1 4	8		
			主要パラメータ	代替パラメータ	・左記監対題と構															
			·1次给标高温温度(広域10H	①は歩くカメータの参レーブ1CH																
		i C		②1次给好店副開實(広域10H																
		十一73、4、5、6(周七七十七分器を分割を	·1次治財用問題度(広域10H	①土要へつイーグのをレープ1CH		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		
		文画でないまませててていることが		②1次给財高副開盟(広域)10H																
			·[河泛在前極限1CH	①1次给场局副盟盟(内域 10H							_									
			A STATE OF THE STA		++/ 4 4 4 4 4 4 4															
		i C	-1次治路 mm.englength.com	(JHW/J/M/Mの高かかんから10H)	• 左系凸距分层分庸															
		「同子では、今の「個子面下上後端の下上」		(3.1分全的公司)		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		
			・[加田器田力]10H	①1次件对ED1CH																
	第85条(表85-16-1の	±—⊬3,4,5,6	·加州	①出数・心ケーをの名下っくからこの	·左言己監決馬毀備															
	2)	(原子炉圧力容器内の水位)		2000年104		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		
	引装設備		·原子与水位1CH	①加压器水位10H																
	・プラント起動に伴う計器校	€—1,5,6	·[1次為服務改益]1GH	①1次给財高盟盟度(広域)1CH	 左記監視器以備 				_		_									
	正、真空ベンティングおよ	(原子炉圧力容器内の水位)		①1次冷却对你温剧温度(広域)1CH				× ×	×	×		×	×	×	×		×			
	び原子炉格納容器漏えい	₹—1,3,4,5,6	·高王安全注入流量10H	①出数・心ケーをの名下とくかうこの	· 左 記 監 決 記 数 请 数 请															
	率検査時に計器保護のた	(原子均圧力容器への注水量)		②燃料を開発がクル位に出																
	め隔離している場合等は、			③近日器交位104																
	動作不能とみなさない			4年でが付い																
	・代替パラメータに記載する			の本権の諸単語域サングは移入立つと																
	番号は優先順位であり、代		·高田網按金注入流量1CH	①上巻へ むイーを の 着中 と な に 10 1																
	替パラメータが複数あるこ			②繁発語用が多くなが付けのエ																
	とを示す			③ 宮田親太付 GH																
	· []は多様性拡張設備を示			(J. IRTATAKET CH																
	し、連邦上の制限は過用し		_	(5)主要を記述出言をよって「5)を受けて							_									
	/よい。 ・要求内容の左側に主要パ		·余縣朱流量ICH	(1) は極いなーなり寄わるいかここと																
	ルメータを、右側に状替べ			の名目のようによって		>	>	> 	>	>		>	>	>	>	>	> 	<u> </u>		
	レメータを記載している。					3				((,	((
				の基金の発用部署を行っている。																
			・扁子を有用するといいます。	HOJ内米インタ田開発機() HOJ横端門はドブイズが田路端に高間・																
				の後ろくろが日子																
				(2) 古日親交往104																
			_	(3) 阻 (6)							_									
				は 金数の 器画 高端 大り 行付を を付い に の																
			·[光乙分光谱圖]10H	①繁複語形分ンク水位にH																
				②为压器次位10升																
				3.原为194																
			・「蓄圧なン圧力」の	① 汝治因日10日																
				①1次冷却好低温晶度(内域)10升																

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

# 1	III.	言田弊が軍事に	THE CHIEF																																						
Ċ		K				က														>	×										×			×				>	ζ.		
٥	A #1244年	ACEMEN.				4														>	×										×			×				>	ζ		
华华华						5-1														>	×										×			×				>	ζ		
			RCS漏えい検査			4														,	× 										×			×				>	·		
49497H	A COMPANY		RCS			5-1														,	×										×			×				>	C		
	0 / 個寸	7,444.7				5-2															×										×			×				>			
#	WATHER D	λ,				2 6-1															× 										×			×				· ·			
	***		也点核	L		6-2															×										×			×				>			
			1 次系ポンプ他点検			多一节																																			
	XXX+4XH		_ 		<u>'</u>	6-2														,	×										×			×				>	(
1				_		1-9														,	×										×			×				>	(
	外間とロ	部を入り				5-2)	×										×			×				>	(
						7														,	×										×			×				>	·		
	見せのと「を供く					4															×										×			×				>			
147	V 19491					က)	×										×			×				>	(
						関連設備					・左言語が贈め備																			·左記監決點受備			・左記監対馬受備			・左記監視観り備					
				キャビナイ猫犬	RCS 海水 ミッドループ RCS 全プロー	要求内容	①I 次给对正力CH	(1)7分布斯特四盟国政(历教1CH (1)金数条件指言1CH	②言は器を付って	③原子污水红 CH	①燃料時替用水ダンク水位ICH	①後次ンク大江の	②A整合品用画家サンプロタをはJCH	・国党と特別日本人というには連続でいる。 ・ ロットは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットでは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットでは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットでは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットでは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットでは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットでは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが関係を対している。 ・ ロットのは、アンドロが、	(大学などの大臣10千年) 一年 (大学などの大臣10千年) 一年 (大学などの) 日本 (大学など) 「大学など」 (大学など)	の上記されるのである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	②繁造雑田谷ンと村ICH	③本金の指用部隊サング内勢を打つ	①出数・ジャーをの他でくなってのエ	②然地は結束なシクス位ICH	③本語在語曲 高報子ング 打撃大日 CH	①上要 ヘンメータの他チャンネルコロH	②然も結束なっクネ位のH	③発発的報用調整をいつけるを行ってH	(1)を発売が出来ない方式にいます。 の数数が指揮が作用が作用が作用があます。	①参加部分の大位のH	①復なンクが打ら	②を表布部用資金サンプロ砂を行び	の基本を指揮制御事子ンプロ母を占10H	①は要った子の名からないこの	②AMARITIMENTON		たくなし1CH		①A要表面報內證及ICH	①上張バンメータの他アセンネルコロエ	②全体の指用語彙サング状体を行うの		のありませんである。	金数などが付ける	(A 本語の R スプンイ 活動機可 C H
1		팺					・「種扱ンでは受益」の	· [WKAYARIBITICH			格格器スプノ流量積10円		,	・画名を出ていて日記		101冊校『分か仕上旬・			·高田輔安全注入流量1CH			·余数法清量ICH			・[充てん水流量]10H	・「梅格器スプイ流量」の		こくとは表面材にカイーがご	この「地区倒る人は人人なり」	·格敦和部内通到CH			· 最高階位員日510H		·格索器式域压力(AM 用)1CH	・格芸の器単編製サンプは砂大口CH					
		主要工程				要求モード														₹—1,3,4,5,6	(原子が格納容器への注水量)									1,27 66	一下の、4、0、0	(原士が生命物合名部への)。画英)	— ⊬3,4,5,6	(原子炉格約容器内の圧力)				₹─┼3,4,5,6	(原子戸格納容器内の水位)		
					RCS 水位	保安規定条文					·																					1									
						項目																											_								_

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

-	○並列	調整運転																																													
		- A						က												×			×							×					>	<						>	×				
	資料調整							4												×			×							×					,	(>	×				
	起門并点横							2-1												×			×							×					>	<						>	Κ				
			RCS漏えい検査					4												×			×							×					,	<						,	Κ				
	起動試験		L RCS			7		5-1												×			×	:						×					,	(>	×				
	RV網拉							2-5												×			×	:						×					,	(,	× 				
1		-		ſ		ل		-9		_										×			×							×					>	(_	×				
1	然業後		点検	L	_	_	7	6-2												×			×							×					,	(>	×				
			1 次系ポンプ他点検					ボード外																																							
1	然料 知田							6-2												×			×							×					>	(>	×				
		ζ						<u>6</u>												×			×							×					,	<						>	×				
	R~V開放				_			5-2												×			×							×					,	<						,	Κ				
	DE .							7												×			×	: 						×					>	.						>	×				
	▽無列 RCS[孫治							4												×			×							×					,								× 				
	□ □ □							3												×			×							×					>	(>	Κ				
					 	-		国海影佛											·左記語対點以備			・ 大言 に に に に			·左記監決點受備									・左言己監決院受備				・左記監決點分備									
				キャビナイ猫犬	RCS 辦大	アール・アント	RCS全プロー	要求内容	おい。「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	・養養の親囲編書とうは報告でして		②個などが独立の出	で存在能 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	で 日本語画語 できた できた は、 日本語画語 できた できた は、 日本語画語 できた できた できた できた できた できた できた できた できた できた	HOLD文文が表現を行って、 「大型のでは、大型では、大型のでは、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型	①個大の人を打口と	①基本を能とび フ 指導統 で い	HOMESを使用されています。	・可能性験を指数な実験はは発音ICH ①止要、ウメータの予備ICH	ことの情報が出生の情報がは田舎大石教育を集の	(2)(中大学教育部局部東部語画)(2)	・ TOT部部本土の機能を大力を必要を受けませた。 TOT部語を主義機能を大力を必要を持ちていません。 TOT部語の主義を表する。	のこうとは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	(Christian Application Christian C		ジャンメータの右中かング・フロエ	これにいて、一番には、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これ	エンジーが、それを3を一てい、何けい	ころころでしている。 マンドラー ライン・ステング・ステング・ステング・ステング・ステング・ステング・ステング・ステン	と、「ハノンの一人一十八一十八八十八十四十四十二十八十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	ロリアモニダ]10	(の)を表現を使くがにアモニ女(西へぶ)18	・「存存を決しアモニタ」104 ① 格格器な影シジェリアモニタ(扱ンジ)104	· (1) 中部数据中间 (1) 中部数据中间 (1) 中部数据中间 (1)	·[中柱子號等構造]1CH ①中柱子號等中柱子數「CH	(P-6 以上において中性子源領域中性子刺は電源切びるが運転上の制限を満足しないとは	みなさない。)	・ (① 上版 / ごメータの者 アンノルコロコ	②AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA	③A整在Wanda ICH	・原中産権務省 早ナージを ンを 村口 () 川敷(・) 本 の を の あ ・ 、 ・ の の	②本等を指揮を関すし、シャンロ組成、出口組度(SA/10H	・「原大兵機能をテナンダンと田力」10円(3原大兵機をはテナージダンが国力・クロカ10円	HOLI回标名录记日十八二日整题推翻的杂类。	①基金的銀行回費10H	①A整在船路位起于JOH	·拾茶的器再翻集ュニット人口組度(出口温度(SA)1CH
	;	主要工程				RCS 水位		保安規定条文 要求モード		泰	220				外 在街。						(原子が格給容器内の水素濃度)			(アニュラス内の水素濃度)	基		以 2000年	TAM	0 0 2 1	一十一では、4、5、6 一十一では、4、5、6 (西文)は数値の開放し、「数値	**************************************		KABI)	[4]		(未臨界の維持または監視) (P6)	Att	*************************************			6.4%	₹ —₹3,4,5,6	(最終に一下シンクの確保)	鉴			素
								国国	I K																																						

調整運 ▽並列 × 起爐漿 起動前弁点検 5-1 RCS漏えい検査 4 × 起動試験 5-1 2-5 R/M組立 -9 6-2 1 次条ポンプ他点検 ボーが 燃料取出 6-2 × -9 R>V開数 2-5 5-1 ▽解列 RCS降温 × 関連設備 ・左記監視影備 ROS 着水 ミッドハーブ ROS 全プロー キャピティ潜火 ①出版バンメータの名子やンネルまたは省リーブ10H ①描心でもをおいないは ①塩がつかりをないないの ①抽動でメータの他をプネット10H ①描いた一名をおいないは うるを発生を行うできない。 ②1次给时后副围度(広域10H ③1次给好高調體度(広域)10H ②1次治防衛副體度(広域10H ③1次给树高副温度(広域10H ③1次各种配置国政(内域)10H ③1次给树高副晶度(広域)1CH ②1次社材高副盟度(広域)1CH ③1次给附后副晶度(広域)1CH ③ 勝発生器 概念 法 10 日 ② 物金性素素的水槽10H ② 濒免生器 概念 法 10 日 ①出動へつメータの予備1CH 3滿発生器蒸気圧力10H ② 被免生器力场付付 ②蒸光器蒸汽压力10H ①蒸汽生器类似位104 ②濒死性器内存在10H ①蒸汽车器装成位10H ①蒸汽产品蒸汽压力10H ②蒸汽车器内域水位10H ②勝利器以外位10円 ②蒸発性器數數位10H ②蒸汽车器以收位10H ③蒸気発生器與軟化位10H ②蒸汽产生器势数水位10H ①蒸汽 化器蒸汽压力10H ・「蒸気発生器ブローダウン水モニタ]1CH ①蒸気発生器貯壊水位1CH ①蒸汽产品蒸汽压力10H ①濒死生器残坏位10H ①濒伤性器蒸汽压力10H ②横右端内部上104 2.檢索器內體1CH ① **经费到**的 ①復体シク水位10H 要求内容 ・[復水器空気抽出器ガスモニタ]10H ・[補助] 屋城第7 スモニタ] 10 H ・[高啓度主蒸気管モニタ]10H ·蒸気発生器構造火売量1CH ·[蒸気発生器主蒸気量]1CH ·赫気発生器内域水位10H ·蒸気発生器蒸気圧力10H ·蒸気発生器残骸大位10H 蒸気発生器残骸大位104 ·蒸気発生器蒸気圧力10H · 汝為是由104 主要工程 (格終命器バイパスの監視) 要求モード ±—ド3,4,5,6 RCS 水位 保安規定条文 項目

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

両帯以	N	二年出一个中田市	前管理机											 									 																	
		起動造場					3																							;	<						,	×		×
4		型					4																							;	_							×		×
公上小小里			-				5-1		_	_	_			_	_				_		_		_						_		< 	_	_	_				× ×		× ×
会場上が得に井			RCS漏えい検査				5-1																								_							×		×
#	_	担					2-5																								<						,	×		×
	(R_V繼立					1-9																							;	<						,	×		×
	XXX+14X10		4#K		_	_	6-2																							;	<						,	×		×
THE STATE OF THE S			1次系ポンプ他点検				(本) (本) (本)																																	
HAPPEN HT-LT-	XXXXX				_		6-2																							;	<						>	×		×
		強					6–1																							;	<						,	×		×
	(R~雅教			لے		5-2																							;	<						,	×		×
	Ę.						5-1		_	_	_																		_		< 							× 		×
	E E						3																														_	` ×		×
				-		,	関連設備																		井ろ出た台です。	m17GXJH										The state of the s	・中張性に連絡		・可搬型温度計計測装置(格納容	器再循環ユニット入口温度/出口
		主要工程		キャビティ海水	RCS 辦光	ミッドループ ROS 全プロー	要求内容	HOLD NA SA	① 滅極発生器蒸気圧力104	· [安全構造] [(安全		HO 口がを移行して・A 整題性能が発表()	HO1立次等代票级等的位10H	・「神動を開サンプなング大人は10米 (1) 交換を円から	①は田線大位の中	HO は大学では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(A) May Ay	HOLCHTRAMBUNARMO	HO 口がを存むして・A 整線無路が変素()	HO 海水等性調液等大位 (CH	①減免を仕場が与しかのみ	でこれは発送されて、(() されば、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのでは、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに	・「自由機能人のクタを包1の())が発射用力の	・「万日器数へんシン通数1の()、分部対日からの	HOT 国際機能を受けている。 HOT 国際機能を関いている。 HOT Ext 国 を	の大学を記録を表現している。 では、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	後などが位にない。(は数ペンメーをの他やくならこの)	②蒸炒各件器無分分益量「CH	③格格器スプスが開発費1CH	の一種語画作り出たなない田本教を開発	・市ン観かっと大百104(山野、ブレイーをつ着アナンなうこのよ	②(古分)(数十四十來) CH	②中間領域中性子東ICH	②中生子需要中生子束ICH	(Pらび上において中性子源領域中性子東は電源の公なるが連転上の制度を満足しないとは		第10・		・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口 ・可搬	
		H H		•	BCS 水体	: 	項目 保安規定条文 要求モード																							E—K3,4,5,6	(水源の確保)						35条(表85-16-20)	2)	第85条(表85-16-3)の	2 ————————————————————————————————————

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

日本口	1157.1		調整運転																																			
٥		鏡							8		×		×										×														×	
45		起弧缆							4		×		×										×														×	
おいませんが	HUNT LEW								5		×		×										×														×	
				RCS漏えい検査					4		×		×										×														×	
井口暦十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	KENDANE			RCS测			_		5-1		×		×										×														×	
		湿							5-2		×		×									÷	×														×	
		R/V組立			_				<u>-</u>		×		×										×														×	
秦光祥	KKWT-FXCIP.			4eK		_		_	6-2		×		×										×														×	
				1 次系ポンプ他点検					モード外														×															
11400000000000000000000000000000000000	THAIT			7	Γ			-	6-2		×		×										×														×	
PAN I					_	_]		1-9		×		×										×														×	
		R/V開放							5-2		×		×										×														×	
		œ							7		×		×										×														×	
日の一個に	1 H								4		×		×										×														×	
774231 DC	1046								က		×		×										×														×	
	-								関連設備	・安全パラメータ表示システム(S	PDS)	·SPDS表示装置		・中央制御室非常用循環ファン	・中央制御室空調ファン	・中央制御室循環ファン	・中央制御室非常用循環フィルタ	4~二 エ	·可撤型照明(SA)	一酸素濃度計	.二酸化炭素濃度計	·空冷式非常用発電装置	・然料は明か由そう	-ゲーローゾー								・Aアニュラス空気浄化ファン	・アニュラス空気浄化フィルタユニ	べ	・窒素ボンベ(アニュラス浄化排気	弁等作動用)		
		13	H-		十七万十七部大	ROS離火		ROS全ブロー	要求內容	・安全パラメーク表示システム(SPDS):1 系列(1号炉、2号炉、	3号がおび4号がの合計系統数)	引力、3号炉および4号炉の合		(1) 中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可・	能(ファンが手動起動(系統構成含む)できること、また」は重転	Ĥ	(2) 可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所・	要数が使用可能	・中央制御室非常用循環ファン:1台	・中央制御室空調ファン:1台	・中央制御室循環ファン:1台	・中央制御室非常用循環フィルタユニット:1基	・可搬型照明(SA):8個(3号炉および4号炉の合計所要数)	・酸素濃度計:1個(3号炉および4号炉の合計所要数)	() ()	・空冷式非常用発電装置	(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)	・核料油供油をつ	(表85-15-7の2において運転上の制限を定める)	ーバーログンが・	(表85-15-7の2/こおいて運転上の制限を定める)	・Aアニュラス空気浄化ファン	(表85-11-1の2において運転上の制限を定める)	・Aアニュラス空気浄化フィルタユニット	(表85-11-1の2において)弾法上の制限を定める)	・窒素ポンベ(アニュラス浄化排気弁等作動用)	を定める)	
		4 華土	1				•		要求モード													モード3、4、5、6、使用済燃料ピ	ットに燃料体を貯蔵している期間			10		緑の									€—⊬3,4,5,6	
							RCS 水位		保安規定条文																	第85条(表85-17-1の	5)	居住性の確保および汚染の	持ち込み防止	(中央制御室)								
									項目																													

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

	※ 株装荷 表型加井 表型加井 を型加井 を型加井 で 立 立 引 と で 立 立 回 に と へ 組 立 に と へ を は 立 は 立 は 立 は 立 は 立 は 立 は 立 は 立 は 立 は	1.次系がシンゴも高級 RCS端末し、複画						EF9h 6-2 6-1 5-2 5-1 4 5-1 4 3													× × × × × × ×																		× × × × × × × × ×								× × × × × × ×
	燃料取出 R/V開放			_				5-2 6-1 6-2													× ×																		× ×								× × ×
. d <	▽解列 RCS際温 R/							3 4 5-1													× ×																		× ×								× ×
]	ær D					-	# 5 5 1	對連影備	・可搬式モニタリングポスト	・電響揺サーバ人メータ	・回憲式ダストサンプル	・GM光米サーバイメータ	・NaIシンチワーションサーベイメ	<u>~</u>	·ZnSシンチレージョンサーベイネ	√	・緩ヤーベンメーか	実施でい					The state of the s	・可形型気象観測装置			·電源車(緊急時対策所用)	・終業は世代中へい	・ゲンケローリー				·雷酒車(緊急時対策所用)	・空冷すま労田発電装置	・数学、選択の	・ゲンケローリー									・緊急時対策所非常用空気浄化フ	ジ	・緊急時対策所非常用空気浄化フ
	п	н	子雅ノーブキ 井		Car ook	ノーソイイジョ	KCS ₩ Z □ □	罗邓内谷	(放射性物質の濃度および放射線量の測定)	・可搬式モニタリングポスト:8個※	・電解箱セース人メータ:2回※	・ 回該共ダストサンプル:2個※	・GM 汚染サーベイメータ: 2個※	・るでンチフーションキーメイメータ・2個※	・DrSツンチワーションナー、ス人メータ:1値**	・一般サーベイメータ:10回※			(風向、風速その他の気象条件の測定)			※:1号炉、2号炉、3号炉および4号炉の合計所要数	Vall visitativ (IIII /	(電源確保)	・空冷式・宇宙・田光電装置	(表85-15-1およひ表85-15-1の2において運転上の	制限を定める)	・終業法田記む田から	(表85-15-17および表85-17-1の2において運転上	の制限を定める)	ーバーロぐんか・	(表85-15-17および表85-17-1の2において運動上 のelimaを中央2)	いいがならんらいらん 電海車(緊急時対策所用)が2台動化可能	・ 記述 は 100mm で 100mm	(緊急時対策所あたりの合計研整数)	·空冷式非常用発電装置	(1号炉、2号炉、3号炉および4号炉こついて要求)	(表85-15-1の2において運転上の制限を定める)	・数学は曲形由そう	(1号炉、2号炉、3号炉および4号炉こついて要求)	(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)	ーバーロケンが・	(1号炉、2号炉、3号炉および4号炉こついて要求)	(表85-15-7の21こおいて運転上の制限を定める)	(1) 緊急時対策所空気浄化系1系統(1系統以は、緊急時対策所非	常用空気浄化ファン1台および緊急時対策所非常用空気浄化	フィルタユニット1 基)動作可能
	日 日 十	H H H						数米モート												モード3、4、5、6、使用済燃料に	**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	VIII WATHER INC. CONTRI																モード3、4、5、6、使用済燃料ピ	ットに燃料体を貯蔵している期間							が 三条件 日世 ション・ウェート	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
					RCS 水位		4	朱女規定条又												5-18-1)	監視測定装置																1 (H)		代替電源設備からの給電の数単に数をは対策に	(素) (第85条(表85-19-2)	居住性の確保
							[項目																																							

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

## 0	I GATE A	調整運転																																									
	まご重が 記事	Viauri				3																								×													
4						4																								×													
\$- 111		**************************************	極			4 5-1						_				_		_		_	_	_	_		_		_	_	_	×	_		_			_		_	_		_	_	
\$3+2+B5	KCB/BT/3K		といる 離れて 水道			2-1																								×													
#				_		5-2																								×													
#I	□ R / / 編寸					6–1																								×													
[#KVI449	XXX+4xx10	4	品体			6-2																								×						_		_					
1		\$#####################################	父巻ドント			モード外																								×													
I H	HXH4XX				r	6-2																								×													
\	名型へと	Yana				2 6-1																								×						_		_					
	~					5-1 5-2																								× ×													
<u> </u>	見出る					4																								×													
7 1 1 1 1 1	見せのこと「を作く					3																								×													
The Thusbean Bras CC December						関連設備	· 酸素濃度計 - 二酸化炭素濃度計	・緊急時対策所内可搬型エリアモ	=/4	・緊急時対策所外可搬型エリアモ	1.4				·衛星電話(固定)	衛星電話(携帯)	・衛星電話(可搬)	・トランシー・ゲー	・携行型通話装置	・安全パラメータ表示システム(S	PDS)	・安全パラメータ伝送システム	・緊急時衛星通報システム	·SPDS表示装置	・統合原子力防災ネットワークに	接続する通信連絡設備(TV会議	システム、IP電話、IP-FAX)	・空冷式非常用発電装置	・終業治費が由そう、タンクローブー	·電源車(緊急時対策所用)													
				大声/デボボ KBSM ROS MAX	ミッドループ RCS全ブロー		(4) 緊急時対策所内可撤型エリアモニタおよび緊急時対策所外可・・機型エリアモニタの時事勢が急権自能	<u>*</u>	***・*********************************	0本以上**		•二酸化尿素濃度計:1個※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※	・終急時対策所との撤毀エンアモータ:個。・緊急時対策所の可勝型エンアモータ:個※	※緊急時対策所あたりの合計所要数	(通信連絡設備)	·衛星電話(固定):21台※1		・衛星電話(可搬):1 台※1	・トランシーバー:90台※!		条列****	·テム:1系列***2			動言連絡設備(TV会議	システム、 P電話、P-FAX): 1 系列 ^{※1382}			- 1 および表85-15-1の2において運転上		・終学毎であんり、ダングローブー	(表85-15-7およひ表85-15-7の2 こおいて) の単間を完める)	・電池車(緊急時対策所用)		※1:1年6 2年6 3年6六十7(4年604年1年數十多年對	(大事) [[] [] [] [] [] [] [] [] []	(かな) 「中で、 (から) (すっ) (ペープン・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	「おおくイイム」して、この、一人米米、コーカル・タイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク有際大、ボ際ボチンに、「単年ボロ際 CDIAのかりのアント 伝送口能が歩ん「アを」、5、一番全国・土下公グ・デローグロ	「一」 「	IP 電話、IP-FAX のいずれかにより通信可能であることをい	う。(本表に限る)
		主要工程		·······		き文 要求モード																							0-1) - モード3、4、5、6、使用済参発に	シトに燃料本を貯蔵している期間													
				サギッツロ		保安規定条文																							第85条(表85-20-1)	通信連絡													
						項目																																					

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

Fig. 18 Fig.			1				
RESSACE RESPECTIVE RESSACE R	[万]	調整運					
Fig. 2016 Fig.	₽				~		
Fig. 25 Fig. 26 Fig.	動抗						
PROS 大佐 Provide Pr							
1997年 1998年 19	朱温雪	<u> </u>		5-1	×		
FROS 大位 Fabrica Fab		属えい検		4	×		
ROS	起航	RCS		5-1	×		
ROS 水位 ROS × ROS ×	拉罗			5-2	×		
Feed of column Fe				6-1	×		
ROS 水位 ROS × R	□			6-2	×		
RCS 水性		プ他点検		冰			
RCS 水位 RCS 水位 RCS 水位 RESENT RCS 水位 RCS × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×		次条ポン		1	×		
RCS 水位 RAME HAR	_		6-2	×			
RCS 水柱 RCS 水柱 RAME RA	₩ □				×		
上張工程	く開放				×		
FCS 水位 FCS 水位	ď						
ROS 水位	製調						
中央工程	E RCS						
RCS 水位 RCS 水位 RS 水山	△解						
RCS 水位				靊			
RCS 水位 RCS 水位				関連設	ž 3;		
RCS 水位 RCS 水位 RCS 水位 RCS 水位 RCS 水(ループ RC					エデー		
ROS 水位			1 1 1		V W		
RCS 水位 東京規定条文 要求モード 第58条(表85-21-1の モード3.4.5.6.使用済燃料ビ アクセスルートの循係 ツーに燃料体を所慮している場間 ルードの循係 ルードの循係 ルードの循係 ルードの循係 ルードの循係 ルードの循係 ルードの指述 ルードの表述 ルードの					un 🗅 🗟		
RCS 水位 東京規定条文 要求モード 第58条(表85-21-1の モード3.4.5.6.使用済燃料ビ アクセスルートの確保 ツーに燃料体を所蔵している場間 リーに燃料体を所蔵している場間 カード 東京 (東京) カード ((動作可能) 計所要数 合計所要		
RCS 水位 東京和元条文 東京十一ド 東京条(表85-21-10 上下3.4.5.6.使用添燃料ビ ファセスルートの確保 アフセスルートの確保 アフセスルートの確保 エード			が 大脚 プーロ	黎)所要数か : 号炉の合 : 4号炉の		
RCS 水位 東京を全 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東			キャビラ RCS is ミッドル RCS 全ご	要水	/ヨベルの Fおよび4 物および		
RCS 水位 東東モード 東東モード 東85条(表85-21-1の モード3.4、5、6、使用済燃料ビ フルセスルートの確保 ットに燃料体を所蔵している時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					たび油圧(2台(3号) 1台(3号)		
RCS 水位 東京規定条文 要求モード 第98条(表85-21-1の モード3.4、5、6、使明済燃料ビ フルセスルートの確保 ツーに燃料体を所能している時間 サード 東東工程 東東北 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東					・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
RCS 水位	į	팭					
RCS 7水位 要求モー	į	E と と と と と と と は と は と は に は に は に は し に り に り に り に り に り に り に り に り に り に			済然料,		
RCS 水(立 (保安規定条文 第85条(表85-21-10) 2) アクセスルートの確保	•	ıп		11111111	、6、使用 計蔵して		
RCS 水位 (保安規定条文 第85条(表85-21-10) 2) 77セスルートの確保				要求	3、4、5 额料格]		
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			水位	茶	21—1 <i>C</i> 蟹果		
校			RCS ;	铁规定	表85 -: 7-108		
松葉				絽	第85条(2) アクセス)		
通用 通便 1 1 1 1 1 1 1 1 1				m			
				煇		する設備	

調整運転 ▽並列 起航票 起動前弁点検 2-1 RCS漏えい検査 5-1 2-5 R/M組立 6–1 然港荷 6-2 1 次系ポンプ他点検 モード外 6-2 6–1 R~開 5-2 2-1 ▽解列 RCS降温 関連設備 キャピライ湖水 ROS 増水 ミッドループ ROS 全プロー 要求内容 主要工程 要求モード RCS 水位 保安規定条文 項目

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

調整運転 ▽並列 起航票 起動前弁点検 5–1 RCS漏えい検査 5-1 6-2 6-1 5-2 R/M組立 然港荷 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画 1 次条ポンプ他点検 ボード 然料取出 6-2 5-2 6-1 R~附数 51 ▽解列 RCS降温 関連設備 キャピカイ謝大 ROS 謝大 ミッドループ ROS 全プロー 高浜発電所3号機 要求内容 主要工程 :条件付で機能要求あり、条件付機能要求を満足すれば作業可能) 要求モード :機能要求あり、機能要求を満足すれば作業可能) RCS 水位 保安規定条文 項目 × ⊲

:機能要求なし(作業可能)

高浜発電所3号機 第25回定期事業者検査時の安全管理の計画

総代は期で見れ回	がませてい	面と古容器となぶだましてのは続
いた」かって生きない	200	がしかもものところ
1次冷却材温度 177°C以上	•	全ボルト維付
1次冷却对温度 93°C超 177°C未満		全ポルト締付
1次令机材温度 93°C以下(RCS 滿水)		全ボルト締付
1次令机材温度 93°C以下(RCS 非満水)		全ポルト締付
1次合地が温度 93°C以下(キャビティ 低水位)		1本以上が緩められている
1次治地温度 93℃以下(キャビティ 高水位)		1本以上が緩められている(全ボルト取り外し)
全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	状態	I

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際においても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

長期施設管理方針実施状況総括表

3号炉 長期施設管理方針実施状況総括表

	()内は実績を記載		(第24保全サイクルで実施済) 原子炉容器の胴部(炉心衛域部)の中性子照射脆化について、原子炉の運転時間および 照射量を勘案し、第5回監視試験の実施計画を策定した。 実施計画に基づき、第24回定期検査にて監視試験片の取り出しを実施した。	(第22保全サイクルで実施済) ドレン系統配管について、第22回定期検査期間中にサポートの追設を実施した。また、こ の工事を反映した耐震安全性評価を実施し、当該系統において必要最小肉厚tsrまでの減 肉を想定しても、耐震安全性に影響がないことを確認した。	(第21保全サイクルで実施済) 基準地震動Ss-2~7に対する評価(弾性設計 用地震動Sdによる評価を含む)が必要な全 ての機器・経年劣化事象について、評価を実施した結果、耐震安全性に問題はないことを 確認した。	(第23保全サイクルで実施済) 主変圧器の取替を実施した。
ζ Ι	進捗状況	未実施	実施済	実施済	実施済	実施済
第25	保全サイクル 実施計画	ı	1	-	1	1
	実施時 期	中長期	中長期	短期	短期	短期
長期施設管理方針に基づく活動内容				記管の腐食(流れ加速型腐食)については、肉厚測定による実測 農安全性評価を実施した洗素銅配管*について、耐震性が確認 するまでに、サポート改造等の設備対策を行い、これを反映した。 実施する。 なお、サポート改造等の設備対策が完了するまでは、減肉傾向の 蓄積を継続して行い、減肉進展の実測データを反映した耐震安全 5。	する 基準地震動ss-2~Ss-7に対する評価*1が必要な全ての機器・経年劣化事象*2 劣化 について、継続して評価を実施する。 *1:弾性設計 用地震動Sa-2~Sd-7に対する評価を含む。 *2:基準地震動Ss-1に対する評価結果から評価が厳しいと考えられる機器・経年 劣化事象等については、基準地震動Ss-2~Ss-7に対する評価を実施し、耐震安全 性を確認している。	主変圧器のコイルの絶縁低下については、主変圧器の取替を実施する。
	部位と経年劣化事象	伝熱管の損傷	膈部(炉心領域部)の中性子照射脆化	母管 腐食(流れ加速型腐食)	耐震安全上考慮する事事のを受けるという。必要のある経年劣化日事象のある経年劣化日本のでは、日本の	絶縁低下
	機器又は系統名	蒸気発生器	原子炉容器	ドレン系統配管	動によ 必 関な	主変圧器
長期施設	管理方針》 No.	-	2	8	4	ıo

添付書類四 定期事業者検査の判定方法

目 次

1. 定期事業者検査の判定方法・・・・・・・・・・・・・・・・1

表-1:検査の方法の考え方について

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業 者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を 維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1の検査は、設備の点検に合わせて、又は点検の完了後に実施するものであり、 その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月**(定期事業者検査終了からの期間)である。

※:使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象 設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提と された部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記にかかわらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

- ○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮 した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考 慮する検査
 - 原子炉格納容器全体漏えい率検査
 - ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
 - ・クラス1機器供用期間中検査
 - ・クラス2機器供用期間中検査
 - ・ 重大事故等クラス 2機器供用期間中検査

- ・クラス3機器供用期間中検査
- ・供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・炉内計装用シンブルチューブ体積検査
- 2次系配管検査
- ・ 1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・重大事故等クラス3機器供用期間中検査
- ・ 重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ○また、第26サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13 ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。
 - 原子炉停止余裕検査
 - 炉物理検査
 - 燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定に当たって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

表-1 検査の方法の考え方について

		A TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO							
定期事業者検査		検査の方法							
	分解検査及び開放検 査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形、 摩耗等の有無を目視等により確認する。							
①	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい 又はその形跡、き裂、変形等の有無を目視等 により確認する。							
開放、分解、非破壊検査その 他の各部の損傷、変形、摩耗 及び異常の発生状況を確認 するために十分な方法	非破壞検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA1-20012/2013 追補/2014)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。							
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力に おいて、漏えいの有無又は漏えい率*を確認 する。							
	特性検査	電気設備及び計測制御設備について、絶縁抵 抗測定***、校正、設定値確認検査などを行い、 機器等の特性を確認する。							
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試 運転、インターロック試験等を行い、機器単 体又は系統の機能・性能等を確認する。							
十分な方法	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で発電 用原子炉施設の運転を行い、各原子力発電施 設の運転状態が正常であること及び各種パ ラメータが妥当な値であることを確認する。							

※:漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※: 絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は、点検計画(添付書類三 別紙)のとおり。

なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は、定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。